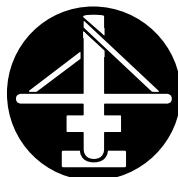


練馬区

# 大泉中里遺跡第五次調査

— 補助第230号線（大泉町）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2） —



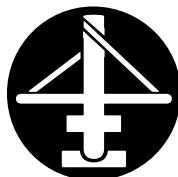
2025・9

東京都埋蔵文化財センター

練馬区

# 大泉中里遺跡第五次調査

— 補助第230号線（大泉町）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2） —



2025・9

東京都埋蔵文化財センター



## 大泉中里遺跡の第五次調査

練馬区大泉中里遺跡は、練馬区北西部の大泉町二丁目に位置する遺跡です。これまでに4回の発掘調査が行われており、今回の調査は、平成31年2月から令和元年11月にかけて東京都埋蔵文化財センターが実施した調査（第四次調査）に続く第五次調査にあたります（写真1）。第四次調査と今回の第五次調査は、ともに東京都建設局による補助第230号線（大泉町）の整備事業に伴う発掘調査です。第四次調査が道路予定地の北側一車線に相当する範囲で、今回は南側一車線に相当する範囲です。発掘調査は、令和6年2月27日から令和6年10月31日までの約8ヶ月間にわたって行いました。

大泉中里遺跡は、白子川の蛇行により形成された舌状に突き出した台地上に立地します（写真2）。第五次調査地点の標高は約42mで、白子川とは約10mの高低差があります。遺跡の中央部に相当する第五次調査地点は、白子川がなす急崖近くの台地縁辺部に位置します。

発掘調査では、主に旧石器時代と縄文時代、近世以降の遺構と遺物が確認されました。

旧石器時代では、3か所の遺物集中が、立川ローム層のIV層からV層で検出されました。遺物集中は、多量の礫で構成されており、黒曜石などの石器や剥片も出土しました。礫の多くは焼けているため、火が使用されたと考えられます。遺物集中は全て北西側の台地縁辺部に位置しており、第四次調査と同様の傾向が見られます。

縄文時代では、主に早期後半と中期後半の遺構と遺物が確認されました。縄文時代早期後半では、竪穴状遺構や炉穴、土坑、ピットなどが検出されました。炉穴は、屋外で火を使用するための施設で、複数基が隣接して炉穴群を構成しています。この炉穴群も複数確認されました。これらの遺構から出土した土器は、条痕文系土器と呼ばれる土器が中心です。

縄文時代中期後半では、竪穴状遺構や土坑、ピット、集石などが検出されました。ピットの中には、土器片が多く含まれるものもあり、意図的に埋められた可能性もあります。集石は、多量の礫で構成され、多くの土器片も出土しました。礫の広がりを見ると、中心は1か所だけではなく、複数あることが推測されます。これらの遺構から出土した土器は、加曽利E3式、加曽利E4式と呼ばれる土器が中心です。

近世以降では、畑跡と考えられるピット列と畝状遺構が確認されました。根菜などの野菜が栽培されていたと想定されます。一部では、畑の土壤改良のために、立川ローム層を溝状に掘削し、黒色土層と入れ替える客土が行われてから畑が営まれていたことが判明しました。

このように、旧石器時代と縄文時代、近世以降のそれぞれの時代の貴重な遺構や遺物が確認されました。

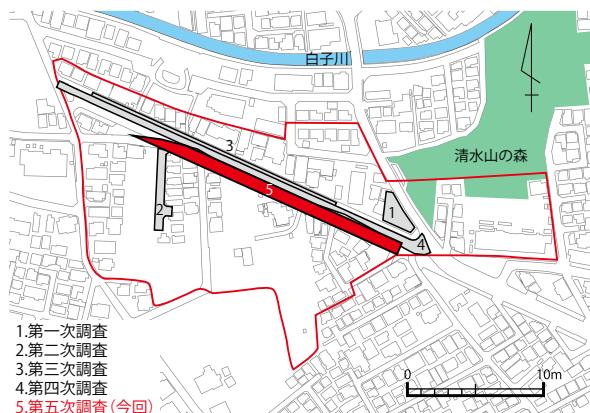


図1 大泉中里遺跡の調査範囲



図2 大泉中里遺跡の立地(現地形)



写真1. 旧石器時代の遺物集中 (SBL1)



写真2. 旧石器時代の遺物集中 (SBL2)



写真3. 旧石器時代の遺物集中 (SBL3)



写真4. 旧石器時代の遺物集中出土石器



写真5. 旧石器時代の遺物集中出土礫の接合資料



写真 6. 縄文時代早期後半の竪穴状遺構 (SI1)

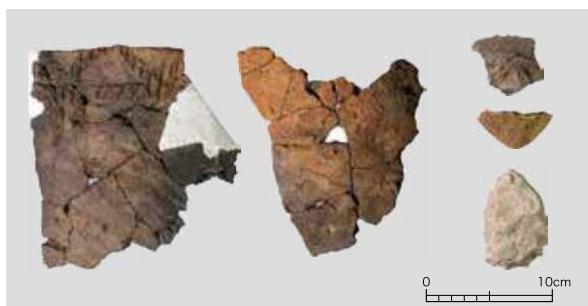


写真 7. 縄文時代早期後半の遺物



写真 8. 縄文時代早期後半の炉穴 (SK17)



写真 9. 縄文時代早期後半の炉穴 (SK39)



写真 10. 縄文時代中期後半の集石 (SS1) オルソ画像

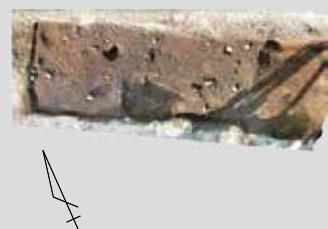


写真 11. 縄文時代中期後半の竪穴状遺構



写真 12. 縄文時代中期後半の遺物



写真 13. 近世遺構の畑跡 (9区西側遺構群・9区東側遺構群) オルソ画像

## The Fifth Survey of the Oizumi Nakazato Site

The Oizumi Nakazato Site is located at 2-chome, Oizumi-machi, Nerima Ward. This site is located on the tongue-shaped plateau on the right bank of the Shirako River. The survey point is on the marginal region of the plateau, which has a difference of about 10 meters in altitude from the Shirako River. The present investigation is the fifth. The main findings of the survey are ruins and artifacts dating back to the Upper Paleolithic and the Jomon periods and the Early Modern Times and later times.

Firstly, from the Paleolithic period, we unearthed three concentrations of artifacts from about 25,000 years ago. The term “concentration of artifact” refers to an archaeological feature where a large amount of gravel has been gathered. Here we identified instruments made of obsidian and other stones. Numerous items found in the gravel were burned, which makes us assume that the locals used fire.

Secondly, from the Jomon period, we mainly found ruins and artifacts from the latter half of the early and the latter half of the middle Jomon periods. From the first era mentioned above, we unearthed the ruins of pit dwellings, furnace pits, earthen pits, and other pits. The furnace pits are earthen pits where the locals used fire outdoors, and come in several groups.

From the second era mentioned above, we unearthed the ruins of pit dwellings, earthen pits, other pits, concentrated rock fragments, and other artifacts. Among the concentrated rock fragments excavated was a large amount of gravel, along with many pieces of Jomon earthenware.

Thirdly, we found ruins that are presumed to be farming fields. The ruins of farming fields consist of [1] ruins of pits, presumably for vegetable cultivation; and [2] furrows.

In conclusion, we unearthed ruins and artifacts that would serve as precious materials for historical studies of each relevant period.

## 序　言

大泉中里遺跡は、練馬区大泉町二丁目に所在します。今回は東京都第四建設事務所による補助第230号線（大泉町）の整備事業に伴う発掘調査で、今回で第5回目になります。

遺跡は練馬区と埼玉県の境を流れる白子川に面した南側の台地縁辺部に立地しており、遺跡周辺には多くの湧水があり、昔の地形的環境を良好に残した場所です。

今回の発掘調査は第四次調査で旧石器時代・縄文時代の遺構・遺物が発見されたことを受け、引き続き調査を行いました。その成果としては、旧石器時代の礫が多く発見され、石器も多数出土しました。縄文時代では早期から中期の遺構・遺物が発見されています。近世以降の畑の痕跡も確認されました。

この調査の成果をまとめた本報告が、多くの人に活用され、地域の歴史を解明する資料となることを期待し、埋蔵文化財に対する都民の皆様の関心とご理解を深めていただくことができれば幸いです。

本報告書の刊行にあたり、ご協力とご指導をいただきました東京都第四建設事務所、東京都教育委員会、練馬区地域文化部に厚くお礼を申し上げるとともに、ご教示いただきました研究者の皆様、地域の住民の皆様方に心より感謝いたします。

令和7年9月

公益財団法人　東京都教育支援機構

理事長　　坂東　眞理子

## 例言

- 1 本書は、補助第 230 号線（大泉町）整備事業に伴う大泉中里遺跡（練馬区No. 17 遺跡）の第五次発掘調査報告（東京都埋蔵文化財センター調査報告第 392 集）である。
- 2 発掘調査事業は、東京都第四建設事務所の委託を受け、公益財団法人東京都教育支援機構東京都埋蔵文化財センターが実施した。
- 3 遺跡所在地：東京都練馬区大泉町二丁目地内
- 4 調査対象面積：1,764m<sup>2</sup> 調査終了面積：1,764m<sup>2</sup>
- 5 発掘調査期間：令和 6 年 2 月 27 日～令和 6 年 10 月 31 日  
整理調査期間：令和 6 年 11 月 1 日～令和 7 年 6 月 30 日
- 6 本事業における事業者との事業調整は、東京都教育庁地域教育支援部管理課が担当・指導した。  
埋蔵文化財担当課長代理 鈴木徳子  
埋蔵文化財担当 石井香代子
- 7 調査担当者  
東京都埋蔵文化財センター 練馬区大泉町二丁目 2 分室  
事業調整担当課長 西山博章  
調査研究員 守屋 亮  
調査工事委託・支援会社  
株式会社田中建設 テイケイトレード株式会社
- 8 本報告書の執筆は、守屋 亮・塚田清啓・西山博章が分担し、文責は各文末に記載した。
- 9 本報告書の編集は、守屋が行った。
- 10 本報告に関して、以下の機関に分析を委託した。  
放射性炭素年代測定 株式会社パレオ・ラボ  
黒曜石の産地推定 株式会社パレオ・ラボ  
安山岩の産地推定 株式会社パレオ・ラボ  
土壤のテフラ分析 株式会社パレオ・ラボ
- 11 出土遺物及び発掘調査・整理に關わる図面・写真等記録類は、練馬区教育委員会で保管している。
- 12 本報告書刊行に先立ち、以下において調査成果の一部を報告しているが、本書をもって正式報告とする。  
東京都埋蔵文化財センター 2024 「遺跡だより 142 練馬区大泉中里遺跡」『たまのよこやま』139  
東京都埋蔵文化財センター 2025 「練馬区大泉中里遺跡」『遺跡発掘調査発表会 2024 (令和 5 年度) 発表要旨』  
東京都埋蔵文化財センター 2025 『東京都埋蔵文化財センター調査年報 44 令和 5 (2023) 年度』
- 13 本文用例等
  - ・本書で掲載・参照した地形図等は、以下のとおりである。  
国土地理院基盤地図情報「基本項目」

国土地理院「地理院タイル（陰影起伏図）」

東京都デジタルツイン実現プロジェクト3次元点群データ

「グリッドデータ（0.25m）」・「微地形表現図（0.25m）」

東京都教育委員会「東京都遺跡地図情報インターネット提供サービス」

・大泉中里遺跡グリッド設定図（第2図）は、大泉中里遺跡第四次調査（東京都埋蔵文化財センター2020）で設定したグリッドを使用した。

・土層・遺物の色調、含有量の表記には、農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版 標準土色帖 17版』を用い、土色・マンセルノテーションで表した。

・遺物取り上げ・遺構の図化は、株式会社パスコ T3Di を用いた。

・遺構の三次元測量と一部の遺物実測には、Agisoft Metashape Professional Edition を用いた。

・地図と一部の遺構平面図・断面図の作成には、QGIS を用いた。

・調査に使用した座標は、世界測地系による国家座標（平面直角座標系9系）である。

・本書で使用した標高は、海拔で示し、東京湾平均海面（Tokyo Peil : TP）を用いた。

・遺構種別を示す略号は以下のとおりである。

遺物集中：SBL、溝：SD、竪穴状遺構：SI、竪穴状遺構内ピット：SI-P、土坑（炉穴含む）：SK、

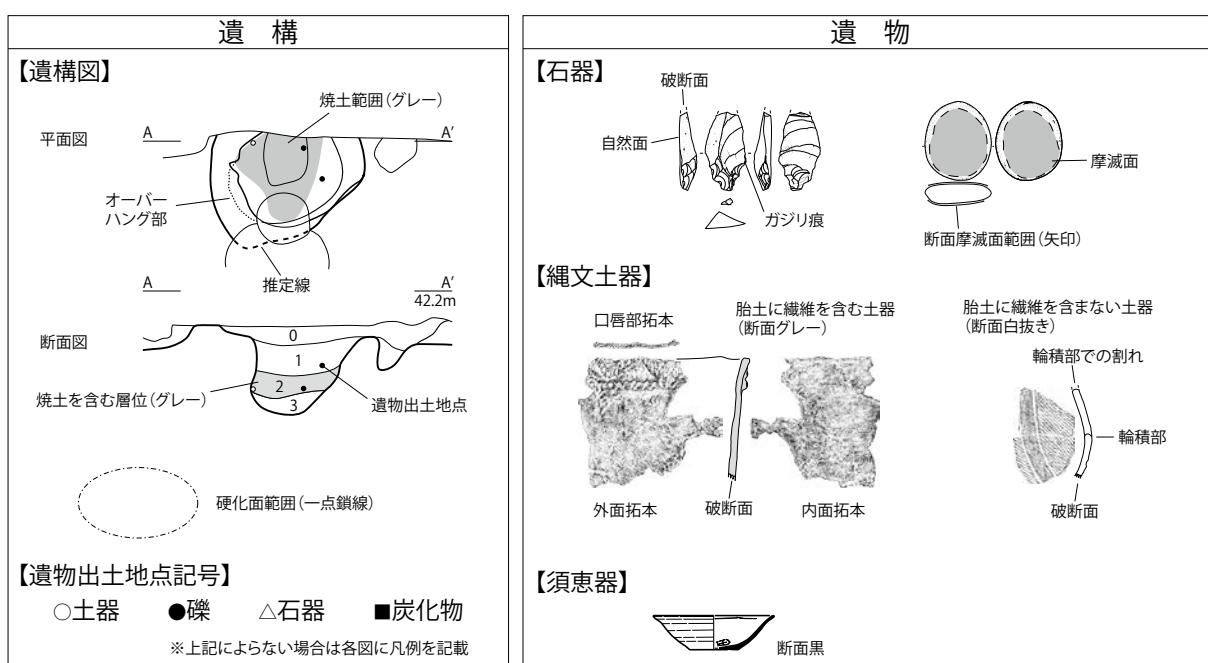
集石：SS、不明遺構：SX、ピット：P、縄文時代のピット：J-P、攪乱 K

・遺構一覧表・遺物観察表における（）内の数値は残存値を示す。

14 発掘調査及び整理調査に関して、以下の方々と機関にご指導・ご協力を賜った。記して、深く感謝いたします（敬称略）

東京都建設局第四建設事務所、練馬区教育委員会、鈴木忠司、竹尾 進、都築恵美子、鶴間正昭

## 凡例



# 目次

## 大泉中里遺跡第五次調査

## Survey of the Ohizumi-nakazato Site

### 序言

### 例言・凡例

### I 発掘調査の概要

1 調査に至る経緯 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 1

2 調査の方法と経過 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 1

### II 遺跡の位置と環境

1 地理的環境 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 8

2 歴史的環境 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 10

### III 層序 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 11

### IV 遺構と遺物

1 旧石器時代 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 14

2 繩文時代 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 41

3 奈良・平安時代 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 113

4 近世以降 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 114

### V 自然科学分析

1 放射性炭素年代測定 ······ ······ ······ ······ ······ ······ 125

2 大泉中里遺跡出土の黒曜石製石器の産地推定 ······ ······ ······ 129

3 大泉中里遺跡出土のガラス質安山岩製石器の非破壊での産地推定 ······ ······ 133

4 大泉中里遺跡のテフラ分析 ······ ······ ······ ······ ······ 137

5 練馬区大泉中里遺跡出土縄文土器の圧痕分析 ······ ······ ······ 144

### VI 調査の成果と課題

1 旧石器時代 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 147

2 繩文時代 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 150

3 奈良・平安時代 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 152

4 近世以降 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 152

### 引用・参考文献 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ 153

### 報告書抄録

## 卷頭写真目次

図 1 大泉中里遺跡の調査範囲 ······ ······ ······ ······ ······	ii	写真 4 旧石器時代の遺物集中出土石器 ······ ······ ······	ii
図 2 大泉中里遺跡の立地（現地形） ······ ······ ······ ······	ii	写真 5 旧石器時代の遺物集中出土礫の接合資料 ······ ······	ii
写真 1 旧石器時代の遺物集中 (SBL1) ······ ······ ······	ii	写真 6 繩文時代早期後半の竪穴建物跡 (SI1) ······ ······	iii
写真 2 旧石器時代の遺物集中 (SBL2) ······ ······ ······	ii	写真 7 繩文時代早期後半の遺物 ······ ······ ······	iii
写真 3 旧石器時代の遺物集中 (SBL3) ······ ······ ······	ii	写真 8 繩文時代早期後半の炉穴 (SK17) ······ ······	iii

写真 9 縄文時代早期後半の炉穴 (SK39) . . . . .	iii
写真 10 縄文時代中期後半の集石 (SS1) オルソ画像 . . . . .	iii
写真 11 縄文時代中期後半の竪穴建物跡 . . . . .	iii

写真 12 縄文時代中期後半の遺物 . . . . .	iii
写真 13 近世遺構の畝跡 (9 区西側遺構群・9 区東側遺構群) オルソ画像 . . . . .	iii

## 挿図目次

第 1 図 調査地点位置図 (1/25,000) . . . . .	3
第 2 図 グリッド設定図 (1/2,000) . . . . .	3
第 3 図 大泉中里遺跡の既調査地点詳細図 (1/1,200) . . . . .	4
第 4 図 調査区全景 (1) . . . . .	5
第 5 図 調査区全景 (2) . . . . .	6
第 6 図 武藏野台地の地形区分 . . . . .	7
第 7 図 周辺の遺跡分布 (1/55,000) . . . . .	8
第 8 図 基本層序 (1/40) . . . . .	12
第 9 図 基本層序写真 . . . . .	13
第 10 図 旧石器時代遺構全体図 (1/150) . . . . .	15
第 11 図 1 号遺物集中 (1) (1/40) . . . . .	16
第 12 図 1 号遺物集中 (2) (1/40) . . . . .	17
第 13 図 2 号遺物集中 (1) (1/40) . . . . .	18
第 14 図 2 号遺物集中 (2) (1/40) . . . . .	19
第 15 図 3 号遺物集中 (1) (1/40) . . . . .	20
第 16 図 3 号遺物集中 (2) (1/40) . . . . .	21
第 17 図 遺物集中写真 . . . . .	22
第 18 図 旧石器時代石器 (1) (2/3) . . . . .	24
第 19 図 旧石器時代石器 (2) (2/3) . . . . .	25
第 20 図 旧石器時代石器 (3) (2/3) . . . . .	26
第 21 図 旧石器時代石器写真 (1) . . . . .	27
第 22 図 旧石器時代石器写真 (2) . . . . .	28
第 23 図 旧石器時代遺物集中関係グラフ . . . . .	40
第 24 図 縄文時代遺構全体図 (1) (1/150) . . . . .	42
第 25 図 縄文時代遺構全体図 (2) (1/150) . . . . .	43
第 26 図 1 号竪穴状遺構 (1/40) . . . . .	44
第 27 図 1 号竪穴状遺構写真 (1) . . . . .	45
第 28 図 1 号竪穴状遺構写真 (2) . . . . .	46
第 29 図 2 号竪穴状遺構 (1/40) . . . . .	47
第 30 図 2 号竪穴状遺構写真 . . . . .	48
第 31 図 3 号竪穴状遺構 (1/40)・3 号竪穴状遺構写真 . . . . .	49
第 32 図 4 号竪穴状遺構 (1/40) . . . . .	50
第 33 図 4 号竪穴状遺構写真 . . . . .	51
第 34 図 竪穴状遺構出土縄文土器 (1/3) . . . . .	52
第 35 図 竪穴状遺構出土石器 (2/3) . . . . .	53
第 36 図 竪穴状遺構出土遺物写真 . . . . .	54
第 37 図 縄文時代の土坑 (1) (1/40) . . . . .	58
第 38 図 縄文時代の土坑 (2) (1/40) . . . . .	59
第 39 図 縄文時代の土坑 (3) (1/40) . . . . .	60
第 40 図 縄文時代の土坑 (4) (1/40) . . . . .	61
第 41 図 縄文時代の土坑 (5) (1/40) . . . . .	62
第 42 図 縄文時代の土坑 (6) (1/40) . . . . .	63
第 43 図 縄文時代の土坑写真 (1) . . . . .	67
第 44 図 縄文時代の土坑写真 (2) . . . . .	68
第 45 図 縄文時代の土坑写真 (3) . . . . .	69
第 46 図 縄文時代の土坑写真 (4) . . . . .	70
第 47 図 縄文時代の土坑写真 (5) . . . . .	71
第 48 図 縄文時代の土坑写真 (6) . . . . .	72
第 49 図 縄文時代の土坑写真 (7) . . . . .	73
第 50 図 縄文時代の土坑写真 (8) . . . . .	74
第 51 図 縄文時代の土坑写真 (9) . . . . .	75
第 52 図 縄文時代の土坑出土遺物 (1) (1/3) . . . . .	77
第 53 図 縄文時代の土坑出土遺物 (2) (1/3) . . . . .	78
第 54 図 縄文時代の土坑出土遺物 (3) (1/3・2/3) . . . . .	79
第 55 図 縄文時代の土坑出土遺物写真 (1) . . . . .	80
第 56 図 縄文時代の土坑出土遺物写真 (2) . . . . .	81
第 57 図 縄文時代のピット (1) (1/40) . . . . .	84
第 58 図 縄文時代のピット (2) (1/40) . . . . .	85
第 59 図 縄文時代のピット写真 (1) . . . . .	88
第 60 図 縄文時代のピット写真 (2) . . . . .	89
第 61 図 縄文時代のピット写真 (3) . . . . .	90
第 62 図 縄文時代のピット写真 (4) . . . . .	91
第 63 図 縄文時代のピット出土縄文土器 (1/3)・縄文土器写真 . . . . .	93
第 64 図 1 号集石 (1/40) . . . . .	95
第 65 図 1 号集石写真 . . . . .	97
第 66 図 2 号集石 (1/40)・2 号集石写真 . . . . .	98
第 67 図 縄文時代の集石出土遺物 (1/3・1/2) . . . . .	99
第 68 図 縄文時代の集石出土遺物写真 . . . . .	100
第 69 図 縄文時代の集石出土礫グラフ . . . . .	101
第 70 図 遺構外出土土器分布図 (1/450) . . . . .	103
第 71 図 遺構外出土縄文土器 (1) (1/3) . . . . .	104
第 72 図 遺構外出土縄文土器 (2) (1/3) . . . . .	105
第 73 図 遺構外出土縄文土器 (3) (1/3) . . . . .	106
第 74 図 遺構外出土縄文土器写真 (1) . . . . .	107
第 75 図 遺構外出土縄文土器写真 (2) . . . . .	108

第 76 図 遺構外出土縄文時代石器 (2/3・1/2・1/3) ······	109	第 88 図 黒曜石産地推定期別図 (1) ······	132
第 77 図 遺構外出土縄文時代石器写真 ······	110	第 89 図 黒曜石産地推定期別図 (2) ······	132
第 78 図 遺構外出土奈良・平安時代遺物 (1/3) ·写真 ······	113	第 90 図 ガラス質安山岩産地推定期別図 (1) ······	136
第 79 図 近世以降遺構全体図 (1) (1/150) ······	115	第 91 図 ガラス質安山岩産地推定期別図 (2) ······	136
第 80 図 近世以降遺構全体図 (2) (1/150) ······	116	第 92 図 4 φ 中の火山ガラスの屈折率測定結果 ······	138
第 81 図 近世以降の土坑・ピット・溝 (1/60) ·写真 ······	118	第 93 図 テフラ試料の含砂率・砂粒組成・火山ガラスの形態 ······	141
第 82 図 近世以降の溝状遺構 (1) (1/60) ······	120	第 94 図 分析試料中の鉱物の顕微鏡写真 ······	143
第 83 図 近世以降の溝状遺構 (2) (1/60) ······	121	第 95 図 圧痕を有する土器と土器圧痕 SEM 写真 ······	146
第 84 図 近世以降の溝状遺構写真 ······	122	第 96 図 1 号・2 号遺物集中接合関係図 (1/40) ······	148
第 85 図 遺構・遺構外出土近世以降遺物 (1/3・2/3) ·写真 ······	124	第 97 図 3 号遺物集中接合関係図 (1/40) ······	149
第 86 図 曆年較正結果 ······	128	第 98 図 大泉中里遺跡旧石器遺構全体 ······	149
第 87 図 黒曜石産地分布図 (東日本) ······	129	第 99 図 大泉中里遺跡の縄文時代遺構分布図 ······	151

## 表目次

第 1 表 工程表 ······	3	第 28 表 縄文時代の集石出土縄文土器観察表 ······	100
第 2 表 周辺の遺跡一覧 ······	9	第 29 表 縄文時代の集石出土縄文石器観察表 ······	100
第 3 表 石器観察表 ······	29	第 30 表 縄文時代の集石出土礫組成表 ······	101
第 4 表 遺物集中出土石器一覧表 ······	29	第 31 表 遺構外出土縄文土器観察表 (1) ······	111
第 5 表 遺物集中出土礫一覧表 (1) ······	30	第 32 表 遺構外出土縄文土器観察表 (2) ······	112
第 6 表 遺物集中出土礫一覧表 (2) ······	31	第 33 表 遺構外出土縄文時代石器観察表 ······	113
第 7 表 遺物集中出土礫一覧表 (3) ······	32	第 34 表 遺構外出土奈良・平安時代遺物観察表 ······	113
第 8 表 遺物集中出土礫一覧表 (4) ······	33	第 35 表 近世以降の土坑・ピット一覧 ······	119
第 9 表 遺物集中出土礫一覧表 (5) ······	34	第 36 表 近世以降の耕作痕一覧 ······	123
第 10 表 遺物集中出土礫一覧表 (6) ······	35	第 37 表 遺構・遺構外出土近世以降陶磁器観察表 ······	124
第 11 表 遺物集中出土礫一覧表 (7) ······	36	第 38 表 遺構・遺構外出土近世以降金属製品観察表 ······	124
第 12 表 遺物集中出土礫一覧表 (8) ······	37	第 39 表 遺構・遺構外出土近世以降ガラス製品観察表 ······	124
第 13 表 遺物集中出土礫一覧表 (9) ······	38	第 40 表 測定試料および処理 ······	125
第 14 表 遺物集中出土礫接合表 (1) ······	38	第 41 表 放射性炭素年代測定および曆年較正の結果 ······	126
第 15 表 遺物集中出土礫接合表 (2) ······	39	第 42 表 分析対象となる黒曜石製石器 ······	129
第 16 表 遺物集中出土礫組成表 ······	39	第 43 表 東日本黒曜石産地の判別群 ······	130
第 17 表 横穴状遺構出土縄文土器観察表 ······	55	第 44 表 測定値および産地推定結果 ······	131
第 18 表 横穴状遺構出土縄文石器観察表 ······	55	第 45 表 時期別の産地 ······	131
第 19 表 縄文時代の土坑土層説明一覧表 (1) ······	64	第 46 表 分析対象となるガラス質安山岩製石器 ······	133
第 20 表 縄文時代の土坑土層説明一覧表 (2) ······	65	第 47 表 原石採取地と判別群名称 ······	134
第 21 表 縄文時代の土坑一覧・計測表 ······	76	第 48 表 非破壊での測定値および近い判別群 ······	135
第 22 表 縄文時代の土坑出土縄文土器観察表 ······	82	第 49 表 分析試料とその特徴 ······	137
第 23 表 縄文時代の土坑出土縄文石器観察表 ······	83	第 50 表 テフラ試料の湿式篩分け・重液分離の結果 ······	138
第 24 表 縄文時代のピット土層説明一覧表 (1) ······	86	第 51 表 4 φ 篩残渣中の鉱物組成 ······	138
第 25 表 縄文時代のピット土層説明一覧表 (2) ······	87	第 52 表 土器圧痕一覧 ······	145
第 26 表 縄文時代のピット一覧表 ······	92	第 53 表 旧石器時代の石器石材産地推定結果一覧 ······	148
第 27 表 縄文時代のピット出土縄文土器観察表 ······	94		

## I 発掘調査の概要

### 1 調査に至る経緯

東京都建設局による、東京都市計画道路補助線街路第 230 号線は昭和 41 年に都市計画決定され、平成 21 年に事業認可された後、事業に着手している。事業区間のうち、練馬区大泉町二丁目地区においては周知の埋蔵文化財包蔵地である大泉中里遺跡（練馬区遺跡 No.17）が含まれており、同事業を担当する東京都第四建設事務所（以下、「四建」）は、同遺跡の取り扱いについて練馬区教育委員会（以下、「区教委」）と協議し、電線共同溝埋設部分については区教委による本調査を平成 30 年 7 月に実施し。なおこの調査は、大泉中里遺跡としてはすでに区教委による近接地での調査が二次にわたり実施されていたことから、第三次調査となっている。その後道路北側半分の本調査に関しては東京都教育委員会（以下、「都教委」）と四建、区教委との協議により公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センター（以下、「埋文センター」）が実施することとなり、平成 31 年 2 月から令和元年 11 月にかけて第四次としての調査が実施され、令和 2 年 9 月 30 日付で調査報告書『大泉中里遺跡第四次調査－補助第 230 号線（大泉町）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査－』が刊行されている。

道路南側部分については、用地取得等の条件が整ったことを受け、令和 5 年 3 月 23 日付で四建から都教委に埋蔵文化財発掘調査取り扱いについての照会があり、同 3 月 29 日に都教委から本調査実施の回答が出され、同日埋文センターにも通知が発出されている。

その後、東京都建設局、都教委、公益財団法人東京都教育支援機構東京都埋蔵文化財センターの三者で協議がなされ、本調査対象範囲を 1,764m<sup>2</sup>として、令和 5 年 11 月 6 日付で「補助第 230 号線（大泉町）の整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に関する協定」が締結され、同 11 月 24 日に四建と埋文センターの間で、上記整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の委託契約が締結された。

令和 6 年 2 月 1 日付で埋文センターより区教委に発掘届を提出し、同 3 月 26 日より現地での調査に着手した。  
(西山)

### 2 調査の方法と経過

本遺跡の調査範囲は遺跡の中央部を北西—南東方向に延びる都道予定地の南西側車線にあたる（第 1 図）。本調査地区に対する北東側車線に関しては、平成 31 年 2 月 18 日から令和元年 11 月 25 日にかけて東京都埋蔵文化財センターによる第四次調査（東京都埋蔵文化財センター 2020）が行われた。発掘調査は、1,764m<sup>2</sup>を調査対象範囲とした。調査対象範囲には、道路予定地に沿って南西側に住宅及び寺院が隣接しており、その出入口等を確保するために調査区を計 5 か所に分割して調査を実施した。調査区の名称については、第四次調査で北西から南東にかけて 1 区から 8 区までの番号が振られているため、今回の調査ではこれに継続する形で、北西から南東の順に 9 区から 13 区の番号を振った（第 2 図）。

調査区に設定したグリッドは、第四次調査のものと共通である。このグリッドは、南西隅を基点に 1 グリッド 5 × 5m で設定され、南北軸（X 座標）はアルファベット、東西軸（Y 座標）は数字で表

記される。座標値は、世界測地系による国家座標（平面直角座標系 9 系）を使用し、南西隅の基点 A-1 は X= - 26,065、Y= - 20,725 である。

調査は北西側の 9 区から、順に南東側に向かって実施した。

9 区の調査は、令和 6 年 3 月 14 日に開始した。9 区はバックホウの待機場所を確保するため、西側と東側に分割して実施した。旧石器時代の包含層まで掘削するため、都埋文の発掘作業標準に従い、掘削深度 1.5m に対し幅 1 m の控えを設定し、階段状に掘削した。9 区西側の調査は 6 月 14 日に終了して埋め戻しを実施した。その後 6 月 26 日に 9 区東側の調査を開始し、7 月 19 日に終了した。なお、9 区の範囲には、供用中の埋設管（下水道管、雨水管、ガス管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

10 区の調査は、9 区の調査と併行して 4 月 25 日から開始した。10 区は、東側を 9 区から搬出された排土の置場とするため、西側と東側の 2 区画に分割して実施した。旧石器時代の包含層まで掘削するため、都埋文の発掘作業標準に従い、掘削深度 1.5m に対し幅 1 m の控えを設定し、階段状に掘削した。10 区西側は 9 月 9 日に調査を終了して埋め戻しを実施した。10 区西側と並行し、8 月 28 日からは 10 区東側（西）の調査を開始し、9 月 18 日に終了した。9 月 24 日に 10 区東側（東）の調査を開始し、10 月 11 日に終了した。なお、10 区の範囲には、供用中の埋設管（上水道管、下水道管、雨水管、ガス管、NTT 管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

11 区の調査は、令和 6 年 10 月 10 日に開始した。11 区は全面を一度に調査し、10 月 29 日に調査終了して埋め戻しを実施した。なお、11 区の範囲には、供用中の埋設管（上水道管、下水道管、雨水管、ガス管、NTT 管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

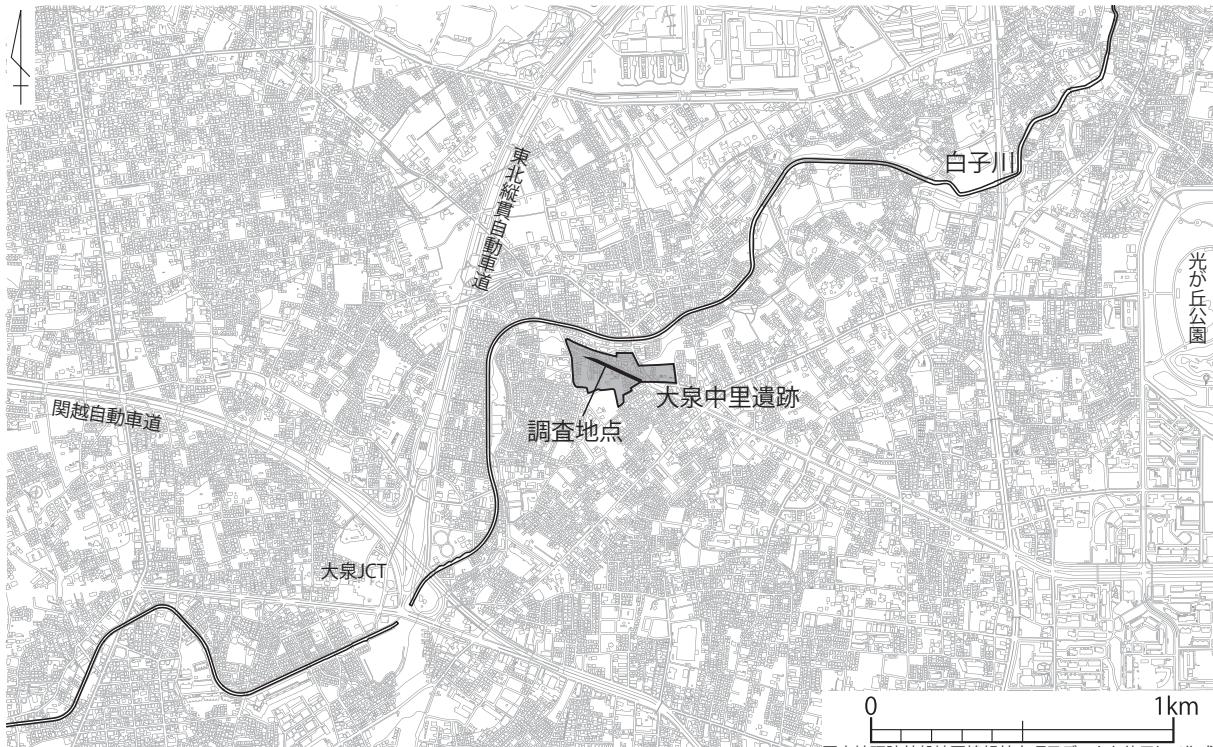
12 区の調査は、令和 6 年 9 月 18 日に開始した。12 区は民家出入り口を挟んで西側と東側に分割した。12 区東側はさらに北側と南側に分割して調査を実施した。12 区西側と 12 区東側（南）を同時に調査し、西側は 9 月 25 日に調査終了して埋め戻しを、東側（南）は 9 月 30 日に調査終了して埋め戻しを実施した。東側（北）は、東側（南）の埋め戻しが終了した 10 月 1 日に調査を開始し、10 月 10 日に調査を終了して埋め戻しを実施した。なお、12 区の範囲には、供用中の埋設管（上水道管、下水道管、雨水管、ガス管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

13 区の調査は、令和 6 年 9 月 6 日に開始した。13 区はバックホウの待機場所を確保するため、西側と東側に分割して実施した。旧石器時代の包含層まで掘削するため、都埋文の発掘作業標準に従い、掘削深度 1.5m に対し幅 1 m の控えを設定し、階段状に掘削した。西側は 9 月 30 日に調査終了し、埋め戻しを実施した。東側の調査は、西側の埋め戻しが終了した 10 月 1 日に開始した。10 月 7 日に調査を終了し、埋め戻しを実施した。なお、13 区の範囲には、供用中の埋設管（上水道管、下水道管、雨水管、ガス管）が存在しており、各事業者の立会を実施しつつ、この部分を避けて調査した。

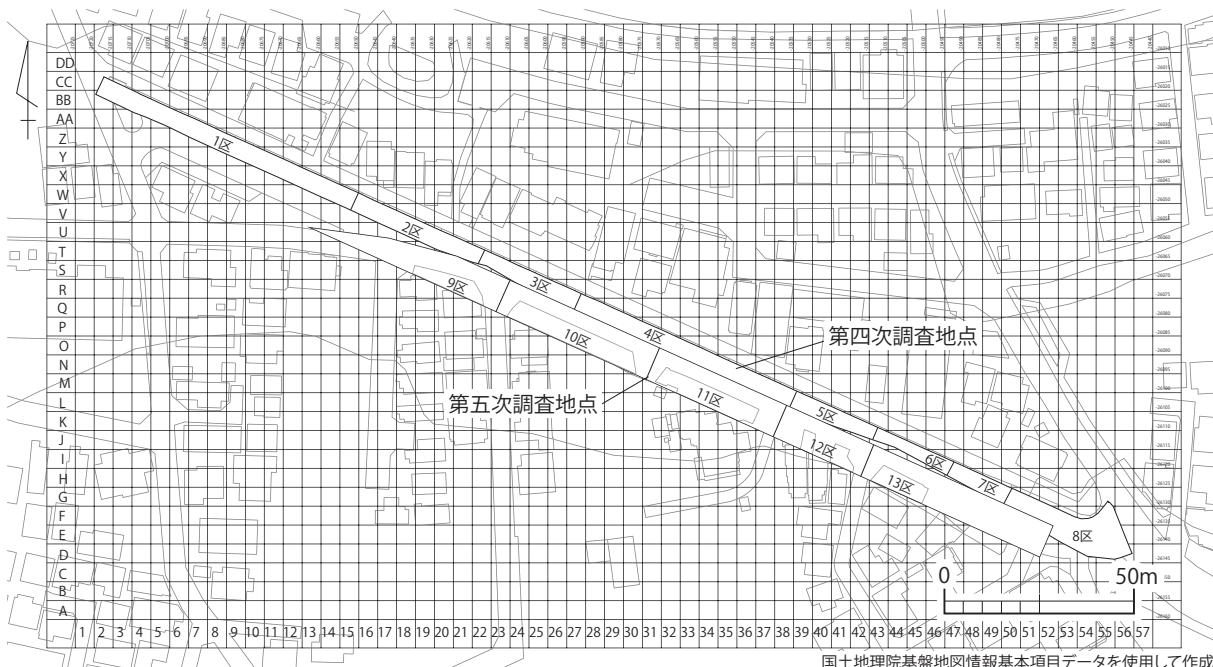
二次整理作業は、令和 6 年 11 月 1 日から令和 7 年 5 月 30 日まで実施した。作業の内容は、遺構図面と測量データの整理、遺物の実測、拓本、トレース、写真撮影・加工作業、遺構・遺物の図版作成作業等に加え、第四次調査で出土した旧石器時代遺物集中部と今回の遺物集中の礫との接合作業も実施した。6 月には報告書の原稿執筆・編集作業を実施した。 (守屋)

第1表 発掘調査・整理作業工程表

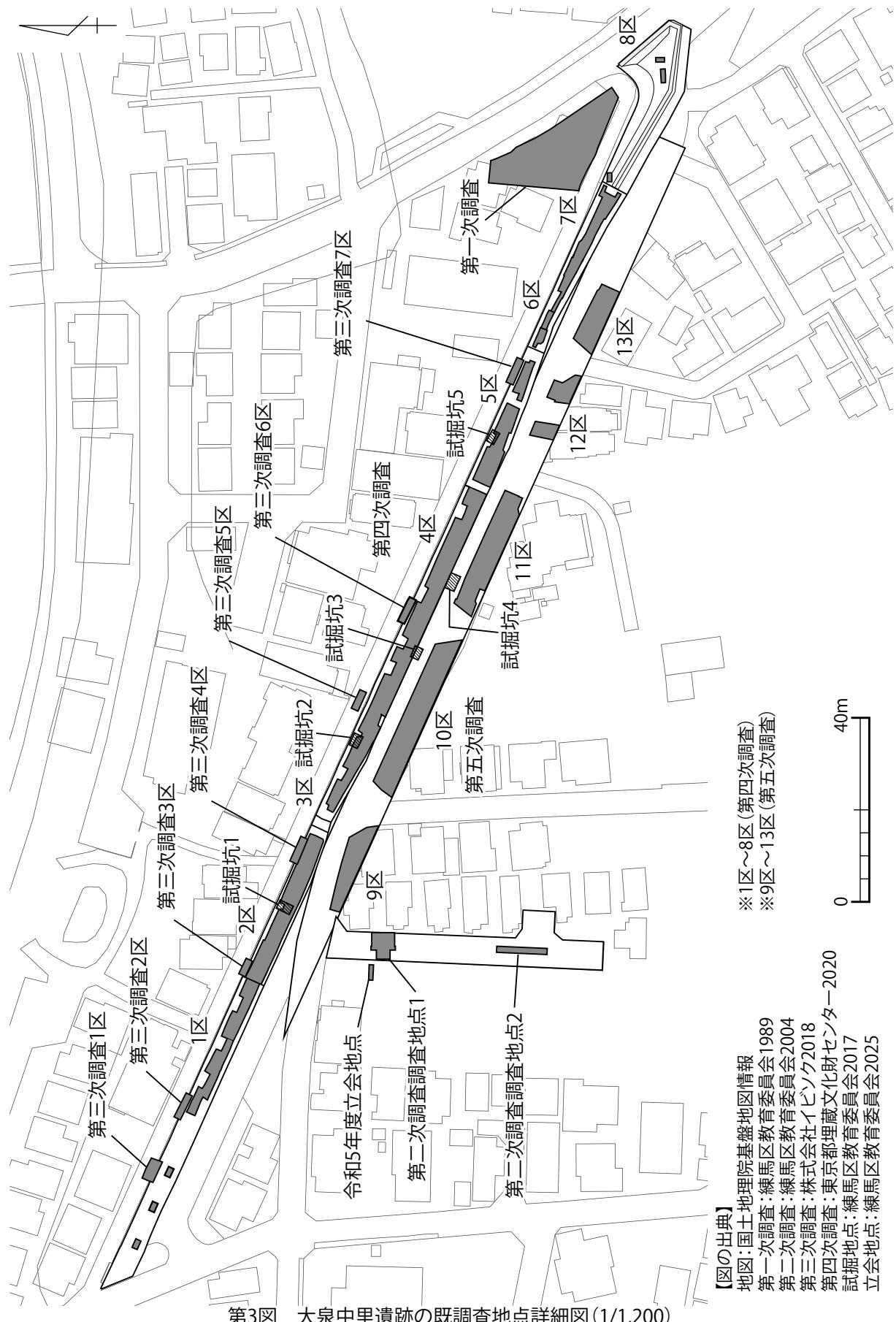
	令和5年度			令和6年度												令和7年度					
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
発掘調査																					
準備工			■																		
9区			■	■	■	■	■	■													
10区			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■									
11区									■	■	■	■									
12区									■	■	■	■									
13区																					
整理作業																					
一次整理			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
二次整理																					
報告書刊行																					



第1図 調査地点位置図(1/25,000)



第2図 グリッド設定図(1/2,000)



第3図 大泉中里遺跡の既調査地点詳細図(1/1,200)



1. 9区西側縄文時代確認面全景(南東から)



2. 9区西側ローム面全景(南東から)



3. 9区東側縄文時代確認面全景(南西から)



4. 9区東側ローム面全景(東から)



5. 10区西側縄文時代確認面全景(北西から)



6. 10区西側ローム面全景(北東から)



7. 10区東側(西)縄文時代確認面全景(南西から)



8. 10区東側(東)縄文時代確認面全景(北東から)

第4図 調査区全景(1)



1. 11区近世以降確認面全景(南東から)



2. 11区縄文時代確認面全景(南東から)



3. 12区西側(北)全景(北東から)



4. 12区西側(南)全景(北東から)



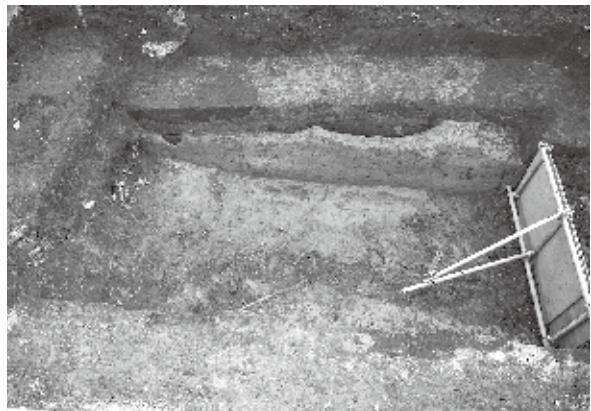
5. 12区東側(北)全景(北東から)



6. 12区東側(南)全景(北東から)



7. 13区西側縄文時代確認面全景(北西から)



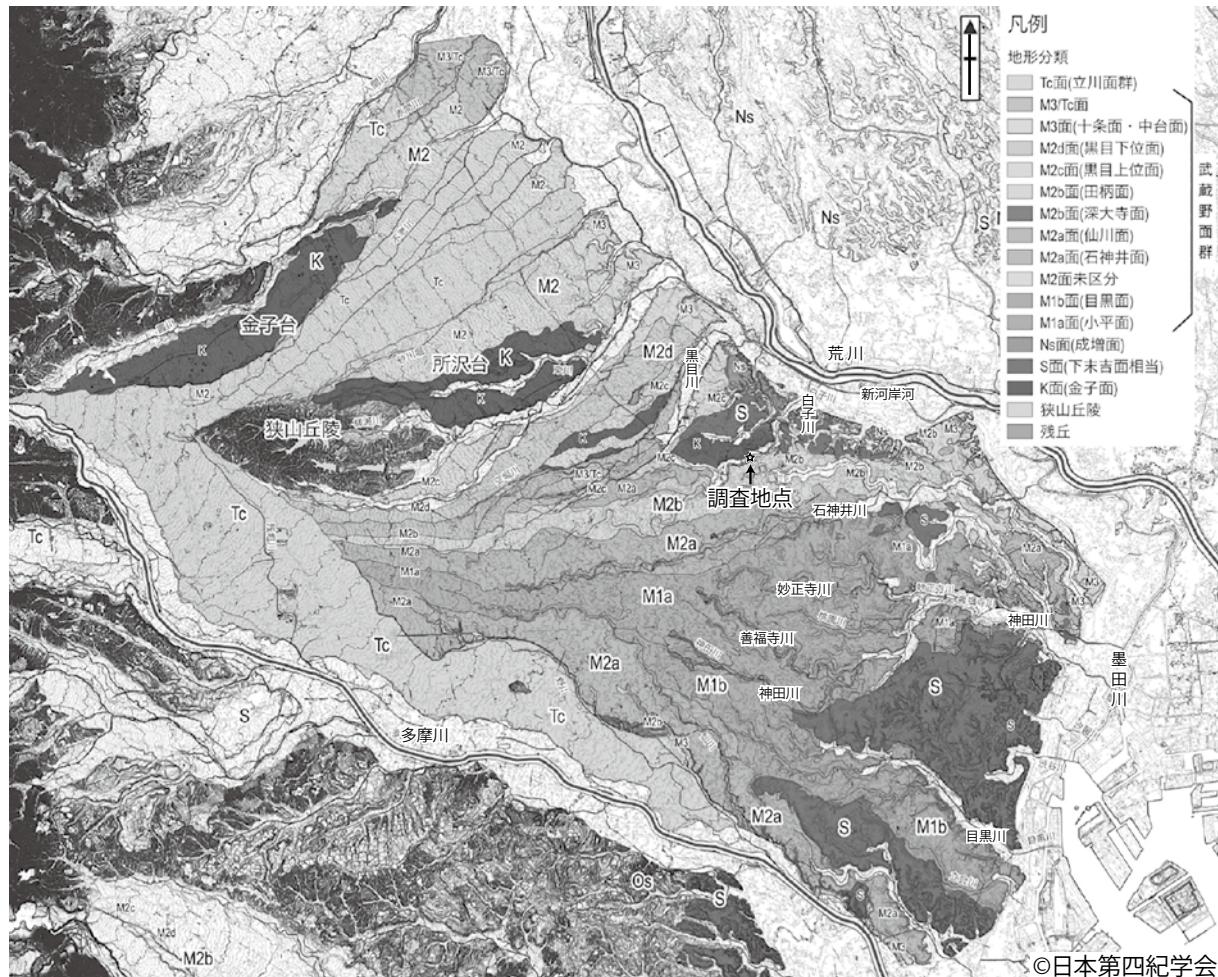
8. 13区東側縄文時代確認面全景(北東から)

第5図 調査区全景(2)

## II 遺跡の位置と環境

### 1 地理的環境

大泉中里遺跡（練馬区No. 17 遺跡）は、練馬区大泉町二丁目に所在する遺跡である。古多摩川の扇状地を基盤とする武蔵野台地は、北西から南東方向に延び扇端部は東京低地へと続く（第6図）。標高は扇頂部の青梅市付近で180～190m、扇端部の東京湾で20～30mであり、標高差は170m前後となる。また武蔵野台地は荒川と多摩川により区画される。東京23区内に位置する練馬区は武蔵野台地中央部北側にあたり、武蔵野面にある。練馬区内には大小の河川が流れ、主な河川として石神井川、白子川が挙げられる。石神井川は東流するが、白子川は荒川低地の沈降運動の影響により北東方向に流れ荒川低地へと注ぎ、最終的には荒川へ合流する。この白子川は開析谷が入り組んだ地形を作り出しており、本遺跡は中流域の右岸の崖線上、田柄面に位置する（遠藤他2019）。大泉中里遺跡と白子川の標高差は10m以上あり、急崖である。本調査地点での標高は約42mである。白子川右岸域には多数の湧水があり、遺跡北東部には「清水山の森」の湧水がある。（守屋）



第6図 武蔵野台地の地形区分（遠藤他2019を加工して作成）

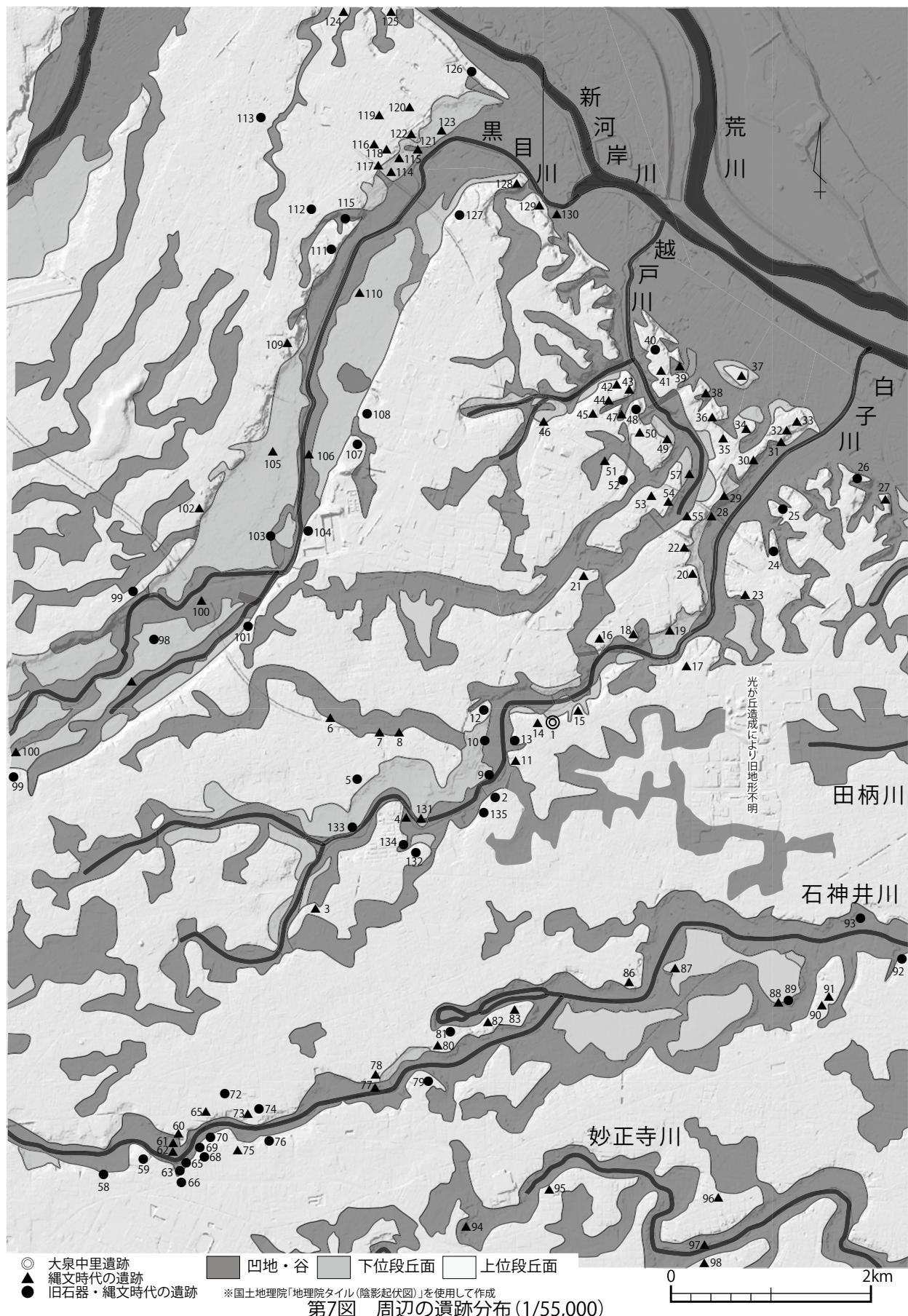
## 2 歴史的環境

大泉中里遺跡では、これまでに複数の本調査、試掘及び立会調査が実施されている（第3図）。本調査は、第一次調査から第四次調査まで計4回実施されており、今回の調査が第五次調査となる。概観すると、第一次調査は昭和60年に実施され、縄文時代の竪穴状遺構や土坑が検出された。遺物は、旧石器時代の石器、縄文土器、石器が出土した（練馬区遺跡調査会1989）。第二次調査は平成15年に実施され、縄文時代早期後半の竪穴建物跡が検出された。遺物は、縄文土器と石器が出土した（練馬区教育委員会2004）。第三次調査は平成30年に実施され、縄文時代の炉穴・ピット、縄文時代以降のピットが検出された。遺物は、旧石器時代の石器・礫、縄文土器、古墳時代後期から奈良時代の土師器が出土した。（株式会社イビソク2018）。第四次調査は平成31年（令和元年）に実施され、旧石器時代の遺物集中部、縄文時代の集石、炉穴、土器埋設遺構、奈良・平安時代から中世の土坑、近世以降のピットが検出された。遺物は、旧石器時代の石器・礫、縄文時代早期から中期の土器等が出土した（東京都埋蔵文化財センター2020）。他に、第三次調査に先駆けて平成27年に実施された試掘では、試掘坑4で縄文時代の炉穴が検出されている（練馬区教育委員会2017）。また、令和5年に実施された立会調査では、縄文時代の竪穴状遺構が確認された（練馬区教育委員会2025）。

次に、大泉中里遺跡の周辺の遺跡について、旧石器時代と縄文時代に絞って概観する（第7図、第3表）。旧石器時代では、本遺跡が立地する白子川中流域に多くの遺跡が存在する。本遺跡の周辺では、白子川右岸の崖線中位に位置する稻荷山遺跡（15）があり、ナイフ形石器が出土している。本遺跡より南西約200m上流域にある崖線際の練馬区No.15遺跡（13）では、尖頭器やナイフ形石器が出土している。同じく右岸崖線上から下方に立地する比丘尼橋遺跡B地点（2）では、Ⅲ層・Ⅳ層から石器ブロックや礫群が多く検出され、石器はナイフ形石器・搔器・角錐状石器・石核等が出土している。同遺跡C地点（135）では、Ⅲ層からⅨ層にかけて石器集中部・礫集中部が多く検出され、特にⅣ層中部・Ⅳ層下部に集中している。白子川左岸では、外かん道路関連遺跡（10）が白子川に沿った南北に長大な遺跡であり、石器ブロックや礫群が多量に検出された。白子川の上流域では、左岸の外山遺跡第1地点（132）・第2地点（134）で石器ブロック、右岸の大泉中島遺跡（133）で礫群が検出されている。下流域では、橋区成増との山遺跡（24）・板橋区赤塚氷川神社北方遺跡（26）が知られている。越戸川流域では、和光市花ノ木遺跡（40）・和光市柿ノ木坂遺跡（48）で石器ブロック・礫群が出土している。

縄文時代については、本遺跡では早期・中期の遺構・遺物が主体をなしており、同様の時期を中心となる遺跡は白子川右岸中流域に多く窺える。稻荷山遺跡では早期の炉穴が検出され、中期後半の土器が出土している。本遺跡より上流域に位置する八ヶ谷戸遺跡（11）は中期後半の住居跡が検出され、環状集落として知られている。練馬区No.15遺跡では早期の土器が出土し、比丘尼橋遺跡では炉穴が検出され、早期末から前期初頭の土器が出土している。外山遺跡第2地点は早期後半の土器が主体をなし、当該期の炉穴も多数検出されている。白子川下流域では、右岸の板橋区菅原神社台地上遺跡（25）で本遺跡と同時期にあたる炉穴・焼土跡が認められ、左岸の和光市市場峠・市場上遺跡（30）で炉穴が検出されている。越戸川流域では縄文時代遺跡が密集しており、柿ノ木坂遺跡（48）・妙蓮寺遺跡（49）・丸山台遺跡（52）・庚塚遺跡（57）は中期の集落跡である。

（守屋）



第7図 周辺の遺跡分布(1/55,000)

第2表 周辺の遺跡一覧

白子川・越戸川流域

No.	自治体 遺跡名	所在地	主な時代	遺跡の概要
1	練馬 17	大泉町里遺跡	練馬区大泉町二丁目	旧・縄・中・近 包蔵地・集落/(旧) 磬群(縄) 炉穴 土坑 集石(近) ピット
2	練馬 6	比丘尼橋遺跡 B 地点	練馬区大泉町二丁目	旧・縄・弥・近 包蔵地・集落/(旧) 石器ブロック 磬群(縄) 住居跡 炉穴 土坑 ピット
3	練馬 23	大泉井頭遺跡	練馬区東大泉七丁目	縄 集落/(縄) 住居跡 土坑 柱穴
4	練馬 148	弁天池低湿地遺跡	練馬区東大泉三丁目	縄・中・近 低地・包蔵地
5	練馬 1	練馬区No.1 遺跡	練馬区大泉学園町二丁目	縄 包蔵地
6	練馬 3	大泉学園町・北大泉町No.2 遺跡	練馬区大泉学園町五丁目	縄・奈・平・中 集落/(不) 柱穴 溝状遺構
7	練馬 4	大泉学園町・北大泉町No.3 遺跡	練馬区大泉学園町三丁目	縄・中 包蔵地
8	練馬 5	大泉学園町・北大泉町No.4 遺跡	練馬区大泉学園町一・四丁目	縄 包蔵地
9	練馬 150	愛宕下遺跡	練馬区大泉町四丁目	旧・縄・弥・近 包蔵地・集落/(旧) 石器ブロック 磬群(縄) 住居跡 陥地 集石
10	練馬 10	外かん道路関連遺跡	練馬区大泉町三・四丁目	旧・縄・弥・古・奈・平・中・近 包蔵地・集落・低湿地/(不) 方形周溝墓(古) 住居跡
11	練馬 22	八ヶ谷戸遺跡	練馬区大泉町二丁目	縄 集落/(縄) 住居跡 集石 土坑 埋甕
12	練馬 20	丸山遺跡	練馬区大泉町三丁目	旧・縄・弥・古・奈・平・中 集落/(旧) 磬群(縄) 住居跡 (中) 地下式土坑(不) 溝状遺構
13	練馬 15	練馬区No.15 遺跡	練馬区大泉町二丁目	旧・縄 包蔵地
14	練馬 16	練馬区No.16 遺跡	練馬区大泉町二丁目	縄 包蔵地
15	練馬 149	稻荷山遺跡	練馬区大泉町一丁目	縄 包蔵地/(縄) 土坑 炉穴
16	和光 42	西越後遺跡	和光市南一丁目 2540 外	縄・古・中 集落/(縄) 土坑 炉穴
17	和光 40	白子向山遺跡	和光市白子一丁目 1959 外	縄・弥・平・中 集落/(縄) 炉穴 住居跡 (中) 地下式土坑
18	練馬 11	越後山遺跡	練馬区大泉町一丁目	縄・弥・古 集落/(不) 住居跡 方形周溝墓
19	和光 21	牛房遺跡	和光市南一丁目 2386 外	縄・弥・古 集落
20	和光 39	越ノ上遺跡	和光市白子二丁目 1363 外	縄・弥 集落/(不) 住居跡
21	和光 33	向山遺跡	和光市南二丁目 1535 外	縄 集落
22	和光 19	白子宿上遺跡	和光市白子二丁目 1101 外	縄・弥・古・平・中 集落・貝塚
23	板橋 1	成増一丁目遺跡	板橋区成増一丁目	縄・弥・古 包蔵地・集落/(縄) 住居 土坑 埋甕(古) 住居跡 倉庫
24	板橋 3	成増三山遺跡	板橋区成増三丁目	旧・縄・弥・古 包蔵地・集落/(旧) ブロック 磬群(縄) 土坑(不) 住居跡
25	板橋 7	菅原神社台地上遺跡	板橋区成増五丁目	旧・縄・弥・古・平・近 包蔵地・集落/(旧) ブロック 磬群(縄) 土坑 埋甕(古) 住居跡 集落・古墳群/(旧) ブロック 磬群(縄) 住居跡 土坑 焼土 墓壇(不) 住居跡 挖立柱建物 ビート 焼土 土坑(古) 方形周溝墓(平) 住居跡(近) 土坑 溝状遺構
26	板橋 22	赤塚氷川神社北方遺跡	板橋区赤塚四丁目	旧・縄・弥・古・奈・近 包蔵地・集落/(古) 住居跡
27	板橋 28	赤塚城址遺跡	板橋区赤塚四・五丁目	縄・弥・古・中 包蔵地・城館/(古) 木道(中) 堀曲輪
28	和光 18	城山南遺跡	和光市白子二丁目 1043 外	旧・縄・弥・中 集落/(旧) 磬群 石器集中ブロック(縄) 炉穴 住居跡
29	和光 22	城山遺跡	和光市白子三丁目 735 外	縄・弥・古・平 集落/(不) 住居跡(平) 住居跡(中) 堀溝
30	和光 17	市場峠・市場上遺跡	和光市白子三丁目 589 外	旧・縄・弥・古・平 集落・貝塚・横穴墓/(縄) 炉穴(不) 住居跡(古) 横穴墓
31	和光 15	吹上原遺跡	和光市白子三丁目 4445 外	旧・縄・弥・古・中・近 集落・古墳/(古) 住居跡 横穴墓
32	和光 16	吹上貝塚	和光市白子三丁目 4376 外	縄 集落・貝塚/(縄) 住居跡
33	和光 13	吹上遺跡	和光市白子三丁目 4417 外	旧・縄・弥・古・奈・平・中 集落・貝塚/(縄) 住居跡(不) 環濠 住居跡
34	和光 14	妙典寺遺跡	和光市下新倉四丁目 2045 外	縄・弥・古 集落/(旧) 石器集中ブロック(縄) 炉穴 住居跡(不) 住居跡(古) 住居跡
35	和光 37	宮ノ脇遺跡	和光市下新倉三丁目 1044 外	縄・古・平 散在地
36	和光 36	仏ノ木遺跡	和光市下新倉三丁目 906 外	旧・縄・弥・奈・平・中・近 集落/(旧) 磬群 石器集中ブロック(古) 墓
37	和光 5	牛王山遺跡	和光市新倉三丁目 2829 外	旧・縄・弥・古・奈・平・中 集落/板磧群
38	和光 4	四ツ木遺跡	和光市新倉三丁目 2925 外	旧・縄・弥・古・平 集落/(旧) 磬群 石器集中ブロック(縄) 住居跡(不) 住居跡(古) 住居跡
39	和光 34	半三池遺跡	和光市新倉二丁目 3009 外	縄・弥・古 集落
40	和光 21	花ノ木遺跡	和光市新倉二丁目 3440 外	旧・縄・弥・古・奈・平・中・近 集落/(旧) 磬群 石器集中ブロック(不) 環濠 住居跡(不) 住居跡
41	和光 35	峯遺跡	和光市新倉二丁目 3466 外	旧・縄・弥・古・平 集落/(古) 住居跡
42	和光 6	上谷津遺跡	和光市新倉一丁目 3937 外	縄・古・平 集落
43	和光 7	向原遺跡	和光市新倉一丁目 3848 外	縄・古 集落
44	和光 8	松山遺跡	和光市新倉一丁目 4012 外	縄・中 集落/(中) 溝
45	和光 9	小井戸遺跡	和光市新倉一丁目 4252 外	縄・弥 集落
46	和光 38	北原新田遺跡	和光市新倉一丁目 4324 外	縄・弥 集落
47	和光 10	柿ノ木坂西遺跡	和光市新倉一丁目 3786 外	縄・古 集落/(中) 溝
48	和光 11	柿ノ木坂遺跡	和光市新倉一丁目 3764 外	旧・縄・弥・古・平 包蔵地・集落/(旧) 磬群 石器集中ブロック(縄) 住居跡(古) 住居跡
49	和光 32	妙蓮寺遺跡	和光市下新倉二丁目 1124 外	旧・縄・古・中 包蔵地・集落/(旧) 磬群(縄) 住居跡(古) 住居跡(中) 火葬墓 地下式坑
50	和光 25	水久保遺跡	和光市新倉一丁目 3673 外	旧・縄・弥・古・奈・平 包蔵地・集落/(旧) 磬群(縄) 住居跡(中) 溝
51	和光 26	丸山遺跡	和光市丸山台一丁目 11-3 外	縄・平 集落
52	和光 24	丸山台遺跡	和光市丸山台二丁目 25-1 外	旧・縄・古・平・中 集落/(縄) 住居跡 貯蔵穴
53	和光 27	義山名遺跡	和光市丸山台二丁目 23-1 外	縄・平 集落/(縄) 庫穴 住居跡 貯蔵穴
54	和光 28	中丸遺跡	和光市丸山台二丁目 8-11 外	縄 集落
55	和光 29	浅川遺跡	和光市丸山台三丁目 10-9 外	縄・平 集落
56	和光 31	谷戸島遺跡	和光市下新倉二丁目 1233 外	縄・弥 集落/(旧) 石器集中ブロック(縄) 住居跡 陥地
57	和光 30	庚塚遺跡	和光市下新倉二丁目 1376 外	縄・古・中 集落/(縄) 住居跡(中) 地下式坑
131	練馬 7	大泉打越遺跡	練馬区大泉町六丁目 24 外	縄・弥・平 集落
132	練馬 29	外山遺跡第1地点	練馬区東大泉三丁目 10 外	旧・縄 集落/(旧) 石器ブロック(縄) 積穴状遺構 陥地
133	練馬 151	大泉島遺跡	練馬区大泉学園町二丁目 2 外	旧・縄 集落/(旧) 磬群(縄) 住居跡 炉穴 ピット
134	練馬 154	外山遺跡第2地点	練馬区東大泉三丁目 34 外	旧・縄・古・近 集落/(旧) 石器ブロック(縄) 炉穴
135	練馬 155	比丘尼橋遺跡 C 地点	東大泉 2 - 27 他	旧・縄 集落/(旧) 遺物集中部 磬群(縄) 炉穴 陥地 炉穴

石神井川流域

No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名
58	坂下遺跡	71	天祖神社東遺跡	77	扇山遺跡 A	86	北薬師堂遺跡
59	下野谷遺跡	72	川北遺跡	78	扇山遺跡 B	87	堀北遺跡
60	富士見池西方遺跡	73	東京女子学院校地遺跡	79	城山遺跡	88.89	貫井二丁目遺跡
61 ~ 66	潤洲遺跡	74	武藏門北遺跡	80	石神井一丁目遺跡	90.91	中村橋遺跡
67	練馬区No.43 遺跡	75	葛原遺跡 A 地点	81	石神井城址遺跡	92	尾崎遺跡
68 ~ 70	武藏門遺跡	76	葛原遺跡 B 地点	82 ~ 85	池淵遺跡	93	練馬城址

妙正寺川流域

No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名
94	井草	95	瀬戸原	96	東原中

黒川川流域

No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名
97	新座市No.94 遺跡	105	鶴田遺跡	113	新開遺跡
98	道場遺跡	106	子の神遺跡	114 ~ 118	西久保遺跡
99	鶴崎山遺跡	107	蛇久保遺跡	119	西原遺跡
100	内畑遺跡	108	膝折宿遺跡	120	北原遺跡
101	池田遺跡	109	島の上遺跡	121	觀音堂遺跡
102	新座市No.11 遺跡	110	泉藏院遺跡	122	谷津遺跡
103	新座市No.68 遺跡	111	泉水山遺跡	123	川端遺跡
104	市場坂遺跡	112	下の原遺跡	124	大山南遺跡

### III 層序

基本層序については、調査範囲が近接する第四次調査（東京都埋蔵文化財センター 2020）に従う。第8図に層序図を示した。

#### I層 10YR2/2（黒褐色）

粘性は弱く、しまりは極めて強い。径2～30mmのローム粒・ロームブロックを2～3%、径1～2mmの赤褐色スコリアを1～3%含む。耕作土層である。盛土や道路建設に伴う表層・盛土層は含めていない。

#### II b層 10YR2/3、10YR3/2、10YR3/3（黒褐色～暗褐色）

II層からIII層への漸移層で、ロームに近い。粘性は強く、しまりは地点によって普通から極めて強い箇所がある。径2～20mmのローム粒を2～10%、径1～2mmの赤褐色スコリアを1%含む。本遺跡における縄文時代包含層である。9区北西端（地点1）で例外的に、より色調が暗く一般的なII層（富士黒色土層）に近い様相が見られた。

#### III層 7.5YR4/4、10YR3/4、10YR4/4、10YR4/6（暗褐色～褐色）

粘性は強く、しまりは強い。径1～3mmの黒褐色スコリアを1%、径1～2mmの赤褐色スコリアを1%含む。ソフトローム層である。

#### IV層 7.5YR5/6、10YR4/6（褐色～明褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径1～3mmの黒褐色スコリアを1～2%、径1～2mmの赤褐色スコリアを1～3%含む。ハードローム層である。

#### V層 10YR3/4、10YR4/4（暗褐色～褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径1～3mmの黒褐色スコリアを1～3%、径1～2mmの赤褐色スコリアを1～5%含む。第1黒色帯である。

#### VI層 10YR5/4、10YR4/6（にぶい黄褐色～褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径1～3mmの黒褐色スコリアを7%、径1～3mmの赤褐色スコリアを2～3%含む。始良Tn火山灰(AT)を含む層である。

#### VII層 10YR3/4（暗褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径1～3mmの黒褐色スコリアを3%、径1～3mmの赤褐色スコリアを1%含む。第2黒色帯上部である。

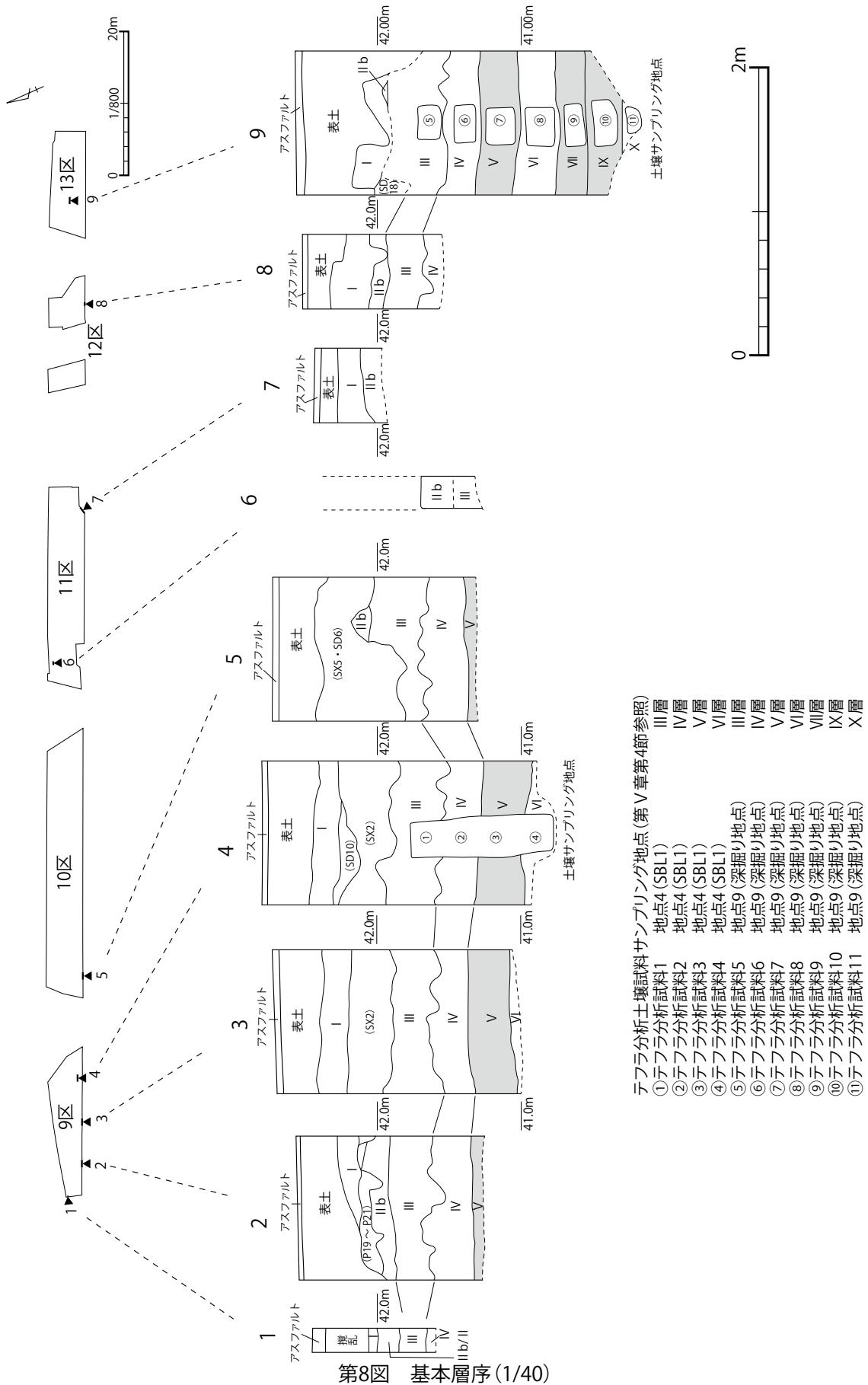
#### IX層 10YR3/4（暗褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径1～3mmの黒褐色スコリアを1%、径1～3mmの赤褐色スコリアを1%含む。第2黒色帯下部である。

#### X層 10YR4/4（褐色）

粘性は極めて強く、しまりは極めて強い。径1～3mmの赤褐色スコリアを1%含む。

9区南西壁（SBL1地点）と13区撓乱南西壁（深掘り地点）において、テフラ分析のための土壤サンプリングを実施した。結果は第V章第4節に掲載した。  
(守屋)



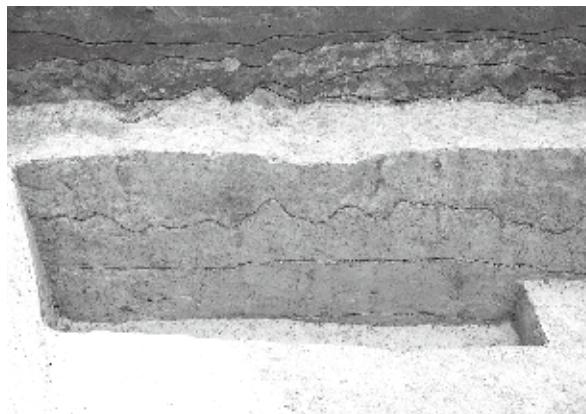
第8図 基本層序(1/40)



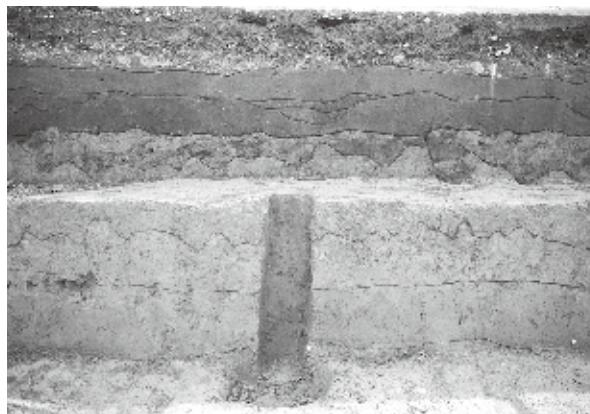
1. 9区西側北西壁土層断面 1(南東から)



2. 9区西側南西壁土層断面 2(北東から)



3. 9区西側南西壁深掘り地点土層断面 3(北東から)



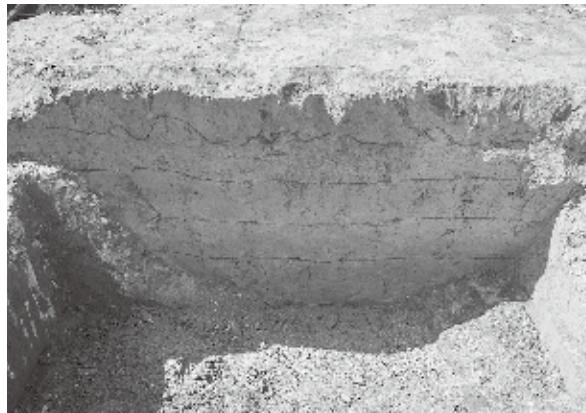
4. 9区東側南西壁土壤サンプリング地点(北東から)



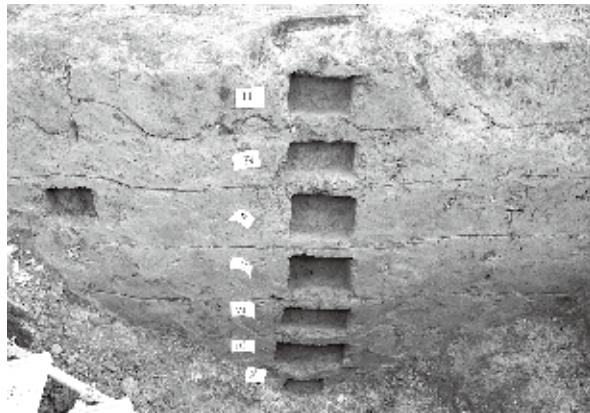
5. 10区西側南西壁土層断面 5(北東から)



6. 12区東側南西壁土層断面 8(北東から)



7. 13区西側南西壁土層断面 9(北東から)



8. 13区西側南西壁土壤サンプリング地点(北東から)

第9図 基本層序写真

## IV 遺構と遺物

### 1 旧石器時代

旧石器時代では、立川ローム層第IV層下部から第V層上部にかけての層位で、礫を多量に含む遺物集中が計3基確認された（第10図）。出土石器の一覧は第4表、出土礫の一覧は第5表から第13表、接合した石器・礫の一覧表は第14表・第15表に示した。

#### 1) 遺構

##### 1号遺物集中（SBL1）（第11・12・17・23図、第4～6・14・16表）

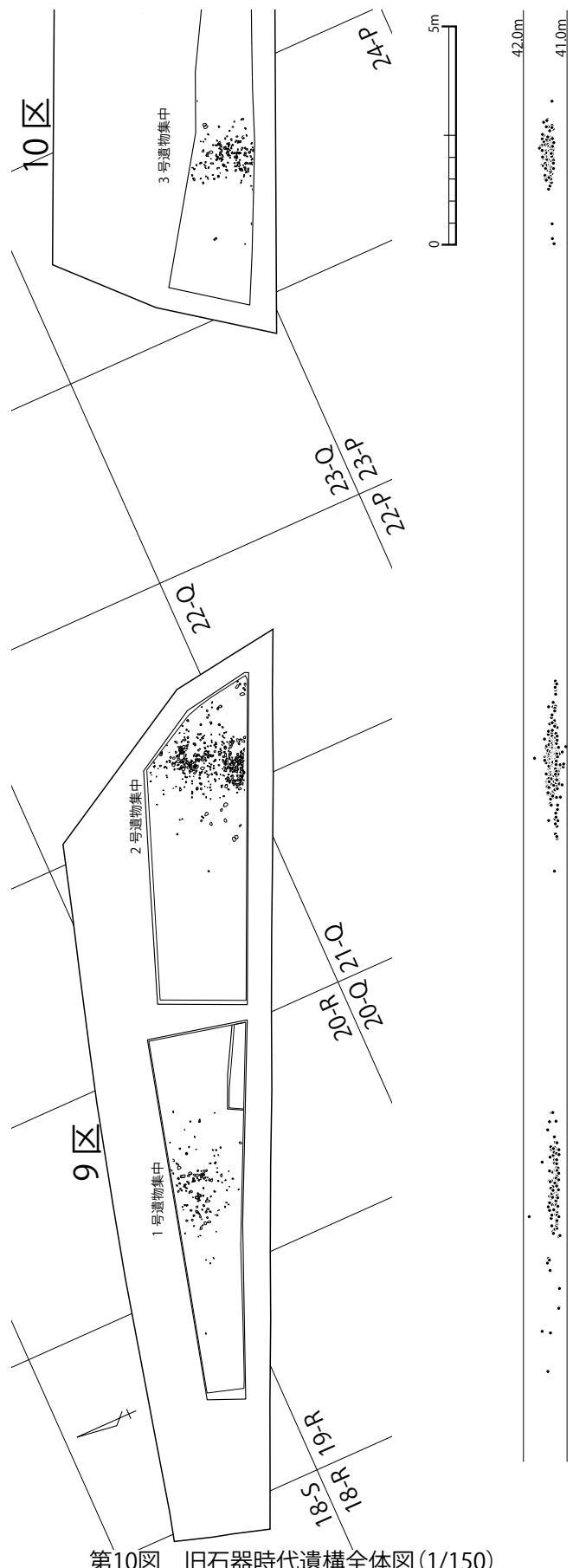
9区西側の19・20-R・Sグリッドで検出され、石器24点と礫125点が出土した。石器は、黒曜石と硬質細粒凝灰岩、黒色ガラス質安山岩製のものが出土した。出土層位は、IV層下部からV層上部である。重量の大きい礫ほど下層であるV層上部から出土する傾向があることから、分布の中心はV層上部であると考えられる。礫の石材の構成では、砂岩が半数を占め、次いでチャートが多い。礫のうち約33%にあたる42点に被熱が認められる。接合関係としては、礫計56点が接合して16点（接1～接14、接97、接88）に収束した。また、1号遺物集中出土礫（1点）と、大泉中里遺跡第四次調査における3号遺物集中出土礫1点（東京都埋蔵文化財センター2020）との接合関係が認められた（接90）。なお、第四次調査3号遺物集中部は、1号遺物集中から約10m北側に位置し、出土層位も同様にIV層下部から第V層上部である。

##### 石器（第18・19・21・22図、第3表）

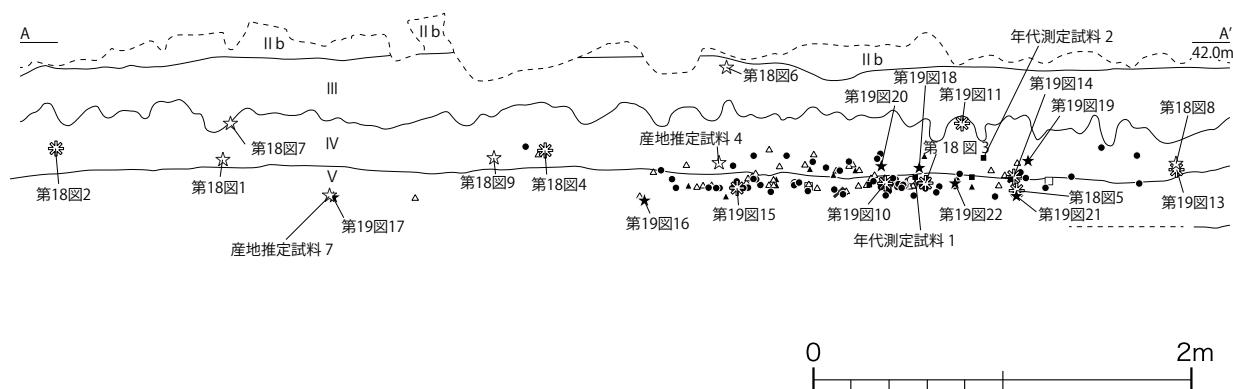
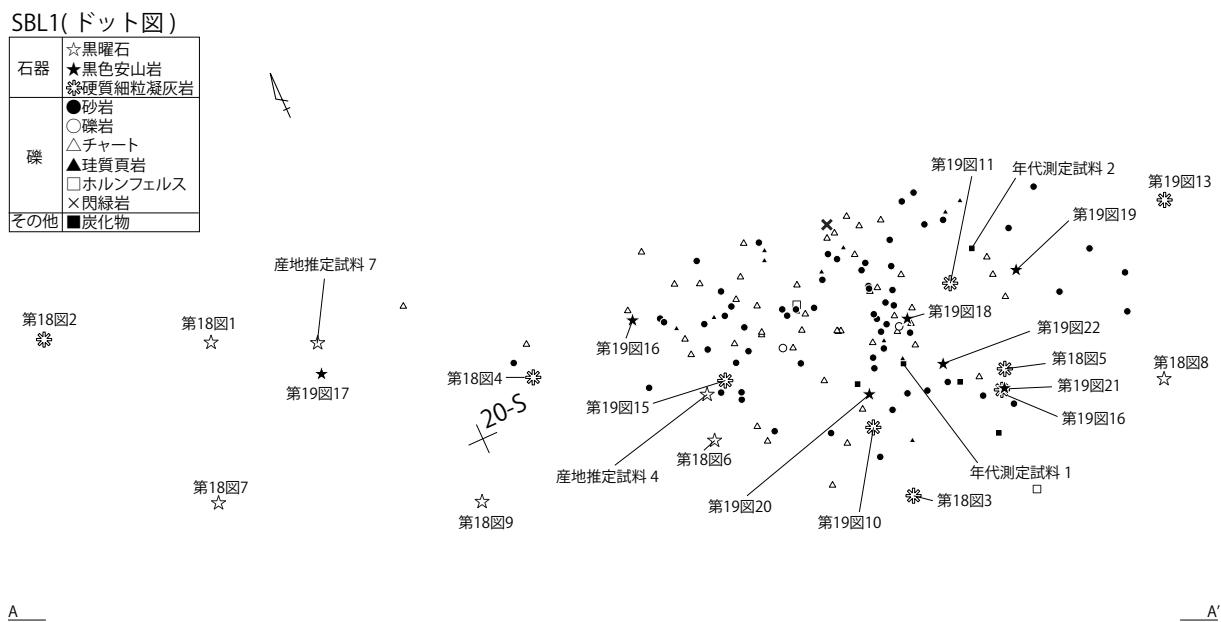
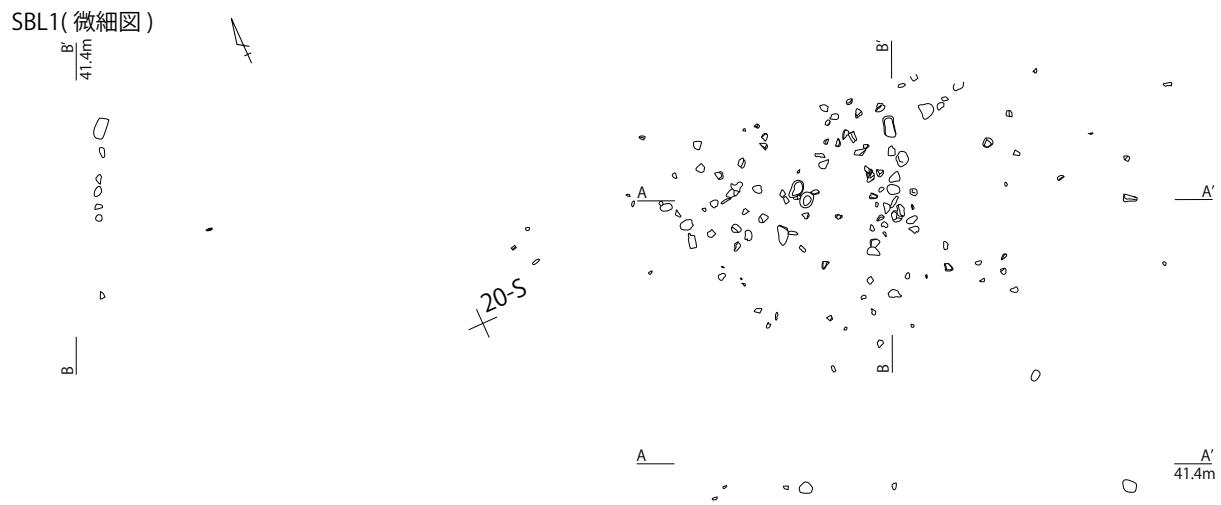
1は角錐状石器である。厚手の剥片を素材としており、主要剥離面側から急角度の調整を施し、素材打面側を基部に、末端側を尖らせて先端部としている。横断面は先端部で三角形、中央の最大幅付近で台形、基部で不定形ではあるがおおよそ台形を呈する。石材の黒曜石は、産地推定分析により長野県和田峠の結果が得られている。

2と3は、共に基部加工のナイフ形石器に分類した石器である。2は、厚手でやや大きさのある剥片を素材に、打面側の両サイドを主要剥離面側から急角度の調整をもって基部とし、素材打面をやや残す。先端部は、当時の折れにより欠損している。全体の形態的特徴から剥片尖頭器を連想させる資料であるが、剥片尖頭器特有の抉るような基部調整が入念ではなく、地域的な観点からも断定はできない。ただし、剥片尖頭器的な類例は東日本にも少数ながら散見されていることから、その可能性について触れておきたい。石材は、硬質細粒凝灰岩を用いている。3は、小型のナイフ形石器である。薄手の横長剥片を素材としており、基部は角度の浅い調整によっているが、明確に主要剥離面からの剥離として認められるため、当該器種として判断した。石材は、硬質細粒凝灰岩である。

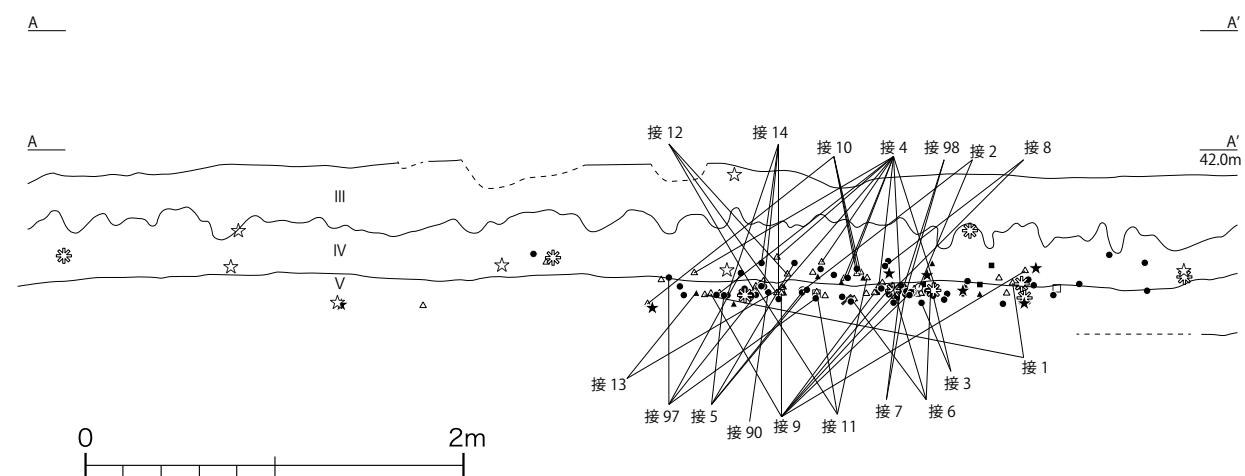
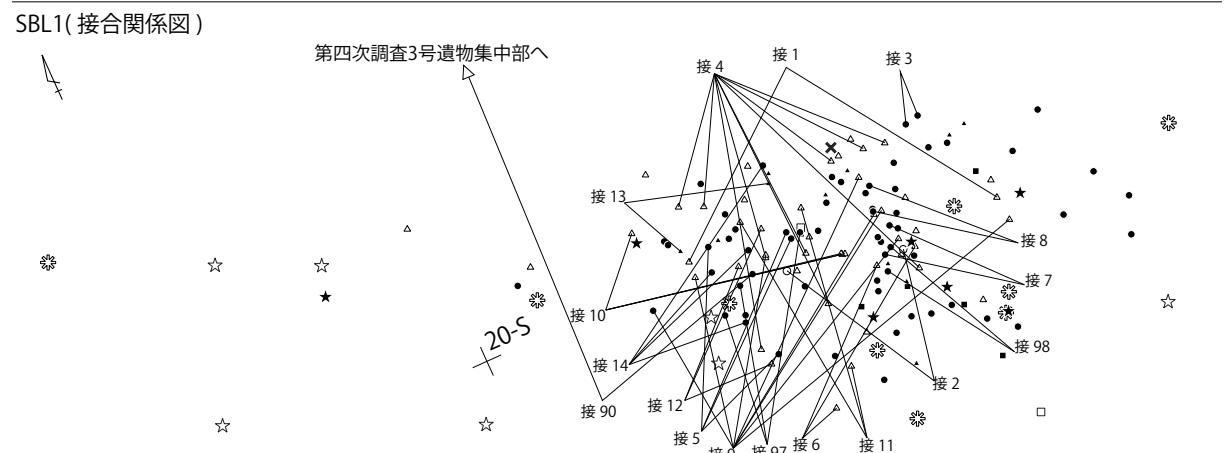
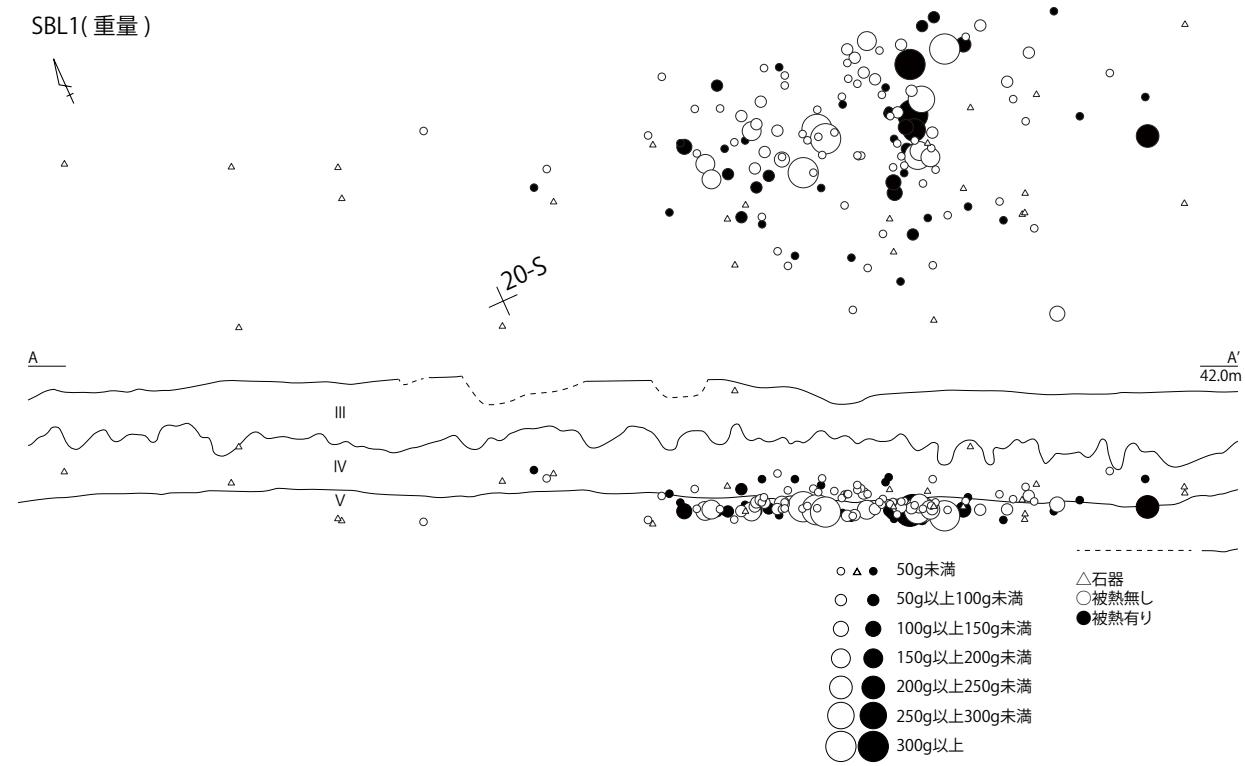
4～6は石核である。4と5は石材が硬質細粒凝灰岩で、厚手の大形剥片を素材としていたと推察される。素材主要剥離面の平坦面を打面として横長剥片を作出し、残核は船底状を呈する。剥離作業面から、3のナイフ形石器のような素材を得ていたと考えられる。6は長野県和田峠産とされている黒曜石を用いた石核であり、転石を示す自然礫面が和田峠の産状と一致する。大きく打ち欠かれた剥



第10図 旧石器時代遺構全体図 (1/150)

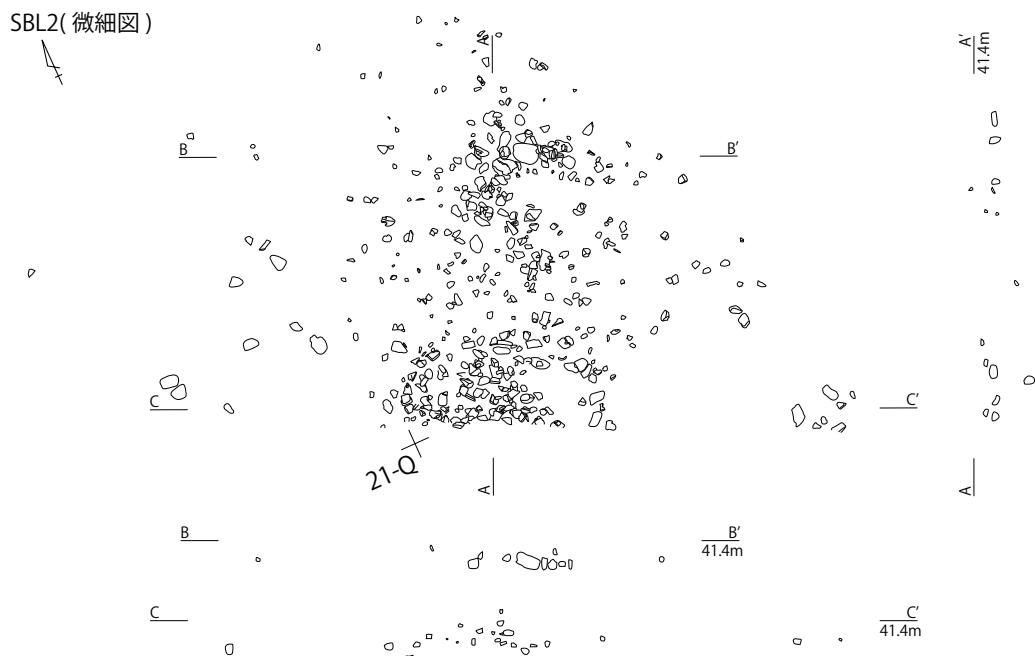


第11図 1号遺物集中(1) (1/40)

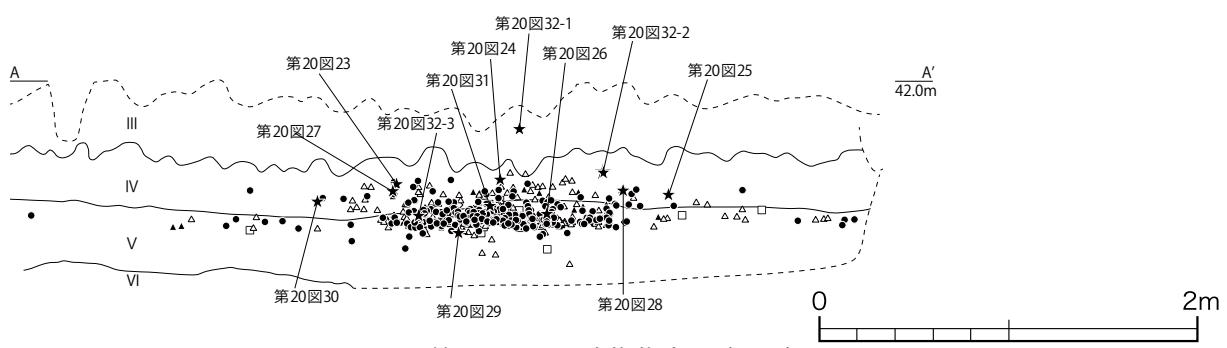
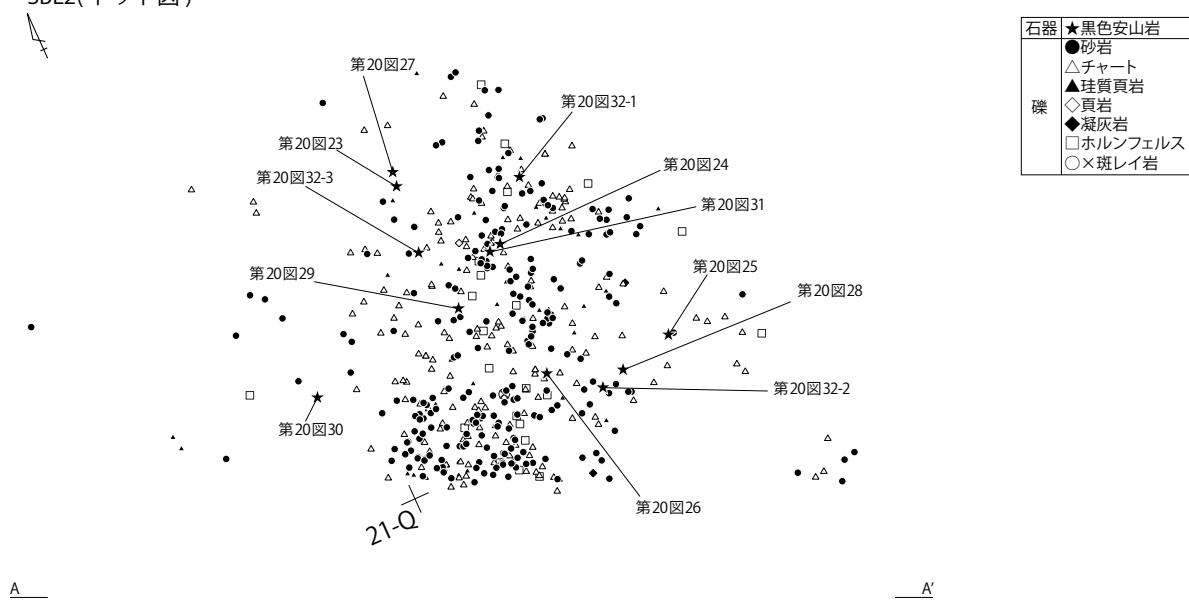


第12図 1号遺物集中(2) (1/40)

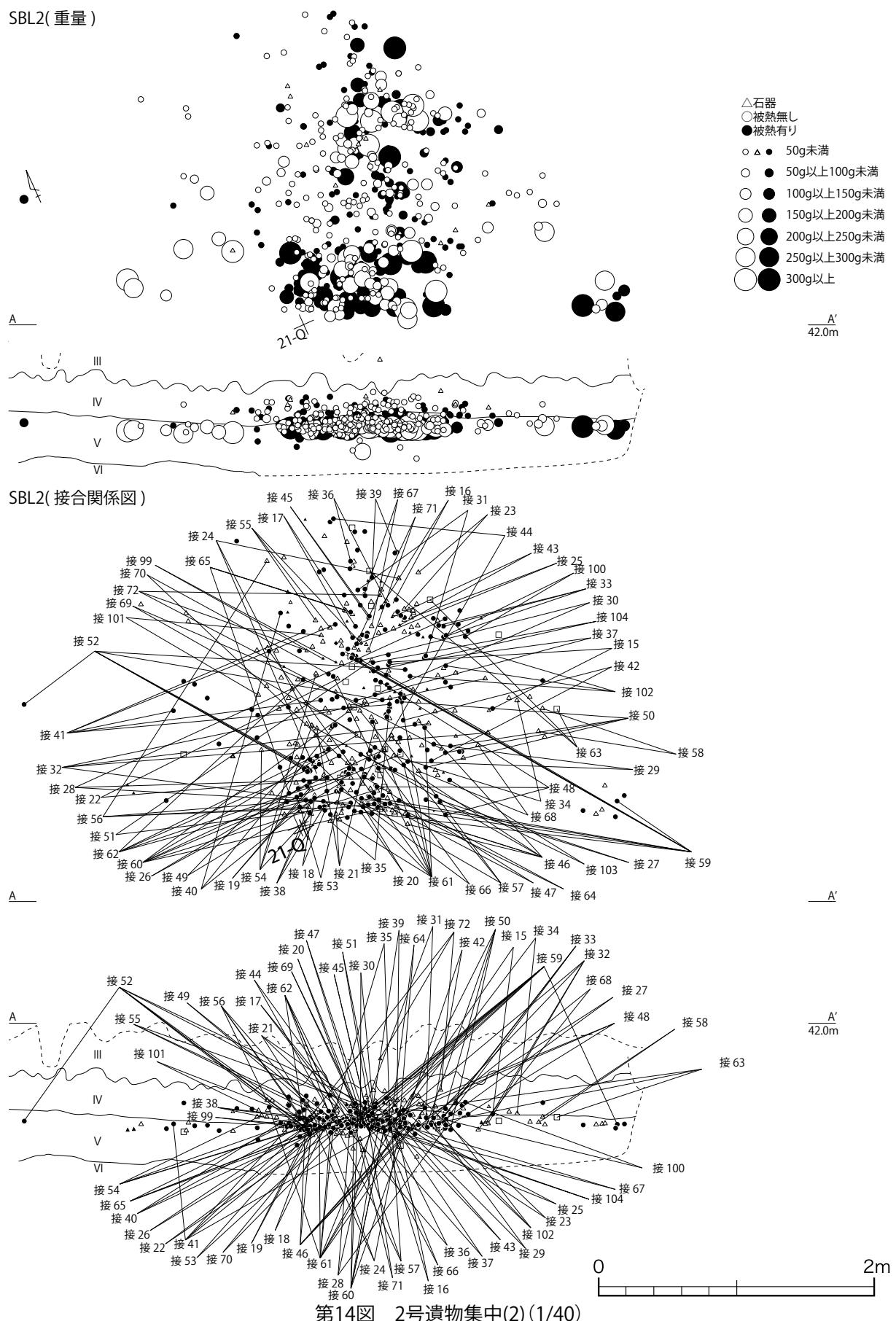
SBL2(微細図)



SBL2(ドット図)

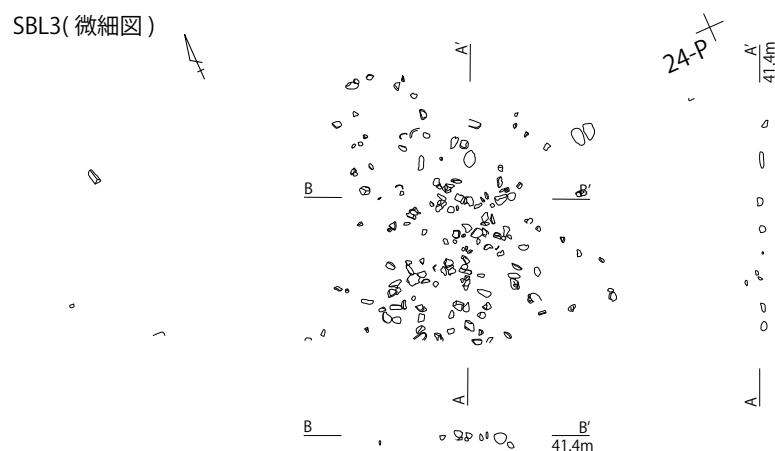


第13図 2号遺物集中(1)(1/40)

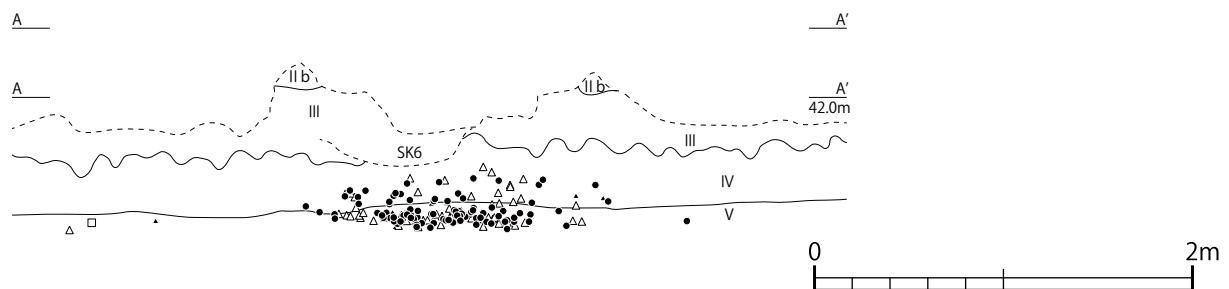
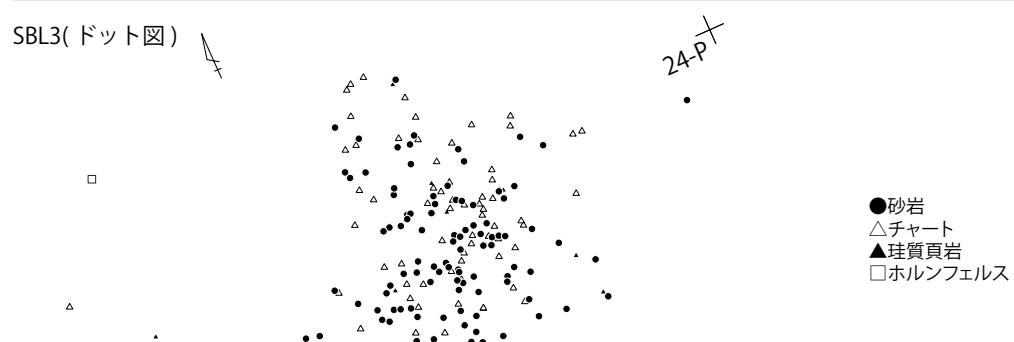


第14図 2号遺物集中(2)(1/40)

SBL3(微細図)

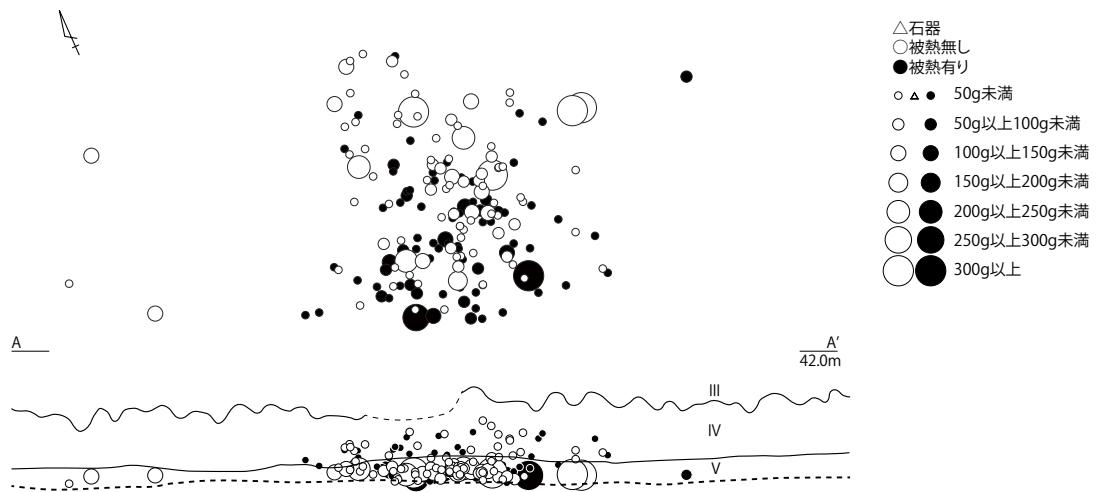


SBL3(ドット図)

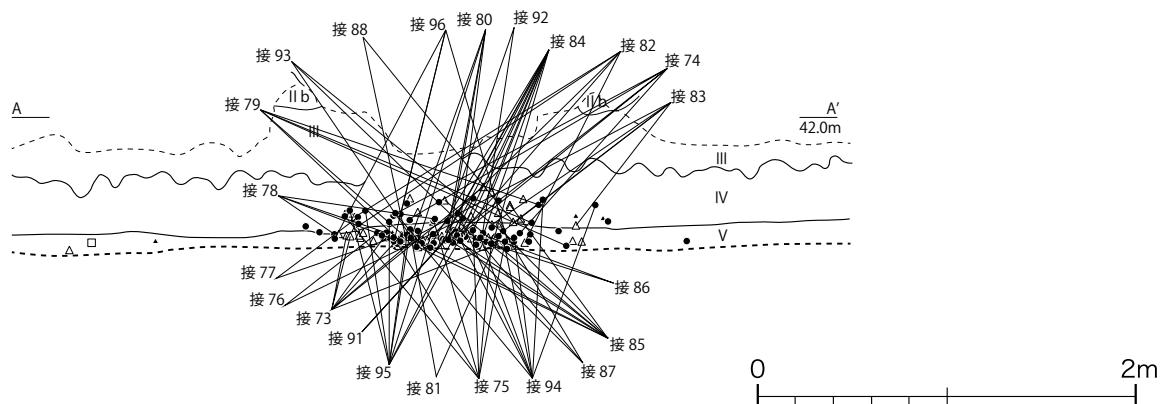
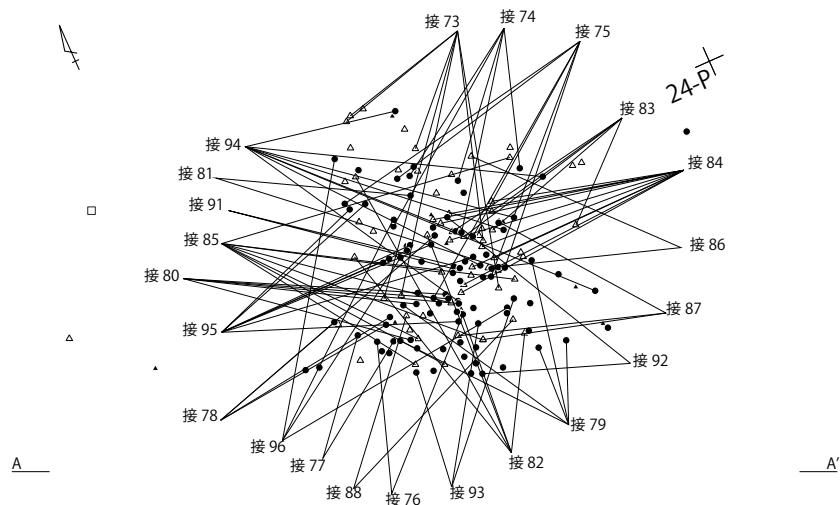


第15図 3号遺物集中(1) (1/40)

SBL3(重量)



SBL3(接合関係図)



第16図 3号遺物集中(2) (1/40)



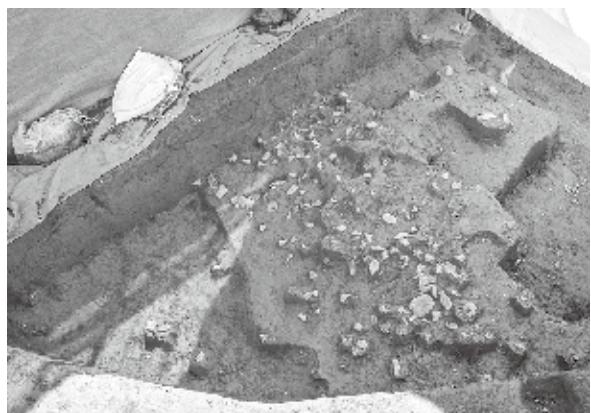
1. 1号遺物集中上面礫出土状況(南西から)



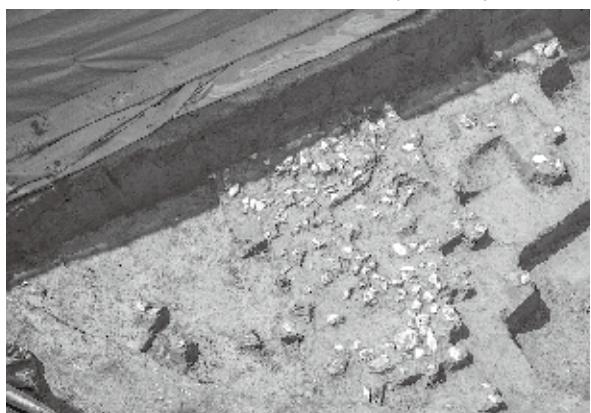
2. 1号遺物集中下面礫出土状況(南西から)



3. 2号遺物集中最上面礫出土状況(東から)



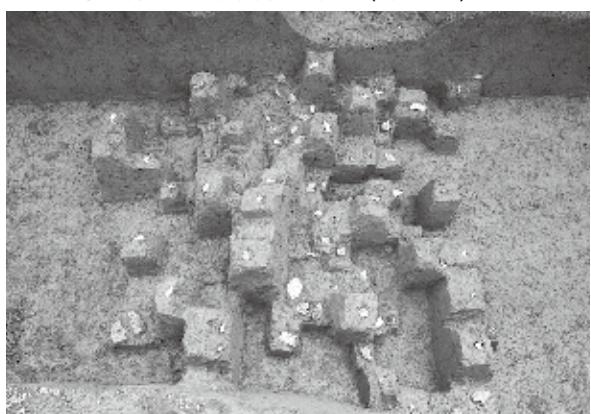
4. 2号遺物集中上面礫出土状況(東から)



5. 2号遺物集中下面礫出土状況(東から)



6. 2号遺物集中最下面礫出土状況(東から)



7. 3号遺物集中上面礫出土状況(北東から)



8. 3号遺物集中下面礫出土状況(北東から)

第17図 旧石器時代遺物集中写真

離面を打面に複数回剥離が行われているが、目的は判然としない。

7～9は黒曜石の小剥片で、産地推定分析ではいずれも長野県蓼科産と共通する。10～22も剥片であるが、すべて黒色ガラス質安山岩を石材としている。自然面を背面の剥離構成に取り込むものが多く見受けられ、剥離工程上初期段階の荒割で作出された剥片に位置付けられよう。

#### 2号遺物集中 (SBL2) (第13・14・17・23図、第4～6・14・16表)

9区東側の21・22-Q・Rグリッドで検出され、石器12点と礫478点が出土した。石器は、黒色ガラス質安山岩製のものが出土した。出土層位は、IV層下部からV層上部である。重量の大きい礫ほど下層であるV層上部から出土する傾向があることから、分布の中心はV層上部であると考えられる。礫の石材の構成では、砂岩が半数を占め、次いでチャートが多い。礫のうち約43%にあたる206点に被熱が認められる。礫の平面的な分布状況から、密度の高い分布の中心が2か所ある可能性がある。接合関係としては、礫180点と石器3点の計183点が接合して64点（接15～72、接99～104）に収束した。第20図32の剥片は、3点が接合しているが（接72）、2点はⅢ層、1点はV層から出土したものであり、上下方向の自然的な要因による強い擾乱を受けていることが推測される。

#### 石器 (第20・22図、第3表)

22～32はすべて黒色ガラス質安山岩の不定形な剥片である。なお、32は3点の剥片が接合する唯一の例である。ただし、背面側から圧力がかかる踏みつけのような割れ方であり、礫群中に混じって分布する出土状況であったため、意図的な折り取りや分割ではないと推察される。なお、自然面を背面の剥離構成に取り込んだ剥片は見られず、剥離工程上ではSBL1の荒割工程より後の、石核成形時の剥離段階に位置付けられる。SBL1とは剥離構成の様相及び分布が異なることから、互いの集中部で作業工程上の分業があった可能性が示唆される。

#### 3号遺物集中 (SBL3) (第15～17図)

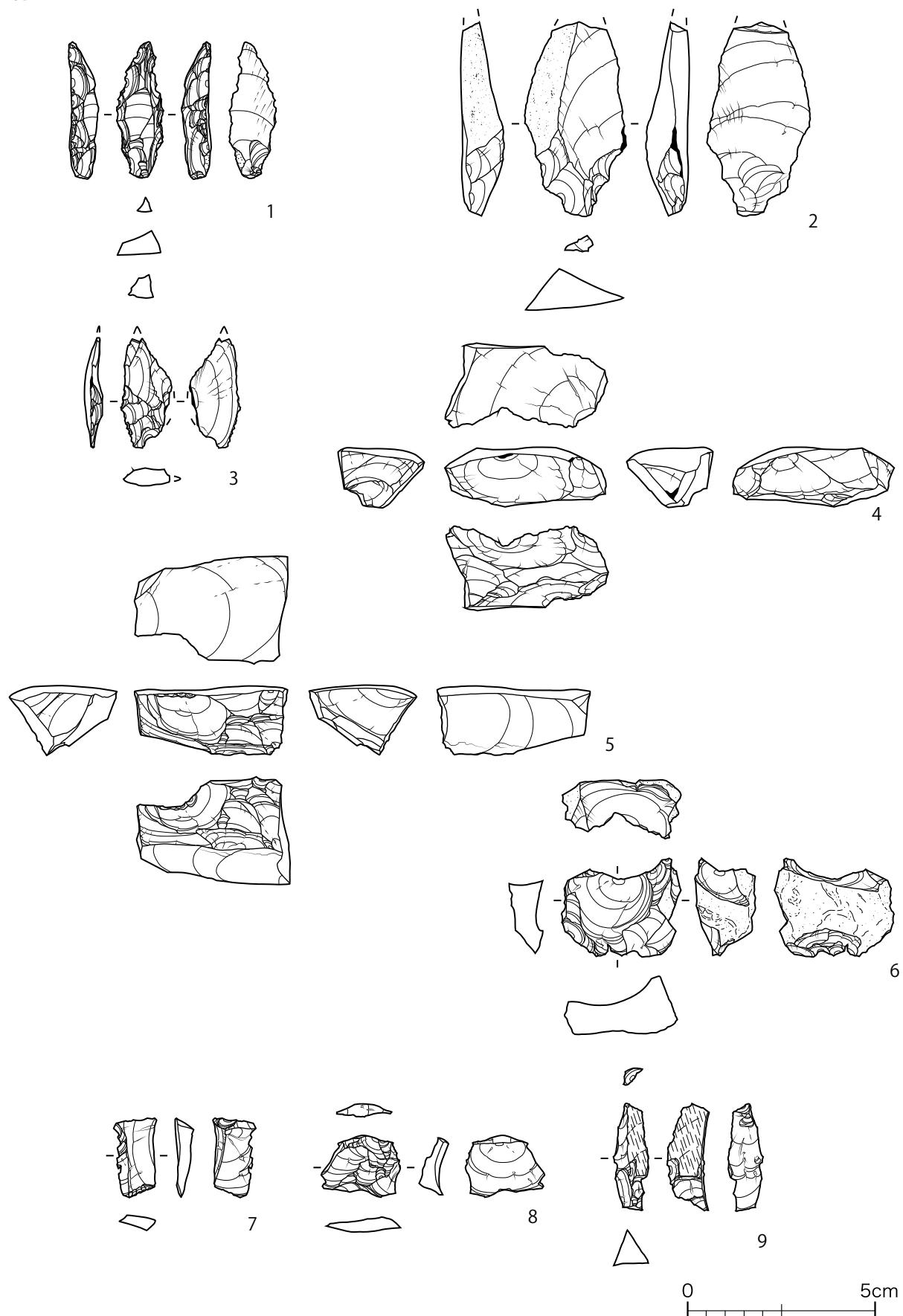
10区西側の24-P・Qグリッドで検出され、礫174点が出土した。石器は出土しなかった。出土層位は、IV層下部からV層上部である。重量の大きい礫ほど下層であるV層上部から出土する傾向があることから、分布の中心はV層上部であると考えられる。礫の石材の構成では、砂岩が半数を占め、次いでチャートが多い。礫のうち約46%にあたる80点に被熱が認められる。接合関係としては、礫計100点が接合して22点（接73～88、接91～96）に収束した。

#### 2) 遺構外出土遺物 (第22図、第3表)

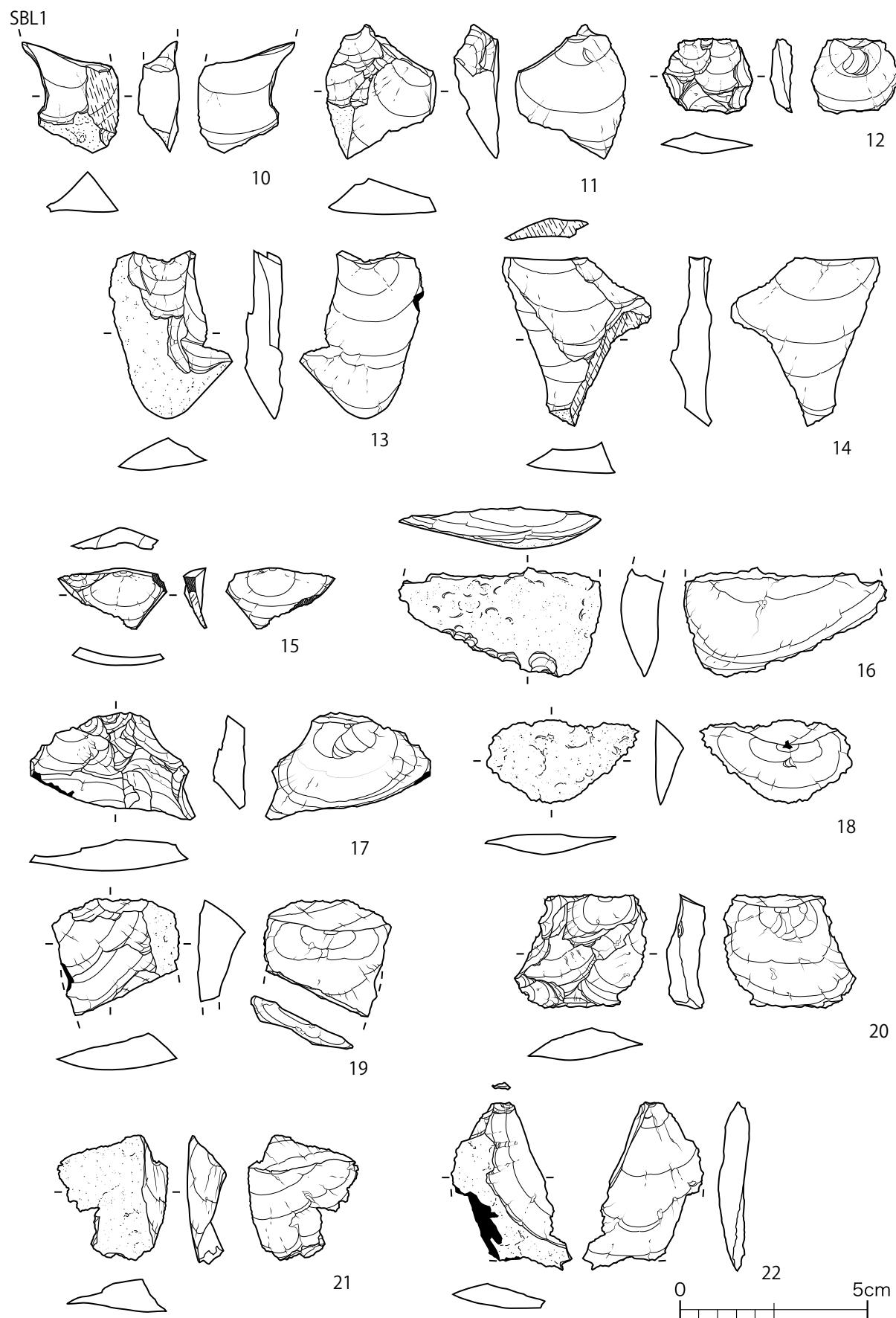
33は、27-Pグリッドの搅乱(K41)から出土した遺構外の石器である。両側縁に連続した一定規模の剥離が認められ、おおよそU字状の形態を呈することから、尖頭器の基部とした。石材は珪質凝灰岩を用いている。

（塚田・守屋）

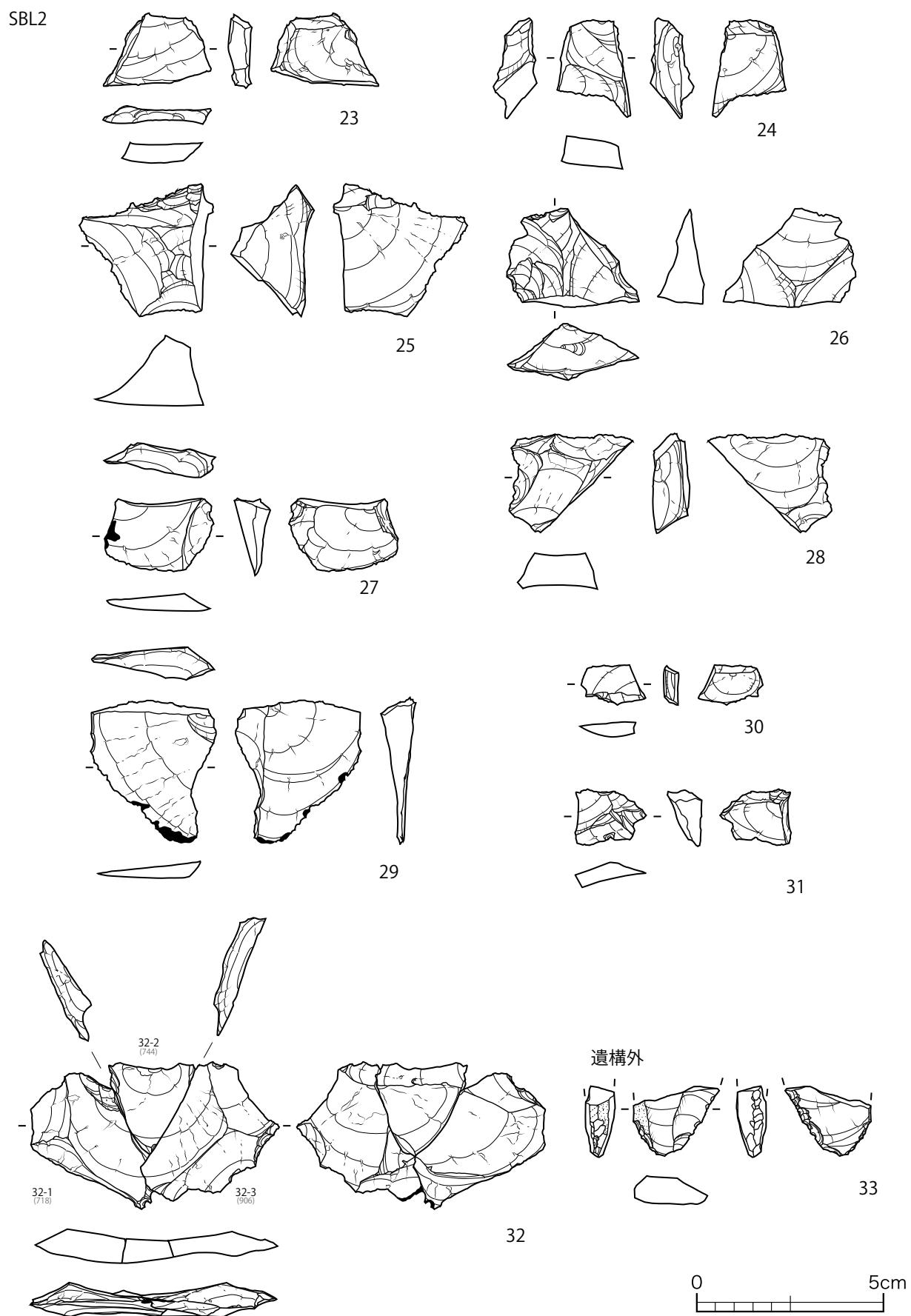
SBL1



第18図 旧石器時代石器(1) (2/3)

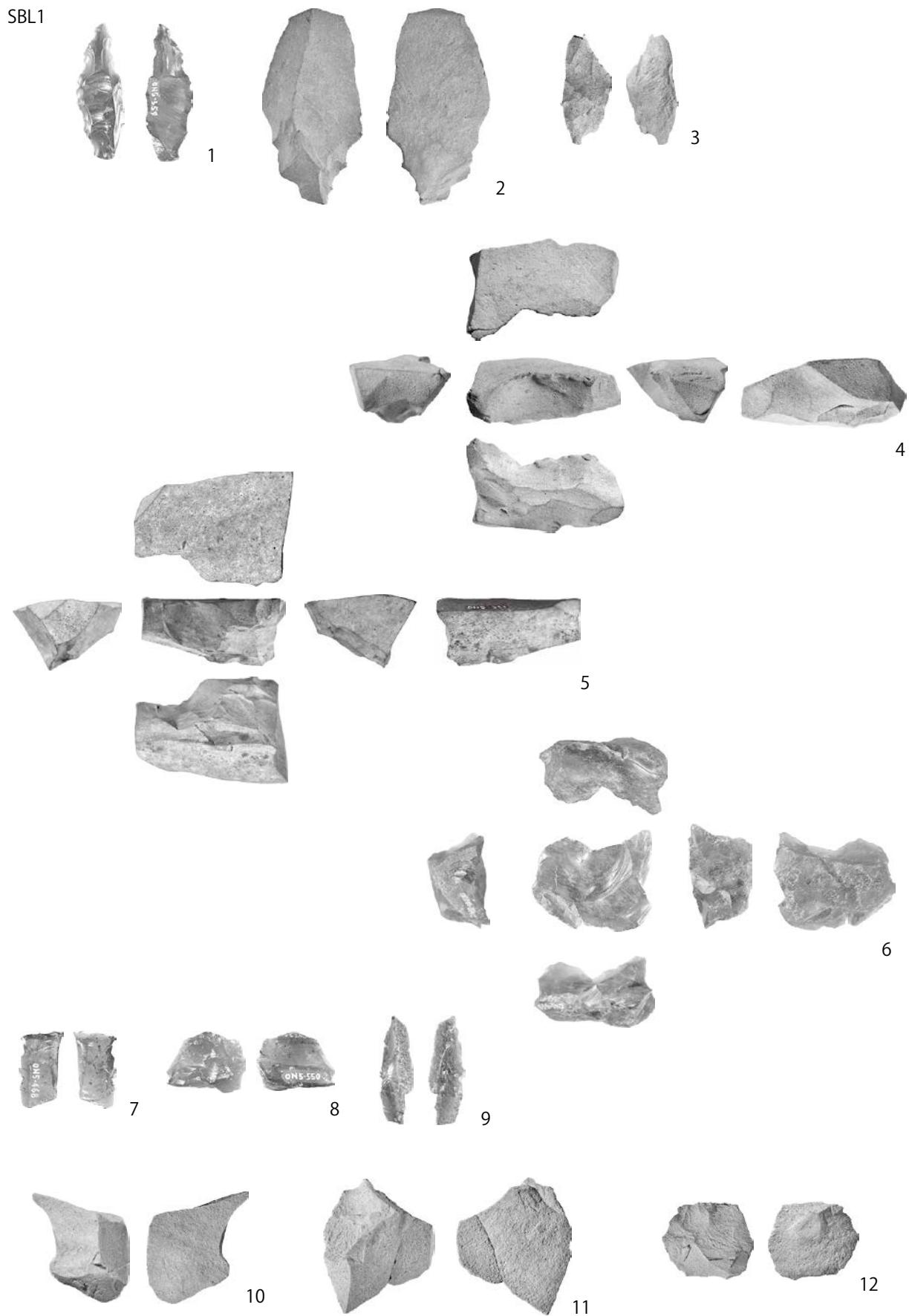


第19図 旧石器時代石器(2) (2/3)



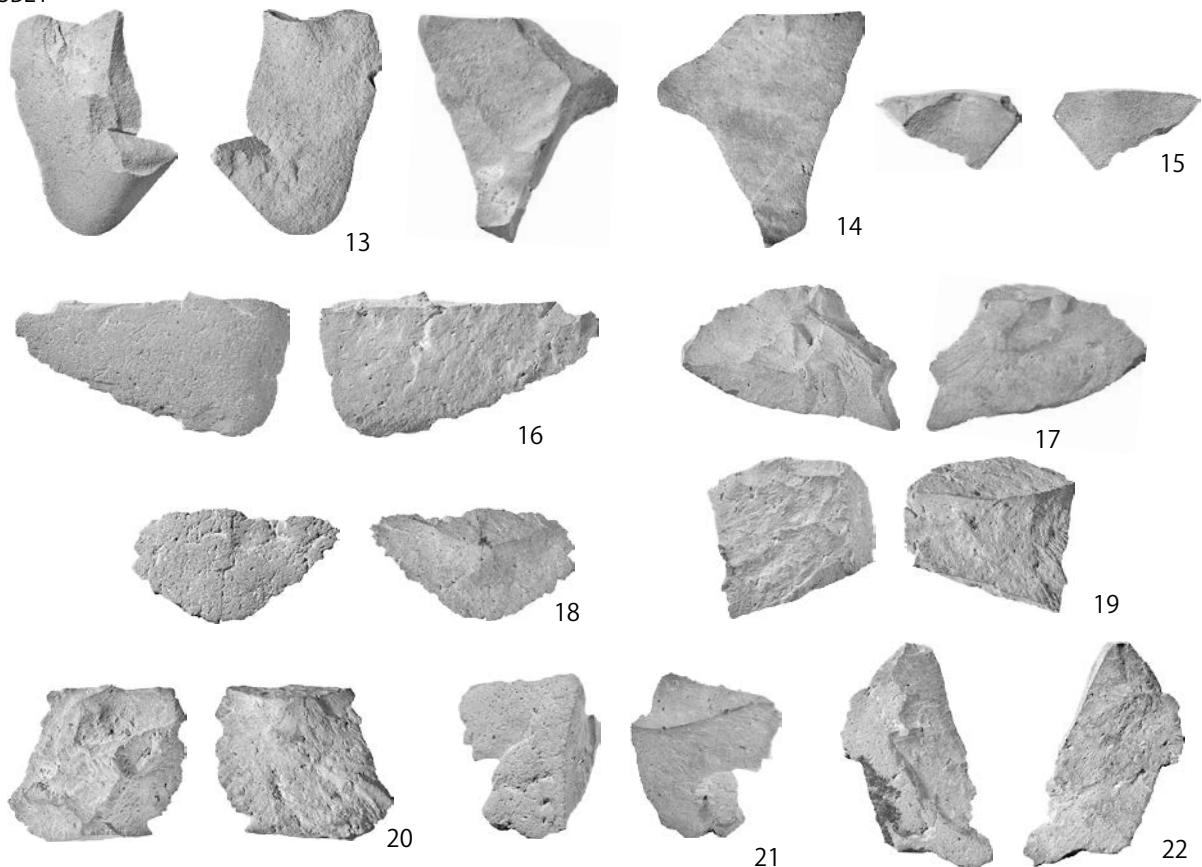
第20図 旧石器時代石器(3) (2/3)

SBL1

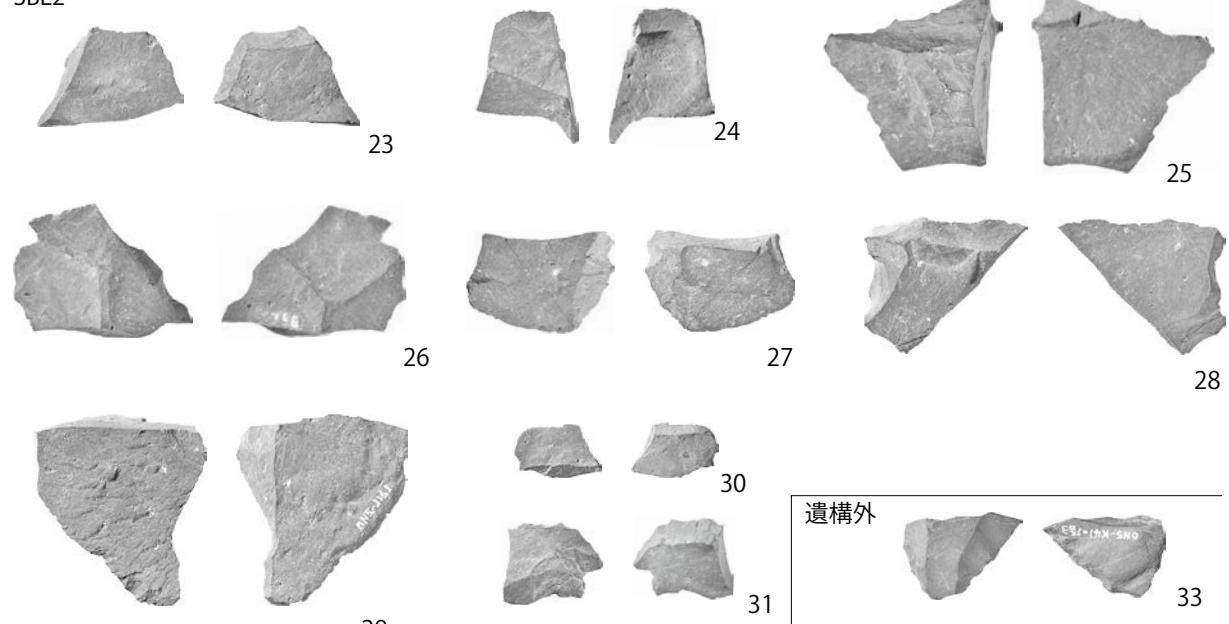


第21図 旧石器時代石器写真(1)

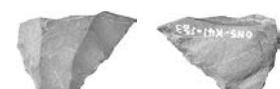
SBL1



SBL2



遺構外



33

黒曜石产地推定試料



産地推定試料4



産地推定試料7

第22図 旧石器時代石器写真(2)

第3表 旧石器時代石器観察表

図	番号	調査区	グリッド	出土層位	遺構	器種	石材	产地(第V章参照)			長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重量(g)	備考
								エリア	判別群名	分析No					
18	1	9区	19-S	IV	SBL1	角錐状石器	黒曜石	和田	土屋橋2	6	37.0	12.5	18.0	3.2	
	2	9区	19-S	IV	SBL1	ナイフ形石器	硬質細粒凝灰岩	?	?	24	(51.7)	27.2	11.5	11.8	剥片尖頭器の可能性あり
	3	9区	20-R	IV	SBL1	ナイフ形石器	硬質細粒凝灰岩	?	?	22	(29.1)	(13.5)	5.0	1.6	
	4	9区	20-S	IV	SBL1	石核	硬質細粒凝灰岩	?	?	17	16.3	43.0	22.7	16.8	
	5	9区	20-R	IV	SBL1	石核	硬質細粒凝灰岩	?	?	21	19.3	41.0	28.8	21.1	
	6	9区	20-R	II B	SBL1	石核	黒曜石	和田	鷹山	2	26.0	31.8	16.0	15.4	
	7	9区	19-S	III	SBL1	剥片	黒曜石	蓼科	冷山	3	21.0	11.5	5.0	0.8	
	8	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	黒曜石	蓼科	冷山	5	16.2	21.0	8.0	1.4	
	9	9区	19-R	IV	SBL1	剥片	黒曜石	蓼科	冷山	8	28.7	9.3	11.3	2.1	
19	10	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	硬質細粒凝灰岩	—	—	—	29.5	25.6	10.0	6.1	
	11	9区	20-R	III	SBL1	剥片	硬質細粒凝灰岩	—	—	—	30.5	26.5	12.0	9.0	
	12	9区	19-S	IV	SBL1	剥片	硬質細粒凝灰岩	—	—	—	20.0	24.0	6.0	3.0	
	13	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	硬質細粒凝灰岩	—	—	—	45.0	32.8	10.0	10.6	
	14	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	硬質細粒凝灰岩	—	—	—	45.0	39.8	11.0	9.4	
	15	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	硬質細粒凝灰岩	—	—	—	16.5	24.0	6.0	1.7	
	16	9区	20-S	V	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	みなみ?	武尊山2	25	(29.7)	54.1	10.9	15.2	
	17	9区	19-S	IV	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	みなみ?	武尊山1	23	28.5	44.0	8.5	8.4	
	18	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	16	22.2	40.4	7.3	4.2	
20	19	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	20	(31.0)	33.6	12.9	11.4	
	20	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	18	30.0	35.5	10.8	9.1	
	21	9区	20-R	V	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	26	33.3	29.2	10.6	6.4	
	22	9区	20-R	IV	SBL1	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	19	44.5	32.0	6.5	6.2	
	23	9区	22-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	28	19.3	28.7	6.3	19.3	
	24	9区	22-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	30	26.3	19.2	11.7	4.0	
	25	9区	22-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	32	35.4	36.0	22.1	13.9	
	26	9区	22-R	V	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	35	26.6	35.4	15.2	9.7	
	27	9区	22-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	29	19.2	29.0	9.5	3.5	
21	28	9区	22-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	31	26.5	33.0	9.5	7.0	
	29	9区	22-R	V	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	36	38.5	33.5	8.5	7.1	
	30	9区	21-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	33	10.6	17.0	4.0	0.8	
	31	9区	22-R	IV	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	34	15.1	19.4	9.5	1.3	
	32	9区	22-R	III - V	SBL2	剥片	黒色ガラス質安山岩	佐久?	八風山	27	—	—	—	—	
	33	10区	27-P		K41	尖頭器(割れ)	珪質凝灰岩	—	—	—	(19.0)	(19.0)	8.0	3.0	

第4表 旧石器時代遺物集中出土石器一覧表

1号遺物集中(SBL1)																
番号	調査区	グリッド	層位	器種	石材	割れ	長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重量(g)	図番号	接合番号	自然科学分析	X	Y	Z
443	9区	20-R	II B	石核	黒曜石	有	26.0	31.8	16.0	15.4	第18図6	产地推定試料2	-26070.514	-20628.886	41.868	
465	9区	20-R	III	剥片	硬質細粒凝灰岩	無	30.5	26.5	12.0	9.0	第19図11	—	-26070.269	-20627.407	41.572	
468	9区	19-S	III	剥片	黒曜石	無	21.0	11.5	5.0	0.8	第18図7	产地推定試料3	-26069.734	-20631.415	41.571	
469	9区	20-R	IV	剥片	黒曜石	有	7.9	10.0	1.7	0.1	—	产地推定試料4	-26070.276	-20628.822	41.363	
470	9区	20-R	IV	剥片	硬質細粒凝灰岩	無	45.0	39.8	11.0	9.4	第19図14	—	-26070.896	-20627.390	41.290	
471	9区	20-R	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	22.2	40.4	7.3	4.2	第19図18	产地推定試料16	-26070.347	-20627.691	41.336	
479	9区	20-S	IV	石核	硬質細粒凝灰岩	無	16.3	43.0	22.7	16.8	第18図4	产地推定試料17	-26069.814	-20629.623	41.429	
519	9区	20-R	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	30.0	35.5	10.8	9.1	第19図20	产地推定試料18	-26070.629	-20628.039	41.345	
523	9区	20-R	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	44.5	32.0	6.5	6.2	第19図22	产地推定試料19	-26070.643	-20627.617	41.254	
540	9区	20-R	IV	剥片	硬質細粒凝灰岩	無	29.5	25.6	10.0	6.1	第19図10	—	-26070.797	-20628.092	41.254	
545	9区	20-R	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	(31.0)	33.6	12.9	11.4	第19図19	产地推定試料20	-26070.349	-20627.060	41.373	
550	9区	20-R	IV	剥片	黒曜石	無	16.2	21.0	8.0	1.4	第18図8	产地推定試料5	-26071.197	-20626.584	41.359	
551	9区	20-R	IV	石核	硬質細粒凝灰岩	無	19.3	41.0	28.8	21.1	第18図5	产地推定試料21	-26070.801	-20627.330	41.216	
554	9区	20-R	IV	ナイフ形石器	硬質細粒凝灰岩	有	(29.1)	(13.5)	5.0	1.6	第18図3	产地推定試料22	-26071.214	-20628.047	41.256	
557	9区	19-S	IV	角錐状石器	黒曜石	無	37.0	12.5	18.0	3.2	第18図1	产地推定試料6	-26068.943	-20631.101	41.380	
558	9区	20-R	IV	剥片	硬質細粒凝灰岩	有	16.5	24.0	6.0	1.7	第19図15	—	-26070.248	-20628.704	41.230	
587	9区	20-R	IV	剥片	硬質細粒凝灰岩	有	45.0	32.8	10.0	10.6	第19図13	—	-26070.335	-20626.191	41.327	
607	9区	19-S	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	28.5	44.0	8.5	8.4	第19図17	产地推定試料23	-26069.336	-20630.637	41.180	
608	9区	19-S	IV	剥片	黒曜石	無	14.5	4.4	1.9	0.2	—	产地推定試料7	-26069.178	-20630.588	41.191	
618	9区	19-R	IV	剥片	黒曜石	無	28.7	9.3	11.3	2.1	第18図9	产地推定試料8	-26070.302	-20630.141	41.389	
619	9区	19-S	IV	ナイフ形石器	硬質細粒凝灰岩	有	(51.7)	27.2	11.5	11.8	第18図2	产地推定試料24	-26068.565	-20631.900	41.439	
626	9区	20-S	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	(29.7)	54.1	10.9	15.2	第19図16	产地推定試料25	-26069.756	-20629.020	41.163	
630	9区	20-R	V	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	33.3	29.2	10.6	6.4	第19図21	产地推定試料26	-26070.894	-20627.374	41.187	
19-S一括	9区	19-S	IV	剥片	硬質細粒凝灰岩	無	20.0	24.0	6.0	3.0	第19図12	—	—	—	—	
2号遺物集中(SBL2)																
718	9区	22-R	III	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	40.7	26.8	8.3	8.2	第20図32	接72	产地推定試料27	-26073.677	-20618.794	41.746
744	9区	22-R	III	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	23.9	25.2	7.1	4.4	第20図32	接72	产地推定試料27	-26074.874	-20618.85	41.518
782	9区	22-R	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	19.3	28.7	6.3	19.3	第20図23	—	产地推定試料28	-26073.454	-20619.407	41.454
783	9区	22-R	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	19.2	29.0	9.5	3.5	第20図27	—	产地推定試料29	-26073.377	-20619.394	41.417
790	9区	22-R	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	26.3	19.2	11.7	4.0	第20図24	—	产地推定試料30	-26073.958	-20619.033	41.478
799	9区	22-R	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	26.5	33.0	9.5	7.0	第20図28	—	产地推定試料31	-26074.832	-20618.714	41.420
803	9区	22-R	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	35.4	36.0	22.1	13.9	第20図25	—	产地推定試料32	-26074.762	-20618.419	41.398
816	9区	21-R	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	10.6	17.0	4.0	0.8	第20図30	—	产地推定試料33	-26074.300	-20620.249	41.362
871	9区	22-R	IV	剥片	黒色ガラス質安山岩	無	15.1	19.4	9.5	1.3	第20図31	—	产地推定試料34	-26073.973	-20619.099	41.339
906	9区	22-R	V	剥片	黒色ガラス質安山岩	有	38.6	31.6	10.9	8.0	第20図32	接72</				

第5表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表 (1)

1号遺物集中 (SBL1) (※遺物番号は包含層番)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
478	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	33.5	29.0	10.9	10.6		-26069.702	-20629.686	41.449	
480	9区	20-S	IV	チャート		有	21.3	16.0	9.1	2.8		-26069.64	-20629.584	41.405	
481	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	25.1	9.8	9.3	3.3	接97	-26070.117	-20629.087	41.324	
482	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	28.0	19.0	12.7	6.2		-26069.807	-20628.883	41.277	
483	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	74.5	46.2	37.5	113.8割れ		-26069.833	-20628.872	41.231	
484	9区	20-S	IV	珪質頁岩		有	48.5	42.2	24.1	42.9	接13	-26069.892	-20628.826	41.244	
485	9区	20-S	IV	チャート		有	74.0	47.0	36.2	188.7	接1	-26069.961	-20628.808	41.233	
486	9区	20-R	IV	チャート		有	90.1	36.8	23.6	178.5	接9	-26070.049	-20628.812	41.24	
487	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	59.9	30.1	28.9	68.3	接14	-26070.046	-20628.721	41.23	
488	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	55.5	37.7	28.5	54.2	接97	-26070.186	-20628.613	41.232	
489	9区	20-R	IV	チャート		有	55.4	31.5	26.3	82.2	接12	-26070.091	-20628.579	41.256	
490	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	64.0	40.1	26.9	77.1第四次調査3号 遺物集中部(ON4- 2P396)と接合	接90	-26070.157	-20628.528	41.246	
491	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	50.7	33.4	24.0	63.2	接97	-26070.297	-20628.75	41.348	
492	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	27.9	23.4	14.7	8.4	接14	-26070.376	-20628.666	41.401	
493	9区	20-R	IV	チャート		有	45.7	24.7	19.0	20.7	接4	-26070.54	-20628.65	41.431	
494	9区	20-R	IV	チャート		有	31.6	22.7	19.3	11.6	接12	-26070.633	-20628.632	41.342	
495	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	41.1	31.0	9.3	11.2	接5	-26070.6	-20628.576	41.401	
496	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	63.3	32.4	16.5	22.7		-26069.935	-20628.565	41.265	
497	9区	20-S	IV	チャート		有	69.6	54.5	31.4	69.5	接11	-26069.881	-20628.475	41.278	
498	9区	20-R	IV	砂岩		有	51.1	37.4	31.4	52.2	接14	-26070.033	-20628.496	41.276	
499	9区	20-S	IV	チャート		有	55.5	43.9	43.2	97.9	接12	-26069.958	-20628.388	41.243	
500	9区	20-R	IV	チャート		有	60.9	49.8	35.2	108.0	接4	-26070.107	-20628.429	41.271	
501	9区	20-R	IV	砂岩		有	47.8	33.0	28.0	40.4	接5	-26070.029	-20628.274	41.245	
502	9区	20-R	IV	砂岩		有	45.6	33.2	25.0	36.6	接5	-26070.07	-20628.264	41.259	
503	9区	20-R	IV	チャート		有	51.0	23.4	18.0	22.3		-26070.239	-20628.306	41.351	
504	9区	20-R	IV	チャート		有	42.9	27.2	26.5	24.8	接4	-26070.173	-20628.225	41.405	
505	9区	20-R	IV	チャート		有	49.6	29.6	21.3	35.1	接4	-26070.465	-20628.227	41.319	
506	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	63.5	17.0	16.2	16.9		-26070.33	-20628.302	41.369	
507	9区	20-R	IV	珪質頁岩		有	32.9	24.9	24.0	7.9		-26070.077	-20628.204	41.332	
508	9区	20-R	IV	砂岩		有	57.6	33.2	31.4	43.8		-26070.091	-20628.117	41.338	
510	9区	20-R	IV	チャート		有	24.8	19.2	13.6	5.7	接10	-26070.258	-20628.052	41.361	
511	9区	20-R	IV	チャート		有	24.9	15.7	11.2	5.3	接10	-26070.261	-20628.038	41.352	
512	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	53.3	27.5	26.1	21.1		-26070.104	-20627.807	41.411	
513	9区	20-R	IV	チャート		有	34.4	14.2	12.0	8.5	接6	-26070.987	-20628.415	41.206	
514	9区	20-R	IV	チャート		有	38.3	15.9	5.6	4.6	接11	-26070.817	-20628.252	41.322	
515	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	46.0	35.3	29.7	24.1		-26070.954	-20628.123	41.254	
516	9区	20-R	IV	珪質頁岩		有	21.8	20.6	17.2	5.0		-26070.946	-20627.932	41.401	
517	9区	20-R	IV	チャート		有	46.9	38.1	16.5	28.0	接6	-26070.387	-20627.91	41.28	
518	9区	20-R	IV	チャート		有	50.7	35.7	18.8	29.9		-26070.686	-20628.104	41.296	
520	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	72.3	36.7	34.6	58.8		-26070.754	-20627.961	41.248	
521	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	57.6	22.8	19.4	11.1		-26070.707	-20627.853	41.252	
522	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	55.5	38.9	10.6	24.7		-26070.74	-20627.634	41.305	
524	9区	20-R	IV	珪質頁岩		有	45.8	33.6	26.4	32.6		-26070.53	-20627.801	41.244	
525	9区	20-R	IV	砂岩	焼・煤	有	76.1	52.1	27.1	112.3		-26070.514	-20627.958	41.234	
526	9区	20-R	IV	チャート		有	52.8	37.1	26.9	30.3	接4	-26070.491	-20627.71	41.278	
527	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	52.3	37.9	27.4	42.4	接98	-26070.439	-20627.869	41.275	
528	9区	20-R	IV	珪質頁岩		有	45.8	38.5	28.8	40.7		-26070.403	-20627.852	41.285	
529	9区	20-R	IV	砂岩		有	61.6	27.3	27.1	48.9	接7	-26070.352	-20627.846	41.282	
530	9区	20-R	IV	チャート		有	69.0	28.1	13.5	45.3	接9	-26070.305	-20627.747	41.263	
531	9区	20-R	IV	礫岩		有	78.2	61.1	23.4	150.9	接2	-26070.366	-20627.747	41.272	
532	9区	20-R	IV	チャート		有	35.8	25.3	11.6	10.4	接6	-26070.378	-20627.684	41.261	
533	9区	20-R	IV	砂岩		有	88.0	51.9	29.8	176.6		-26070.42	-20627.708	41.239	
534	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	80.9	54.6	34.6	211.0		-26070.253	-20627.727	41.243	
535	9区	20-R	IV	チャート		有	58.1	46.9	38.2	83.4		-26070.305	-20627.645	41.242	
536	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	81.5	42.9	39.0	139.2	接7	-26070.221	-20627.761	41.236	
537	9区	20-R	IV	チャート		有	81.3	68.8	41.8	255.0割れ3点		-26070.121	-20627.625	41.24	
538	9区	20-R	IV	チャート		有	39.9	33.5	26.1	22.2		-26070.784	-20627.471	41.321	
539	9区	20-R	IV	砂岩		有	42.3	30.8	14.7	17.3		-26070.989	-20627.362	41.283	
541	9区	20-R	IV	ホルンフェルス		無	61.8	40.7	32.0	110.3		-26071.451	-20627.437	41.267	
542	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	91.5	69.5	48.2	351		-26070.176	-20627.7	41.24	
543	9区	20-R	IV	チャート		有	28.2	21.0	10.2	5.4	接9	-26070.454	-20627.17	41.36	
544	9区	20-R	IV	チャート		有	37.3	26.6	18.9	22.1	接1	-26070.32	-20627.182	41.295	
546	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	48.8	39.2	22.3	36.4		-26070.548	-20626.898	41.29	
547	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	84.9	52.4	43.2	245.5		-26070.791	-20626.614	41.254	
548	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	36.1	30.1	18.2	17.9		-26070.598	-20626.54	41.402	
549	9区	20-R	IV	砂岩		有	28.7	8.4	7.5	1.3		-26070.405	-20626.659	41.444	
559	9区	20-R	IV	砂岩		有	15.9	14.2	3.2	0.8		-26070.34	-20628.651	41.278	
560	9区	20-R	IV	チャート		有	31.1	38.5	21.2	10.9		-26070.095	-20628.423	41.242	
561	9区	20-S	IV	チャート		有	37.2	24.9	8.7	10.7	接11	-26069.944	-20628.15	41.247	
562	9区	20-R	IV	チャート		有	39.2	24.4	16.7	17.3割れ	接10	-26070.252	-20628.056	41.344	
563	9区	20-R	IV	砂岩		有	25.2	20.1	5.0	2.3		-26070.737	-20627.751	41.238	
564	9区	20-S	IV	チャート		有	31.6	28.2	26.1	14.7	接4	-26069.673	-20628.739	41.349	
565	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	22.7	14.2	8.6	2.6	接5	-26069.93	-20628.682	41.23	
566	9区	20-S	IV	砂岩		有	89.1	42.0	34.7	166.1		-26069.904	-20628.513	41.23	
567	9区	20-S	IV	砂岩		有	59.0	34.5	28.3	81.1		-26069.809	-20628.53	41.232	
568	9区	20-R	IV	礫岩		有	108.8	70.6	55.6	313.5	接2	-26070.217	-20628.355	41.255	
569	9区	20-R	IV	砂岩	煤	有	66.0	48.7	46.9	122.6		-26070.46	-20627.941	41.228	
570	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	59.4	30.7	27.8	51.0	接98	-26070.328	-20627.803	41.251	
571	9区	20-R	IV	チャート		有	53.4	21.0	19.9	29.7	接9	-26070.134	-20627.812	41.268	
572	9区	20-R	IV	チャート		有	73.7	57.0	56.2	267.5割れ		-26070.387	-20627.767	41.235	
573	9区	20-R	IV	チャート		有	57.0	38.8	38.8	63.3	接9	-260			

第6表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表 (2)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
589	9区	20-R	IV	砂岩		有	57.7	32.3	17.6	53.0		-26070.13	20627.005	41.313	
590	9区	20-S	IV	珪質頁岩		有	63.6	47.4	22.1	69.4		-26069.893	20627.18	41.239	
591	9区	20-S	IV	珪質頁岩		有	38.1	21.3	13.6	14.6		-26069.916	20627.275	41.285	
592	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	77.9	49.5	43.9	108.4		-26069.948	20627.303	41.24	
593	9区	20-S	IV	砂岩		無	106.4	78.4	73.1	1045.0		-26069.929	20627.403	41.207	
594	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	141.0	98.4	81.2	1295.0		-26069.928	20627.604	41.231	
595	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	61.9	37.2	28.5	71.9	接8	-26070.118	20627.81	41.235	
596	9区	20-R	IV	砂岩		有	36.2	29.0	15.0	17.3		-26070.281	20627.838	41.214	
597	9区	20-S	IV	チャート		有	65.1	51.6	26.6	67.4	接9	-26069.923	20627.805	41.243	
598	9区	20-S	IV	珪質頁岩		有	66.1	32.8	28.7	53.9		-26069.866	20627.845	41.325	
599	9区	20-S	IV	砂岩		有	45.8	25.3	21.6	22.7		-26069.906	20627.79	41.37	
600	9区	20-S	IV	チャート		有	46.1	25.4	21.9	20.9	接4	-26069.784	20627.903	41.322	
601	9区	20-S	IV	砂岩		有	48.4	21.3	15.4	14.9		-26069.862	20627.933	41.322	
602	9区	20-S	IV	片状珪質頁岩		有	52.7	44.7	32.7	43.7	接13	-26069.756	20628.254	41.278	
603	9区	20-S	IV	チャート		有	54.6	43.8	35.1	74.9		-26069.782	20628.405	41.29	
604	9区	20-S	IV	チャート		有	50.1	41.2	24.3	43.2	接4	-26069.726	20628.616	41.242	
605	9区	20-S	IV	チャート		有	42.2	26.7	18.9	26.7		-26069.446	20628.828	41.312	
606	9区	20-S	IV	チャート		有	28.2	16.1	14.0	5.7		-26069.627	20628.316	41.305	
609	9区	19-S	IV	チャート		有	30.4	16.0	13.1	7.9		-26069.188	20630.095	41.175	
610	9区	20-S	IV	珪質頁岩		有	53.4	39.5	19.5	37.9		-26069.92	20628.621	41.187	
611	9区	20-S	IV	砂岩	焼・煤	有	72.9	58.2	50.5	87.8	煤が顯著	-26069.609	20628.581	41.232	
612	9区	20-S	IV	珪質頁岩		有	50.6	30.1	20.2	28.6		-26069.708	20628.232	41.246	
613	9区	20-R	IV	砂岩	焼	有	54.8	42.3	22.2	33.8	接97	-26070.059	20628.208	41.214	
614	9区	20-S	IV	砂岩	焼	有	60.0	39.7	24.5	39.3		-26069.974	20628.016	41.222	
615	9区	20-S	IV	チャート		有	59.0	47.7	26.6	96.4		-26069.775	20627.856	41.211	
616	9区	20-S	IV	チャート		有	48.9	37.0	20.4	42.9	接4	-26069.794	20627.721	41.279	
617	9区	20-S	IV	チャート		有	61.6	42.2	29.2	71.2		-26069.813	20627.604	41.252	
620	9区	20-S	V	砂岩	焼	有	52.8	41.7	36.3	77.0	接3	-26069.752	20627.386	41.228	
621	9区	20-S	V	砂岩	焼	有	55.1	49.3	36.9	82.9		-26069.769	20627.462	41.19	
622	9区	20-S	V	チャート		有	78.4	60.9	34.7	165.0		-26069.721	20627.761	41.239	
623	9区	20-S	V	閃綠岩		有	62.1	32.4	24.4	57.5		-26069.718	20627.874	41.207	
624	9区	20-S	V	砂岩	焼	有	35.7	18.1	15.5	13.0	接14	-26069.656	20628.241	41.21	
625	9区	20-S	V	チャート		有	25.5	21.4	9.2	4.4	接10	-26069.699	20629.022	41.185	
627	9区	20-R	V	砂岩	焼	有	36.7	33.4	24.6	21.6		-26070.732	20628.308	41.197	
628	9区	20-R	V	砂岩	焼	有	45.1	33.8	16.6	23.4		-26070.252	20627.843	41.191	
629	9区	20-R	V	砂岩	焼	有	31.9	18.7	11.6	4.2		-26070.883	20627.493	41.185	
2号遺物集中 (SBL2) (※遺物番号は包含層順番)															
755	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	59.2	23.8	17.6	23.0		-26074.806	20619.894	41.472	
756	9区	21-R	IV	砂岩	焼	有	68.3	47.9	27.0	51.2	接52	-26073.336	20621.476	41.289	
757	9区	21-R	IV	チャート		有	38.4	36.8	21.6	21.9		-26073.024	20620.404	41.266	
758	9区	21-R	IV	チャート		有	28.4	24.8	11.7	6.8		-26073.218	20620.132	41.22	
759	9区	21-R	IV	チャート		有	45.0	34.2	18.8	29.9		-26073.278	20620.142	41.277	
760	9区	21-R	IV	砂岩		有	50.5	38.5	10.7	18.5		-26073.66	20620.351	41.421	
761	9区	22-R	IV	チャート		有	45.0	15.9	14.3	7.7	接101	-26073.974	20619.898	41.365	
762	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	45.0	23.8	10.8	14.9		-26074.145	20619.736	41.465	
763	9区	22-R	IV	チャート		有	36.2	30.3	21.4	21.9		-26074.394	20619.84	41.466	
764	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	45.4	34.6	15.2	20.5	接49	-26074.52	20619.792	41.44	
765	9区	22-R	IV	チャート		有	29.7	20.3	14.8	9.3		-26074.806	20619.826	41.444	
766	9区	22-Q	IV	チャート		有	34.3	25.1	10.7	7.5		-26075.013	20619.504	41.438	
767	9区	22-R	IV	砂岩		有	27.0	22.0	17.7	9.6		-26074.817	20619.43	41.424	
768	9区	22-R	IV	珪質頁岩		有	26.1	23.5	11.8	6.6		-26074.574	20619.468	41.415	
769	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	41.9	21.6	8.7	10.7		-26074.404	20619.503	41.358	
770	9区	22-R	IV	砂岩		有	33.2	18.4	7.9	5.6	接41	-26074.195	20619.501	41.358	
771	9区	22-R	IV	チャート		有	34.8	27.0	20.4	16.7		-26074.014	20619.454	41.331	
772	9区	22-R	IV	チャート		有	50.0	30.8	18.2	28.6		-26074.715	20619.228	41.506	
773	9区	22-R	IV	チャート		有	24.5	16.6	13.2	4.7		-26074.603	20619.249	41.434	
774	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	50.4	33.2	21.9	25.2	接37	-26074.301	20619.268	41.35	
775	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	44.6	29.6	26.2	28.4		-26073.716	20619.696	41.391	
776	9区	22-R	IV	砂岩		有	27.6	16.3	5.9	2.3		-26074.01	20619.137	41.401	
777	9区	22-R	IV	頁岩		有	32.7	17.0	7.2	4.9		-26073.864	20619.229	41.345	
778	9区	22-R	IV	チャート		有	41.1	25.8	21.1	24.7		-26073.723	20619.285	41.348	
779	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	47.3	28.2	7.5	15.0	接41	-26073.691	20619.407	41.367	
780	9区	22-R	IV	砂岩		有	27.5	20.6	18.4	7.3		-26073.609	20619.491	41.402	
781	9区	22-R	IV	珪質頁岩		有	35.8	20.1	12.2	8.6		-26073.516	20619.457	41.392	
784	9区	22-R	IV	チャート		有	34.9	25.4	25	12.3	接56	-26073.114	20619.441	41.44	
785	9区	22-R	IV	チャート		有	42.7	40.8	19.7	32.3	接55	-26073.652	20619.297	41.345	
786	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	36.7	28.2	14.2	9.8		-26072.891	20619.581	41.381	
787	9区	22-R	IV	チャート		有	37.2	20.0	15.2	9.3		-26074.523	20619.1	41.448	
788	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	25.0	20.7	14.3	5.6		-26074.485	20619.112	41.457	
789	9区	22-R	IV	珪質頁岩		有	36.1	36.0	19.5	20.3		-26074.371	20619.08	41.428	
791	9区	22-R	IV	チャート		有	36.6	25.3	17.3	13.7		-26073.696	20618.873	41.406	
792	9区	22-Q	IV	砂岩	焼	有	37.8	30.9	20	17.5		-26075.217	20619.269	41.348	
793	9区	22-Q	IV	砂岩	焼	有	40.3	25.7	15.1	41.1	割れ3点	-26075.168	20619.102	41.314	
794	9区	22-Q	IV	チャート		有	39.0	22.2	18.1	14.3		-26075.001	20618.952	41.394	
795	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	51.4	29.1	19.2	29.9	接50	-26074.915	20618.833	41.379	
796	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	42.0	19.4	19.3	17.7	接61	-26074.687	20618.895	41.385	
797	9区	22-R	IV	チャート		有	31.5	24.5	12.4	9.8		-26074.499	20618.858	41.41	
798	9区	22-R	IV	チャート		有	26.4	24.4	12.5	7.8		-26074.667	20618.645	41.417	
800	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	32.9	23.1	20.3	12.9		-26074.957	20618.721	41.403	
801	9区	22-Q	IV	チャート		有	34.3	30.8	14.9	15.7		-26075.004	20618.731	41.379	
802	9区	22-Q	IV	砂岩	焼	有	42.0	20.5	14.9	15.3	接103	-26075.109	20618.887	41.35	
804	9区	22-R	IV	チャート		有									

第7表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表 (3)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
815	9区	22-R	IV	チャート	有		38.9	21.6	14.9	10.9		-26073.529	20618.781	41.512	
817	9区	22-R	IV	チャート	有		36.1	22.3	11.1	6.2		-26073.378	20618.866	41.385	
818	9区	22-R	IV	チャート	有		29.1	17.5	13.5	10.1		-26073.122	20618.986	41.398	
819	9区	22-R	IV	チャート	有		41.9	23.3	20.7	22.3		-26073.897	20618.626	41.48	
820	9区	22-R	IV	チャート	有		27.0	12.8	8.8	5.0		-26073.994	20618.744	41.438	
821	9区	22-R	IV	砂岩			41.4	34.6	12.8	17.7		-26073.413	20618.914	41.361	
822	9区	22-R	IV	チャート	有		42.7	24.1	9.4	12.3		-26074.231	20618.98	41.415	
823	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	24.4	13.4	6.3	2.0		-26073.688	20619.41	41.37	
824	9区	22-R	IV	チャート	有		19.9	18.6	17.9	7.8		-26073.691	20619.697	41.37	
825	9区	22-R	IV	チャート	有		51.8	39.8	29.1	50.9		-26073.941	20619.817	41.319	
826	9区	22-R	IV	チャート	有		33.0	25.8	11.7	13.4		-26073.675	20619.774	41.319	
827	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	18.9	12.0	3.2	0.8		-26073.044	20618.906	41.477	
828	9区	22-R	IV	チャート	有		34.9	14.9	14.1	8.6		-26073.142	20619.318	41.255	
830	9区	21-R	IV	チャート	有		39.2	23.9	13.4	15.8		-26074.666	20620.103	41.437	
831	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	57.4	29.9	25.0	20.2		-26074.711	20619.907	41.357	
832	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	39.1	25.0	11.5	13.4		-26074.553	20619.694	41.417	
833	9区	22-R	IV	チャート	有		39.9	27.1	10.6	10.7		-26074.556	20619.768	41.399	
834	9区	22-R	IV	チャート	有		21.4	16.0	15.9	6.0		-26074.311	20619.666	41.436	
835	9区	22-R	IV	チャート	有		36.5	22.1	13.9	7.2	接 46	-26074.17	20619.604	41.41	
836	9区	22-R	IV	チャート	有		28.1	24.8	11.3	9.1		-26074.187	20619.688	41.345	
837	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	30.4	16.3	12.1	6.3		-26074.051	20619.985	41.377	
838	9区	21-R	IV	チャート	焼	有	39.9	30.2	23.6	29.3	接 54	-26074.348	20620.043	41.33	
839	9区	22-R	IV	チャート	有		63.3	26.7	25.1	49.5	接 21	-26074.997	20619.741	41.394	
840	9区	22-R	IV	チャート	有		29.0	27.2	14.2	7.7		-26074.923	20619.699	41.366	
841	9区	22-Q	IV	ホルンフェルス	有		44.5	31.3	14.9	19.3		-26075.012	20619.511	41.37	
842	9区	22-R	IV	チャート	有		34.9	24.1	17.7	15.7		-26074.8	20619.533	41.4	
843	9区	22-R	IV	チャート	有		28.4	18.6	11.2	7.6		-26074.756	20619.516	41.395	
844	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	38.9	31.2	16.8	18.0		-26074.923	20619.391	41.416	
845	9区	22-R	IV	砂岩	有		35.3	28.0	6.8	6.2		-26074.67	20619.284	41.39	
846	9区	22-R	IV	チャート	有		26.5	18.8	15.3	7.3		-26074.662	20619.149	41.371	
847	9区	22-R	IV	チャート	有		34.4	18.3	6.9	5.4		-26074.357	20619.208	41.361	
848	9区	22-R	IV	チャート	有		27.4	13.3	5.3	1.6		-26074.331	20619.211	41.352	
849	9区	22-R	IV	珪質頁岩	有		26.3	17.3	7.6	2.8		-26074.244	20619.18	41.357	
850	9区	22-R	IV	珪質頁岩	有		33.5	32.4	13.9	11.6		-26074.364	20618.989	41.41	
851	9区	22-R	IV	チャート	有		34.8	33.8	18.3	14.2	接 55	-26073.931	20619.066	41.405	
852	9区	22-R	IV	チャート	有		30.1	16.3	8.6	3.2		-26073.924	20618.917	41.382	
853	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	38.5	28.7	14.4	14.6		-26073.921	20618.864	41.357	
854	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	31.4	20.2	5.9	3.4		-26073.183	20618.772	41.417	
855	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	46.9	25.3	15.8	22.5		-26073.211	20618.705	41.381	
856	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	57.9	46.8	26.1	55.3	接 39	-26073.444	20618.554	41.367	
857	9区	22-R	IV	チャート	有		52.0	16.1	15.5	8.6	接 23	-26073.642	20618.473	41.47	
858	9区	22-R	IV	ホルンフェルス	焼	有	50.8	40.3	17.0	54.5		-26074.294	20618.128	41.29	
859	9区	22-R	IV	珪質頁岩	焼	有	33.7	19.0	13.9	7.0		-26074.085	20618.636	41.414	
860	9区	22-Q	IV	珪質頁岩	有		36.5	23.3	16.9	8.3		-26075.042	20618.906	41.35	
861	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	21.7	11.5	10.3	2.7		-26074.95	20618.737	41.34	
862	9区	22-R	IV	砂岩	焼・煤	有	54.9	43.6	31.8	30.2	接 15	-26074.764	20618.389	41.34	
863	9区	22-R	IV	チャート	有		30.9	23.0	12.3	8.6		-26074.798	20618.968	41.346	
864	9区	22-R	IV	チャート	有		44.0	26.6	17.6	21.9		-26073.736	20619.646	41.315	
865	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	64.0	16.6	15.5	22.9	接 62	-26074.007	20619.556	41.312	
866	9区	22-R	IV	チャート	焼	有	45.6	33.1	28.6	25.6	接 55	-26073.744	20619.223	41.324	
867	9区	22-R	IV	チャート	有		25.4	18.4	17.4	7.2		-26073.635	20619.041	41.322	
868	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	46.3	27.4	15.8	16.9		-26073.57	20619.031	41.323	
869	9区	22-R	IV	チャート	有		37.9	32.4	14.7	16.8	接 67	-26073.623	20618.894	41.342	
870	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	45.1	38.8	15.7	33.4	接 39	-26073.537	20618.795	41.345	
872	9区	22-R	IV	砂岩	有		54.8	42.5	17.8	40.5		-26073.991	20618.511	41.311	
873	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	32.7	15.7	8.9	4.3		-26074.018	20618.313	41.347	
874	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	52.1	32.3	27.5	38.4	接 33	-26074.144	20618.499	41.325	
875	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	44.7	32.2	8.4	12.6		-26074.177	20618.319	41.339	
876	9区	22-R	IV	片状珪質頁岩	有		28.3	19.9	18.0	8.9		-26074.217	20618.669	41.339	
877	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	33.1	18.1	15.5	13.4	接 102	-26074.304	20618.838	41.333	
878	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	52.9	29.6	15.0	31.3	接 37	-26074.164	20618.947	41.316	
879	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	39.9	28.7	6.3	6.3		-26074.224	20618.992	41.338	
880	9区	22-R	IV	珪質頁岩	有		55.7	32.9	12.5	39.3		-26074.155	20619.087	41.29	
881	9区	22-R	IV	砂岩	焼	有	41.0	28.4	14.5	18.7		-26074.224	20619.423	41.328	
882	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		53.2	37.0	28.7	37.5		-26072.955	20619.064	41.278	
883	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	38.6	33.0	19.5	22.4		-26073.033	20618.874	41.304	
884	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	38.9	32.7	31.4	43.2	接 100	-26074.141	20618.477	41.297	
885	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	35.8	24.2	24.9	19.6	接 102	-26074.341	20618.571	41.303	
886	9区	22-R	V	チャート	有		35.5	25.2	18.2	18.3		-26074.383	20618.652	41.313	
887	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	42.8	34.4	7.9	9.3		-26074.497	20618.602	41.342	
888	9区	22-R	V	チャート	有		43.8	28.8	26.1	40.4	接 68	-26074.962	20618.594	41.227	
889	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		32.9	21.4	10.5	7.9		-26074.549	20618.887	41.321	
890	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	22.8	16.8	13.2	4.7		-26074.447	20618.97	41.319	
891	9区	22-R	V	砂岩	有		35.5	10.5	8.3	7.1	接 61	-26074.442	20618.967	41.359	
892	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	35.0	24.4	15.2	8.8		-26074.441	20618.941	41.369	
893	9区	22-R	V	チャート	有		31.5	19.9	13.9	9.1		-26074.388	20618.946	41.384	
894	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		44.9	33.0	20.1	27.0		-26074.017	20618.709	41.347	
895	9区	22-R	V	チャート	有		38.6	25.6	23.7	17.4		-26073.882	20618.627	41.334	
896	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	36.8	22.4	15.3	9.6		-26073.862	20618.727	41.338	
897	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	50.9	27.6	16.7	31.4		-26073.899	20618.7	41.322	
898-1	9区	22-R	V	チャート	有		62.0	45.3	10.8	35.8		-26073.637	20618.895	41.298	
898-2	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	38.5	26.3	4.7	5.0		-26073.637	20618.895	41.298	

第8表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表 (4)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
910	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	64.6	38.2	27.0	66.8		接59	-26074.046	-20619.148	41.297
911	9区	22-R	V	砂岩		有	26.3	24.9	9.1	4.9			-26074.315	-20619.372	41.303
912	9区	22-R	V	チャート		有	38.9	35.6	19.5	29.5			-26074.319	-20619.329	41.271
913	9区	22-R	V	チャート		有	28.6	17.1	11.3	5.7			-26074.352	-20619.35	41.292
914	9区	22-R	V	チャート		有	46.0	31.1	23.1	26.4			-26074.427	-20619.32	41.327
915	9区	22-R	V	チャート		有	44.4	18.7	16.8	14.4		接21	-26074.503	-20619.204	41.327
916	9区	22-R	V	チャート		有	33.8	18.1	17.9	14.3		接69	-26074.355	-20619.236	41.298
917	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	29.4	16.7	11.8	5.5			-26074.504	-20619.114	41.316
918	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	36.5	31.0	7.7	8.6			-26074.445	-20619.067	41.287
919	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	28.5	25.3	16.0	11.9		接61	-26074.871	-20619.146	41.307
920	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	40.9	30.4	13.1	13.9			-26074.738	-20619.307	41.287
921	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	52.3	36.7	16.0	25.9		接103	-26074.673	-20619.398	41.34
922	9区	22-R	V	ホルンフェルス	焼	有	49.4	28.0	17.8	25.4		接60	-26074.533	-20619.357	41.349
923	9区	22-Q	V	ホルンフェルス	焼	有	50.1	42.5	32.4	62.1		接60	-26075.09	-20619.434	41.316
924	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	60.8	44.8	22.2	45.3			-26074.772	-20619.438	41.31
925	9区	22-R	V	チャート		有	57.5	34.9	18.4	50.3			-26074.75	-20619.523	41.325
926	9区	22-R	V	砂岩		有	47.9	31.8	25.5	42.0		接28	-26074.965	-20619.61	41.318
927	9区	22-R	V	珪質頁岩		有	66.5	35.4	22.4	48.1			-26074.982	-20619.686	41.322
928	9区	22-R	V	砂岩		有	45.9	21.2	11.5	11.3		接38	-26074.914	-20619.809	41.306
929	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	41.6	30.4	23.0	25.3			-26074.815	-20619.732	41.265
930	9区	22-R	V	砂岩		有	55.0	30.7	28.1	40.7		接40	-26074.831	-20619.865	41.295
931	9区	22-R	V	チャート		有	40.0	27.6	16.5	29.9		接54	-26074.92	-20619.904	41.326
932	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	44.3	26.8	12.6	10.1		接62	-26074.543	-20619.597	41.362
933	9区	22-R	V	チャート		有	49.7	16.5	11.7	9.5			-26074.421	-20619.785	41.345
934	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	73.7	56.2	32.7	80.5			-26074.622	-20619.736	41.322
935	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	77.1	21.7	16.9	30.7		接61	-26074.614	-20619.702	41.308
936	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	38.2	26.6	11.0	10.4			-26074.574	-20619.738	41.313
937	9区	22-R	V	砂岩		有	38.9	18	12.4	8.6			-26074.557	-20619.749	41.318
938	9区	21-R	V	砂岩	焼	有	21.0	17.1	5.3	2.6			-26074.252	-20620.034	41.24
939	9区	21-R	V	珪質頁岩		有	105.6	67.0	49.8	464.5			-26074.178	-20621.033	41.23
940	9区	21-R	V	珪質頁岩		有	90.7	64.9	50.3	286.4			-26074.251	-20621.017	41.235
941	9区	21-R	V	砂岩		有	69.3	33.7	31.8	113.4			-26074.397	-20620.823	41.234
942	9区	21-R	V	ホルンフェルス		有	84.9	66.4	32.0	275.9			-26074.142	-20620.57	41.211
943	9区	21-R	V	砂岩	焼・煤	有	77.7	52.3	12.6	49.7		接41	-26073.824	-20620.507	41.269
944	9区	21-R	V	砂岩		有	71.7	52.7	22.3	69.1			-26073.712	-20620.288	41.255
945	9区	21-R	V	砂岩		有	92.2	64.9	23.3	173.0			-26073.842	-20620.245	41.259
946	9区	21-R	V	砂岩		有	74.6	56.9	33.2	151.0			-26074.118	-20620.305	41.22
947	9区	21-R	V	チャート		有	108.2	86.8	61.1	580.0			-26074.305	-20620.251	41.217
948	9区	21-R	V	砂岩	焼・煤	有	83.5	60.4	34.3	173.2			-26074.767	-20620.029	41.247
949	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	50.3	36.5	23.8	50.3		接65	-26074.717	-20619.989	41.278
950	9区	22-R	V	チャート		有	29.6	17.8	16.2	8.1			-26074.668	-20619.911	41.278
951	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	68.9	48.8	36.7	93.9			-26074.712	-20619.914	41.246
952	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	71.9	59.0	29.6	171.0		接26	-26074.76	-20619.914	41.227
953	9区	22-R	V	珪質頁岩		有	52.4	37.4	24.9	46.8			-26074.865	-20619.981	41.237
954	9区	22-R	V	珪質頁岩		有	57.4	44.6	42.2	83.7			-26074.885	-20619.954	41.237
955	9区	22-R	V	砂岩		有	63.0	41.7	22.7	70.3		接38	-26074.909	-20619.912	41.251
956	9区	22-R	V	チャート		有	50.3	24.9	21.7	31.8		接56	-26074.812	-20619.899	41.262
957	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	59.0	40.1	18.2	28.0			-26074.812	-20619.898	41.262
958	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	56.4	21.8	18.6	18.7		接38	-26074.837	-20619.87	41.3
959	9区	22-R	V	チャート		有	54.9	33.9	18.6	56.1		接56	-26074.865	-20619.9	41.247
960	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	56.4	32.0	28.7	50.2			-26074.517	-20619.971	41.276
961	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	97.7	55.9	41.2	318.0			-26074.488	-20619.873	41.251
962	9区	22-R	V	チャート		有	54.8	34.0	7.6	20.3			-26074.502	-20619.83	41.257
963	9区	22-R	V	チャート		有	40.5	25.5	19.6	16.4			-26074.128	-20619.803	41.263
964	9区	22-R	V	チャート		有	56.4	42.4	23.0	63.0			-26073.928	-20619.695	41.252
965	9区	22-R	V	珪質頁岩		有	71.5	51.0	44.1	115.3			-26073.864	-20619.644	41.273
966	9区	22-R	V	チャート		有	51.7	33.4	19.5	33.1			-26073.99	-20619.59	41.271
967	9区	22-R	V	チャート		有	46.1	27.3	23.0	25.0			-26073.818	-20619.396	41.187
968	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	59.4	38.9	24.3	88.9		接40	-26073.498	-20619.506	41.277
969	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	48.7	21.8	11.2	16.3			-26073.148	-20618.777	41.196
970	9区	22-R	V	チャート		有	15.8	13.8	10.8	9.1			-26073.228	-20618.854	41.181
971	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	63.0	50.4	46.7	164.8			-26073.312	-20618.809	41.28
972	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	50.2	18.8	16.5	22.1		接36	-26073.365	-20618.888	41.206
973	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	108.6	77.1	52.7	485	割れ3点		-26073.443	-20618.57	41.297
974	9区	22-R	V	チャート		有	49.2	20.1	20.0	36.4		接101	-26073.768	-20619.304	41.257
975	9区	22-R	V	チャート		有	33.1	17.9	14.3	8.7			-26073.815	-20619.312	41.257
976	9区	22-R	V	チャート		有	32.1	18.3	17.5	10.1			-26074.036	-20619.656	41.248
977	9区	22-R	V	珪質頁岩		有	52.1	32.0	15.1	30.7		接99	-26073.927	-20619.361	41.227
978	9区	22-R	V	チャート		有	19.6	14.4	5.6	1.9		接54	-26074.005	-20619.453	41.266
979	9区	22-R	V	砂岩		有	46.4	45.5	30.6	38.2		接70	-26074.045	-20619.371	41.264
980	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	30.9	17.4	12.9	6.6			-26074.106	-20619.962	41.153
981-1	9区	22-R	V	チャート		有	46.7	23.2	17.7	24.8		接46	-26074.337	-20619.636	41.262
981-2	9区	22-R	V	チャート		有	36.1	30.6	10.6	14.3		接54	-26074.337	-20619.636	41.262
982	9区	22-R	V	チャート		有	41.2	34.9	21.7	26.0			-26074.413	-20619.637	41.354
983	9区	22-R	V	チャート		有	38.5	29.8	24.4	23.0			-26074.406	-20619.799	41.306
984	9区	21-R	V	チャート		有	63.5	36.4	13.3	43.6			-26074.843	-20620.083	41.223
985	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	46.4	38.4	26.9	33.5			-26074.632	-20619.783	41.253
986	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	48.3	33.0	30.6	62.3			-26074.603	-20619.793	41.236
987	9区	22-R	V	チャート		有	38.5	24.5	19.3	14.3			-26074.597	-20619.738	41.245
988	9区														

第9表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表 (5)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
999	9区	22-R	V	チャート	有		37.3	21.5	14.9	12.2		-26074.487	20619.563	41.24	
1000	9区	22-R	V	チャート	有		61.1	29.2	25.6	58.4	接21	-26074.371	20619.611	41.279	
1001	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		73.4	69.3	53.6	234.4		-26074.983	20619.737	41.258	
1002	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		45.2	32.8	14.3	23.0		-26074.92	20619.71	41.251	
1003	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		46.5	34.1	26.2	47.1		-26074.411	20619.525	41.3	
1004	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	65.7	32.2	25.5	55.6	接40	-26074.403	20619.48	41.289	
1005	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	40.7	32.8	13.5	14.4		-26074.411	20619.367	41.271	
1006	9区	22-R	V	チャート	有		32.9	30.3	14.4	64.7		-26074.303	20619.484	41.272	
1007	9区	22-R	V	チャート	有		36.4	19.1	15.0	13.1		-26074.265	20619.496	41.298	
1008	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	47.9	29.5	12.6	20.2		-26074.223	20619.384	41.268	
1009	9区	22-R	V	チャート	有		60.6	40.8	21.5	81.5	接22	-26074.103	20619.326	41.242	
1010	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	54.7	40.2	28.6	58.1	接61	-26074.075	20619.347	41.239	
1011	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		83.7	45.0	36.8	138.3	接99	-26073.991	20619.287	41.232	
1012	9区	22-R	V	チャート	有		65.3	56.8	23.4	108.9		-26073.898	20619.201	41.292	
1013	9区	22-R	V	チャート	有		45.1	29.0	13.6	25.7		-26073.863	20619.19	41.286	
1014	9区	22-R	V	チャート	有		54.8	36.3	31.8	79.7		-26074.013	20619.252	41.238	
1015	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		111.8	81.2	50.4	549.5		-26073.753	20619.091	41.254	
1016	9区	22-R	V	チャート	有		45.0	35.0	24.0	33.6		-26073.669	20619.073	41.312	
1017	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	88.3	38.9	36.8	141.4	接65	-26073.702	20619.04	41.301	
1018	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	84.0	74.5	27.4	164.1	接31	-26073.577	20618.926	41.249	
1019	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	74.5	65.8	35.3	158.7	接65	-26073.685	20618.955	41.258	
1020	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	67.0	32.1	18.1	44.4	接17	-26073.811	20619.05	41.288	
1021	9区	22-Q	V	チャート	有		62.5	40.6	21.2	55.1		-26075.771	20618.02	41.264	
1022	9区	22-Q	V	チャート	有		72.2	52.9	27.5	100.7		-26075.761	20617.968	41.268	
1023	9区	22-Q	V	砂岩	焼・煤	有	74.6	32.7	30.5	88.3	接59	-26075.749	20617.842	41.266	
1024	9区	22-Q	V	砂岩	焼・煤	有	125.1	64.8	46.5	406		-26075.71	20618.096	41.261	
1025	9区	22-Q	V	砂岩	焼・煤	無	65.8	50.1	23.2	111.5		-26075.734	20617.778	41.268	
1026	9区	22-Q	V	チャート	有		98.5	55.4	42.1	282.5		-26075.611	20617.877	41.272	
1027	9区	22-Q	V	チャート	無		92.6	54.0	47.8	292.8		-26075.108	20618.129	41.264	
1028	9区	22-Q	V	チャート	有		71.7	47.7	22.9	79.5	接58	-26075.053	20618.153	41.28	
1029	9区	22-R	V	チャート	有		51.0	34.1	16.4	29.7		-26074.8	20618.108	41.283	
1030	9区	22-R	V	チャート	有		52.2	40.5	32.9	41.3	接32	-26074.544	20618.348	41.268	
1031	9区	22-R	V	凝灰岩	焼	有	67.5	48.8	36.9	122.0		-26074.417	20618.515	41.254	
1032	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		59.4	36.3	35.0	73.8		-26074.134	20618.194	41.283	
1033	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		57.8	23.9	18.0	24.5		-26074.417	20618.625	41.304	
1034	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		61.8	48.9	37.9	112.7		-26074.442	20618.765	41.245	
1035	9区	22-R	V	チャート	有		67.4	44.9	19.8	65.2		-26074.612	20618.778	41.242	
1036	9区	22-R	V	チャート	有		65.5	36.7	24.0	64.8	接32	-26074.672	20618.857	41.272	
1037	9区	22-R	V	チャート	有		51.4	27.0	25.9	37.2	接46	-26074.627	20618.916	41.279	
1038	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	41.6	30.5	12.6	18.5	接29	-26074.824	20618.885	41.27	
1039	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	33.6	32.0	13.1	13.5	接42	-26074.927	20618.95	41.277	
1040	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	136.9	74.2	41.1	496.0	接50	-26074.953	20619.007	41.243	
1041	9区	22-Q	V	砂岩	有		102.4	72.9	33.0	301.0		-26075.176	20619.025	41.265	
1042	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	55.1	32.9	28.1	65.1	接27	-26075.223	20619.015	41.274	
1043	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	73.9	50.7	35.5	126.9	接48	-26075.328	20619.018	41.243	
1044	9区	22-Q	V	凝灰岩	焼	有	113.3	47.5	43.4	363.0		-26075.266	20619.084	41.249	
1045	9区	22-Q	V	チャート	有		82.7	70.7	38.2	301.0	接46	-26075.201	20619.283	41.238	
1046A	9区	22-Q	V	チャート	有		68.0	64.6	29.7	234.9	接46	-26075.221	20619.262	41.228	
1046B	9区	22-Q	V	チャート	有		99.2	65.1	42.3	293.6	接46	-26075.275	20619.297	41.272	
1047	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	52.0	28.0	16.9	36.7	接33	-26074.073	20618.467	41.277	
1048	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	61.0	39.4	26.9	102.1	接33	-26074.053	20618.497	41.272	
1049	9区	22-R	V	ホルンフェルス	有		86.2	37.8	18.5	75.6	接63	-26073.858	20618.477	41.267	
1050	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	51.0	40.9	35.8	65.8	接102	-26074.104	20618.584	41.263	
1051	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	66.5	25.7	18.8	65.7		-26074.226	20618.69	41.255	
1052	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	54.8	35.7	33.4	61.1		-26074.051	20618.661	41.262	
1053	9区	22-R	V	チャート	有		62.7	34.6	30.5	123.7		-26074.402	20618.859	41.254	
1054	9区	22-R	V	チャート	有		65.4	38.0	31.6	104.4		-26074.711	20619.026	41.26	
1055	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		92.5	83.0	66.5	460.0		-26074.838	20619.068	41.239	
1056	9区	22-R	V	チャート	焼・煤	有	87.9	56.1	31.7	177.0	接68	-26074.957	20619.065	41.25	
1057	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	98.2	65.8	30.3	243.5	接29	-26074.861	20619.109	41.237	
1059	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	70.4	37.7	31.4	87.6	接42	-26074.574	20619.015	41.256	
1060	9区	22-R	V	チャート	有		43.3	36.9	17.0	21.7		-26074.434	20618.976	41.279	
1061	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	73.4	49.4	44.1	129.1		-26074.429	20618.941	41.252	
1062	9区	22-R	V	砂岩	有		77.6	44.2	39.9	156.0	接28	-26074.029	20618.435	41.237	
1063	9区	22-R	V	チャート	有		83.0	65.1	57.6	302.0		-26073.992	20618.636	41.239	
1064	9区	22-R	V	チャート	有		118.1	70.6	47.9	473.0		-26073.877	20618.622	41.245	
1065	9区	22-R	V	砂岩	有		49.7	40.3	27.7	40.5	接52	-26074.245	20618.851	41.277	
1066	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	57.5	38.3	27.4	61.5		-26073.756	20618.7	41.265	
1067	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		87.5	54.0	48.2	175.9	接43	-26073.934	20618.755	41.268	
1068	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	58.0	25.6	16.0	23.0	接36	-26073.768	20618.772	41.263	
1069	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	66.6	51.7	40.8	118.3	接16	-26073.762	20618.817	41.249	
1070	9区	22-R	V	珪質頁岩	有		156.7	107.5	45.3	1218.0	接43	-26073.86	20618.78	41.257	
1071	9区	22-R	V	チャート	有		63.9	54.0	49.8	146.9		-26073.646	20618.769	41.266	
1072	9区	22-R	V	ホルンフェルス	有		125.5	63.5	26.9	202.7		-26073.722	20618.884	41.281	
1073	9区	22-R	V	砂岩	有		61.5	50.9	22.7	63.7	接45	-26073.793	20618.937	41.293	
1074	9区	22-R	V	チャート	有		52.1	20.6	20.1	24.1		-26073.878	20618.881	41.278	
1075	9区	22-R	V	チャート	有		132.1	94.1	67.4	937.0	接67	-26073.858	20618.943	41.256	
1076	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	59.8	44.8	8.3	26.9		-26073.891	20618.992	41.268	
1077	9区	22-R	V	砂岩	有		49.2	46.2	12.4	27.3		-26073.888	20619.03	41.278	
1078	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	91.0	53.1	44.1	207.8	接17	-26073.877	20619.103	41.261	
1079	9区	22-R	V	チャート	有		70.2	43.0	38.						

第10表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表 (6)

番号	調査区	グリッド	肩位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
1090	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	67.9	32.7	24.7	53.5		-26074.097	20618.918	41.258	
1091	9区	22-R	V	砂岩		有	81.2	46.0	30.1	115.0	接 104	-26074.116	20619.064	41.249	
1092	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	63.9	43.0	27.7	58.5	接 48	-26074.255	20619.051	41.268	
1093	9区	22-R	V	砂岩		有	38.6	20.0	7.4	4.7		-26074.292	20619.016	41.296	
1094	9区	22-R	V	ホルンフェルス	焼・煤	有	109.1	67.2	35.6	241.7		-26074.148	20619.281	41.246	
1095	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	61.5	58.9	23.0	70.3		-26074.227	20619.078	41.269	
1096	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	61.3	37.5	28.7	28.1	接 30	-26074.321	20619.125	41.238	
1097	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	67.7	39.4	26.4	73.6		-26074.289	20619.089	41.279	
1098	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	62.1	44.2	22.5	66.0	接 52	-26074.377	20619.093	41.286	
1099	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	84.4	40.5	23.4	88.2		-26074.32	20619.009	41.243	
1100	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	51.7	33.4	11.2	25.9		-26074.471	20619.085	41.272	
1101	9区	22-R	V	チャート		有	52.8	45.2	30.9	61.2		-26074.46	20619.217	41.256	
1102	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	43.2	29.1	27.4	38.5	接 61	-26074.492	20619.223	41.236	
1103-1	9区	22-R	V	チャート		有	71.7	52.1	30.3	106.1		-26074.641	20619.138	41.258	
1103-2	9区	22-R	V	チャート		有	59.5	41.6	29.7	80.5	接 57	-26074.641	20619.138	41.258	
1104	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	45.3	36.3	20.5	32.9	接 60	-26074.711	20619.222	41.261	
1105	9区	22-R	V	チャート		有	85.7	38.7	23.4	138.7	接 34	-26074.781	20619.184	41.263	
1106	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	116.6	88.4	43.3	430.5		-26074.859	20619.242	41.227	
1107	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	58.8	30.3	29.1	58.4		-26074.818	20619.322	41.262	
1108	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	51.5	35.2	30.5	48.9		-26074.74	20619.286	41.261	
1109	9区	22-Q	V	砂岩	焼・煤	有	92.1	54.5	34.3	185.2	接 64	-26075.093	20619.283	41.242	
1110	9区	22-Q	V	チャート		有	92.3	46.9	34.4	205.0		-26075.01	20619.319	41.24	
1111	9区	22-Q	V	チャート		有	74.3	51.4	38.1	178.2		-26075.043	20619.353	41.272	
1112	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	51.4	33.3	27.3	66.1	接 60	-26074.96	20619.34	41.242	
1113	9区	22-Q	V	チャート		有	68.3	62.8	41.4	117.2	接 32	-26075.112	20619.403	41.244	
1114	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	60.7	47.9	25.8	77.0	接 48	-26074.935	20619.388	41.292	
1115	9区	22-R	V	チャート		有	81.6	38.8	24.0	85.2		-26074.963	20619.397	41.299	
1116	9区	22-Q	V	チャート		有	79.6	34.6	33.3	150.0	接 51	-26075.04	20619.447	41.291	
1117	9区	22-R	V	チャート		有	43.8	33.2	27.6	49.0	接 66	-26075	20619.539	41.319	
1118	9区	22-R	V	砂岩		有	40.8	37.5	21.0	40.6	接 28	-26074.867	20619.393	41.292	
1119	9区	22-R	V	珪質頁岩		有	98.4	61.9	40.3	261.5		-26074.826	20619.462	41.278	
1120	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	95.1	47.3	42.5	201.6		-26074.731	20619.357	41.25	
1121	9区	22-R	V	斑レイ岩		有	96.7	44.9	26.2	140.5	表面が著しく風化	-26074.691	20619.341	41.254	
1122	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	65.1	45.4	37.2	107.4		-26074.678	20619.323	41.256	
1123	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	71.2	61.6	28.0	85.1	接 59	-26075.029	20619.61	41.306	
1124	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	54.3	46.6	24.6	71.4	接 44	-26074.911	20619.541	41.295	
1125	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	73.8	26.0	22.4	76.3	接 62	-26074.619	20619.546	41.288	
1126	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	40.0	21.5	19.0	19.7		-26074.604	20619.507	41.275	
1127	9区	22-R	V	チャート		有	95.2	50.9	43.8	234.6		-26074.677	20619.469	41.258	
1128	9区	22-R	V	チャート		有	80.8	57.4	47.3	283.9		-26074.691	20619.511	41.261	
1129	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	53.3	49.0	20.4	40.5	接 70	-26074.749	20619.492	41.3	
1130	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	73.3	42.1	27.8	95.4	接 62	-26074.766	20619.552	41.307	
1131	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	69.2	46.4	25.5	96.8		-26074.747	20619.549	41.284	
1132	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	76.6	66.4	55.9	316.5	接 49	-26074.801	20619.609	41.251	
1133	9区	22-R	V	チャート		有	38.5	30.0	23.5	28.5		-26074.822	20619.638	41.286	
1134	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	39.5	34.0	21.4	20.5		-26074.845	20619.669	41.284	
1135	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	96.4	20.3	16.4	50.2	接 62	-26074.854	20619.651	41.286	
1136	9区	22-R	V	チャート		有	78.6	45.5	39.9	148.9		-26073.722	20619.034	41.255	
1137	9区	22-R	V	チャート		有	39.3	36.0	26.9	24.4		-26073.681	20619.067	41.245	
1138	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	63.0	49.5	31.9	57.5	接 45	-26073.785	20618.928	41.275	
1139	9区	22-R	V	チャート		有	48.2	27.1	21.4	19.6		-26073.737	20618.769	41.242	
1140	9区	22-R	V	チャート		有	37.9	22.2	13.6	12.0		-26073.848	20618.755	41.259	
1141	9区	22-R	V	チャート		有	46.8	35.5	19.6	26.4	接 25	-26073.919	20618.656	41.245	
1142	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	29.2	21.4	11.9	6.5		-26073.84	20618.727	41.266	
1143	9区	22-R	V	チャート		有	22.6	12.8	11.7	4.8		-26073.861	20618.646	41.261	
1144	9区	22-R	V	チャート		有	61.7	34.2	18.4	46.6	接 23	-26073.842	20618.675	41.259	
1145	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	90.1	65.0	44.9	329		-26073.875	20618.718	41.24	
1146	9区	22-R	V	チャート		有	59.6	32.3	13.3	34.0		-26073.914	20618.709	41.254	
1147	9区	22-R	V	チャート		有	40.1	25.0	16.3	14.0		-26074.019	20618.489	41.252	
1148	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	37.7	20.7	8.4	8.0		-26074.105	20618.364	41.257	
1149	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	62.6	44.7	22.2	42.7	接 31	-26074.216	20618.674	41.244	
1150	9区	22-R	V	チャート		有	21.2	13.0	12.8	4.2		-26074.351	20618.592	41.236	
1151	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	55.6	25.0	14.3	21.7		-26074.449	20618.622	41.262	
1152	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	111	58.6	29.4	162.5		-26074.391	20618.954	41.253	
1153	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	73.8	44.4	20.6	63.0	接 41	-26074.428	20619.058	41.271	
1154	9区	22-R	V	砂岩		有	40.7	30.0	9.9	8.5		-26074.151	20619.027	41.226	
1155	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	72.4	42.8	14.5	48.2		-26073.91	20619.006	41.265	
1156	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	41.9	31.4	30.0	33.8	接 59	-26074.035	20619.143	41.26	
1157	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	41.1	30.6	17.9	11.6		-26074.008	20619.169	41.259	
1158	9区	22-R	V	チャート		有	83.2	69.1	45.4	249.7		-26073.964	20619.194	41.241	
1159	9区	22-R	V	砂岩		有	72.3	39.7	27.6	56.0		-26073.938	20619.168	41.245	
1160	9区	22-R	V	チャート		有	46.6	35.0	19.6	37.0	接 25	-26073.935	20619.076	41.269	
1162	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	48.0	34.1	12.8	30.1	接 60	-26074.341	20619.303	41.228	
1163	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	78.6	39.9	26.8	103.8		-26074.679	20619.089	41.262	
1164	9区	22-R	V	チャート		有	55.2	30.9	24.3	37.5		-26074.705	20619.114	41.238	
1165	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	43.4	30.2	17.3	22.0		-26074.766	20619.128	41.245	
1166	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	48.9	14.3	14.1	10.8		-26074.432	20618.999	41.19	
1167	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	46.8	29.0	19.3	23.5		-26074.636	20618.95	41.196	
1168	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	49.4	28.9	16.1	26.7		-26074.843	20618.945	41.244	
1169	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	47.8	25.7	25.1	24.7	接 50	-26074.886	20618.78	41.227	
1170	9区	22-Q	V	チャート		有									

第11表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表(7)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
1182	9区	22-Q	V	チャート		有	58.6	50.2	21.4	66.9		26075.138	-20619.357	41.256	
1183	9区	22-Q	V	チャート		有	29.2	21.5	10.9	5.3		26075.161	-20619.349	41.273	
1184	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	75.4	48.3	32.7	178.7		26075.012	-20619.375	41.243	
1185	9区	22-R	V	砂岩		有	70.7	50.6	41.7	111.4		26074.968	-20619.426	41.262	
1186	9区	22-Q	V	砂岩		有	46.1	29.5	19.3	20.6		26075.027	-20619.415	41.261	
1187	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	75.5	68.0	50.6	222.0		26075.07	-20619.444	41.265	
1188	9区	22-Q	V	砂岩		有	34.6	30.3	19.4	14.4		26075.02	-20619.497	41.323	
1189	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	92.0	63.3	48.5	222.0	接47	26074.973	-20619.474	41.248	
1190	9区	22-R	V	チャート		有	75.4	43.0	28.9	118.3		26074.929	-20619.437	41.264	
1191	9区	22-R	V	チャート		有	94.8	65.4	42.3	232.6		26074.888	-20619.573	41.26	
1192	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	70.7	60.5	44.4	193.5		26074.841	-20619.539	41.271	
1193	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	97.5	55.5	38.0	222.9		26074.767	-20619.539	41.248	
1194	9区	22-R	V	チャート		有	41.5	37.5	27.8	42.3		26074.716	-20619.462	41.231	
1195	9区	22-R	V	ホルンフェルス	焼	有	69.0	46.7	33.4	81.5		26074.767	-20619.605	41.259	
1196	9区	22-R	V	チャート		無	78.5	45.6	45.0	213.5		26074.75	-20619.581	41.244	
1197	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	60.5	46.2	19.1	44.9	接53	26074.848	-20619.632	41.257	
1198	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	93.6	59.7	53.9	324.5		26074.986	-20619.636	41.241	
1199	9区	22-R	V	チャート		有	54.3	35.7	21.7	59.2	接22	26074.72	-20619.725	41.246	
1200	9区	22-R	V	チャート		有	62.7	39.5	23.0	69.4		26074.698	-20619.702	41.241	
1201	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	47.0	33.1	33.1	47.8	接52	26074.603	-20619.817	41.225	
1202	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	49.9	28.2	26.6	59.1	接52	26074.629	-20619.803	41.227	
1203	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	65.6	43.0	41.5	102.3		26074.675	-20619.854	41.252	
1204	9区	22-R	V	チャート		有	106.7	56.8	44.6	288.0	接19	26074.739	-20619.835	41.234	
1205	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	84.5	65.9	50.7	247.4		26074.824	-20619.834	41.261	
1206	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	71.7	39.7	35.3	126.5		26074.901	-20619.827	41.247	
1207	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	69.0	56.2	26.5	107.6	接18	26074.936	-20619.803	41.246	
1208	9区	22-R	V	チャート		有	24.1			7.2		26073.403	-20618.887	41.088	
1209	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	51.9	21.0	11.1	14.9		26073.93	-20619.094	41.257	
1210	9区	22-R	V	チャート		有	69.1	48.1	14.6	64.9	接35	26074.389	-20619.037	41.246	
1211	9区	22-R	V	チャート		有	38.8	29.6	12.9	18.2	接57	26074.383	-20619.274	41.159	
1212	9区	22-Q	V	ホルンフェルス	焼	有	101.6	74.0	33.2	232.6		26075.165	-20619.35	41.235	
1213	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	55.8	46.4	22.6	67.1		26075.075	-20619.387	41.22	
1214	9区	22-Q	V	チャート		有	47.0	31.9	26.1	36.1		26075.001	-20619.449	41.246	
1215	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	48.7	39.6	34.4	139.1	取り上げ後に割れ		26075.041	-20619.457	41.241
1216	9区	22-Q	V	砂岩	焼・煤	有	70.4	39.3	25.6	103.1	接59	26075.028	-20619.5	41.261	
1217	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	44.1	18.4	16.0	15.4	接59	26074.98	-20619.469	41.236	
1218	9区	22-R	V	砂岩	焼・煤	有	59.3	42.2	19.5	66.1	接59	26074.967	-20619.525	41.265	
1219	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	77.3	62.2	42.7	154.2	接20	26075.029	-20619.539	41.269	
1220	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	83.0	64.9	50.4	208.9		26075.098	-20619.501	41.247	
1221	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	77.0	55.7	40.5	155.1	接20	26075.056	-20619.57	41.252	
1222	9区	22-R	V	チャート		有	34.9	20.6	17.8	16.1		26074.954	-20619.668	41.198	
1223	9区	22-R	V	チャート		有	39.2	31.8	13.7	14.4		26074.817	-20619.608	41.257	
1224	9区	22-R	V	チャート		有	44.8	29.3	15.8	23.9	接57	26074.842	-20619.643	41.203	
1225	9区	22-Q	V	チャート		有	72.2	40.0	12.8	40.1		26075.004	-20619.703	41.262	
1226	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	55.6	24.0	15.7	25.1	接26	26074.704	-20619.82	41.194	
1227	9区	22-R	V	チャート		有	67.1	34.4	23.1	49.4	接19	26074.751	-20619.83	41.211	
1228	9区	22-R	V	チャート		有	46.9	32.2	31.8	51.9		26074.824	-20619.848	41.238	
1229	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	60.3	49.5	24.6	71.3		26074.838	-20619.959	41.177	
1230	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	63.4	37.8	16.6	46.4	接53	26074.765	-20619.949	41.114	
1231	9区	22-R	V	チャート		有	71.2	58.4	52.8	241.3		26074.874	-20619.474	41.079	
1232	9区	22-R	V	ホルンフェルス		有	45.8	34.1	30.3	42.6	接60	26074.789	-20619.135	41.11	
1233	9区	22-R	V	チャート		有	27.7			6.6		26073.847	-20618.579	41.029	
1234	9区	22-Q	V	砂岩	焼	有	105.7	50.5	34.0	167.3		26075.051	-20619.676	41.266	
1235	9区	22-R	V	砂岩	焼	有	57.9	23.1	22.2	21.5	接61	26074.981	-20619.779	41.207	
1236	9区	22-Q	V	チャート		有	61.0	39.3	36.8	141.2		26075.041	-20619.734	41.243	
1237	9区	22-Q	V	チャート		有	67.3	43.3	35.2	117.1	接35	26075.024	-20619.8	41.251	
3号遺物集中(SBL3)															
1	10区	24-Q	V	チャート		有	27.6	16.7	12.8	6.4		26079.963	-20608.692	41.298	
2	10区	24-P	V	珪質頁岩		有	66.7	46.5	29.3	103.4		26080.293	-20608.34	41.342	
3	10区	24-Q	V	ホルンフェルス		有	98.3	44.2	43.6	140.5		26079.392	-20608.309	41.336	
4	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	36.8	25.7	18.4	12.4		26080.624	-20607.617	41.423	
5	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	40.0	19.7	16.8	11.3		26080.641	-20607.545	41.392	
6	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	53.6	47.0	28.1	47.1	接78	26080.454	-20607.375	41.381	
7	10区	24-P	IV	チャート		有	31.7	20.1	15.4	10.3		26080.476	-20607.36	41.383	
8	10区	24-P	IV	砂岩	焼・煤	有	63.4	27.6	11.7	29.7	接77	26080.568	-20607.29	41.472	
9	10区	24-P	IV	チャート		有	24.0	17.4	7.2	2.3		26080.695	-20607.332	41.363	
10	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	46.0	33.6	18.3	27.8		26080.722	-20607.176	41.435	
11	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	55.5	38.5	33.4	59.6	接78	26080.578	-20607.13	41.389	
12	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	74.9	45.8	34.3	104.5	接78	26080.549	-20607.095	41.361	
13	10区	24-P	IV	チャート		有	61.6	28.0	24.1	60.3	接73	26080.448	-20607.085	41.366	
14	10区	24-P	IV	チャート		有	24.2	17.3	4.4	3.1		26080.655	-20607.027	41.572	
15	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	54.7	21.3	18.0	22.4		26080.588	-20606.829	41.551	
16	10区	24-P	IV	チャート		有	39.2	29.6	9.4	22.4	接85	26080.896	-20606.933	41.561	
17	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	64.5	43.5	32.7	66.6		26080.759	-20607.031	41.365	
18	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	77.3	43.7	29.4	78.0	接79	26080.521	-20607.005	41.375	
19	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	33.9	24.2	16.8	8.7		26080.492	-20606.909	41.399	
20	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	59.4	40.3	20.4	3.09	接75	26080.551	-20606.843	41.451	
21	10区	24-P	IV	砂岩	焼・煤	有	49.1	28.0	21.6	19.3		26080.243	-20606.861	41.544	
22	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	25.9	22.6	12.4	5.8	接74	26080.118	-20606.883	41.479	
23	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	46.8	36.4	18.1	33.0	接96	26080.284	-20606.916	41.488	
24	10区	24-P	IV	砂岩		有	46.4	38.0	23.1	31.9	接95	26080.266	-20606.974		

第12表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表(8)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
34	10区	24-Q	IV	チャート	有		40.6	29.6	10.4	15.1		-26079.485	20606.777	41.389	
35	10区	24-Q	IV	砂岩	焼	有	38.1	28.6	16.7	14.6		-26079.565	20606.626	41.493	
36	10区	24-Q	IV	チャート	有		43.4	41.8	20.6	28.6		-26079.673	20606.62	41.379	
37	10区	24-Q	IV	チャート	有		38.9	23.8	18.7	14.2		-26079.904	20606.647	41.499	
38	10区	24-Q	IV	チャート	有		55.7	32.5	21.1	43.9		-26079.79	20606.61	41.36	
39	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	78.5	37.4	16.4	39.1		-26080.006	20606.734	41.378	
40	10区	24-Q	IV	砂岩	焼	有	42.1	23.0	10.2	12.8		-26079.909	20606.696	41.456	
41	10区	24-Q	IV	砂岩	無		139.6	106.2	98.0	1289.5		-26079.874	20606.657	41.355	
42	10区	24-P	IV	チャート	有		30.5	22.2	15.3	11.4		-26080.05	20606.604	41.381	
43	10区	24-P	IV	珪質頁岩	有		48.3	34.6	26.1	30.2		-26080.144	20606.676	41.434	
44	10区	24-P	IV	チャート	有		42.8	30.3	26.7	37.4		-26080.208	20606.355	41.604	
45	10区	24-P	IV	チャート	有		27.7	17.7	12.4	8.6		-26080.381	20606.481	41.632	
46	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	44.6	36.4	22.6	26.8		-26080.437	20606.563	41.571	
47	10区	24-P	IV	砂岩	有		34.5	16.0	10.1	6.8		-26080.327	20606.367	41.559	
48	10区	24-P	IV	チャート	有		41.7	26.6	15.4	19.4		-26080.544	20606.321	41.568	
49	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	51.0	25.6	14.8	23.9		-26080.017	20606.442	41.537	
50	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	37.1	35.8	14.6	18.6		-26080.864	20606.046	41.536	
51	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	52.4	30.1	24.5	29.4		-26080.199	20606.054	41.564	
52	10区	24-P	IV	チャート	有		26.8	18.2	11.5	8.7		-26080.036	20606.172	41.536	
53	10区	24-Q	IV	チャート	有		25.2	12.6	7.3	2.5		-26079.988	20606.149	41.527	
54	10区	24-P	IV	チャート	有		43.5	29.2	14.0	22.7		-26080.504	20605.998	41.428	
55	10区	24-P	IV	珪質頁岩	有		39.5	22.5	18.8	21.2		-26080.804	20606.132	41.475	
56	10区	24-P	IV	砂岩	焼・煤	有	52.5	43.1	10.5	26.7		-26081.07	20606.064	41.449	
57	10区	24-P	IV	珪質頁岩	有		30.8	22.3	9.0	8.1		-26081.039	20606.079	41.463	
58	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	31.0	23.5	16.1	8.6		-26080.705	20606.188	41.398	
59	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	49.6	30.8	18.0	27.0		-26080.784	20606.387	41.38	
60	10区	24-P	IV	チャート	有		23.5	21.6	7.5	3.3		-26080.556	20606.472	41.495	
61	10区	24-P	IV	チャート	有		26.8	13.1	11.2	4.5		-26080.826	20606.505	41.447	
62	10区	24-P	IV	チャート	有		23.9	16.2	6.7	3.8		-26080.522	20606.613	41.477	
63	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	56.1	39.7	16.2	24.7		-26080.618	20606.732	41.491	
64	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	53.4	26.1	23.0	27.8		-26080.693	20606.737	41.465	
65	10区	24-P	IV	砂岩	有		41.5	19.8	15.9	17.8		-26080.685	20606.672	41.414	
66	10区	24-P	IV	砂岩	有		64.3	60.3	14.8	51.5		-26080.455	20606.681	41.401	
67	10区	24-P	IV	珪質頁岩	有		47.6	30.5	12.7	17.8		-26080.316	20606.664	41.436	
68	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	40.4	34.6	27.4	22.4		-26080.251	20606.703	41.462	
69	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	54.7	36.5	24.4	41.0		-26080.19	20606.603	41.451	
70	10区	24-P	IV	チャート	有		62.8	24.9	22.5	36.5		-26080.177	20606.587	41.412	
71	10区	24-P	IV	砂岩	有		49.1	43.0	19.8	43.7		-26080.036	20606.473	41.391	
72	10区	24-Q	IV	チャート	有		76.0	34.1	16.5	51.0		-26079.993	20606.491	41.385	
73	10区	24-P	IV	チャート	有		46.2	25.0	22.8	26.2		-26080.85	20606.748	41.372	
74	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	43.6	25.4	20.5	17.9		-26080.349	20606.823	41.334	
75	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	52.9	38.7	33.9	72.9		-26080.996	20606.824	41.393	
76	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	53.4	31.6	20.2	29.5		-26081.041	20606.293	41.32	
77	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	60.5	21.9	15.8	15.7		-26080.726	20606.456	41.342	
78	10区	24-P	V	チャート	有		40.6	26.2	16.9	20.5		-26080.86	20606.695	41.357	
79	10区	24-P	V	砂岩	焼・煤	有	75.1	36.9	25.8	76.5		-26080.77	20606.682	41.346	
80	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	50.6	35.6	14.6	24.1		-26081.036	20606.657	41.398	
81	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	42.1	29.5	25.8	23.2		-26080.958	20606.779	41.36	
82	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	71.8	28.9	21.3	63.0		-26080.901	20606.821	41.362	
83	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	53.5	22.9	11.6	14.0		-26081.022	20606.77	41.39	
84	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	55.0	34.0	13.2	20.3		-26080.823	20606.809	41.375	
85	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	48.4	41.7	29.5	49.3		-26080.819	20606.907	41.356	
86	10区	24-P	V	チャート	有		74.0	63.4	41.5	177.9		-26080.786	20606.806	41.358	
87	10区	24-Q	V	砂岩	有		46.7	25.2	15.1	16.3		-26079.896	20606.762	41.331	
88	10区	24-Q	V	チャート	有		51.5	48.4	19.9	44.7		-26079.856	20606.738	41.321	
89	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	53.2	39.4	30.4	71.2		-26080.087	20606.867	41.344	
90	10区	24-P	V	砂岩	有		110	74.2	20.7	239.5		-26080.107	20606.471	41.379	
91	10区	24-Q	V	チャート	有		76.7	37.0	26.8	111.0		-26079.947	20606.356	41.36	
92	10区	24-P	V	チャート	無		101	52.7	45.6	435.0		-26080.215	20605.836	41.343	
93	10区	24-P	V	チャート	有		102.9	69.5	50.3	442.0		-26080.21	20605.886	41.347	
94	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	92.6	41.6	29.5	121.4		-26080.756	20606.508	41.349	
95	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	41.3	36.1	14.2	20.4		-26080.335	20606.281	41.363	
96	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	93.4	55.5	50.6	355.0		-26080.914	20606.453	41.342	
97	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	59.6	50.5	23.2	62.4		-26080.291	20605.261	41.345	
98	10区	24-Q	IV	珪質頁岩	有		57.6	36.0	35.9	67.4		-26079.583	20606.651	41.388	
99	10区	24-Q	IV	チャート	有		38.0	33.8	21.4	24.1		-26079.491	20606.854	41.371	
100	10区	24-Q	IV	砂岩	焼	有	27.2	21.8	18.8	6.1		-26079.771	20606.931	41.436	
101	10区	24-Q	IV	チャート	有		44.6	35.5	24.2	28.0		-26079.798	20606.959	41.416	
102	10区	24-Q	IV	砂岩	焼	有	38.5	27.2	20.2	18.2		-26079.904	20607.07	41.476	
103	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	52.0	24.1	19.4	22.9		-26080.272	20607.011	41.362	
104	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	50.1	46.6	21.7	45.2		-26080.245	20606.843	41.407	
105	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	60.7	41.5	32.8	63.3		-26080.287	20606.74	41.383	
106	10区	24-P	IV	チャート	有		33.9	29.4	13.8	16.7		-26080.469	20606.994	41.376	
107	10区	24-P	IV	チャート	有		74.9	61.0	45.7	234.5		-26080.579	20607.013	41.346	
108	10区	24-P	IV	チャート	有		68.8	45.1	37.1	118.7		-26080.615	20606.933	41.35	
109	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	46.7	40.6	17.5	27.2		-26080.641	20607.21	41.388	
110	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	63.2	42.0	31.5	81.2		-26080.697	20607.208	41.375	
111	10区	24-P	IV	砂岩	有		65.4	26.5	13.6	39.4		-26080.674	20607.13	41.364	
112	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	59.2	48.5	36.7	84.4		-26080.704	20607.044	41.362	
113	10区	24-P	IV	砂岩	有		68.1	33.9	31.7	68.8		-26080.287	20606.74	41.383	
114	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	52.5	29.1	21.1	36.8		-26080.209	20606.694	41.382	
115	10区	24-P	IV	チャート	有		59.5	35.3	23.1	55.7		-26080.171	20606.677	41.346	

第13表 旧石器時代遺物集中出土礫一覧表(9)

番号	調査区	グリッド	層位	石材	被熱	割れ	長	幅	厚	重量	備考	接合番号	X	Y	Z
126	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	54.4	21.9	9.7	15.8		接80	-26080.632	-20606.733	41.398
127	10区	24-P	IV	チャート		有	33.6	26.5	21.2	16.2		接82	-26080.673	-20606.738	41.385
128	10区	24-P	IV	チャート		有	66.2	45.7	30.3	107.8		接84	-26080.484	-20606.59	41.387
129	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	45.3	23.6	15.1	18.7		接75	-26080.338	-20606.521	41.402
130	10区	24-P	IV	チャート		有	68.4	50.1	29.0	91.4			-26080.347	-20606.489	41.352
131	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	43.8	37.6	16.2	18.7		接74	-26080.109	-20606.147	41.387
132	10区	24-P	IV	チャート		有	63.1	29.2	25.6	55.9		接83	-26080.258	-20606.375	41.433
133	10区	24-P	IV	チャート		有	33.6	17.2	14.7	6.0		接87	-26080.325	-20606.363	41.439
134	10区	24-P	IV	チャート		有	71.1	39.8	32.7	86.2			-26080.32	-20606.46	41.356
135	10区	24-P	IV	チャート		有	84.7	74.7	59.7	328		接83	-26080.349	-20606.412	41.355
136	10区	24-P	IV	チャート		有	72.9	25.1	22.5	114.1		接84	-26080.407	-20606.499	41.361
137	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	85.4	54.6	18.0	84.0			-26080.455	-20606.495	41.341
138	10区	24-P	IV	砂岩		有	52.9	38.8	25.2	49.1			-26080.534	-20606.499	41.417
139	10区	24-P	IV	チャート		有	55.6	19.6	4.8	7.3		接84	-26080.487	-20606.464	41.364
140	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	57.0	39.7	29.1	43.0			-26080.556	-20606.559	41.387
141	10区	24-P	IV	チャート		有	23.9	22.1	11.7	5.1			-26080.518	-20606.323	41.465
142	10区	24-P	IV	砂岩	焼	有	35.0	18.1	7.8	5.3		接79	-26080.58	-20606.288	41.442
143	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	53.9	37.3	19.3	48.1		接94	-26080.372	-20606.358	41.338
144	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	90.1	41.6	23.3	56.1		接81	-26080.541	-20606.463	41.371
145	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	48.6	41.4	26.4	37.0		接75	-26080.557	-20606.433	41.342
146	10区	24-P	V	チャート		有	57.8	27.7	27.0	56.0		接85	-26080.635	-20606.41	41.322
147	10区	24-P	V	チャート		有	52.4	32.3	24.7	50.9		接73	-26080.643	-20606.507	41.332
148	10区	24-P	V	チャート		有	69.8	49.2	34.6	76.8			-26080.775	-20606.516	41.337
149	10区	24-P	V	チャート		有	48.2	28.5	22.2	23.9		接82	-26080.917	-20606.479	41.337
150	10区	24-P	V	チャート		有	47.1	27.9	20.5	25.5		接87	-26080.858	-20606.693	41.316
151	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	40.8	35.0	13.2	18.2			-26080.881	-20606.744	41.326
152	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	48.1	43.0	37.5	47.6		接79	-26080.686	-20607.096	41.343
153	10区	24-P	V	チャート		有	48.4	27.8	26.8	48.7		接85	-26080.834	-20607.074	41.346
154	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	97.8	56.3	46.5	274.5		接93	-26080.874	-20607.087	41.325
155	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	54.4	52.8	52.0	111.0			-26080.903	-20607	41.334
156	10区	24-P	V	珪質頁岩		有	32.1	22.2	20.0	14.0			-26080.331	-20606.343	41.32
157	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	46.2	40.3	14.5	27.8		接94	-26080.276	-20606.593	41.395
158	10区	24-P	V	砂岩	焼・煤	有	42.3	25.7	21.3	22.2		接74	-26080.294	-20606.567	41.384
159	10区	24-P	V	チャート		有	34.8	24.0	16.0	11.9		接82	-26080.233	-20606.738	41.35
160	10区	24-P	V	チャート		有	51.1	38.0	24.3	51.9		接84	-26080.205	-20606.648	41.325
161	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	56.1	32.4	32.1	59.2		接94	-26080.494	-20606.547	41.363
162	10区	24-P	V	チャート		有	63.2	41.8	30.3	103.6		接86	-26080.523	-20606.514	41.365
163	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	31.7	19.7	9.6	6.8		接75	-26080.571	-20606.519	41.332
164	10区	24-P	V	チャート		有	29.5	15.5	10.1	3.7		接84	-26080.551	-20606.668	41.378
165	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	40.6	29.0	12.9	13.5			-26080.463	-20606.652	41.371
166	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	23.6	21.5	10.7	5.5			-26080.471	-20606.696	41.337
167	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	50.1	16.4	15.7	13.1			-26080.782	-20606.521	41.303
168	10区	24-P	V	砂岩		有	28.6	20.3	12.5	6.3			-26080.668	-20606.76	41.374
169	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	48.1	32.2	18.9	22.6		接80	-26080.586	-20606.773	41.351
170	10区	24-P	V	砂岩	焼	有	46.6	27.9	17.6	27.4		接80	-26080.543	-20606.939	41.314
171	10区	24-P	V	砂岩	焼・煤	有	55.6	30.1	28.8	40.5			-26080.618	-20606.893	41.31
172	10区	24-P	V	チャート		有	41.5	35.9	29.0	38.5		接85	-26080.715	-20607.006	41.314
173	10区	24-P	V	珪質頁岩		有	42.2	35.7	17.1	21.9			-26080.586	-20607.082	41.31
174	10区	24-P	V	砂岩		有	19.4	18.1	16.6	3.2			-26080.526	-20606.678	41.347

第14表 旧石器時代遺物集中出土礫接合表(1)

1号遺物集中(SBL1)	接合個体番号	接合点数	合計重量(g)	完形度(%)	石材	写真
接1	485,544	2	210.8	75	チャート	
接2	531,568	2	464.4	50	礫岩	
接3	620,621	2	159.9	25	砂岩	
接4	493,500,504,505,526,564,600,604,616,617	10	411.8	75	チャート	写真5
接5	495,501,502,565	4	90.8	50	砂岩	
接6	513,517,532	3	46.9	25	チャート	
接7	529,536	2	188.1	75	砂岩	
接8	580,595	2	107.9	75	砂岩	
接9	486,530,543,560,571,573,597	7	400.5	75	チャート	写真5
接10	510,511,562,625	4	32.7	25	チャート	
接11	497,514,561	3	84.8	25	チャート	
接12	489,494,499	3	191.7	50	チャート	
接13	484,602	2	86.6	50	珪質頁岩	
接14	487,492,498,624	4	141.9	25	砂岩	
接97	481,488,491,613	4	154.5	75	砂岩	
接98	527,570	2	93.4	50	砂岩	
1号遺物集中(SBL1) + 第四次調査3号遺物集中部						
接90	490,2P396	2	139.6	25	砂岩	
2号遺物集中(SBL2)						
接15	862,1089	2	458.7	50	砂岩	
接16	1066,1069	2	179.8	50	砂岩	
接17	1020,1078	2	252.2	75	砂岩	
接18	1205,1207	2	355	75	砂岩	
接19	1204,1227	2	337.4	99	チャート	
接20	1219,1221	2	309.3	50	砂岩	
接21	839,915,1000	3	122.3	50	チャート	
接22	1009,1199	2	140.7	75	チャート	
接23	857,1144	2	55.2	25	チャート	
接24	987,996,1,998	3	55.6	25	チャート	
接25	1141,1160	2	63.4	50	チャート	
接26	952,1226	2	196.1	90	砂岩	
接27	793,1042	2	106.2	50	砂岩	
接28	926,1118,1062	3	238.6	90	砂岩	
接29	1038,1057	2	262	50	砂岩	
接30	1085,1096	2	46.2	50	砂岩	

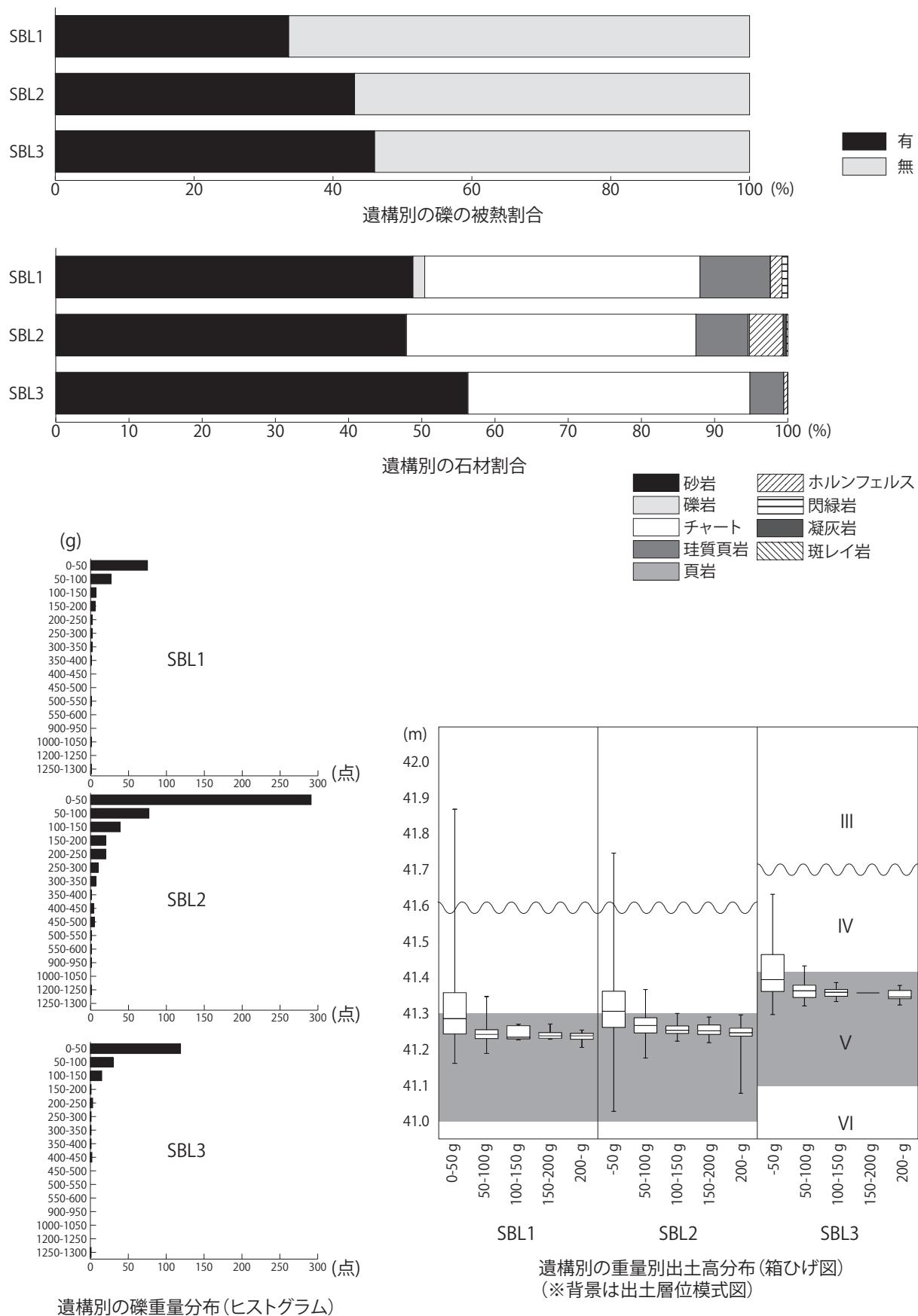
第15表 旧石器時代遺物集中出土礫接合表 (2)

接合番号	接合個体番号	接合点数	合計重量(g)	完形度(%)	石材	写真
接31	1018,1149	2	206.8	50	砂岩	
接32	808,1030,1036,1113	4	334.1	75	チャート	
接33	874,1047,1048	3	177.2	25	砂岩	
接34	809,1105	2	185.7	50	チャート	
接35	1210,1237	2	182	75	チャート	
接36	972,1068	2	45.1	50	砂岩	
接37	774,878	2	56.5	50	砂岩	
接38	928,955,958	3	100.3	50	砂岩	
接39	856,870	2	88.7	50	砂岩	
接40	930,968,1004	3	185.2	75	砂岩	
接41	770,779,907,943,1153	5	152.1	75	砂岩	
接42	1039,1059	2	101.1	25	砂岩	
接43	1067,1070	2	1393.9	90	珪質頁岩	
接44	883,1124	2	93.8	50	砂岩	
接45	1073,1138	2	121.2	50	砂岩	
接46	835,981-1,1037,1045,1046A,1046B	6	898.7	75	チャート	
接47	1177,1189	2	268.4	50	砂岩	
接48	1043,1092,1114	3	262.4	50	砂岩	
接49	764,1132	2	337	75	砂岩	
接50	795,890,1040,1169	4	555.3	75	砂岩	
接51	1086,1116	2	215.6	50	チャート	
接52	756,985,986,1065,1098,1201,1202	7	360.4	75	砂岩	写真5
接53	1197,1230	2	91.3	50	砂岩	
接54	838,931,978,981-2	4	75.4	25	チャート	
接55	785,851,866	3	72.1	50	チャート	
接56	784,956,959,993	4	126.4	50	チャート	
接57	1103-2,1211,1224	3	122.6	50	チャート	
接58	810,1028	2	157	50	チャート	
接59	910,1023,1082,1123,1156,1157,1216,1217,1218	9	504.3	50	砂岩	写真5
接60	922,923,1104,1112,1162,1232	6	259.2	75	ホルンフェルス	
接61	775,796,891,919,935,1010,1102,1235	8	213.9	50	砂岩	写真5
接62	865,932,1125,1130,1135	5	254.9	50	砂岩	
接63	811,901,1049	3	133.7	50	ホルンフェルス	
接64	1109,1181	2	230	75	砂岩	
接65	949,1017,1019	3	350.4	50	砂岩	
接66	1117,1175	2	156.6	75	チャート	
接67	869,1075	2	953.8	75	チャート	
接68	888,1056	2	217.4	50	チャート	
接69	916,922	2	37.5	25	チャート	
接70	979,1129	2	78.7	50	砂岩	
接71	1079,1081	2	534.1	90	チャート	
接72	718,744,906 (石器)	3	20.6		黒色安山岩	
接99	977,1011	2	169	75	珪質頁岩	
接100	807,884	2	54.9	25	砂岩	
接101	761,974	2	44.1	25	チャート	
接102	877,885,1050	3	91.8	25	砂岩	
接103	802,921	4	227	50	砂岩	
接104	10,871,091	2	185.8		砂岩	
3号遺物集中 (SBL3)						
接73	13,33,38,45,99,106,147	7	317.1	50	チャート	写真5
接74	22,40,71,131,158	5	103.2	50	砂岩	
接75	20,87,102,129,145,163	6	136	50	砂岩	
接76	64,109	2	55	50	砂岩	
接77	8,111	2	69.1	50	砂岩	
接78	6,11,12,68	4	233.6	50	砂岩	
接79	18,49,76,142,152	5	184.3	75	砂岩	
接80	112,123,126,169,170	5	250.9	75	砂岩	
接81	39,144	2	95.2	50	砂岩	
接82	25,101,127,149,159	5	108.5	50	チャート	
接83	54,116,118,132,135	5	590.5	90	チャート	
接84	44,70,115,117,122,128,136,139,160,164	10	490.1	75	チャート	写真5
接85	16,52,73,78,124,146,153,172	8	299.1	75	チャート	写真5
接86	91,162	2	214.6	50	チャート	
接87	86,133,150	3	209.4	50	チャート	
接88	61,107	2	239	75	チャート	
接91	66,119	2	63.4	50	砂岩	
接92	69,83	2	55	50	砂岩	
接93	77,79,154	3	366.7	99	砂岩	
接94	35,50,51,63,95,143,157,161	8	242.8	50	砂岩	写真5
接95	24,28,29,46,104,105,113,125	8	315.7	75	砂岩	写真5
接96	23,32,89,94	4	372.2	99	砂岩	

※接89(SBL3)は、接83と接合したため欠番

第16表 旧石器時代遺物集中出土礫組成

遺構	石材								被熱		合計	
	砂岩	礫岩	チャート	珪質頁岩	頁岩	ホルンフェルス	閃綠岩	凝灰岩	斑レイ岩	有	無	
1号遺物集中	61	2	47	12	-	2	1	-	-	42	83	125
2号遺物集中	229	-	189	34	1	22	-	2	1	206	272	478
3号遺物集中	98	-	67	8	-	1	-	-	-	80	94	174
合計	388	2	303	54	1	25	1	2	1	328	449	777
1号遺物集中	5777.8	464.4	3081.6	407.7	-	459.8	57.5	-	-	3831.4	6417.4	10248.8
2号遺物集中	16527.9	-	12582.1	4742.9	4.9	1913.7	-	485.0	140.5	16149.5	20247.5	36397.0
3号遺物集中	5682.4	-	4196.3	-	-	140.5	-	-	-	3572.3	6730.9	10303.2
合計	27,988.1	464.4	19,860.0	5,382.0	4.9	2,514.0	57.5	485.0	140.5	23,553.2	33,395.8	56,949.0



第23図 旧石器時代遺物集中関係グラフ

## 2 縄文時代

縄文時代では、主に縄文時代早期後葉と中期後葉の遺構・遺物が確認された。

### 1) 遺構・遺構出土遺物

#### A 壇穴状遺構

計 4 基の壇穴状遺構が検出された。各遺構から出土した遺物は、第 34 図から第 36 図にまとめて掲載した。

##### 1 号壇穴状遺構 (SI1) (第 26 ~ 28 図)

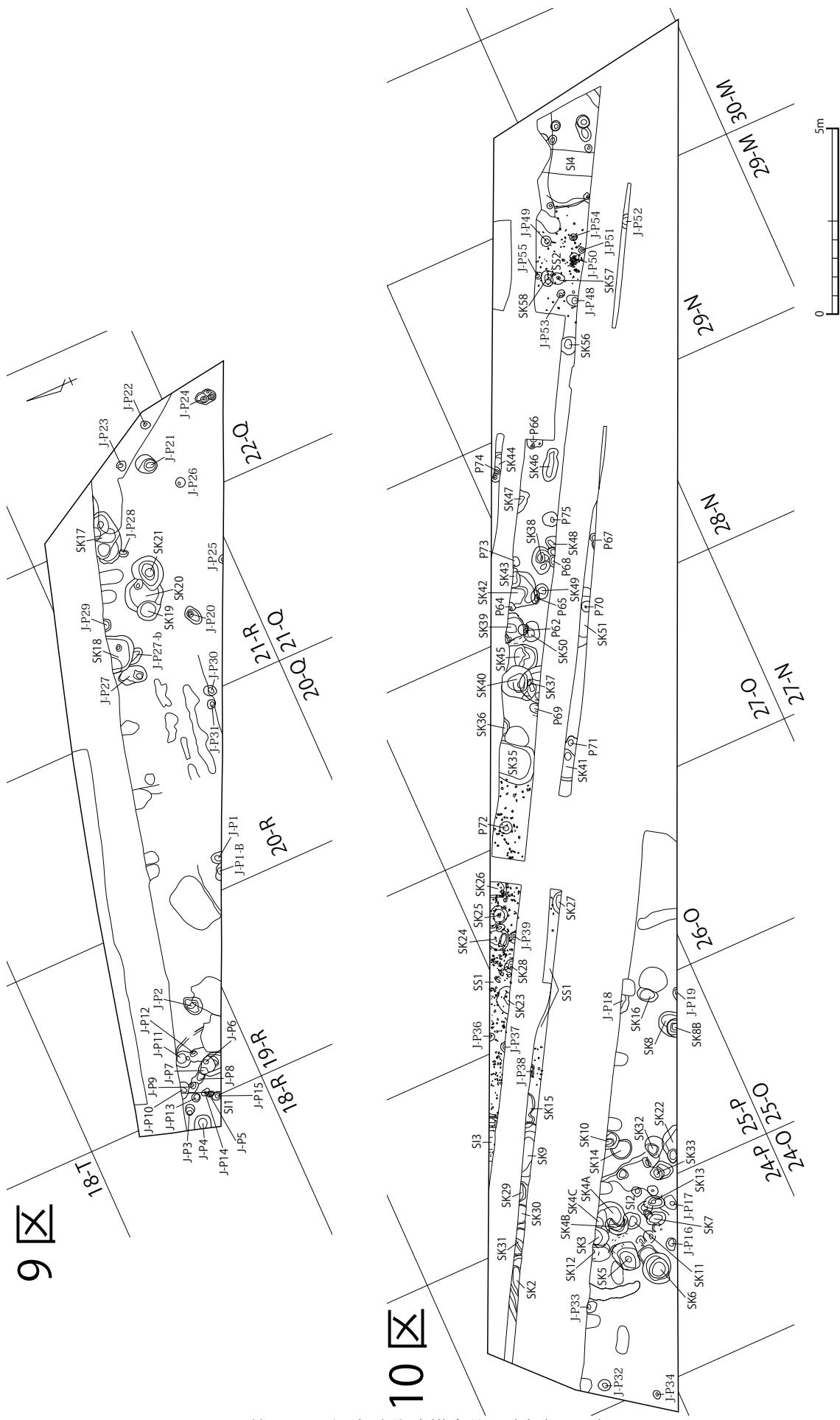
9 区西側の 18・19-S グリッドで検出された。明確な立ち上がりが確認された。壇穴住居跡である可能性があるが、床面となる硬化面は確認できなかった。攪乱のため、全体的な平面形状は不明であるが、北側の 1 か所で隅と考えられる部分が確認された（第 25 図黒色矢印部分）。内部施設と考えられるピットは、J-P3（長軸 30cm、短軸 24cm、深さ 57cm、平面形状橢円形）、J-P5（長軸 21cm、短軸 15cm、深さ 23cm、平面形状隅丸方形）、J-P6（長軸 39cm 以上、短軸 30cm、深さ 25cm、平面形状隅丸方形）、J-P7（長軸 61cm 以上、短軸 61cm、深さ 15cm、平面形状隅丸方形）、J-P8（長軸 27cm 以上、短軸 26cm、深さ 6cm、平面形状隅丸方形）、J-P9（長軸 34cm、短軸 25cm、深さ 20cm、平面形状長方形）、J-P10（長軸 47cm、短軸 20cm 以上、深さ 20cm、平面形状隅丸方形）、J-P11（長軸 55cm 以上、短軸 43cm、深さ 7cm、平面形状円形）、J-P12（長軸 18cm、短軸 13cm、深さ 11cm、平面形状円形）、J-P13（長軸 23cm、短軸 23cm、深さ 28cm、平面形状隅丸方形）、J-P14（長軸 24cm、短軸 16cm、深さ 40cm、平面形状不整形）、J-P15（長軸 22cm、短軸 22cm、深さ 27cm、平面形状円形）の計 12 基である。明確な炉は確認されなかったが、J-P10 の覆土に焼土が多く含まれるため、炉の可能性がある。

遺物は、縄文土器 7 点と石器 1 点、礫 8 点が出土した。第 34 図 1・2 は条痕文系の深鉢胴部である。2 は柱穴と考えられる J-P13 号ピットの下層から出土した。3 は早期または前期の深鉢胴部、4・5 は前期の深鉢胴部である。第 35 図 1 は、黒曜石の剥片で、床面直上から出土した。産地推定分析の結果、箱根（畠宿）産との結果が得られた（第 V 章第 2 節参照）。

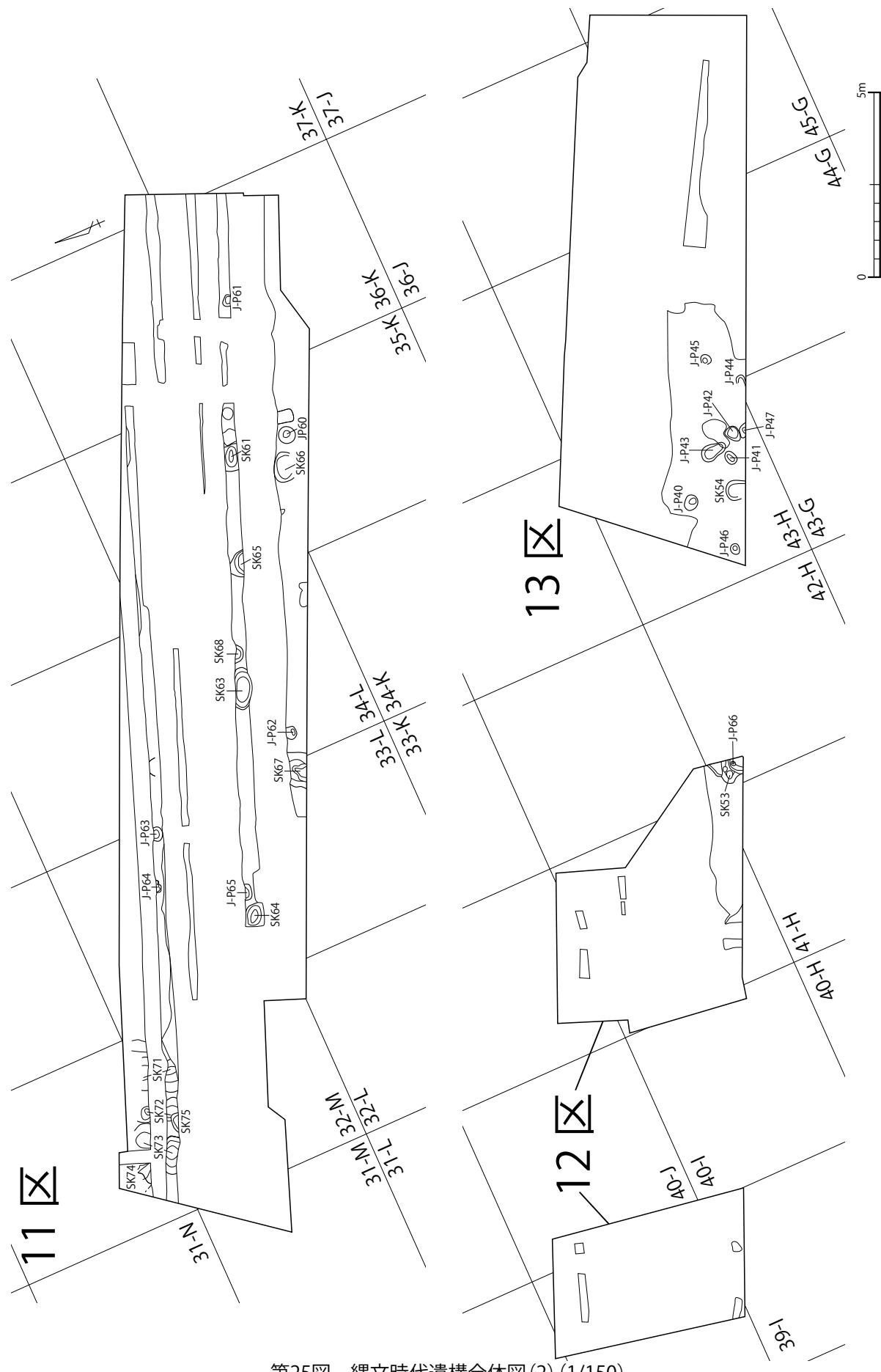
遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

##### 2 号壇穴状遺構 (SI2) (第 29・30 図)

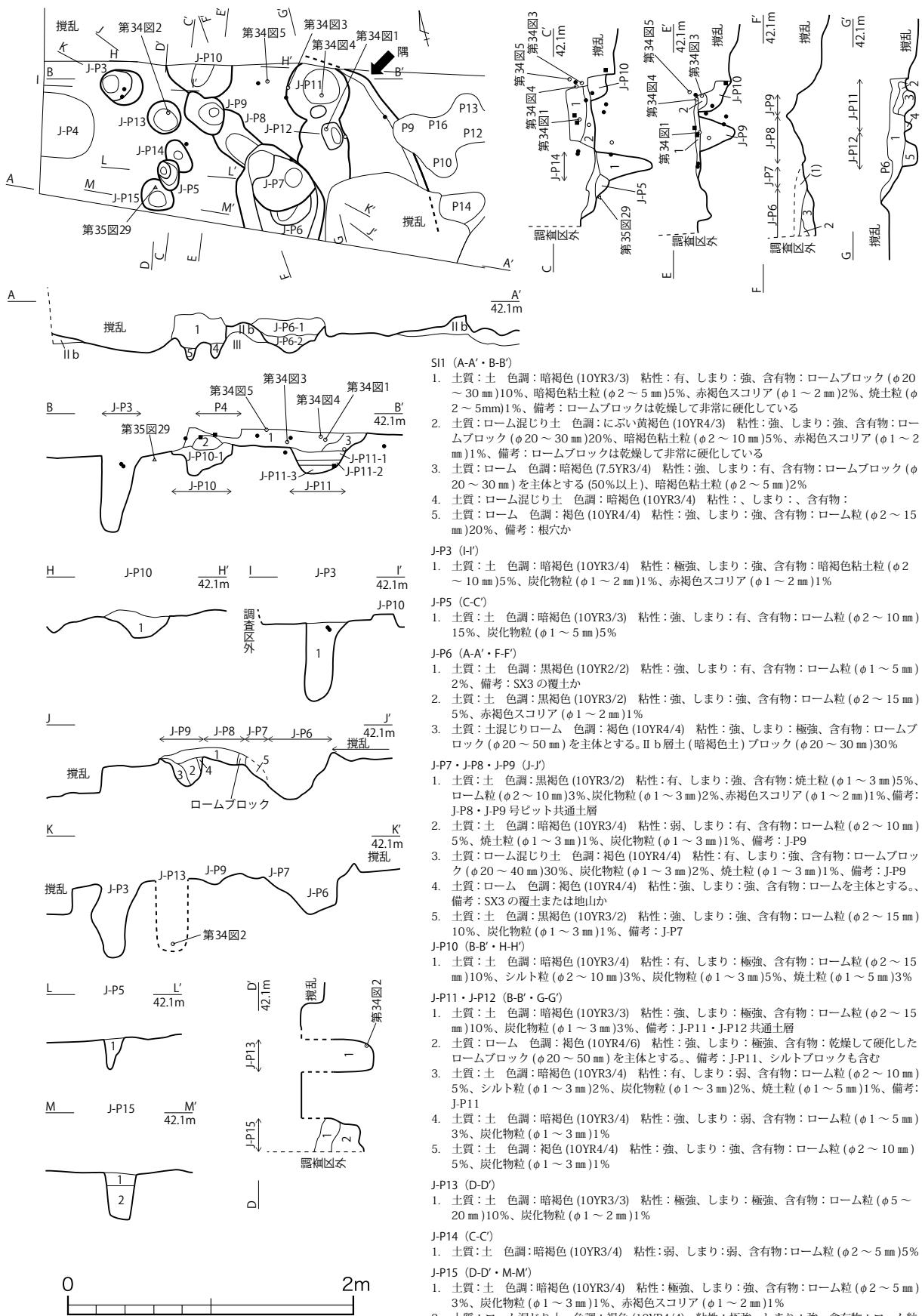
10 区西側の 23・24-P・Q グリッドで検出された。明確なプランは確認できなかったが、ピットが環状に分布し、その内側に硬化面が検出された。ただし、炉穴群である 4 号・5 号・6 号・22 号土坑の分布の中心に重なることから、炉穴使用時に形成された硬化面であった可能性がある。内部施設と考えられるピットは、SI2-P1（長軸 28cm、短軸 18cm、深さ 7cm、平面形状隅丸方形）、SI2-P2（長軸 30cm、短軸 25cm、深さ 11cm、平面形状隅丸方形）、SI2-P3（長軸 29cm、短軸 29cm、深さ 29cm、平面形状橢円形）、SI2-P4（長軸 20cm、短軸 17cm 以上、深さ 13cm、平面形状橢円形）、SI2-P5（短軸 1cm、深さ 12cm、平面形状不明）、SI2-P6（長軸 33cm、短軸 27cm、深さ 12cm、平面形状隅丸方形）、SI2-P7（長軸 27cm、短軸 26cm 以上、深さ 9cm、平面形状隅丸方形）、SI2-P8（深さ 12cm、平面形状不明）、SI2-P9（深さ 24cm、平面形状不明）、SI2-P10（長軸 40cm 以上、短



第24図 縄文時代遺構全体図(1) (1/150)



第25図 繩文時代遺構全体図(2) (1/150)



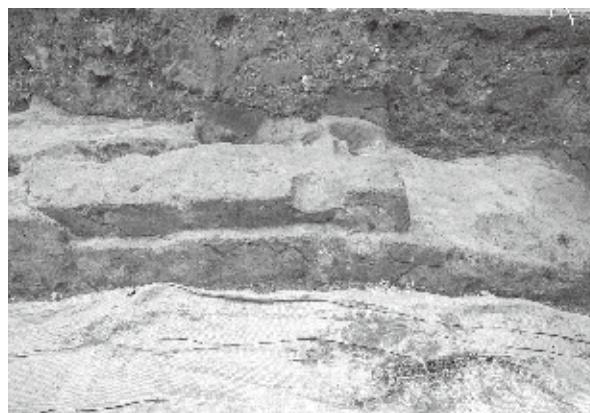
第26図 1号竪穴状遺構(1/40)



1. 検出状況 (北から)



2. 土層断面 A-A' (調査区壁) (北東から)



3. 土層断面 B-B' (北東から)



4. 土層断面 C-C' (北西から)



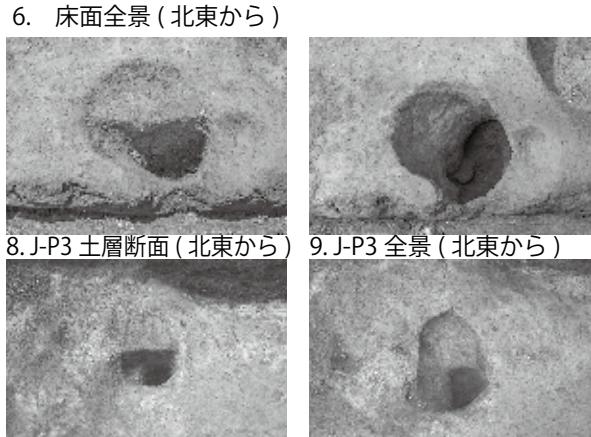
5. 土層断面 E-E' (南東から)



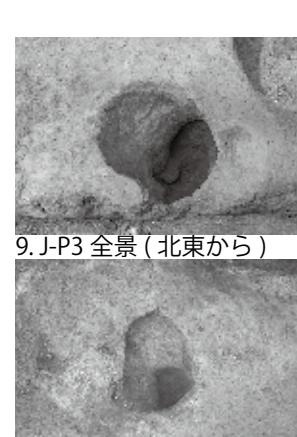
6. 床面全景 (北東から)



7. 掘り方全景 (北東から)

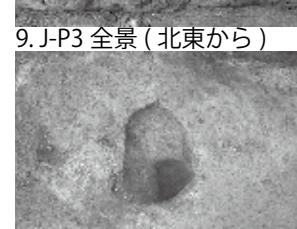


8. J-P3 土層断面 (北東から)



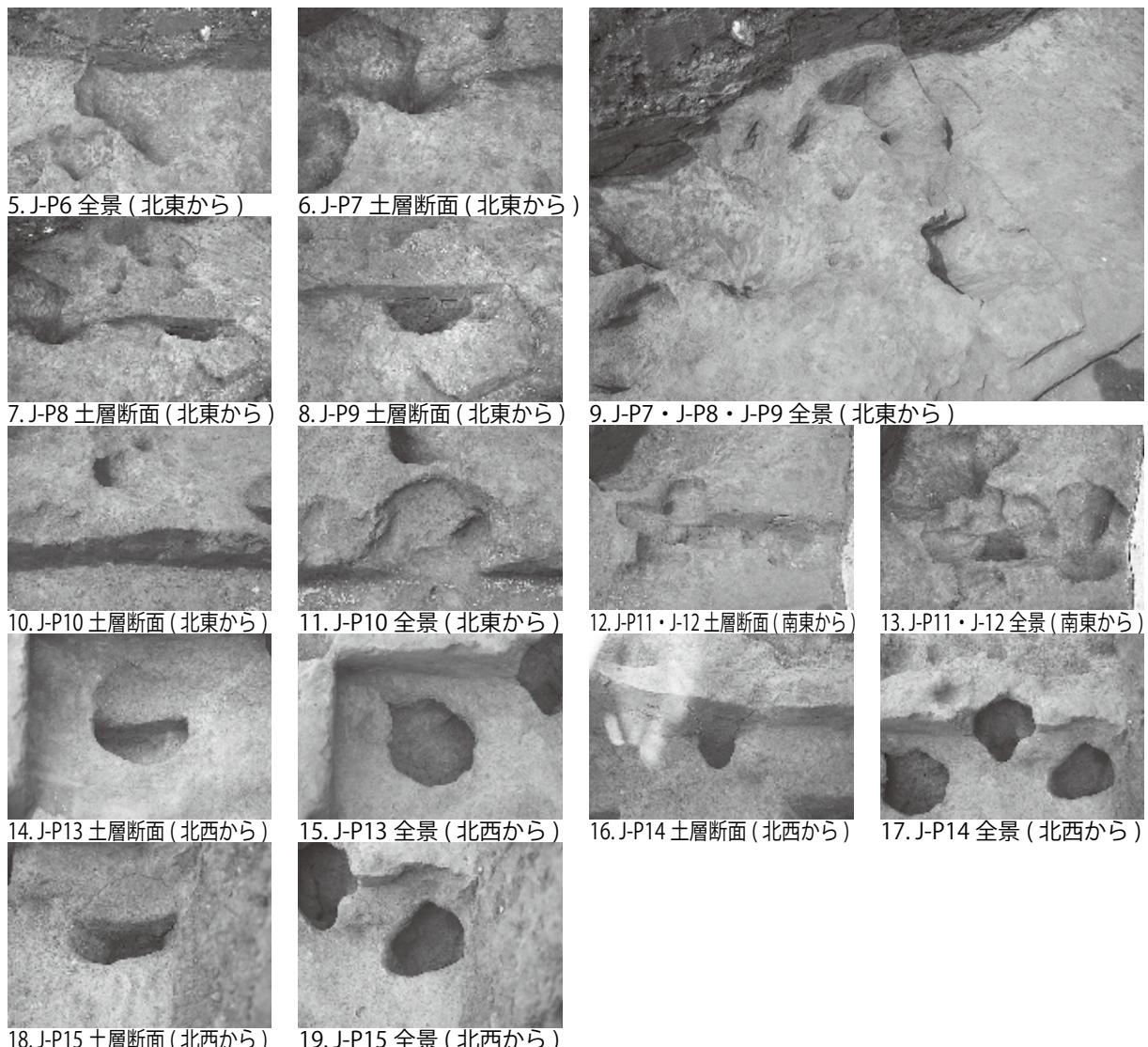
9. J-P3 全景 (北東から)

10. J-P5 土層断面 (北から)



11. J-P5 全景 (北から)

第 27 図 1 号竪穴状遺構写真 (1)



第 28 図 1 号竪穴状遺構写真 (2)

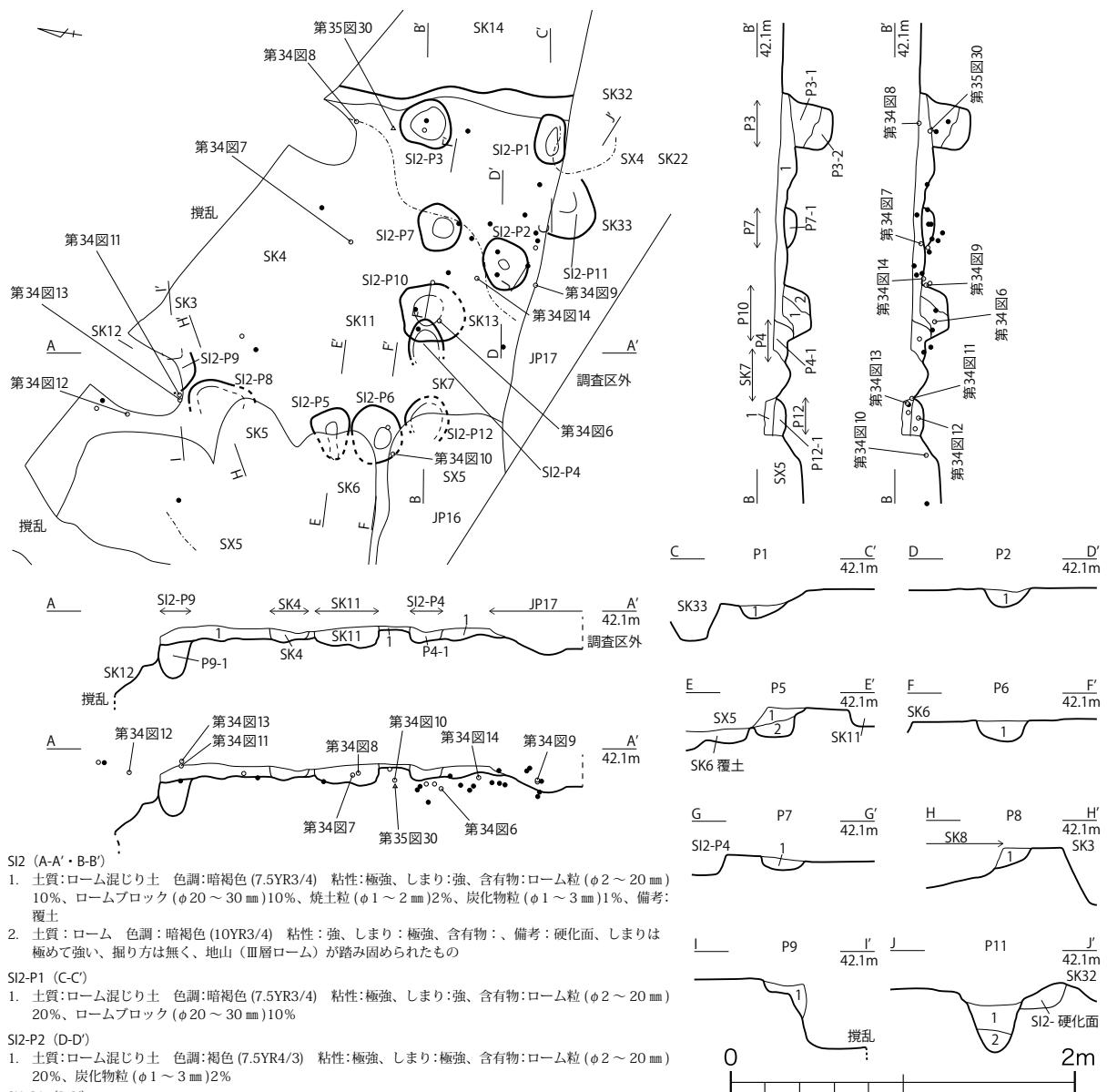
軸 36cm、深さ 21cm、平面形状隅丸方形か)、SI2-P11 (長軸 32cm、短軸 27cm 以上、深さ 29cm、平面形状不明)、SI2-P12 (深さ 5cm、平面形状不明) の計 12 基である。

遺物は、縄文土器 15 点と石器 1 点、礫 21 点が出土した。第 34 図 6 は撚糸文系の深鉢胴部、7 から 14 は条痕文系の深鉢胴部である。6 は SI2-P10 から出土した。第 35 図 30 はホルンフェルスのスクレイパーである。

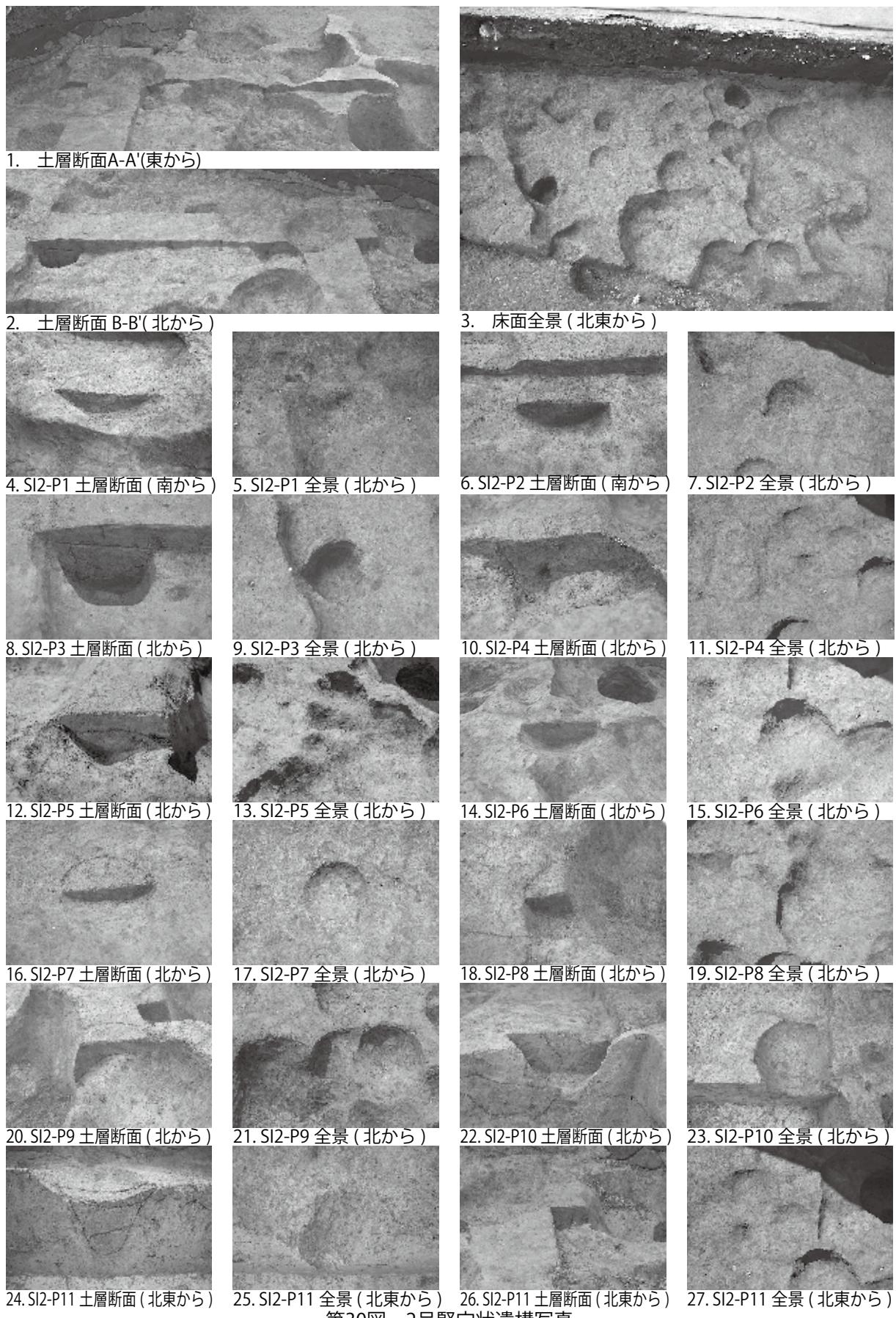
遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

### 3 号竪穴状遺構 (SI3) (第 31 図)

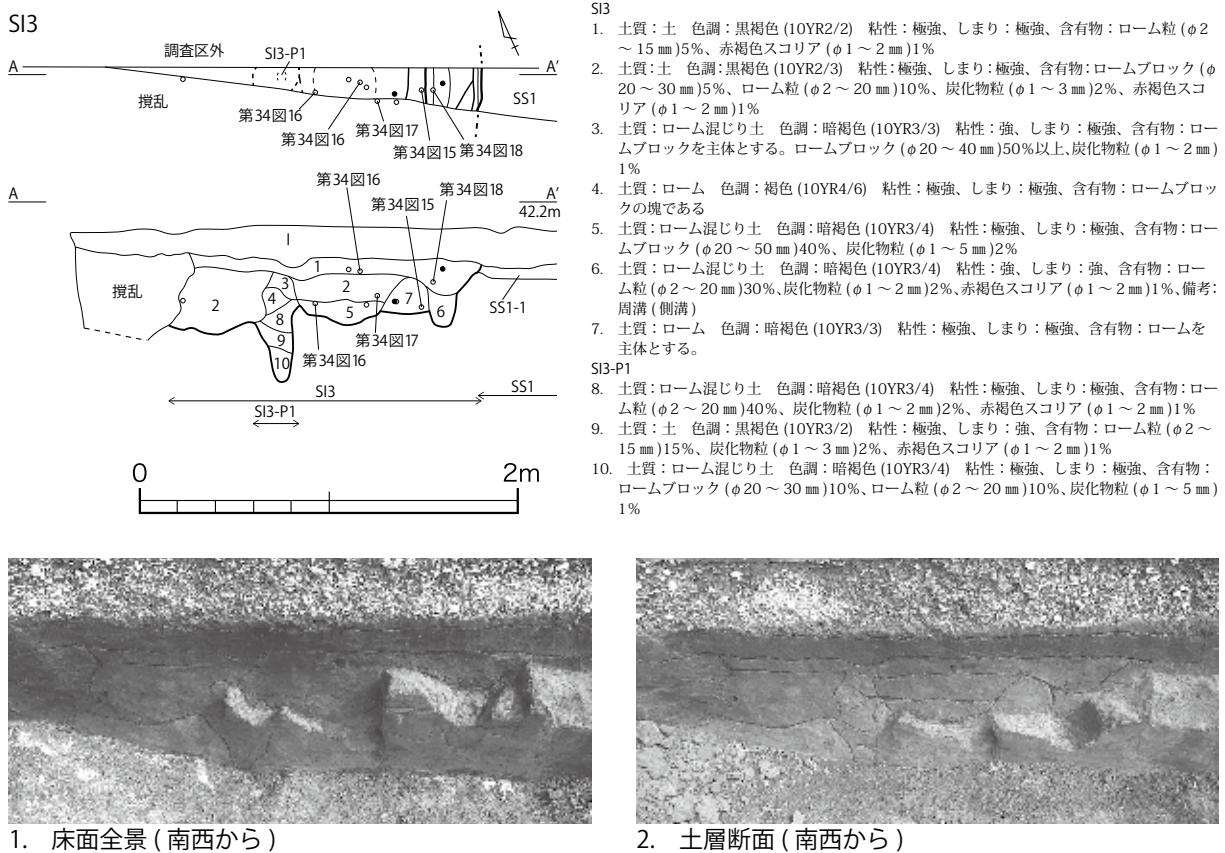
10 区西側の 25-Q グリッドで検出された。平面的には、大部分は北側の調査区外に位置していると考えられ、調査区側は攪乱によってほとんどの部分が破壊されていたが、調査区北壁の断面で確認された。竪穴状の掘り込みを有することから竪穴状遺構と判断したが、実際には土坑やピットが重複した箇所である可能性もある。竪穴状遺構とした場合に内部施設と考えられるピットは、SI3-P1 (深さ 40cm、平面形状不明) である。攪乱を挟んで近接する 9 号土坑と同一遺構の可能性がある。



## 第29図 2号竪穴状遺構(1/40)



第30図 2号竪穴状遺構写真



第31図 3号竪穴状遺構(1/40)・写真

遺物は、縄文土器9点と礫2点が出土した。第34図15から17は条痕文系の深鉢胴部、18は早期から前期の深鉢胴部である。

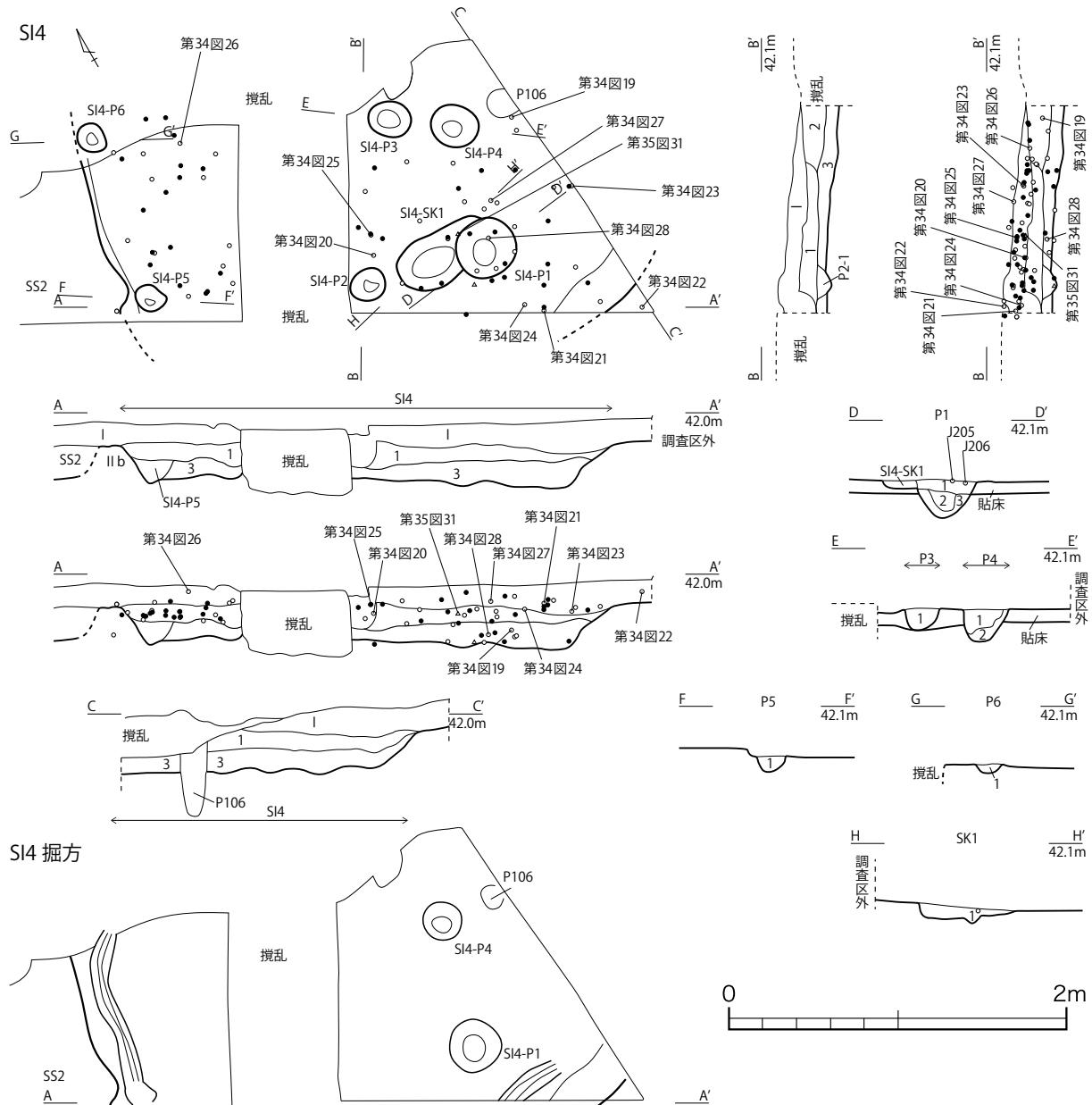
遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半から前期であると考えられる。

#### 4号竪穴建物跡 (SI4) (第32・33図)

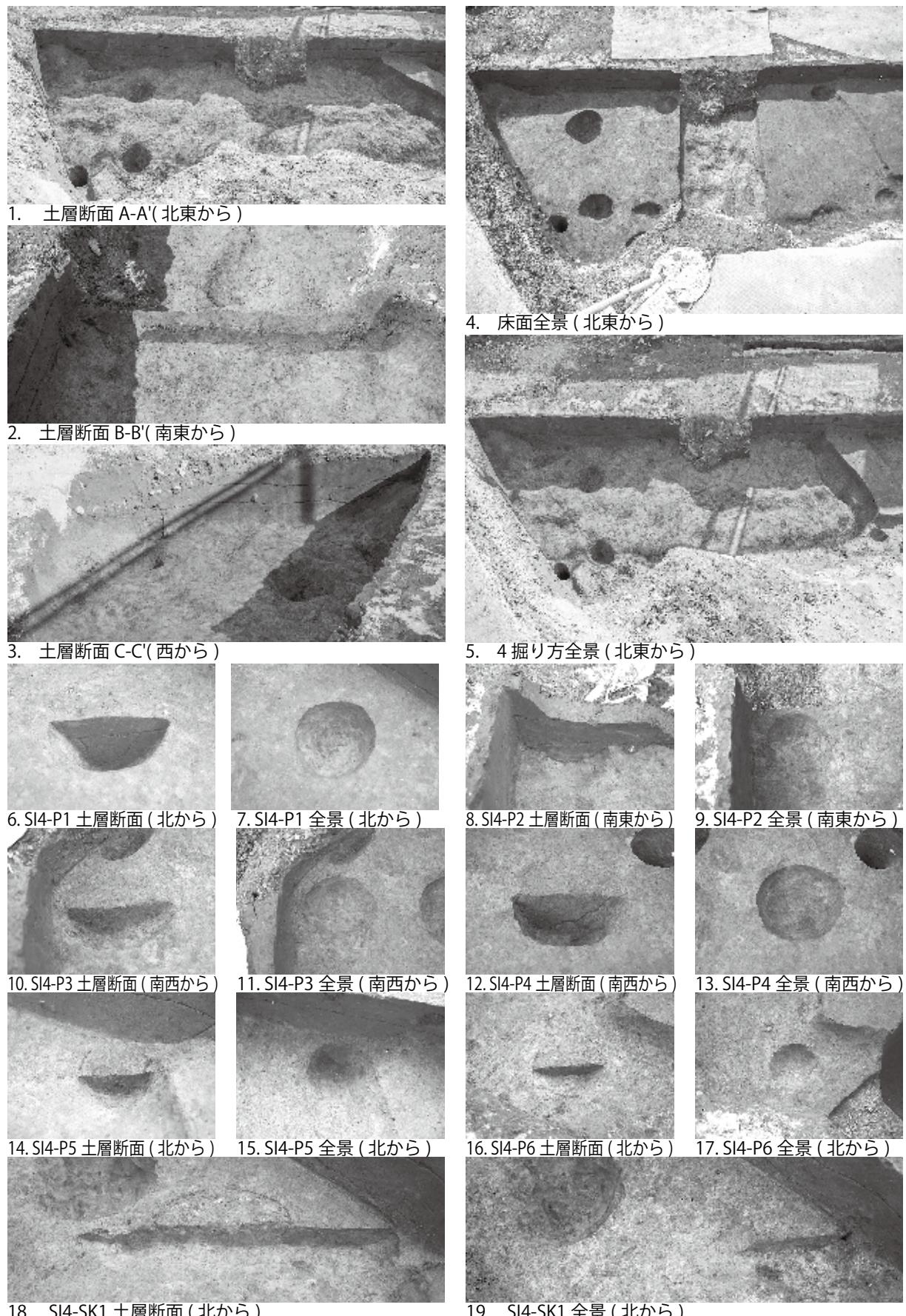
10区東側の29・30-N・Oグリッドで検出された。明確な立ち上がりが確認された。周溝が確認されたが、明確な硬化面は確認できなかった。また、隅部分が搅乱により遺存していないため、平面形状は不明である。内部施設としては、SI4-SK1（長軸37cm、短軸31cm、深さ14cm、平面形状橢円形）が炉と考えられる。また、SI4-P1（長軸36cm、短軸36cm、深さ23cm、平面形状円形）、SI4-P2（長軸21cm、短軸19cm、深さ9cm、平面形状円形）、SI4-P3（長軸25cm、短軸21cm、深さ13cm、平面形状円形）、SI4-P4（長軸27cm、短軸25cm、深さ20cm、平面形状円形）、SI4-P5（長軸17cm、短軸14cm、深さ14cm、平面形状橢円形）、SI4-P6（長軸18cm、短軸16cm、深さ6cm、平面形状円形）の計6基のピットが柱穴と考えられる。

遺物は、縄文土器39点と石器2点、礫38点が出土した。第34図19が勝坂式の深鉢胴部、20が加曾利E3式、21・22が加曾利E3またはE4式、23から25が加曾利E4式、26・27が曾利式の深鉢胴部である。28は中期後半の深鉢胴部である。第35図31はホルンフェルスの礫器である。

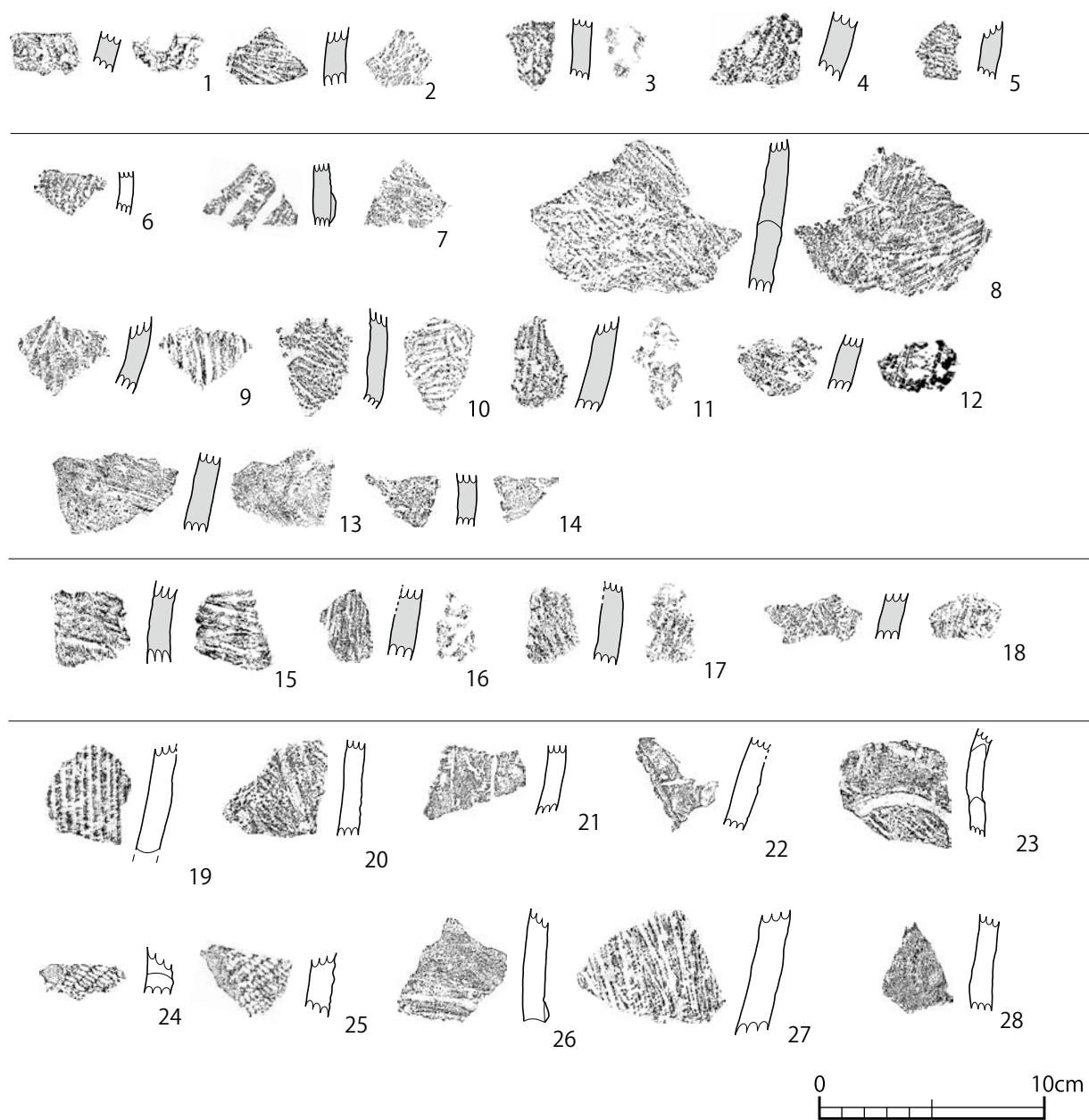
遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。



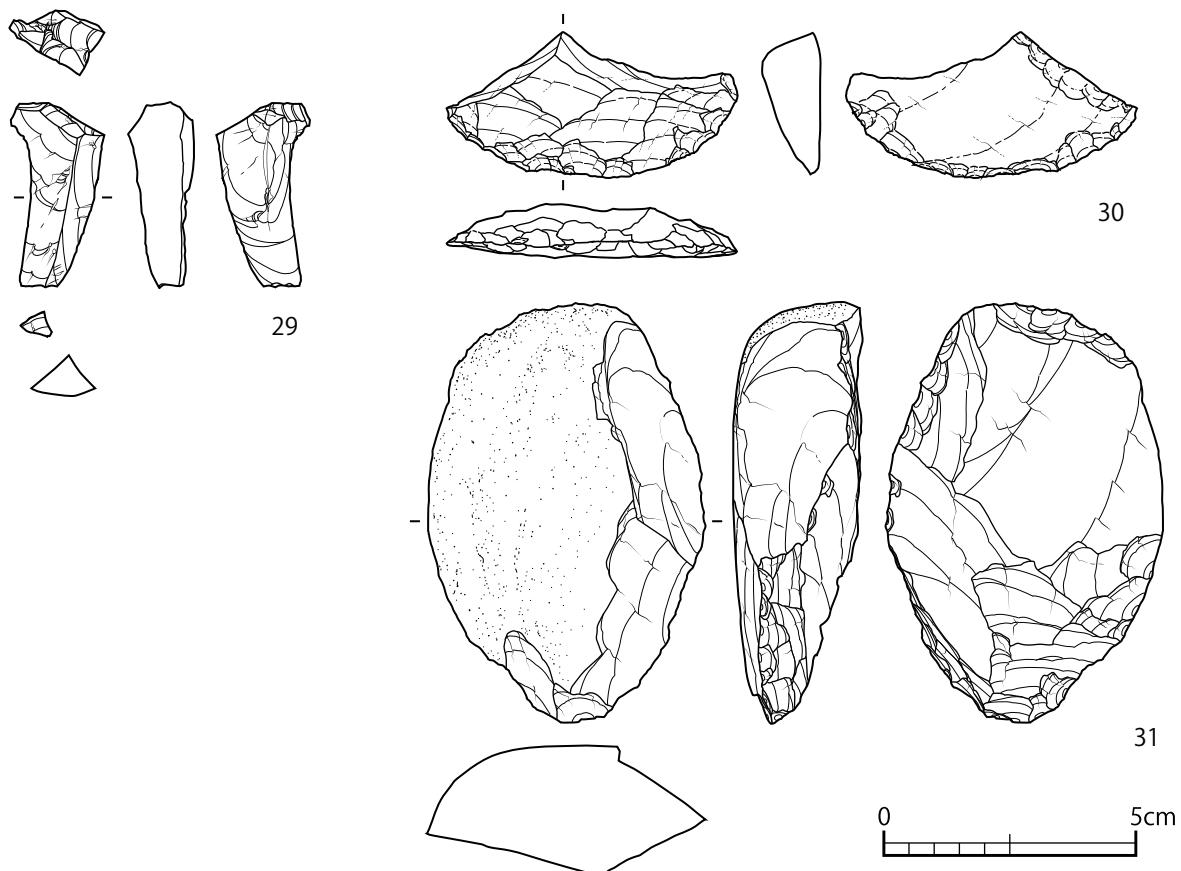
第32図 4号竪穴状遺構 (1/40)



第33図 4号竪穴状遺構写真



第34図 穫穴状遺構出土縄文土器 (1/3)



第35図 穴状遺構出土石器 (2/3)

## B 土坑

計 71 基の土坑が検出された。各遺構の土層説明は第 19・21 表、第 21 表に土坑一覧表を掲載した。詳細は第 22 表に記載した。また、各遺構から出土した遺物は、第 52 図から第 56 図、第 22・23 図にまとめて掲載した。遺構のうち、炉穴（屋外炉）の可能性のあるものが 19 基確認されている。炉穴が複数基集中して炉穴群を形成している箇所が 3 か所確認された。

以下、各表に記載した項目以外の点について、遺構別に記述する。

### 2 号土坑 (SK2) (第 37 図、第 19・21 表)

撹乱により全体の形状は不明であるが、大型の土坑で、明瞭な掘り込みを有する。9 号土坑と類似する。遺物は、縄文土器 3 点と礫 4 点が出土した。第 52 図 6 は早期後半の深鉢胴部である。下層（3 層）から出土した出土炭化物を用いて放射性炭素年代測定を実施した結果、早期中葉の年代値が得られたため（年代測定試料 3；第 V 章第 1 節参照）、遺構の時期も同様の可能性が高い。

### 3 号土坑 (SK3) (第 37 図、第 19・21 表)

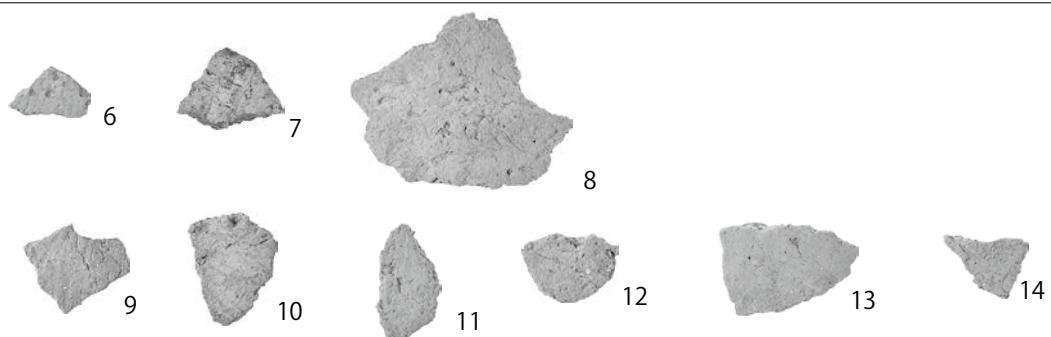
深さ 48cm のピット状で、底部に硬化面を有するため柱穴の可能性があったが、土坑に分類した。10 号土坑に類似する。遺物は、縄文土器 1 点と礫 3 点が出土した。土器の時期が不明であるため、遺構の時期は不明であるが、早期後半の 4 号土坑と 12 号土坑を切るため、早期後半以降と考えられる。

土器

SI1



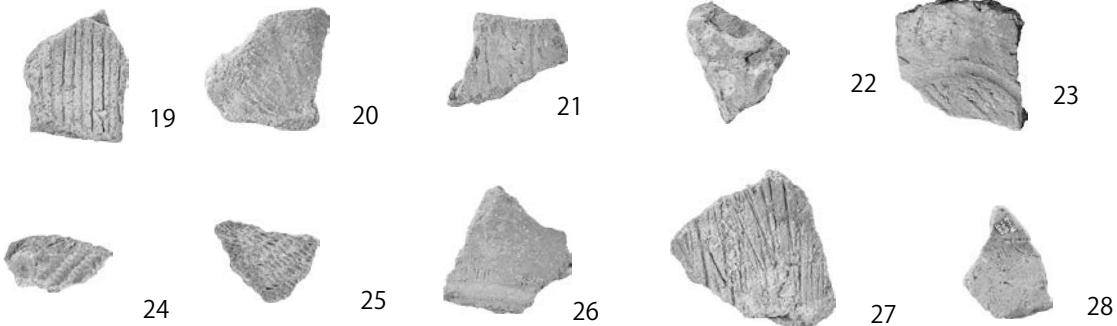
SI2



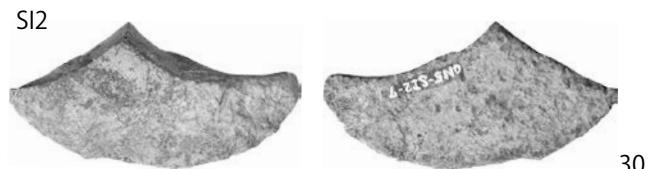
SI3



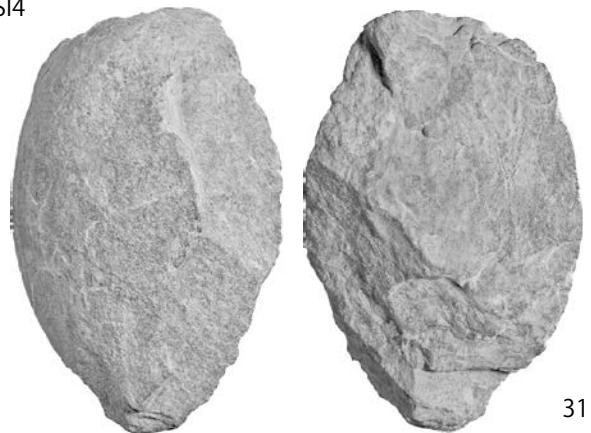
SI4



石器



SI4



第36図 積穴状遺構出土遺物写真

第 17 表 穴状遺構出土縄文土器観察表

図	番号	遺構	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考
34 36	1	SI1	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石、石英	普通	7.5YR5/6	明褐色
	2	J-P13 (SI1)	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色
	3	SI1	早期 / 前期		深鉢			織維、長石、石英	やや 脆い	7.5YR4/4	褐色
	4	SSI1	前期		深鉢	胴部	単節 LR	織維、長石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色
	5	SI1	前期		深鉢	胴部	単節 LR	織維、長石、石英	良好	10YR4/3	にぶい黄褐色
	6	SI2-P10	早期前半	撚糸文系	深鉢	胴部	ナデ	小礫、長石	良好	5YR5/6	明赤褐色
	7	SI2	早期後半	神之木台式か	深鉢	胴部	隆蒂文、隆蒂文上には 刺突	織維、長石、チャート、石 英	普通	10YR7/3	にぶい黄橙色
	8	SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	織維、長石、石英	普通	7.5YR6/6	橙色
	9	SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	織維、長石	普通	10YR3/4	暗褐色
	10	SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	織維、長石	良好	7.5YR7/4	にぶい橙色
	11	SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、小礫、長石、角閃石	良好	5YR6/6	橙色
	12	SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文施文後ナデ	織維、小礫、長石	良好	5YR6/6	橙色
	13	SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	擦痕状の調整痕	織維、長石、石英	良好	7.5YR7/6	橙色
	14	SI2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	擦痕状の調整痕	織維、小礫、長石	良好	7.5YR6/6	橙色
	15	SI3	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	内外面に条痕文	織維、長石を多量に含む、 石英	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色
	16	SI3	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、小礫、長石、石英	普通	7.5YR6/4	にぶい橙色
	17	SI3	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石、石英	普通	10YR3/1	黒褐色
	18	SI3	早期 / 前期		深鉢	胴部	内面ナデ	織維、長石、石英	普通	5YR6/6	橙色
	19	SI4	中期前半	勝坂 (藤内か)	深鉢	胴部	半隆蒂文	シャモット、長石、チャート、 石英	良好	10YR7/4	にぶい黄橙色
	20	SI4	中期後半	加曾利 E3	深鉢	胴部	沈線、磨消繩文、単節 RL、内面ミガキ	小礫、長石、シャモット、 石英	良好	7.5YR6/6	橙色
	21	SI4	中期後半	加曾利 E3/E4	深鉢	胴部	平行な沈線	長石、シャモット	普通	10YR6/4	にぶい黄橙色
	22	SI4	中期後半	加曾利 E3/E4	深鉢	胴部	沈線による U 字文か、 内面ミガキ	長石、石英	良好	5YR4/6	明赤褐色
	23	SI4	中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部	沈線による対向 U 字文、 磨消繩文、単節 RL	小礫、長石、石英	良好	10YR4/2	灰黄褐色
	24	SI4	中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部	沈線、磨消繩文、単節 RL、内面ミガキ	長石、石英	良好	7.5YR4/4	褐色
	25	包含層 (SI4)	中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部	微隆起、磨消繩文、単節 LR、内面ミガキ	小礫、長石、石英	良好	7.5YR3/2	黒褐色
	26	SI4	中期後半	曾利か	深鉢	胴部	微隆起、外面ミガキ	長石、小礫、角閃石	良好	5YR4/4	にぶい赤褐色
	27	包含層 (SI4)	中期後半	曾利か	深鉢	胴部	櫛歯状条線	小礫、長石、角閃石	良好	5YR5/4	にぶい赤褐色
	28	SI4-P1	中期後半		深鉢	胴部	内面ミガキ	長石、赤色砂粒、石英、角 閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい橙色

第 18 表 穴状遺構出土縄文石器観察表

図	番号	遺構	出土層位	時期	器種	石材	産地 (第 V 章参照)		長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	備考	
							エリア	判別群名						
35	29	SI1	床面直上	早期後半	剥片	黒曜石	箱根	畠宿	1	36.5	18.6	13.0	5.0	産地推定試料 1
36	30	SI2	床面直上	早期後半	スクレイバー	ホルンフェルス	—	—	—	29.0	58.0	11.0	17.1	
	31	SI4		中期後半	礫器	ホルンフェルス	—	—	—	83.5	54.5	26.0	141.7	

## 4号土坑 A・B・C (SK4A・B・C) (第 37 図、第 19・21 表)

火床面を有する炉穴であり、3基が重複している。新旧関係は 4号土坑 A が古く、4号土坑 C、4号土坑 B の順に新しく切り合う。また、4号土坑 A・B が 11号土坑を切る。5号・6号・22号土坑と共に炉穴群を形成する。遺物は、縄文土器 7点と石器 1点、礫 7点が出土した。第 52 図 7・8 は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 5号土坑 (SK5) (第 37 図、第 19・21 表)

火床面を有する炉穴である。6号土坑を切る。4号・6号・22号土坑と共に炉穴群を形成する。遺物は、縄文土器 6点と礫 1点が出土した。第 52 図 9 は条痕文系の深鉢胴部、10・11 は早期から前期の深鉢胴部である。遺構の時期は、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 6号土坑 (SK6) (第 37 図、第 19・21 表)

火床面を有する炉穴である。4号・5号・22号土坑と共に炉穴群を形成する。遺物は、縄文土器 1点が出土した。第 52 図 12 は、早期後半の深鉢胴部である。出土炭化物を用いて放射性炭素年代測定を実施した結果、縄文時代早期中葉の年代値が得られた (年代測定試料 4; 第 V 章第 1 節参照)。遺構の時期は、縄文時代早期後半であると考えられる。

#### 7号土坑 (SK7) (第37図、第19・21表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器1点が出土した。第52図13は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半の可能性がある。

#### 8号土坑 (SK8) (第37図、第19・21表)

調査範囲外にかかるため、全体の形状は不明である。遺物は、縄文土器4点と石器2点、礫2点が出土した。第52図14は条痕文系の深鉢口縁部、15は深鉢胴部、16は加曾利E3式の深鉢胴部である。第54図59は、砂岩の磨石である。非常に強い光沢面を有する。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

#### 9号土坑 (SK9) (第37図、第19・21表)

搅乱により全体の形状は不明であるが、大型の土坑である。2号土坑と類似する。遺物は、縄文土器3点と礫10点が出土した。第52図17は撚糸文系の深鉢口縁部、18は条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。搅乱を挟んで近接する3号竪穴状遺構と同一遺構の可能性がある。

#### 10号土坑 (SK10) (第38図、第19・21表)

深さ79cmの大型ピット状で、底部に柱痕を有するため柱穴の可能性があるが、土坑に分類した。3号土坑に類似する。遺物は出土しなかった。

#### 11号土坑 (SK11) (第38図、第19・21表)

浅い土坑で、4号土坑に切られる。遺物は、縄文土器1点と礫1点が出土した。第53図19は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、遺構の切り合いと出土遺物から、縄文時代早期後半以前であると考えられる。

#### 12号土坑 (SK12) (第38図、第19・21表)

搅乱と3号土坑に切られるため、全体の形状は不明である。遺物は出土しなかった。遺構の時期は、遺構の切り合いから、縄文時代早期後半以前と考えられる。

#### 13号土坑 (SK13) (第38図、第19・21表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器3点が出土した。第53図20は、早期から前期の深鉢胴部である。

#### 14号土坑 (SK14) (第38図、第19・21表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器1点が出土した。

#### 15号土坑 (SK15) (第38図、第19・21表)

搅乱により全体の形状は不明である。遺物は、縄文土器1点と礫2点が出土した。第53図21は、条痕文系の深鉢胴部である。

#### 16号土坑 (SK16) (第38図、第19・21表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器1点が出土した。

#### 17号土坑A・B (SK17A・B) (第38図、第19・21表)

2基の重複する炉穴である。17号土坑Aが17号土坑Bを切る。遺物は、縄文土器10点と礫9点が出土しており、他の土坑と比較すると多数である。第53図22は早期から前期の深鉢口縁部、23から26は条痕文系の深鉢胴部、27は加曾利E3またはE4の深鉢胴部である。遺構の時期は、遺構の状況と出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 18号土坑 (SK18) (第38図、第19・21表)

調査範囲外にかかるため、全体の形状は不明であるが、隅丸方形または隅丸長方形の土坑である。遺物は、縄文土器40点と礫3点が出土した。出土した縄文土器片は多数が接合した。第52図1は、条痕文系の深鉢口縁部、2から4は胴部である。1から5は、同一個体の可能性が高い。1は口縁部外面に鋸歯状の隆帯が巡り、この隆帯と口唇部上に絡条体圧痕が施される。出土状況と接合状況から、意図的に土器が埋設された土坑である可能性がある。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 19号土坑 (SK19) (第38図、第19・21表)

20号土坑と切り合い関係にある。遺物は出土しなかった。

## 20号土坑 (SK20) (第38図、第19・21表)

19号・21号土坑と切り合い関係にある。遺物は、礫4点が出土した。

## 21号土坑 (SK21) (第38図、第19・21表)

20号土坑と切り合い関係にある。遺物は、縄文土器13点（または14点）と礫1点が出土した。第53図28から33は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 22号土坑 (SK22) (第38図、第19・21表)

火床面を有する炉穴である。32号土坑を切る。4号・5号・6号土坑と共に炉穴群を形成する。遺物は、焼成粘土塊1点と礫1点が出土した。遺構の時期は、遺物を伴なう他の炉穴との類似性から、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 23号土坑 (SK23) (第39図、第19・21表)

1号集石の下面から検出された。遺物は、縄文土器1点と礫6点が出土した。第53図34は加曾利E3またはE4の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

## 24号土坑 (SK24) (第39図、第19・21表)

1号集石の下面から検出された。遺物は、礫14点が出土した。礫が多量に出土したことから、1号集石の一部であると考えられる。遺構の時期は、1号集石と同様に縄文時代中期後半であると考えられる。

## 25号土坑 (SK25) (第39図、第19・21表)

1号集石の下面から検出された。遺物は、礫5点が出土した。

## 26号土坑 (SK26) (第39図、第19・21表)

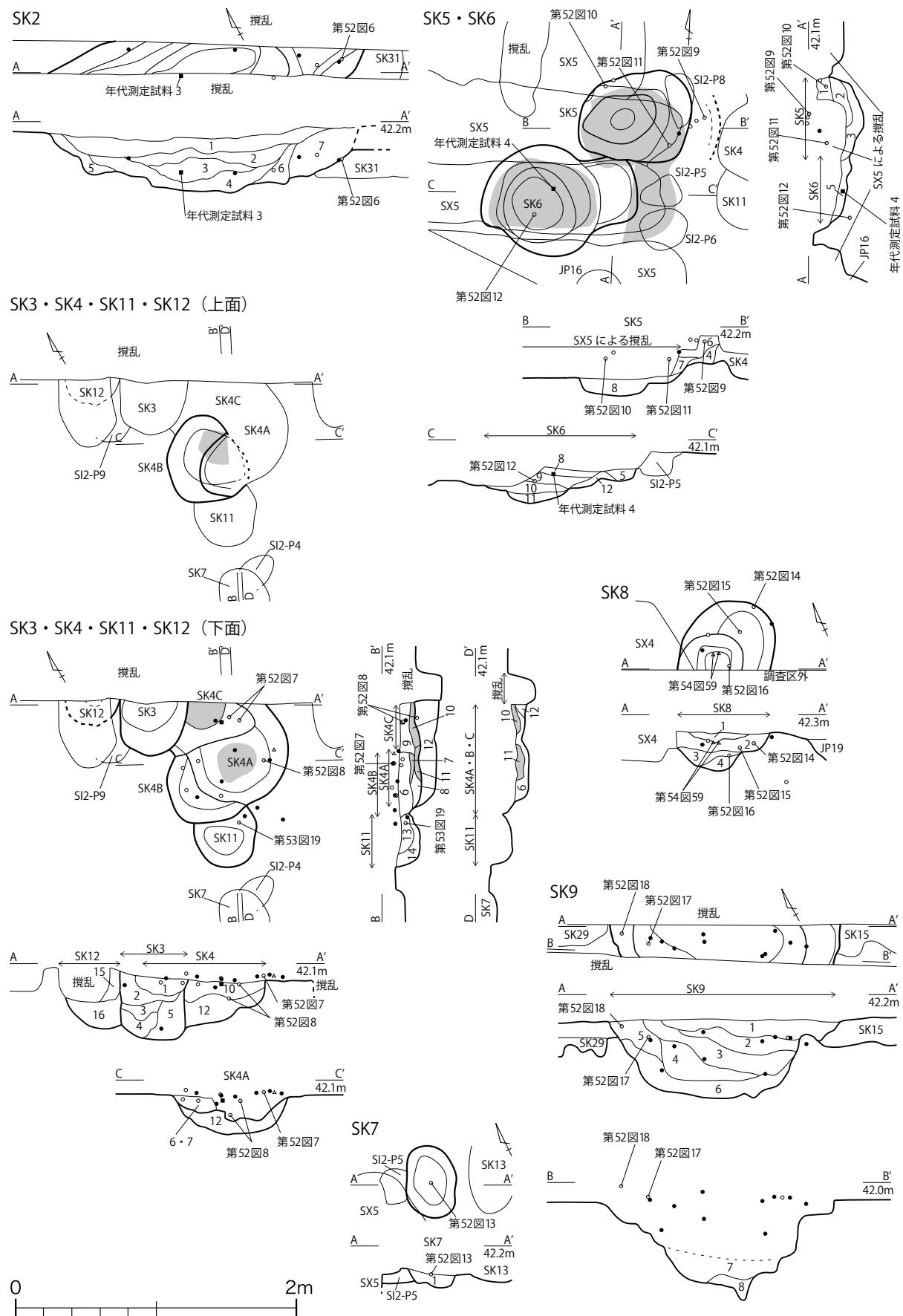
1号集石の下面から検出された。遺物は、縄文土器1点と石器1点、礫18点が出土した。礫が多量に出土したことから、1号集石の一部であると考えられる。第54図60はホルンフェルスの礫器である。遺構の時期は、遺構の状況と出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

## 27号土坑 (SK27) (第39図、第19・21表)

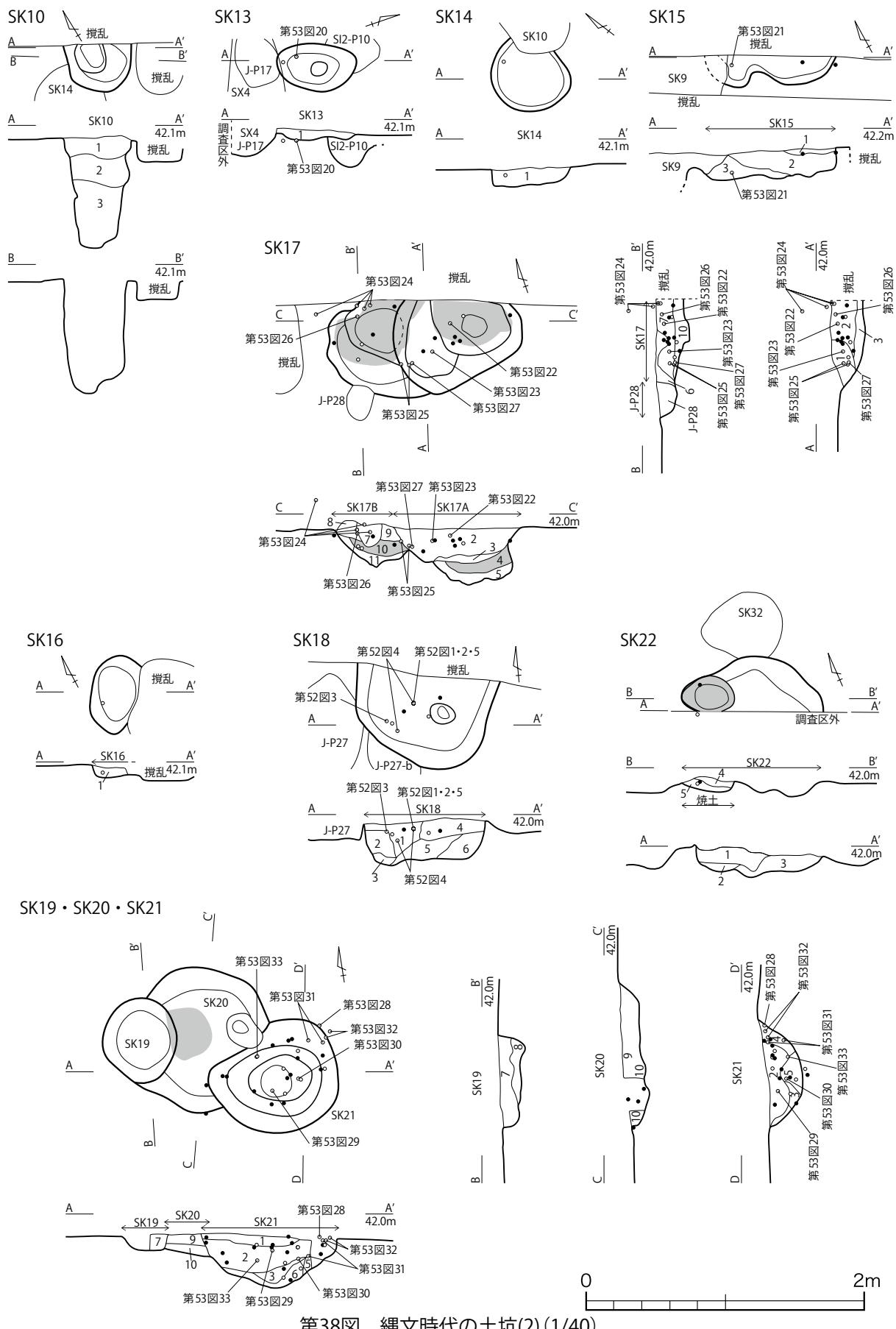
1号集石の下面から検出された。遺物は出土しなかった。

## 28号土坑 (SK28) (第39図、第19・21表)

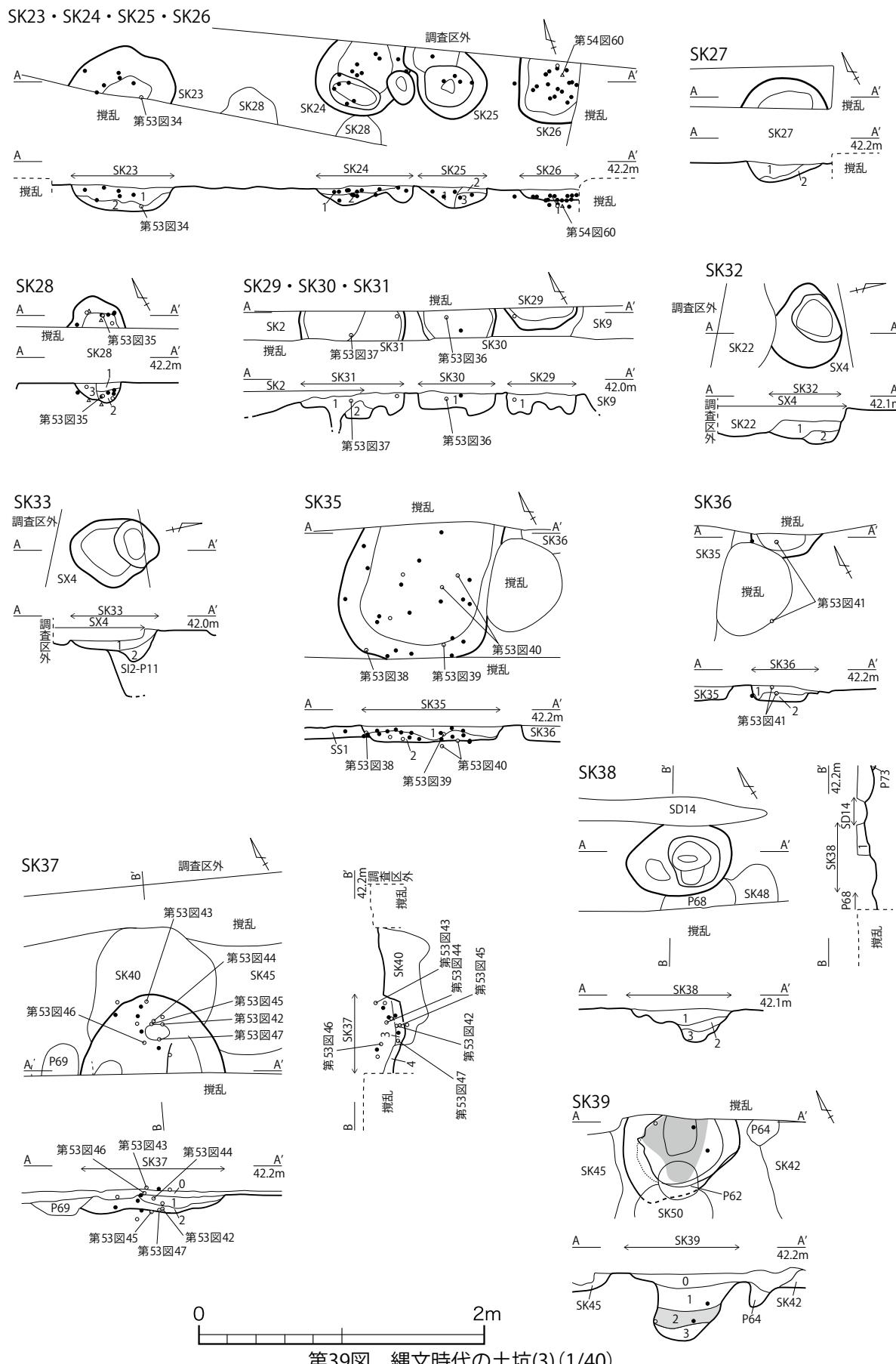
1号集石の下面から検出された。遺物は、縄文土器3点と礫5点が出土した。第53図35は、加



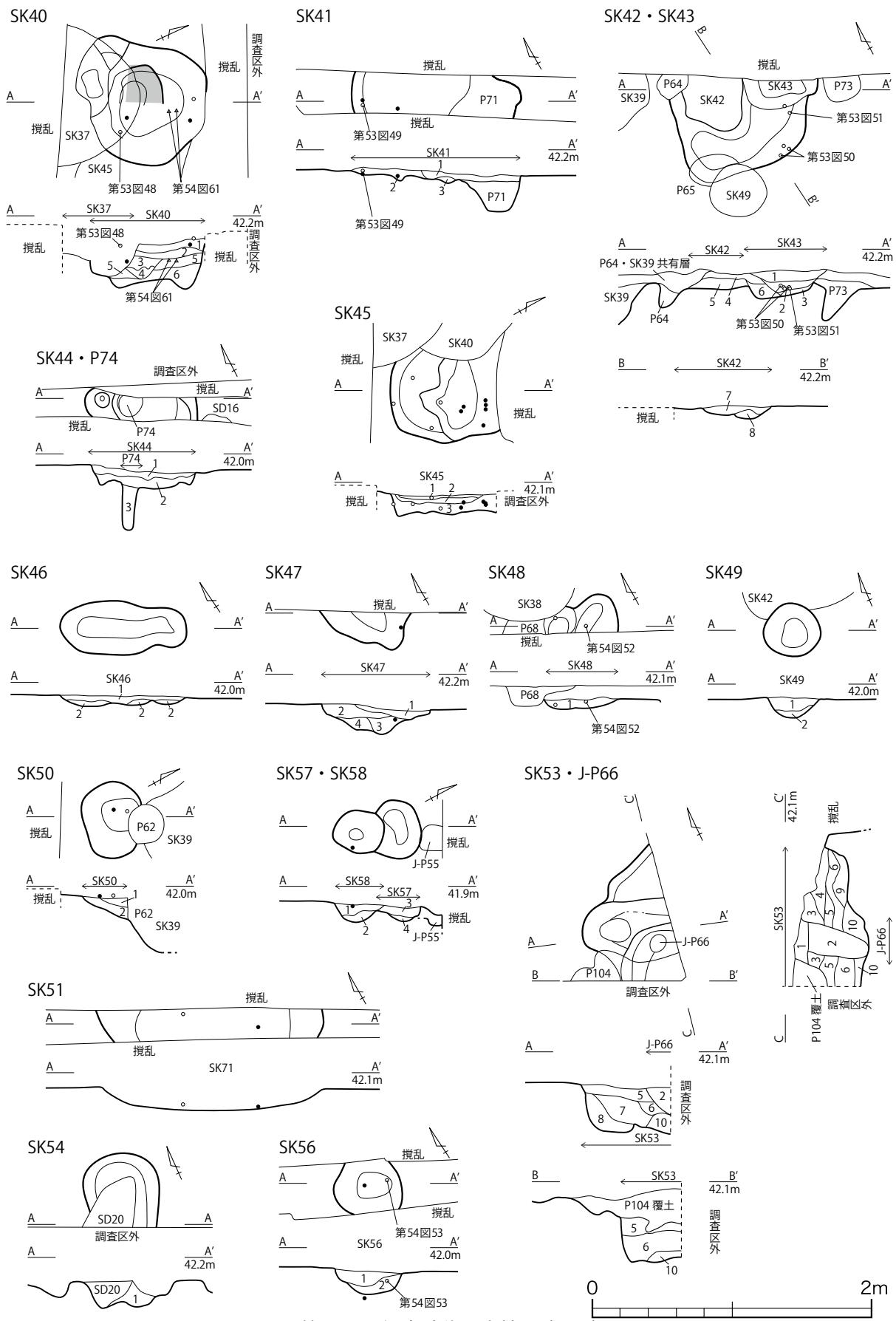
第37図 繩文時代の土坑(1)(1/40)



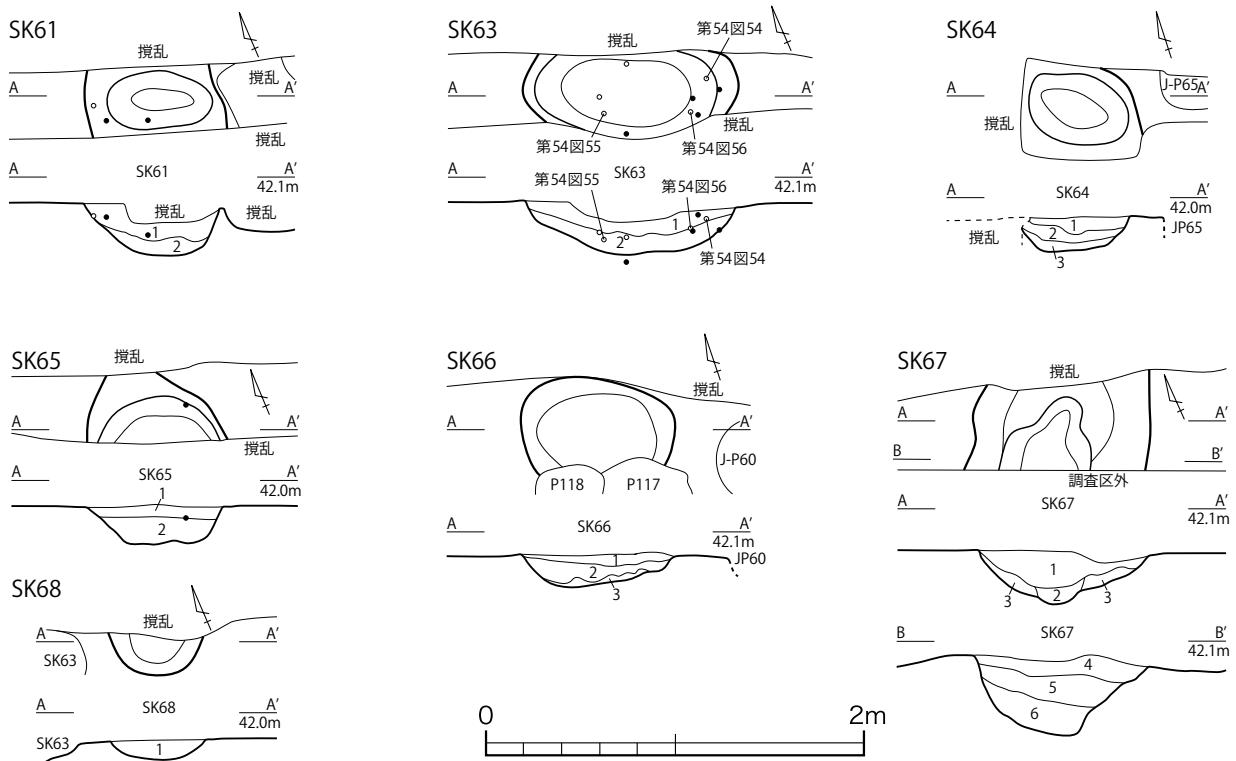
第38図 繩文時代の土坑(2) (1/40)



第39図 繩文時代の土坑(3) (1/40)



第40図 縄文時代の土坑(4) (1/40)



第41図 縄文時代の土坑(5)(1/40)

曾利 E3 式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

29号土坑 (SK29) (第39図、第19・21表)

擾乱により全体の形状が不明である。遺物は、縄文土器1点が出土した。

30号土坑 (SK30) (第39図、第20・21表)

擾乱により全体の形状が不明である。遺物は、縄文土器1点と礫1点が出土した。第53図36は、条痕文系の深鉢胴部である。

31号土坑 (SK31) (第39図、第20・21表)

擾乱により全体の形状が不明である。遺物は、縄文土器2点が出土した。第53図37は、時期不詳の深鉢胴部である。

32号土坑 (SK32) (第39図、第20・21表)

22号土坑に切られる。遺物は出土しなかった。切り合い関係から、遺構の時期は縄文時代早期後半以前と考えられる。

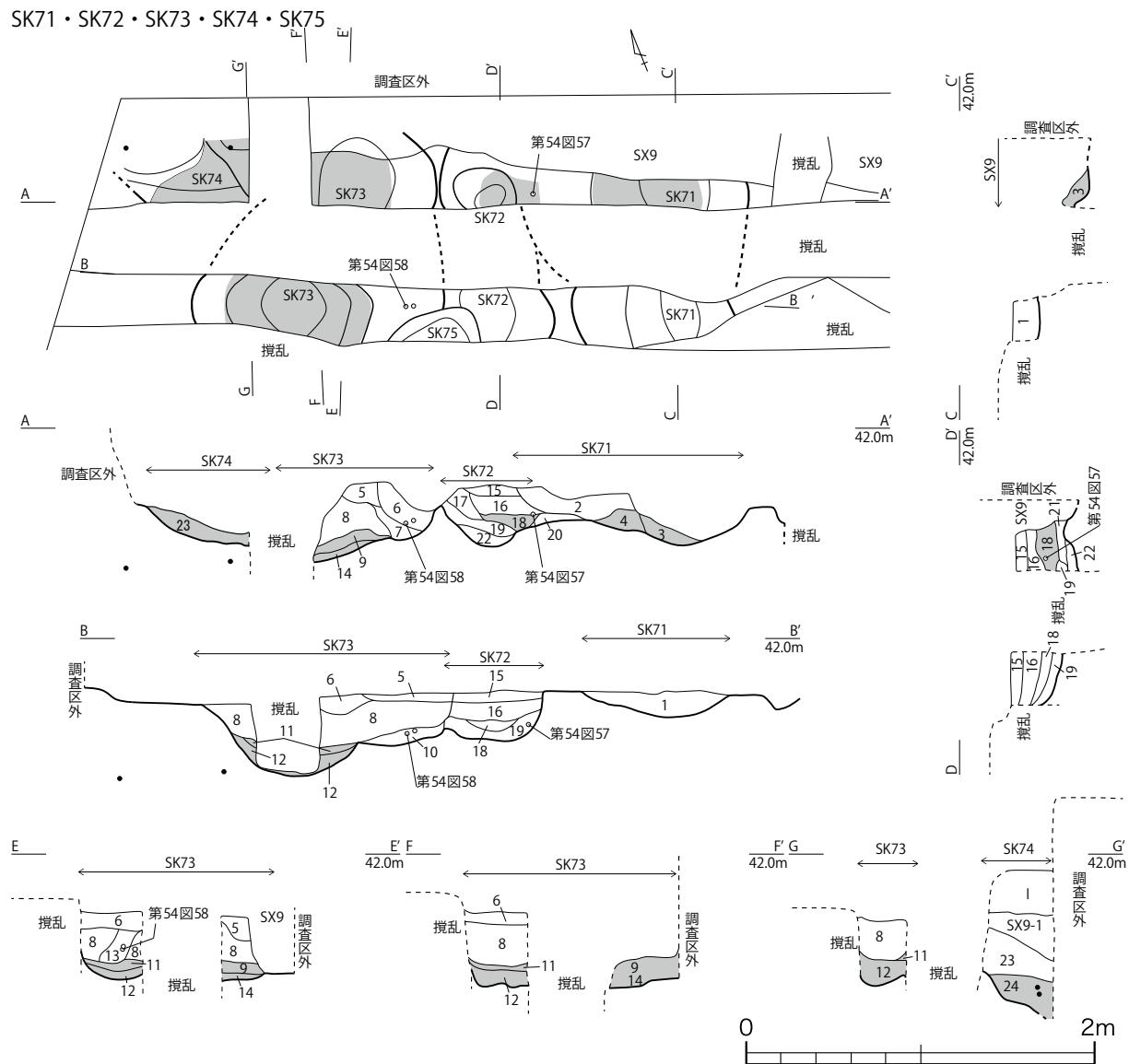
33号土坑 (SK33) (第39図、第20・21表)

2号竪穴状遺構11号ピットの上層に位置する。遺物は出土しなかった。

35号土坑 (SK35) (第39図、第20・21表)

1号集石の下層から検出された。遺物は、縄文土器6点と礫19点が出土した。礫が多量に出土したことから、1号集石の一部であると考えられる。第53図38・39は、条痕文系の深鉢胴部である。

40は、中期後半の両耳壺胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。



第42図 縄文時代の土坑(6)(1/40)

## 36号土坑 (SK36) (第39図、第20・21表)

遺物は、縄文土器1点と礫1点が出土した。第53図41は、加曾利E3式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

## 37号土坑 (SK37) (第39図、第20・21表)

浅いが比較的大型の土坑である。40号土坑を切る。3層は40号土坑の火床面の影響で焼土を多く含む。遺物は、縄文土器10点と礫5点が出土した。第53図42は条痕文系の深鉢口縁部、43は前期前半の深鉢胴部である。44は加曾利E式また曾利式の口縁部、45は加曾利E4式の深鉢胴部、46・47は加曾利E3/E4式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

## 38号土坑 (SK38) (第39図、第20・21表)

広く浅い形状であるが、中央にピット状の窪みを有する。遺物は出土しなかった。

第19表 繩文時代の土坑土層説明一覧表 (1)

遺構	層位	土質	色調	粘性	しまり	含有物・備考
2号土坑	1 土	10YR1.7/1	黒色	強	極強	暗褐色粘土粒(φ 2~20mm)5%、ローム粒(φ 1~3mm)2%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)2%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%、礫(φ 2~15mm)2%、備考:褐色粘土粒はII b層由来
	2 土	10YR2/1	黒色	強	強弱	暗褐色粘土粒(φ 2~20mm)3%、ローム粒(φ 1~3mm)2%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)2%、焼土粒(φ 1~3mm)1%、炭化黑褐色土ブロック(φ 30~50mm)5%、ローム粒(φ 1~10mm)3%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%、炭化粒粒(φ 1~10mm)1%
	3 土	10YR1.7/1	黒色	極強	強	暗褐色粘土粒(φ 2~20mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	4 土	10YR3/3	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ 2~20mm)20%
	5 ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)30%
	6 ローム混じり土	10YR3/2	黒褐色	強	一	ローム粒(φ 2~20mm)20%
	7 ローム混じり土	10YR3/2	黒褐色	一	一	ローム粒(φ 2~20mm)20%
3号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ 1~5mm)5%、焼土粒(φ 1~3mm)2%、炭化物粒(φ 1~5mm)1%
	2 土	10YR2/2	黒褐色	有強	有強	ローム粒(φ 2~15mm)3%、焼土粒(φ 1~3mm)1%
	3 土	10YR2/2	黒褐色	強	強	焼土粒(φ 1~3mm)1%、ローム粒(φ 1~3mm)1%
	4 ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	極強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、焼土粒(φ 1~5mm)2%、しまり非常に強い
	5 土	10YR3/4	暗褐色	強	有強	ローム粒(φ 2~15mm)10%
4号土坑	6 土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)5%、焼土粒(φ 1~2mm)1%
	7 燃土混じり土	7.5YR3/4	暗褐色	弱	有強	焼土粒(φ 1~10mm)5%、ローム粒(φ 2~5mm)2%、炭化物粒(φ 1~3mm)2%、備考:SK4Aの火床面
	8 ローム	10YR4/4	褐色	強	強	焼土粒(φ 1~3mm)2%、礫(φ 5~10mm)2%
	9 土	7.5YR3/4	暗褐色	有弱	有強	ローム粒(φ 2~15mm)5%、焼土粒(φ 1~5mm)3%、炭化物粒(φ 1~3mm)2%
	10 燃土混じり土	7.5YR4/6	褐色	弱	弱	焼土粒(φ 1~10mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)2%、ローム粒(φ 2~5mm)2%、備考:SK4Cの火床面
	11 燃土混じり土	5YR3/4	暗赤褐色	弱	極強	焼土粒(φ 1~15mm)10%、ローム粒(φ 2~10mm)10%、炭化物粒(φ 1~5mm)3%、備考:SK4Bの火床面
	12 ローム混じり土	7.5YR3/4	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ 2~15mm)10%、焼土粒(φ 1~5mm)2%
11号土坑	13 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)5%、焼土粒(φ 1~3mm)1%
	14 土	10YR3/4	暗褐色	極強	強	ローム粒(φ 2~20mm)15%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
12号土坑	15 土	10YR3/4	暗褐色	強	有強	ローム粒(φ 2~15mm)5%、焼土粒(φ 1~2mm)1%
	16 土	10YR3/3	暗褐色	極強	一	ローム粒(φ 2~15mm)5%
5号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	有強	強	ローム粒(φ 2~15mm)5%、焼土粒(φ 1~3mm)1%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	有強	強	ローム粒(φ 2~15mm)5%、焼土粒(φ 1~3mm)3%、II b層土を主体とする
	3 土(混じりローム)(ローム混じり土)	7.5YR4/4	褐色	強	強	II層ロームを主体とする、黒色土粒(φ 2~10mm)5%、焼土粒(φ 1~5mm)2%、炭化物粒(φ 1~5mm)1%
	4 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~15mm)15%、II b層土を主体とする。備考:地山の可能性あり
6号土坑	5 土(混じりローム)(ローム混じり土)	10YR3/4	暗褐色	強	有強	III層ロームを主体とする、黒色土粒(φ 2~5mm)2%、焼土粒(φ 1~2mm)1%
	6 土	10YR3/3	暗褐色	有強	強	ローム粒(φ 2~5mm)3%、焼土粒(1~2mm)1%
	7 土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)5%、炭化物粒(φ 1~2mm)1%、焼土粒(φ 1~2mm)1%
	8 土	10YR4/3	にぶい黄褐色	強	強	ローム粒(φ 2~5mm)3%、焼土粒(1~3mm)2%、炭化物粒(φ 1~3mm)2%
	9 土	7.5YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、焼土粒(φ 1~5mm)3%、炭化物粒(φ 1~3mm)2%
	10 燃土混じり土	7.5YR4/4	褐色	弱	強	焼土粒(φ 1~10mm)20%、ローム粒(φ 2~10mm)5%、炭化物粒(φ 1~10mm)3%
	11 ローム	7.5YR5/6	明褐色	極強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%を主体とする。焼土粒(φ 1~3mm)2%、地山の可能性あり
	12 土	10YR4/6	褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)5%、焼土粒(φ 1~2mm)1%、地山の可能性あり
	7号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	強
8号土坑	1 土	10YR1.7/1	黒色	弱	極強	ローム粒(φ 2~5mm)3%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	2 ローム混じり土	10YR3/2	黒褐色	有強	極強	ローム粒(φ 2~15mm)10%、ローム粒(φ 2~20mm)10%
	3 ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)30%、炭化物粒(φ 1~2mm)1%
	4 ローム混じり土	10YR4/3	にぶい黄褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)40%
9号土坑	1 土	10YR2/2	黒褐色	有強	極強	赤褐色スコリア(φ 1~2mm)3%、ローム粒(φ 2~5mm)5%、炭化物粒(φ 1~15mm)2%、礫(φ 2~20mm)1%
	2 土	10YR3/2	黒褐色	有強	強	ローム粒(φ 2~10mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	3 土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、ローム粒(φ 2~30mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	4 土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)15%、炭化物粒(φ 1~20mm)15%、炭化物粒(φ 1~2mm)2%
	5 土(混じりローム)	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)15%を主体とする(50%以上)、炭化物粒(φ 1~3mm)1%、備考:崩落した地山か
	6 土(混じりローム)	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、ローム粒(φ 2~30mm)10%、ボソボソしている
	7 土	10YR3/4	暗褐色	強	弱~有	ローム粒(φ 5~20mm)15%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%、黒色土粒がまじる。ローム粒(φ 2~15mm)20%
	8 ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	極強	一	黒色土粒がまじる。ローム粒(φ 2~15mm)20%
10号土坑	1 土	10YR2/3	暗褐色	極強	極強	II b層土を主体とする。ローム粒(φ 2~15mm)5%
	2 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ 2~30mm)5%、ローム粒(φ 2~20mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	3 土	10YR2/3	黒褐色	極強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、炭化物粒(φ 5~10mm)1%
13号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	極強	一	II b層土を主体とする。ローム粒(φ 2~5mm)3%、焼土粒(φ 1~3mm)1%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	14号土坑	1 土	10YR3/4	暗褐色	極強	II b層土を主体とする。ローム粒(φ 2~20mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%、
15号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	有強	極強	ローム粒(φ 2~10mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%、炭化物粒(φ 1~3mm)2%、
	2 土	10YR4/3	にぶい黄褐色	有強	強	ローム粒(φ 2~20mm)15%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	3 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)15%、炭化物粒(φ 1~3mm)3%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
16号土坑	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)3%、焼土粒(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~15mm)5%、焼土粒(φ 1~3mm)1%
	3 土	10YR2/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、ローム粒(φ 2~30mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	4 土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)15%、炭化物粒(φ 1~20mm)15%、炭化物粒(φ 1~2mm)1%
	5 土(混じりローム)	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)15%を主体とする(50%以上)、炭化物粒(φ 1~3mm)1%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	6 土(混じりローム)	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、ローム粒(φ 2~30mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	7 土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、ローム粒(φ 2~30mm)10%、焼土粒(φ 1~5mm)3%、炭化物粒(φ 1~3mm)2%
	8 ローム	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、ローム粒(φ 2~30mm)10%、焼土粒(φ 1~5mm)3%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	9 ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、焼土粒(φ 1~5mm)1%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	10 燃土混じり土	7.5YR3/4	暗褐色	有強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、ローム粒(φ 2~30mm)5%、焼土粒(φ 1~5mm)3%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	11 ローム	7.5YR4/4	褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)12%、備考:ローム粒が火を受けたもの(地山)
18号土坑	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	有強	ローム粒(φ 2~10mm)5%、焼土粒(φ 1~5mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)2%
	2 ローム混じり土	10YR4/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~30mm)30%、ローム粒(φ 2~20mm)10%、焼土粒(φ 1~5mm)2%
	3 ローム	10YR4/6	褐色	極強	強	ローム粒(φ 2~10mm)33%、焼土粒(φ 1~5mm)2%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	4 土	10YR3/4	暗褐色	極強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、ローム粒(φ 2~30mm)10%、焼土粒(φ 1~5mm)3%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	5 土	10YR3/3	暗褐色	極強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、焼土粒(φ 1~5mm)1%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	6 土(混じりローム)	10YR3/4	暗褐色	極強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、ローム粒(φ 2~30mm)10%、焼土粒(φ 1~5mm)3%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
21号土坑	1 土	10YR4/4	褐色	強	強	ローム粒(φ 2~30mm)5%、ローム粒(φ 2~20mm)10%、焼土粒(φ 1~3mm)1%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)5%、焼土粒(φ 1~2mm)1%
	3 土	10YR4/4	褐色	極強	強	ローム粒(φ 2~10mm)5%を主体とする。暗褐色土粒(φ 2~15mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	4 ローム	10YR4/4	褐色	極強	強	ローム粒(φ 1~2mm)1%、炭化物粒(φ 2~5mm)1%
	5 土(混じりローム)	10YR4/6	褐色	極強	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%を主体とする。暗褐色土粒(φ 2~15mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	6 土(混じりローム)	7.5YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 1~2mm)1%、炭化物粒(φ 2~5mm)1%
19号土坑	7 土	10YR3/4	暗褐色	極強	強	焼土粒(φ 1~2mm)1%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%、ローム粒(φ 2~15mm)3%
	8 ローム混じり土	10YR4/6	褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%
	9 ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%、焼土粒(φ 1~2mm)1%含有物無し。ローム粒を主体とするが、ボソボソしている。
20号土坑	10 土	10YR4/4	褐色	弱	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%、焼土粒(φ 1~2mm)1%
	1 土(ローム混じり土)	10YR3/2	黒褐色	極弱	強	ローム粒(φ 2~30mm)50%以上、焼土粒(φ 1~10mm)5%、黒褐色土粒(φ 2~10mm)5%
	2 土(ローム混じり土)	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~30mm)20%、ローム粒(φ 2~20mm)30%、焼土粒(φ 2~5mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)2%
	3 土(ローム混じり土)	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~30mm)10%、焼土粒(φ 1~5mm)3%
	4 土(ローム混じり土)	7.5YR3/4	暗褐色	弱	強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、焼土粒(φ 1~5mm)3%
23号土坑	5 土	10YR3/2	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	6 土	10YR3/4	暗褐色	強	有弱	ボソボソのローム粒が主体
24号土坑	1 土	10YR2/2	黒褐色	有強	強	ローム粒(φ 2~20mm)5%、焼土粒(φ 1~5mm)1%、炭化物粒(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/2	黒褐色	有強	有	ローム粒(φ 2~20mm)30%
25号土坑	1 土	10YR3/2	黒褐色	有強	有	ローム粒(φ 2~15mm)5%
	2 土	10YR3/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ 2~5mm)2%
	3 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~15mm)20%
26号土坑	1 土	10YR2/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ 2~15mm)5%、焼土粒(φ 1~5mm)1%
	2 土	10YR2/3	黒褐色	強	極強	ローム粒(φ 2~15mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
27号土坑	1 土	10YR3/4	暗褐色	有弱	強	ローム粒(φ 2~20mm)40%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~5mm)5%
	3 ローム	7.5YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~15mm)20%
28号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	有	有	ローム粒(φ 2~5mm)3%、炭化物粒(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	有	有	ローム粒(φ 2~5mm)5%
	3 ローム	7.5YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~15mm)20%
29号土坑	1 土	10YR3/4	暗褐色	有	極強	ローム粒(φ 2~15mm)10%

第20表 繩文時代の土坑土層説明一覧表(2)

遺構	層位	土質	色調	粘性	しまり	含有物・備考	
30号土坑	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ2~20mm)10%	
	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ2~15mm)10%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	2 ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	極強	ロームブロック(φ20~30mm)10%、ローム粒(φ2~20mm)10%		
32号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	有	極強	ロームブロック(φ20~30mm)10%、ローム粒(φ1~20mm)5%、炭化物粒(φ1~10mm)3%、焼土粒(φ1~3mm)1%、備考: SX4 の搅乱を受けている可能性あり	
	2 土	7.5YR2/3	極暗褐色	強	有	ローム粒(φ2~20mm)10%、炭化物粒(φ1~5mm)2%	
33号土坑	1 土	7.5YR3/4	暗褐色	極強	極強	ローム粒(φ2~15mm)10%、焼土粒(φ1~5mm)2%、炭化物粒(φ1~3mm)2%	
	2 土	10YR3/4	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ2~20mm)15%、炭化物粒(φ1~5mm)2%、備考: SI2-P11 の覆土の可能性あり	
35号土坑	1 土	10YR2/1	黒色	弱	極強	ローム粒(φ2~5mm)5%、炭化物粒(φ1~3mm)1%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	2 ローム混じり土	10YR2/3	黒褐色	有	極強	ローム粒(φ2~15mm)20%	
36号土坑	1 土	10YR2/1	黒色	一	一	ローム粒(φ2~5mm)5%、白色砂粒(φ0.5~1mm)2%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	2 ローム混じり土	10YR2/3	黒褐色	一	一	ローム粒(φ2~15mm)15%	
37号土坑	0 土	10YR1/7/1	黒色	弱	極強	ローム粒(φ1~5mm)3%	
	1 土	10YR2/2	黒褐色	有	極強	ローム粒(φ2~15mm)5%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	2 土	10YR2/3	黒褐色	強	極強	ローム粒(φ2~20mm)10%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	3 土	7.5YR3/4	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ2~10mm)5%、焼土粒(φ1~5mm)3%、炭化物粒(φ1~3mm)2%	
	4 土	10YR4/4	褐色	有	極強	ロームを主体とする、黒褐色土粒(φ5~10mm)5%、焼土粒(φ1~3mm)1%	
38号土坑	1 土	10YR2/3	暗褐色	弱	極強	ローム粒(φ2~15mm)3%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	2 土	10YR3/3	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ2~20mm)10%	
	3 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	有	極強	ロームブロック(φ20~30mm)10%、ローム粒(φ2~20mm)10%、炭化物粒(φ1~3mm)1%
39号土坑	0 土	10YR2/3	黒褐色	有	極強	ロームブロック(φ20~30mm)15%、ローム粒(φ2~20mm)15%、備考: P64 の1層と共通の土層	
	1 土	10YR3/3	暗褐色	一	一	ローム粒(φ2~20mm)10%、炭化物粒(φ1~5mm)1%	
	2 土	5YR2/3	暗褐色赤褐色	一	一	焼土粒(φ2~20mm)10%、ロームブロック(φ20~30mm)10%、ローム粒(φ2~20mm)5%	
	3 土	ローム	黃褐色	一	一	ロームを主体とする。	
40号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	有	極強	ローム粒(φ2~15mm)5%	
	2 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ2~20mm)20%、焼土粒(φ2~5mm)1%
	3 土	焼土混じり土	7.5YR4/6	褐色	弱	極強	焼土粒(φ2~5mm)10%、ローム粒(φ2~5mm)3%、炭化物粒(φ2~5mm)2%
	4 土	7.5YR4/6	褐色	弱	極強	焼土粒(φ1~5mm)5%、ローム粒(φ2~10mm)10%	
	5 土	7.5YR3/4	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ2~10mm)1%、焼土粒(φ1~3mm)11%、炭化物粒(φ2~5mm)1%	
	6 土	ローム混じり土	10YR4/6	褐色	強	極強	ローム粒(φ2~20mm)20%、ローム粒(φ2~20mm)10%、焼土粒(φ1~3mm)1%
41号土坑	1 土	10YR3/3	暗褐色	有	極強	ローム粒(φ2~10mm)10%、炭化物粒(φ1~3mm)2%	
	2 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	有	極強	ロームブロック(φ20~30mm)10%、ローム粒(φ2~20mm)10%
	3 土	10YR2/1	黒褐色	弱	極強	ローム粒(φ2~15mm)3%	
42号土坑・43号土坑	1 土	10YR2/2	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ2~10mm)13%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	2 土	10YR2/3	黒褐色	強	極強	ローム粒(φ2~15mm)10%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	3 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ2~20mm)20%、焼土粒(φ1~2mm)1%、炭化物粒(φ1~3mm)1%
	4 土	10YR2/3	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ2~10mm)10%、黑色粘土粒(φ1~3mm)3%	
	5 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ2~20mm)40%、黑色粘土粒(φ1~3mm)2%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%
	6 土	ローム混じりローム	10YR3/4	暗褐色	弱	極強	ロームを主体とする(80%以上)。
	7 土	ローム混じり土	7.5YR3/4	暗褐色	強	極強	II b 層土粒(φ10~20mm)10%
	8 土	ローム混じりローム	10YR3/4	暗褐色	弱	極強	ローム粒(φ2~10mm)30%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%、炭化物粒(φ1~3mm)2%
44号土坑・74号ビット	1 土	10YR2/2	黒褐色	強	極強	ローム粒(φ2~5mm)5%、焼土粒(φ1~3mm)1%	
	2 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ2~15mm)20%
	3 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	有	極強	ローム粒(φ2~10mm)40%
45号土坑	1 土	10YR2/2	黒褐色	弱	弱	ローム粒(φ2~10mm)5%、炭化物粒(φ1~3mm)1%、焼土粒(φ1~2mm)1%	
	2 土	7.5YR2/3	暗褐色	弱	強	ローム粒(φ2~15mm)10%	
	3 土	ローム混じり土	7.5YR3/4	暗褐色	有	強	ロームブロック(φ20~30mm)15%、ローム粒(φ2~20mm)15%、炭化物粒(φ1~3mm)1%
46号土坑	1 土	10YR3/3	暗褐色	極強	極強	ローム粒(φ2~10mm)10%	
	2 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~20mm)20%
47号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	極強	ローム粒(φ2~10mm)5%、黑色粘土粒がマーブル状に含まれる	
	2 土	10YR3/2	黒褐色	強	極強	ロームブロック(φ20~30mm)5%、ローム粒(φ2~20mm)5%	
	3 土	10YR3/3	暗褐色	極強	極強	ローム粒(φ2~10mm)10%	
	4 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	極強	ロームブロック(φ20~30mm)10%、ローム粒(φ2~20mm)10%	
48号土坑	1 土	ローム混じり土	10YR2/3	黒褐色	強	極強	ローム粒(φ2~15mm)10%、炭化物粒(φ1~3mm)1%
49号土坑	1 土	10YR3/3	暗褐色	極強	強	ロームブロック(φ20~30mm)5%、ローム粒(φ2~20mm)10%	
50号土坑	1 土	10YR3/4	暗褐色	有	強	ローム粒(φ2~15mm)20%、炭化物粒(φ1~3mm)1%	
J-66号ビット	1 土	10YR2/3	黒褐色	弱	強	ローム粒(φ2~5mm)10%、炭化物粒(φ1~3mm)1%	
	2 土	10YR3/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~10mm)5%、炭化物粒(φ1~3mm)1%	
53号土坑	3 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~10mm)5%、黒褐色土粒(φ2~5mm)3%	
	4 土	土混じりローム	10YR3/4	暗褐色	強	強	ロームが主体(80%以上)、黒褐色土粒(φ2~5mm)10%
	5 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)10%	
	6 土	土混じりローム	10YR3/3	暗褐色	強	弱	ロームが主体(黒っぽい)→(80%以上)、黒褐色土粒(φ2~15mm)10%
	7 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ロームブロック(φ20~30mm)10%、ローム粒(φ2~20mm)10%
	8 土	10YR4/4	褐色	強	強	ローム粒(φ2~20mm)15%	
	9 土	土混じりローム	10YR4/4	褐色	弱	強	ロームが主体(80%以上)、黒褐色土粒(φ2~10mm)5%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%
	10 土	7.5YR3/4	暗褐色	弱	強	ローム粒(φ2~10mm)10%、炭化物粒(φ1~3mm)1%、焼土粒(φ1~5mm)3%	
54号土坑	1 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	弱	有	ローム粒(φ2~15mm)20%
56号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~10mm)5%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
58号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)10%、炭化物粒(φ1~2mm)1%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
57号土坑	3 土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒(φ2~15mm)10%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	4 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	有	ローム粒(φ2~20mm)20%	
61号土坑	1 土	10YR2/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~10mm)5%、炭化物粒(φ1~3mm)1%、焼土粒(φ1~2mm)1%	
	2 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ロームが主体。
63号土坑	1 土	10YR2/1	黒色	強	強	ローム粒(φ2~5mm)5%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	2 土	10YR2/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~20mm)20%	
64号土坑	1 土	10YR2/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~5mm)10%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)2%	
	2 土	10YR2/1	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~5mm)11%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	3 土	10YR2/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)10%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
65号土坑	1 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	弱	有	ローム粒(φ2~15mm)20%
56号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~10mm)5%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
58号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)10%、炭化物粒(φ1~2mm)1%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
57号土坑	3 土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒(φ2~15mm)10%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	4 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	有	ローム粒(φ2~20mm)20%	
61号土坑	1 土	10YR2/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~10mm)5%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)2%	
	2 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~20mm)10%
63号土坑	1 土	10YR2/1	黒色	強	強	ローム粒(φ2~5mm)5%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	2 土	10YR2/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~20mm)15%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
64号土坑	1 土	10YR2/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~5mm)12%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)2%	
	2 土	10YR2/1	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~5mm)11%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
	3 土	10YR2/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)10%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%	
65号土坑	1 土	10YR2/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~20mm)10%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%、焼土粒(φ1~2mm)1%	
	2 土	混じりローム	10YR3/4	暗褐色	強	強	ロームが主体である。
66号土坑	1 土	10YR2/2	黒褐色	有	強	ローム粒(φ2~10mm)5%、赤褐色スコリア(1~2mm)1%	
	2 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	有	強	ローム粒(φ2~15mm)20%、赤褐色スコリア(1~2mm)1%
	3 土	ローム	10YR3/4	暗褐色	強	強	ロームが主体である。
67号土坑	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	極強	ローム粒(φ2~20mm)10%、赤褐色スコリア(φ1~2mm)1%、炭化物粒(φ1~2mm)1%	
	2 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	II b 層土を主体とする。炭化物粒(φ1~3mm)1%	
	3 土	混じりローム	10YR3/4	暗褐色	強	強	ロームを主体とする。黒色土粒(φ2~20mm)20%
68号土坑	1 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	極強	ローム粒(φ2~20mm)20%	
71号土坑	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~20mm)10%、焼土粒(φ1~3mm)2%、炭化物粒(φ1~3mm)1%	
	2 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~10mm)3%、焼土粒(φ1~3mm)1%	
	3 土	燒土混じり土	5YR5/6	赤褐色	強	強	ローム粒(φ1~20mm)10%、ロームブロック(φ20~30mm)10%(焼けている)、ローム粒(φ2~20mm)5%(焼けている)
	4 土	7.5YR4/6	褐色	強	強	ローム粒(φ1~20mm)5%、焼土粒(φ1~3mm)2%	
	5 土	7.5YR2/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)5%、焼土粒(φ1~3mm)2%	
	6 土	7.5YR2/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~20mm)20%(焼けている)、焼土粒(φ1~3mm)3%	
	7 土	7.5YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)3%、焼土粒(φ1~3mm)3%、炭化物粒(φ1~3mm)1%	
	8 土	7.5YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~10mm)20%(焼けている)、焼土粒(φ1~3mm)3%	
	9 土	ローム混じり土	7.5YR4/4	褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)5%、焼土粒(φ1~3mm)15%
	10 土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)5%、焼土粒(φ1~5mm)15%	
	11 土	7.5YR2/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)5%、ローム粒(φ2~10mm)5%	
	12 土	燒土混じり土	7.5YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)5%、焼土粒(φ1~5mm)5%
	13 土	10YR2/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)5%、焼土粒(φ1~5mm)3%	
	14 土	燒土混じり土	7.5YR4/4	褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)5%、焼土粒(φ1~3mm)2%
	15 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)5%、焼土粒(φ1~3mm)1%	
	16 土	7.5YR2/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)10%、焼土粒(φ1~3mm)3%、炭化物粒(φ1~3mm)1%	
	17 土	7.5YR2/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ2~20mm)15%、焼土粒(φ1~3mm)10%	
	18 土	燒土混じり土	5YR4/3	にぶい赤褐色	有	強	ローム粒(φ2~20mm)10% (焼けている)、ローム粒(φ2~20mm)5% (焼けている)、焼土粒(φ1~5mm)5%
	19 土	7.5YR4/3	褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)5%、焼土粒(φ1~3mm)1%	
	20 土	7.5YR4/3	褐色	強	強	ローム粒(φ2~15mm)10%、焼土粒(φ1~3mm)3%、炭化物粒(φ1~3mm)1%	
	21 土	7.5YR3/4	暗褐色	有	極強	ローム粒(φ2~15mm)10%、焼土粒(φ1~3mm)1%	
	22 土	ローム	5YR5/6	明赤褐色	有	極強	ローム粒(φ2~15mm)10%、焼土粒(φ1~3mm)1%
74号土坑	23 土	燒土混じり土	5YR5/6	明赤褐色	有	強	ローム粒(φ2~10mm)5%、ロームブロック(φ20~30mm)10% (焼けている)、ローム粒(φ2~20mm)5% (焼けている)
	24 土	燒土混じり土	—	—	—	—	

### 39号土坑 (SK39) (第39図、第20・21表)

深さ50cmの掘り込みの深い炉穴である。焼土層である2層が厚く堆積する。また、2・3層はオーバーハンプする。遺物は、礫2点が出土した。遺物を伴なう他の炉穴との類似性から、縄文時代早期後半であると考えられる。

### 40号土坑 (SK40) (第40図、第20・21表)

炉穴である。37号土坑に切られる。遺物は、縄文土器2点と石器2点、礫2点が出土した。第53図48は条痕文系の深鉢胴部である。第54図61は凝灰質砂岩の楕円形片刃石斧で、早期後半に特有の石器である。また、37号土坑で出土した条痕文系土器は、40号土坑に由来する可能性が高い。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

### 41号土坑 (SK41) (第40図、第20・21表)

搅乱により全体の形状は不明である。遺物は、縄文土器1点と礫2点が出土した。第53図49は、加曾利E3式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

### 42号・43号土坑 (SK42・43) (第40図、第20・21表)

42号と43号で一体の土坑で、広く浅い掘り込みである。遺物は、縄文土器5点が出土した。第53図50・51は条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半であると考えられる。

### 44号土坑 (SK44) (第40図、第20・21表)

搅乱により全体の形状は不明である。74号ピットを切るか、あるいは同一遺構の可能性がある。遺物は出土しなかった。

### 45号土坑 (SK45) (第40図、第20・21表)

浅い土坑である。遺物は、縄文土器4点と礫6点が出土した。

### 46号土坑 (SK46) (第40図、第20・21表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

### 47号土坑 (SK47) (第40図、第20・21表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

### 48号土坑 (SK48) (第40図、第20・21表)

68号ピット(P68)に切られる。遺物は、縄文土器2点が出土した。第54図52は早期から前期の深鉢胴部である。

### 49号土坑 (SK49) (第40図、第20・21表)

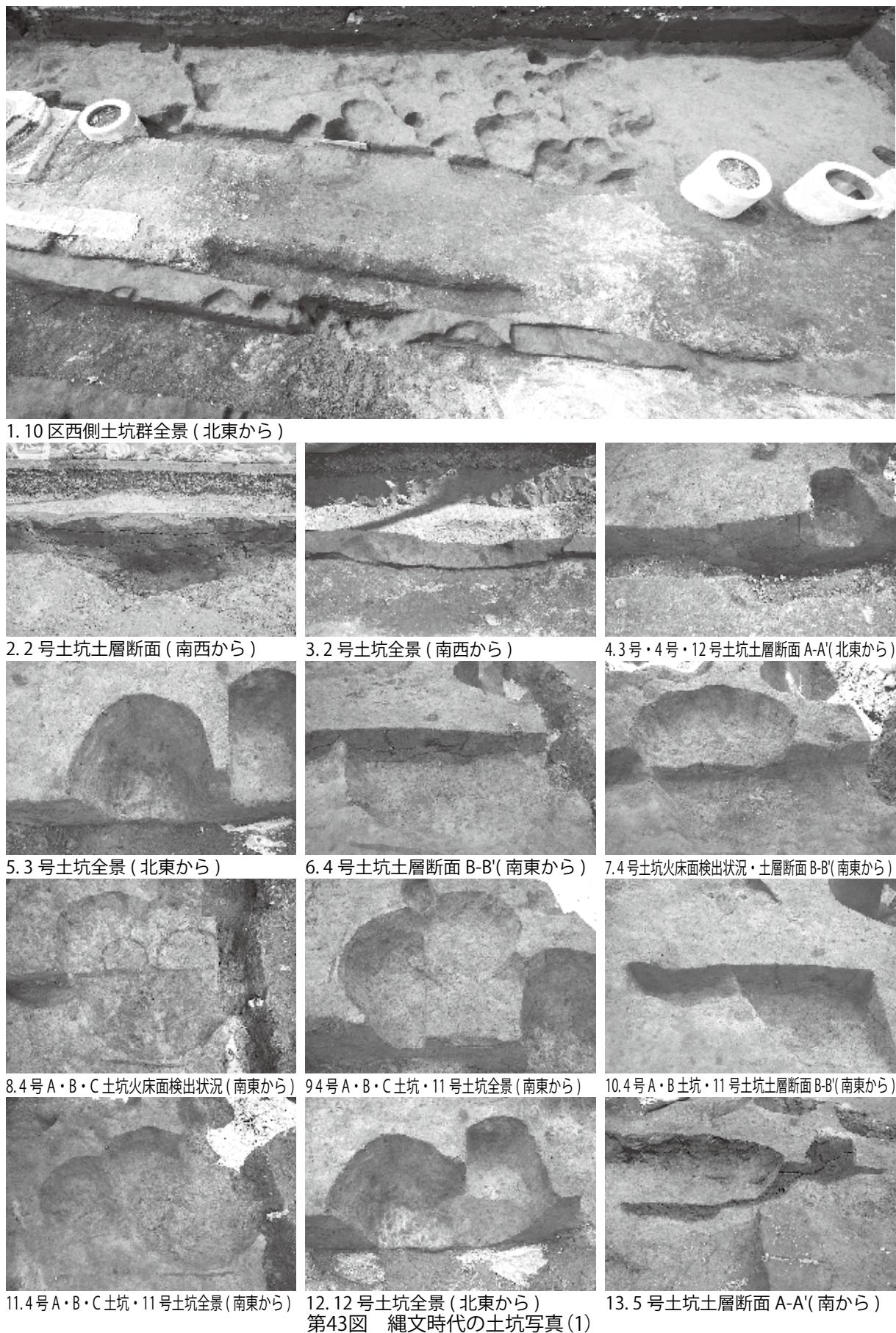
ピットに近い形状である。遺物は、礫1点が出土した。

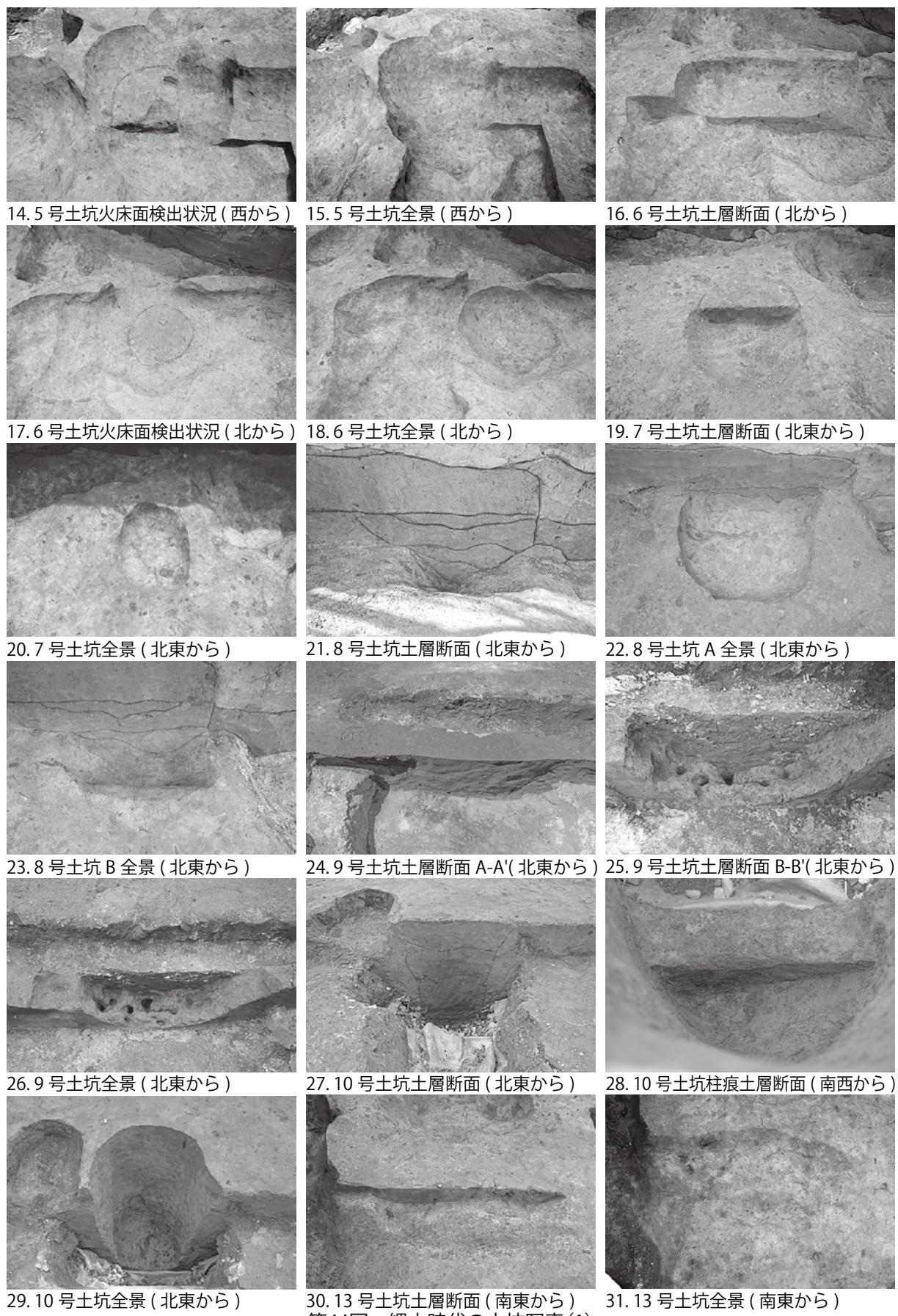
### 50号土坑 (SK50) (第40図、第20表)

62号ピット(P62)に切られるため、全体の形状は不明である。62号ピットと一体の遺構の可能性がある。遺物は、縄文土器1点と礫1点が出土した。62号ピットと一体の場合は、遺構の時期は縄文時代中期後半である。

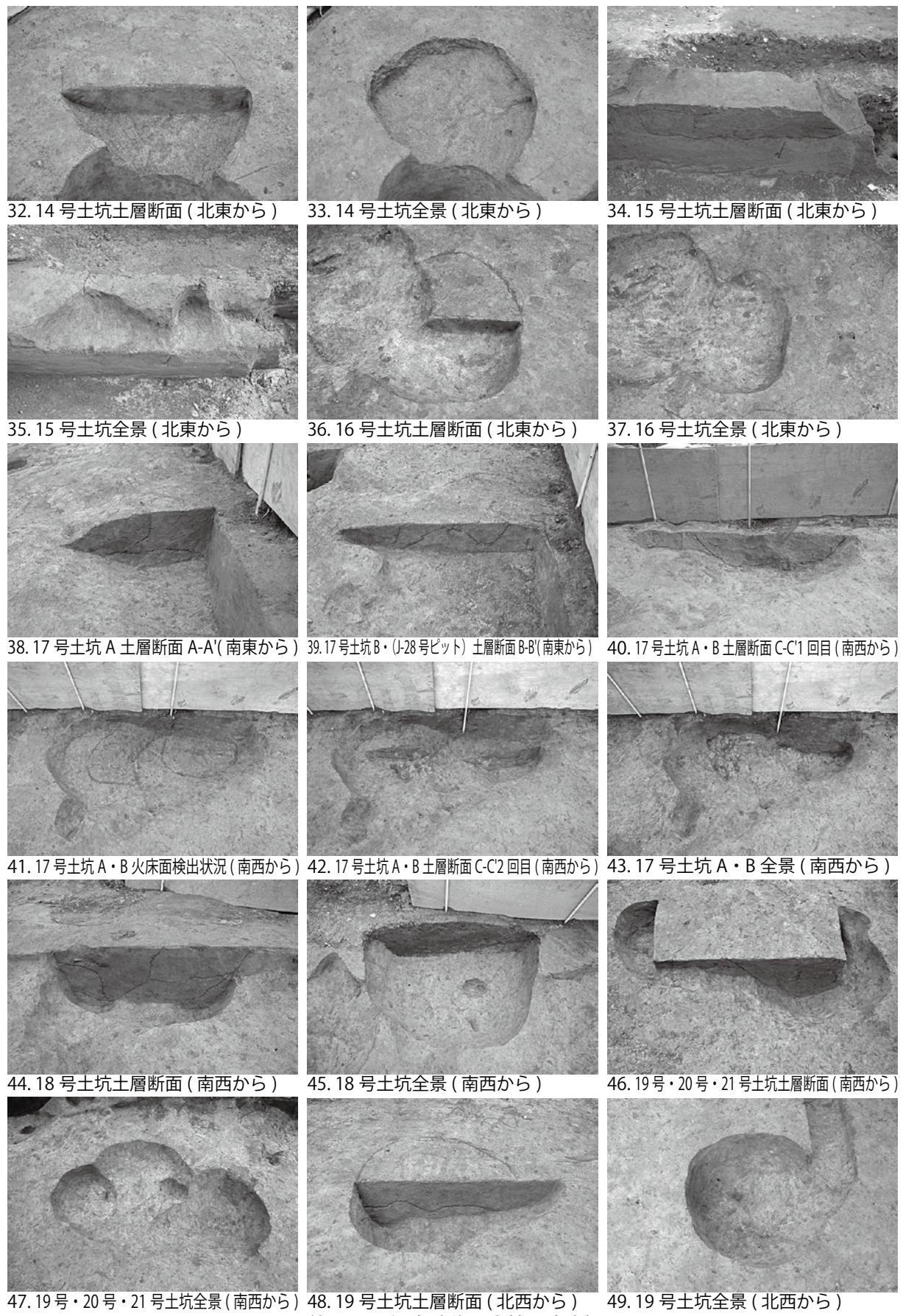
### 51号土坑 (SK51) (第40図、第20・21表)

搅乱により全体の形状は不明である。遺物は、縄文土器1点と礫1点が出土した。

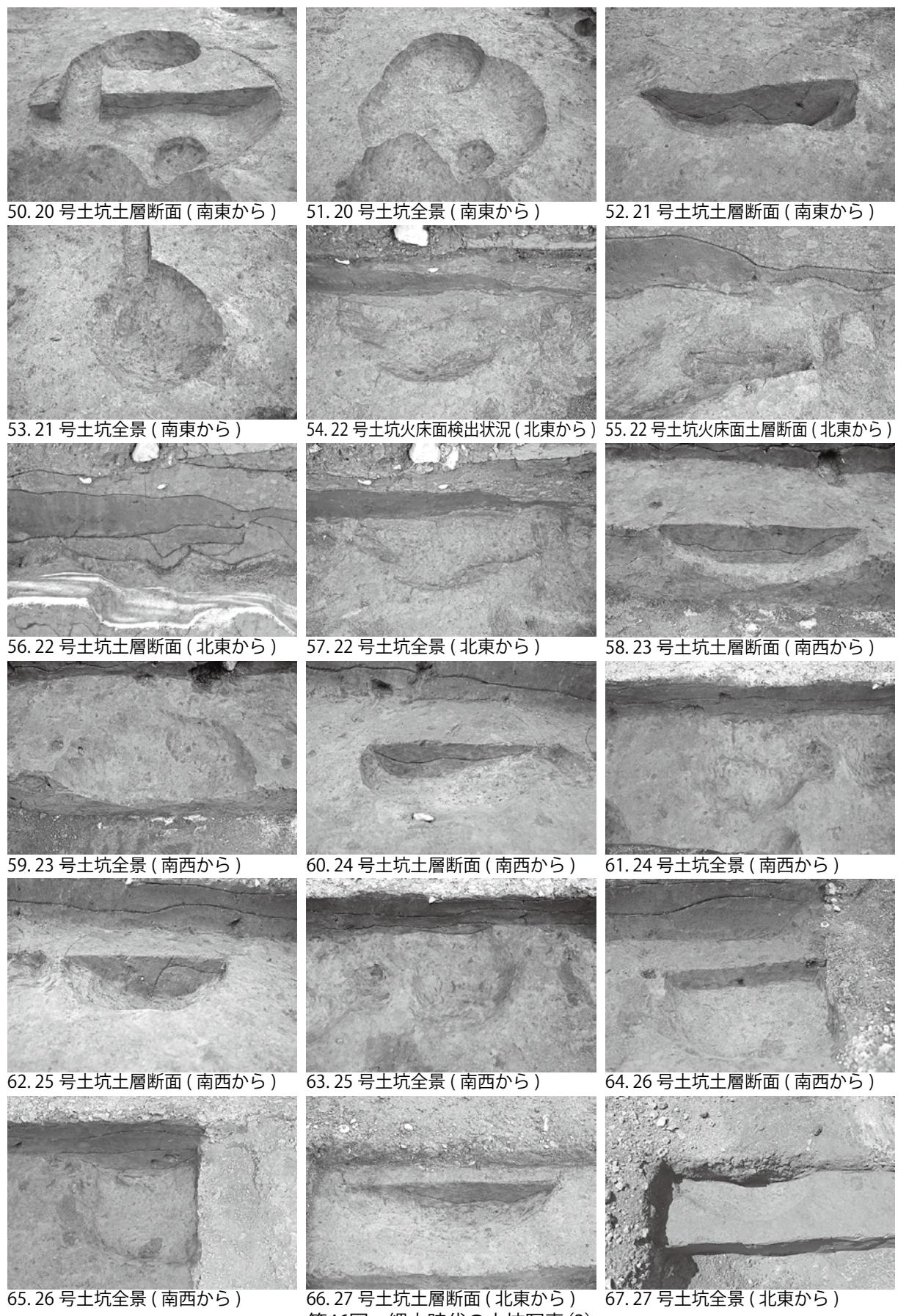




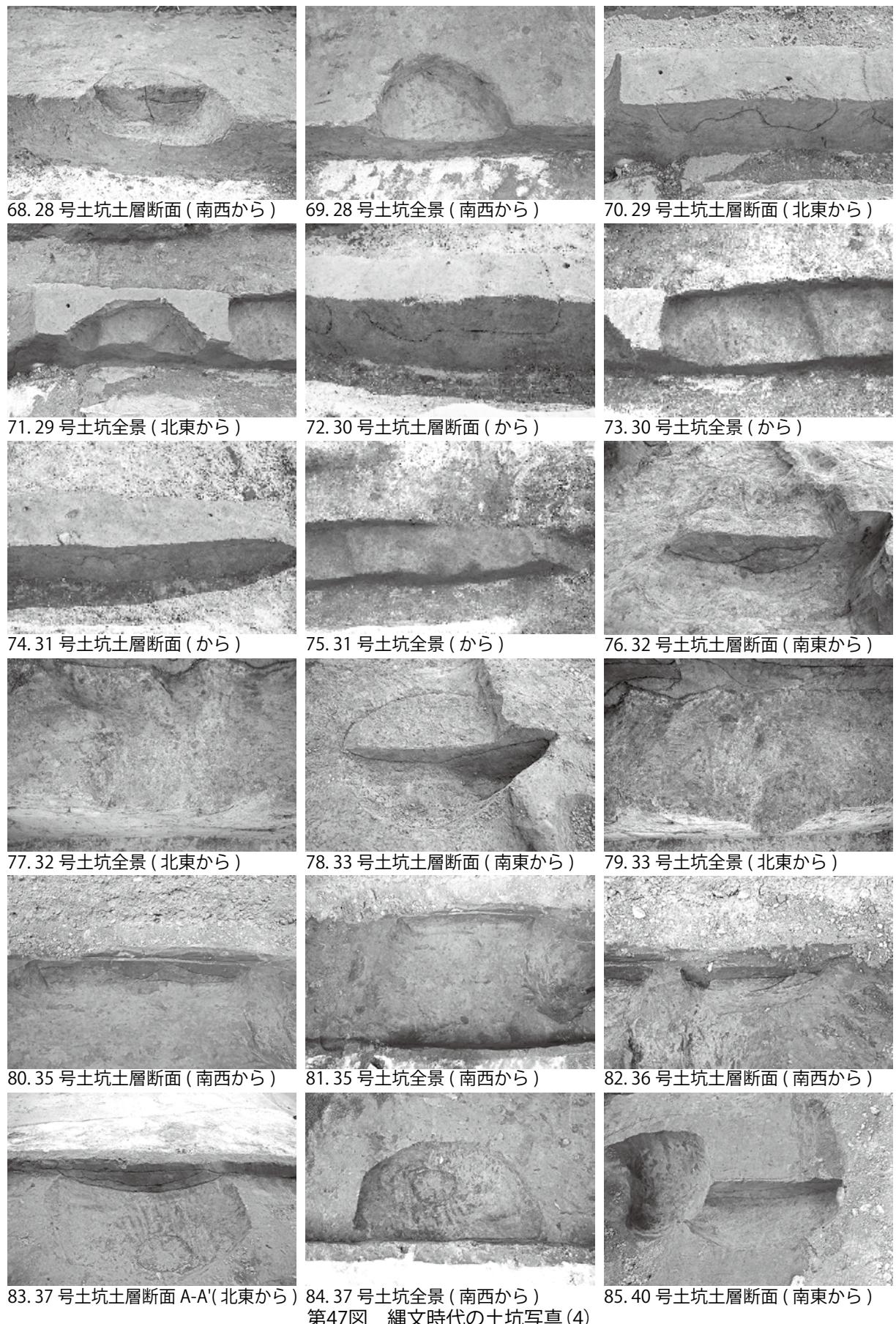
第44図 繩文時代の土坑写真(1)



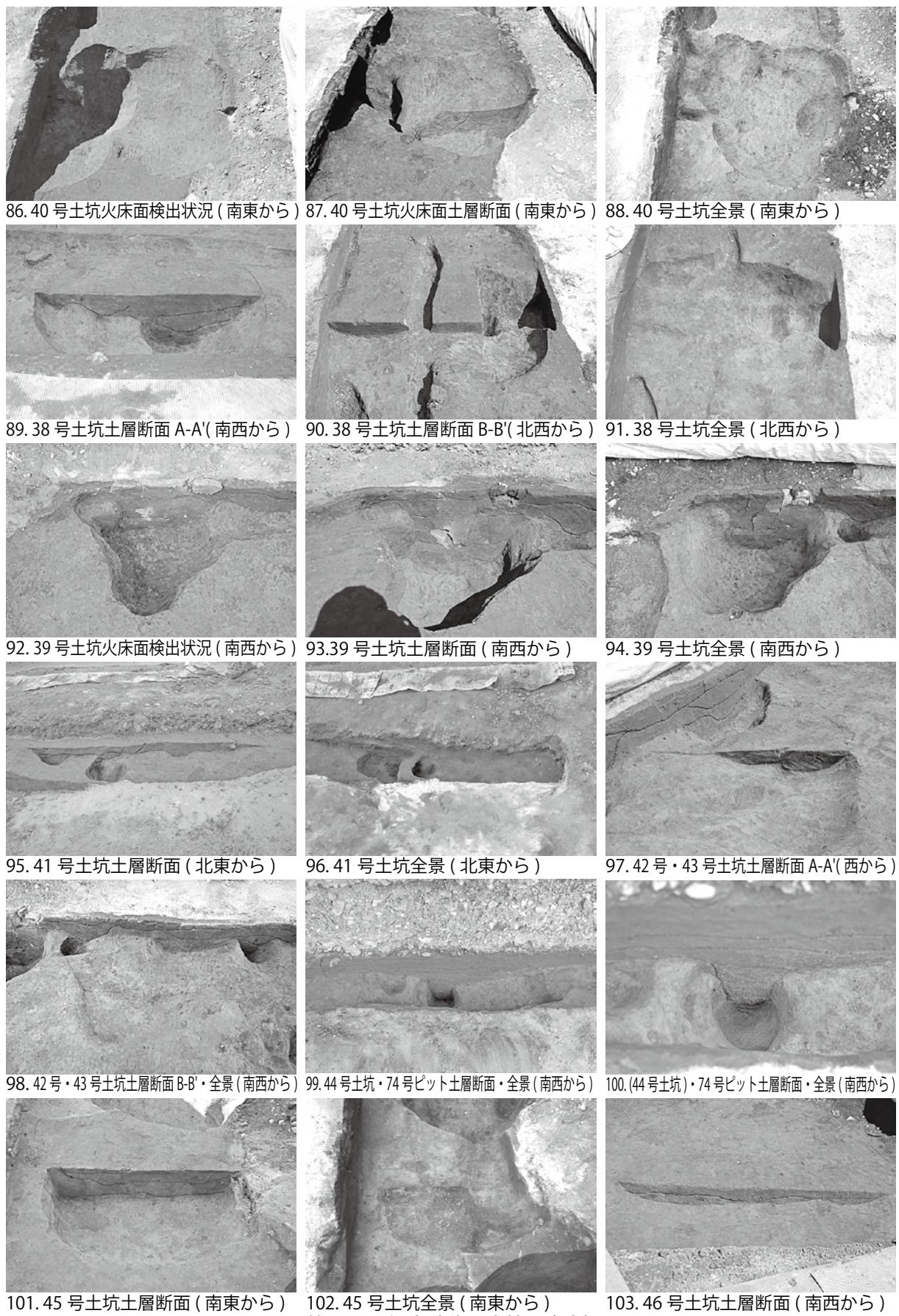
第45図 繩文時代の土坑写真(2)



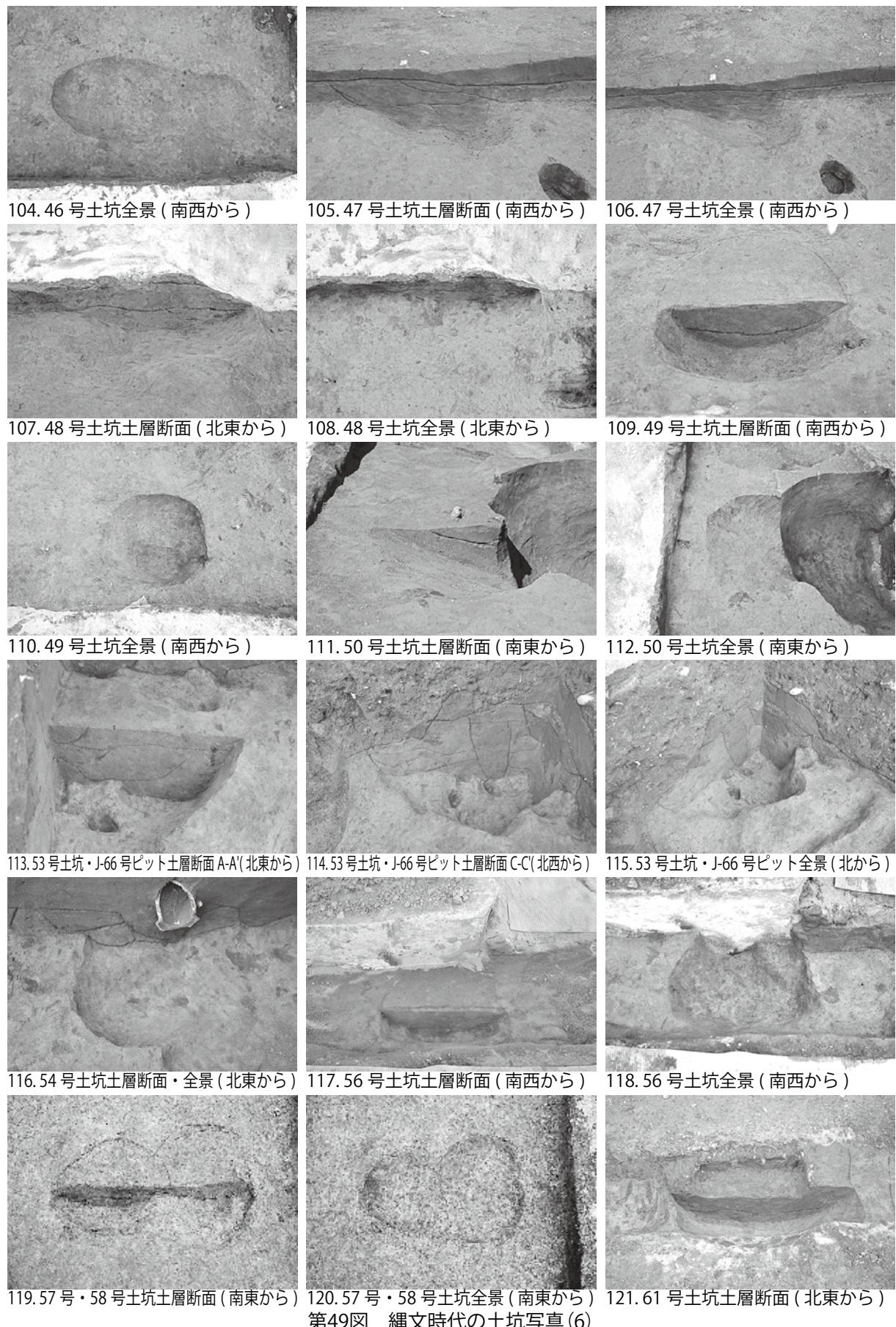
第46図 繩文時代の土坑写真(3)



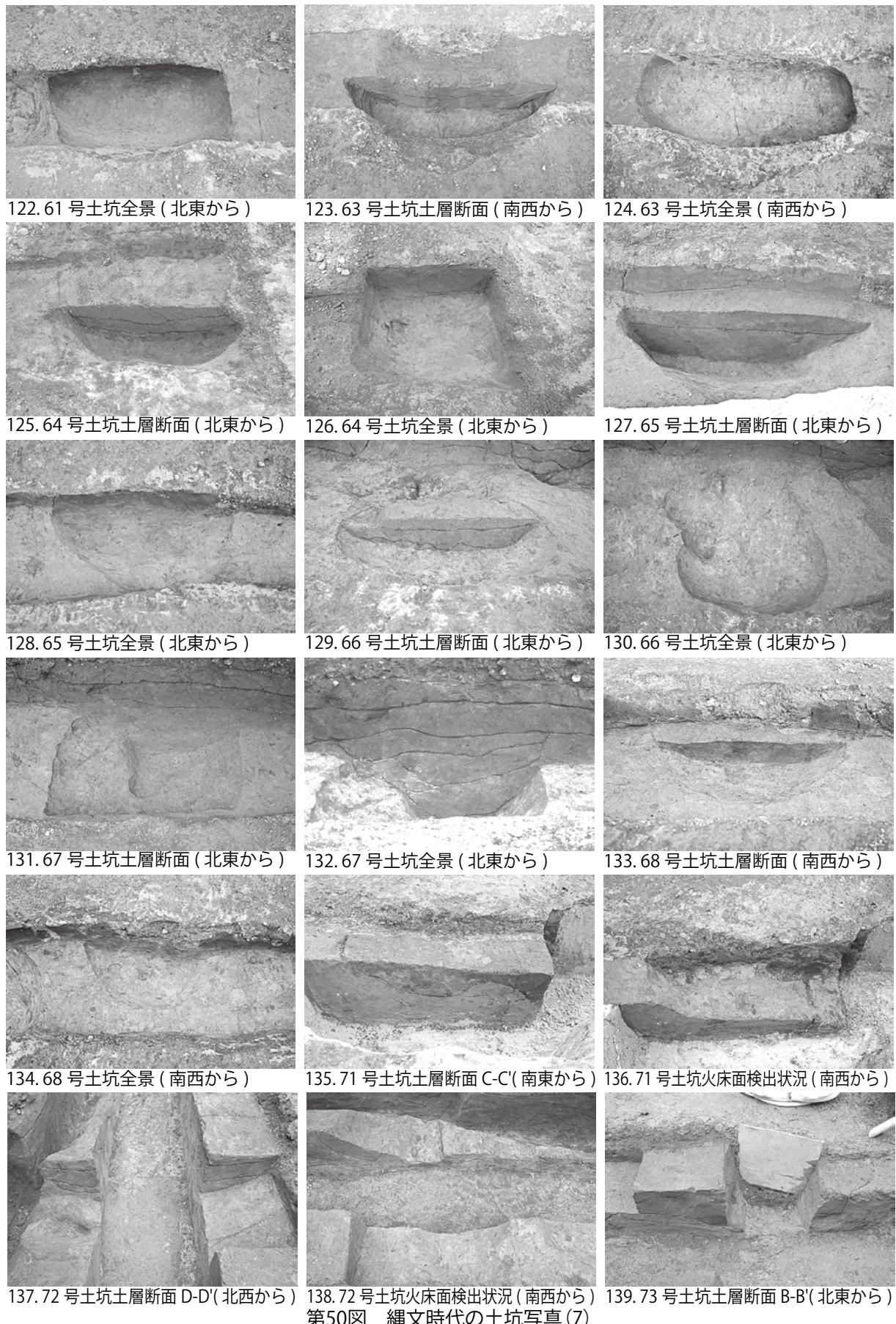
第47図 繩文時代の土坑写真(4)



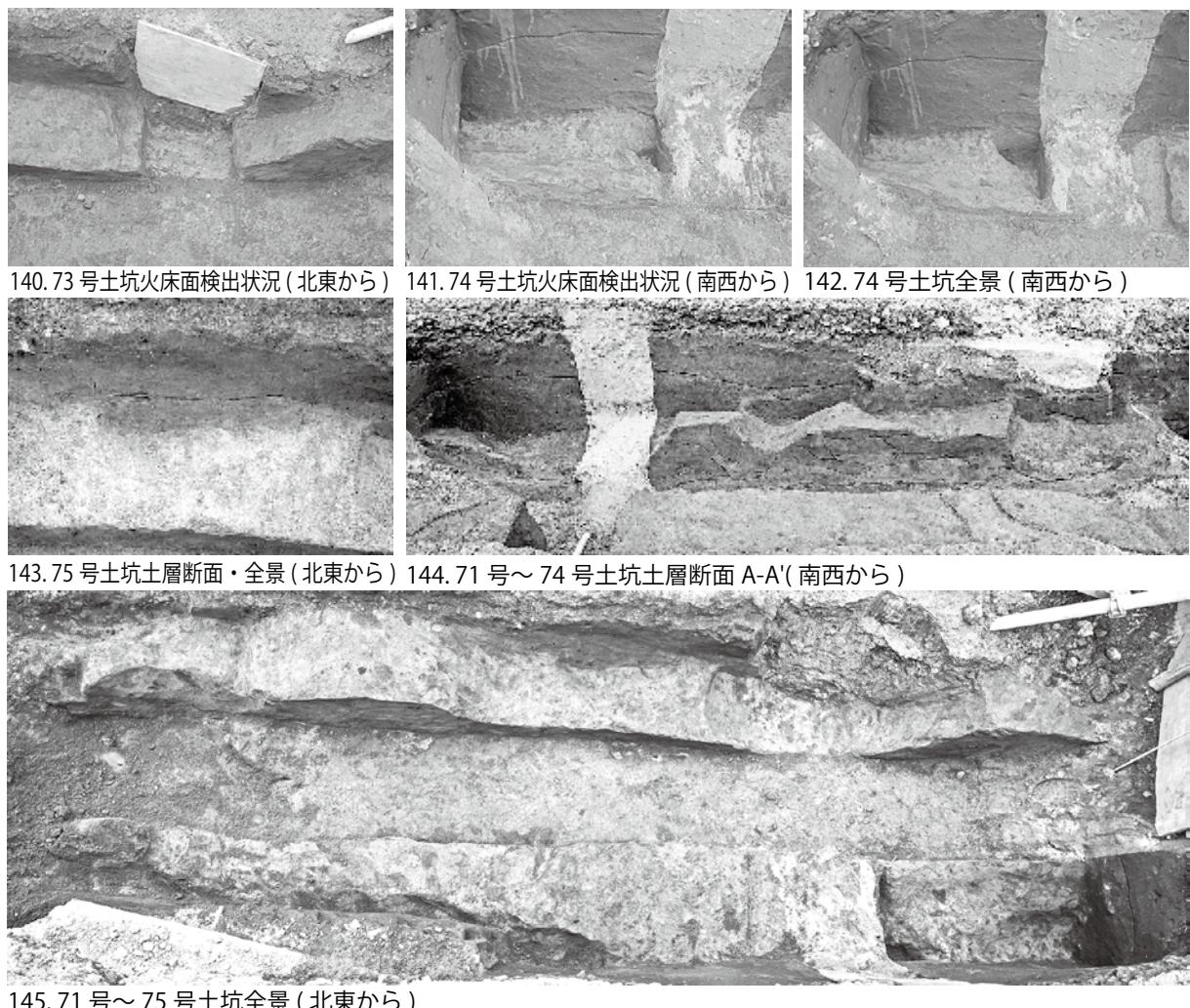
第48図 繩文時代の土坑写真(5)



第49図 繩文時代の土坑写真(6)



第50図 繩文時代の土坑写真(7)



第51図 繩文時代の土坑写真(8)

## 53号土坑 (SK53) (第40図、第20・21表)

深さ 54cm の掘り込みの深い炉穴である。J-66号ピットに切られる。遺物は出土しなかった。遺構の時期は、遺物を伴なう他の炉穴との類似性から、縄文時代早期後半であると考えられる。

## 54号土坑 (SK54) (第40図、第20・21表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

## 56号土坑 (SK56) (第40図、第20・21表)

小規模な土坑であるが、明瞭な掘り込みを有する。遺物は、縄文土器1点と礫1点が出土した。第54図53は曾利Ⅲ式の深鉢胴部から底部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半であると考えられる。

## 57号・58号土坑 (SK57・58) (第40図、第20・21表)

58号土坑が57号土坑を切るが、類似した形状の土坑である。58号土坑から礫1点が出土した。

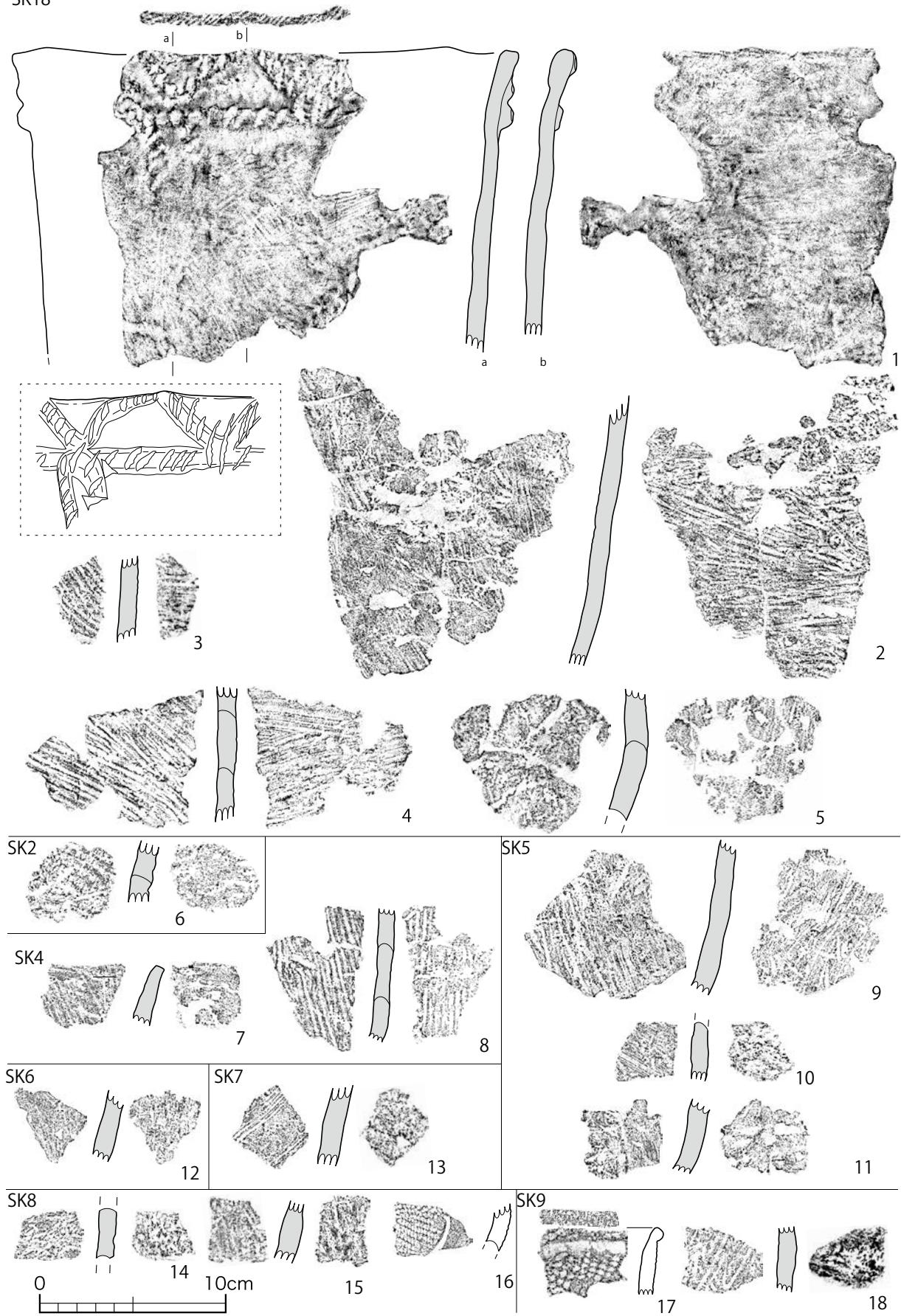
## 61号土坑 (SK61) (第41図、第20・21表)

明瞭な掘り込みを有する。遺物は、縄文土器1点と礫2点が出土した。

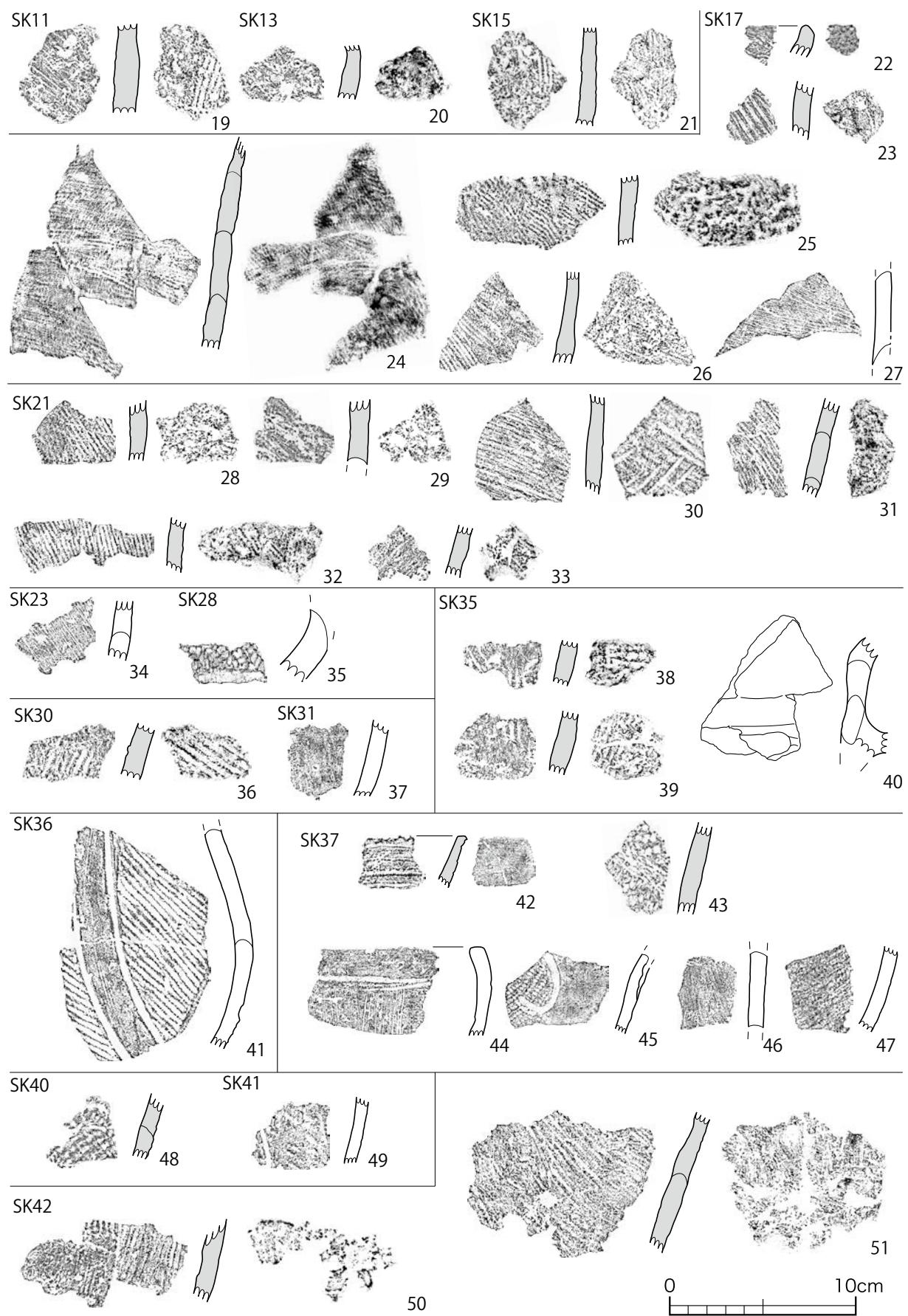
第21表 縄文時代の土坑一覧表

遺構番号	調査区	グリッド	時期	遺構の性格	遺構のサイズ(cm)・形状				出土遺物(点)				掲載遺物	備考
					長軸	短軸	深さ	平面形状	土器	石器	礫	焼成粘土塊		
2号土坑	10区	24-Q	縄文時代早期後半		(151)	(24)	44	不明	3	4			第52図6	年代測定試料3
3号土坑	10区	24-Q	縄文時代中期後半?	柱穴	48	(37)	48	楕円形か	1	3				早期の炉穴を切る
4号土坑A	10区	24-P	縄文時代早期後半	炉穴	98	(50)	28	円形か						
4号土坑B	10区	24-P	縄文時代早期後半	炉穴	—	—	27	不明	7	1	7		第52図7・8	3基が重複
4号土坑C	10区	24-P	縄文時代早期後半	炉穴	(50)	(36)	15	不明						
5号土坑	10区	24-P・Q	縄文時代早期後半	炉穴	84	69	13	楕円形	6	1			第52図9~11	
6号土坑	10区	24-P	縄文時代早期後半	炉穴	85	79	25	楕円形	1				第52図12	年代測定試料4
7号土坑	10区	24-P	縄文時代早期後半?		50	34	13	楕円形	1				第52図13	
8号土坑	10区	25-P	縄文時代中期後半		65	(49)	28	楕円形か	4	2	2		第52図14~16, 第54図59	
9号土坑	10区	25-Q	縄文時代		143	(26)	54	不明	3	10			第52図17・18	
10号土坑	10区	25-P	縄文時代中期後半?	柱穴	48	(33)	79	楕円形か						
11号土坑	10区	24-P	縄文時代早期後半?	炉穴?	45	(34)	18	楕円形	1	1			第53図19	
12号土坑	10区	24-Q	縄文時代早期後半?	炉穴?	38	(17)	44	不明						
13号土坑	10区	24-P	縄文時代		57	33	5	楕円形	3				第53図20	
14号土坑	10区	25-P	縄文時代		57	51	14	円形	1					
15号土坑	10区	25-Q	縄文時代早期後半		93	(23)	24	不整形	1	2			第53図21	
16号土坑	10区	25-P	縄文時代		53	(31)	9	楕円形	1					
17号土坑A	9区	21・22-R	縄文時代早期後半	炉穴	93	(73)	42	楕円形					第53図22~27	2基が重複
17号土坑B	9区	21・22-R	縄文時代早期後半	炉穴	(85)	(57)	34	楕円形	10	9				
18号土坑	9区	21-R	縄文時代早期後半		102	(66)	34	楕円形	40	3			第52図1~5	土器片が多量に出土
19号土坑	9区	21-R	縄文時代		66	54	20	楕円形						
20号土坑	9区	21-R	縄文時代		106	(67)	21	円形			4			
21号土坑	9区	21-R	縄文時代		94	82	30	楕円形	14	1			第53図28~33	土器片が多数出土
22号土坑	10区	25-P	縄文時代早期後半	炉穴	100	(39)	22	不明			1	1		
23号土坑	10区	26-P・Q	縄文時代中期後半?	集石?	72	(35)	19	楕円形か	1	6			第53図34	SS1の下から検出
24号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半?	集石?	62	(51)	14	楕円形			14			SS1の下から検出
25号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半?	集石?	56	(51)	15	楕円形			5			SS1の下から検出
26号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半?	集石?	(44)	(42)	8	不明	1	1	18		第54図60	SS1の下から検出
27号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半?	集石?	59	(21)	15	不明						SS1の下から検出
28号土坑	10区	26-P	縄文時代中期後半?	集石?	39	(22)	15	不整形	3	5			第53図35	SS1の下から検出
29号土坑	10区	25-Q	縄文時代		60	(20)	16	不明	1					
30号土坑	10区	25-Q	縄文時代		54	(20)	16	不明	1	1			第53図36	
31号土坑	10区	24・25-Q	縄文時代		(73)	(21)	(26)	不明	2				第53図37	
32号土坑	10区	25-P	縄文時代		58	50	25	楕円形						
33号土坑	10区	25-P	縄文時代		62	48	22	楕円形						
35号土坑	10区東	27-P	縄文時代中期後半?		(104)	(94)	11	楕円形	6	19			第53図38~40	
36号土坑	10区東	27-P	縄文時代中期後半		47	(17)	11	不明	1	1			第53図41	
37号土坑	10区東	27-P	縄文時代中期後半		101	(55)	14	楕円形か	10	5			第53図42~47	
38号土坑	10区東	28-O	縄文時代中期後半?		74	(48)	24	楕円形						
39号土坑	10区東	27・28-P	縄文時代早期後半	炉穴	(65)	(43)	50	楕円形か			2			
40号土坑	10区東	27-P	縄文時代早期後半	炉穴	81	(47)	36	楕円形	2	2	2		第53図48, 第54図61	
41号土坑	10区東	27-P	縄文時代中期後半?		84	(29)	9	不明	1	2			第53図49	
42号土坑	10区東	28-O・P	縄文時代早期後半		91	(76)	14	不整形	5				第53図50・51	42号・43号で一体
43号土坑	10区東	28-O・P	縄文時代早期後半		53	(21)	20	不明						
44号土坑	10区東	28-O	縄文時代		80	(17)	18	不明						
45号土坑	10区東	27-P	縄文時代		(75)	(61)	18	楕円形か	4	6				
46号土坑	10区東	28-O	縄文時代		90	38	8	楕円形						
47号土坑	10区東	28-O	縄文時代		64	(26)	21	不明						
48号土坑	10区東	28-O	縄文時代		30	(26)	17	不整形	2				第54図52	
49号土坑	10区東	28-O	縄文時代		40	39	15	円形			1			
50号土坑	10区東	27・28-P	縄文時代		54	(35)	17	楕円形	1	1				
51号土坑	10区東	27・28-O	縄文時代か		161	(22)	16	不明	1	1				
53号土坑	12区東	42-H	縄文時代早期後半	炉穴	(99)	(64)	54	不整形						
54号土坑	13区西	43-H	縄文時代		(54)	54	20	楕円形か						
55号土坑	10区東	29-O	縄文時代中期後半		49	(37)	19	円形か	1	1			第54図53	
57号土坑	10区東	29-O	縄文時代		37	31	11	円形						
58号土坑	10区東	29-O	縄文時代		41	31	13	円形			1			
61号土坑	11区	35-L	縄文時代中期後半?		71	(35)	27	不明	1	2				
63号土坑	11区	34-L	縄文時代早期後半?		114	(45)	29	楕円形	5	4			第54図54~56	
64号土坑	11区	33-M	縄文時代		54	37	19	楕円形か						
65号土坑	11区	35-L	縄文時代		73	(36)	20	不整形			1			
66号土坑	11区	35-K	縄文時代		80	(47)	18	楕円形						
67号土坑	11区	33・34-L	縄文時代		94	(50)	42	不明						
68号土坑	11区	34-L	縄文時代		48	(20)	11	不明						
71号土坑	11区	32-M	縄文時代早期後半	炉穴	87	(36)	16	不明						
72号土坑	11区	32-M	縄文時代早期後半	炉穴	(105)	(30)	29	不明	1				第54図57	
73号土坑	11区	32-M・N	縄文時代早期後半	炉穴	101	(36)	48	不明	1			1	第54図58	
74号土坑	11区	32-N	縄文時代早期後半	炉穴	—	—	23	不明			2			
75号土坑	11区	32-M	縄文時代		—	—	—	不明						

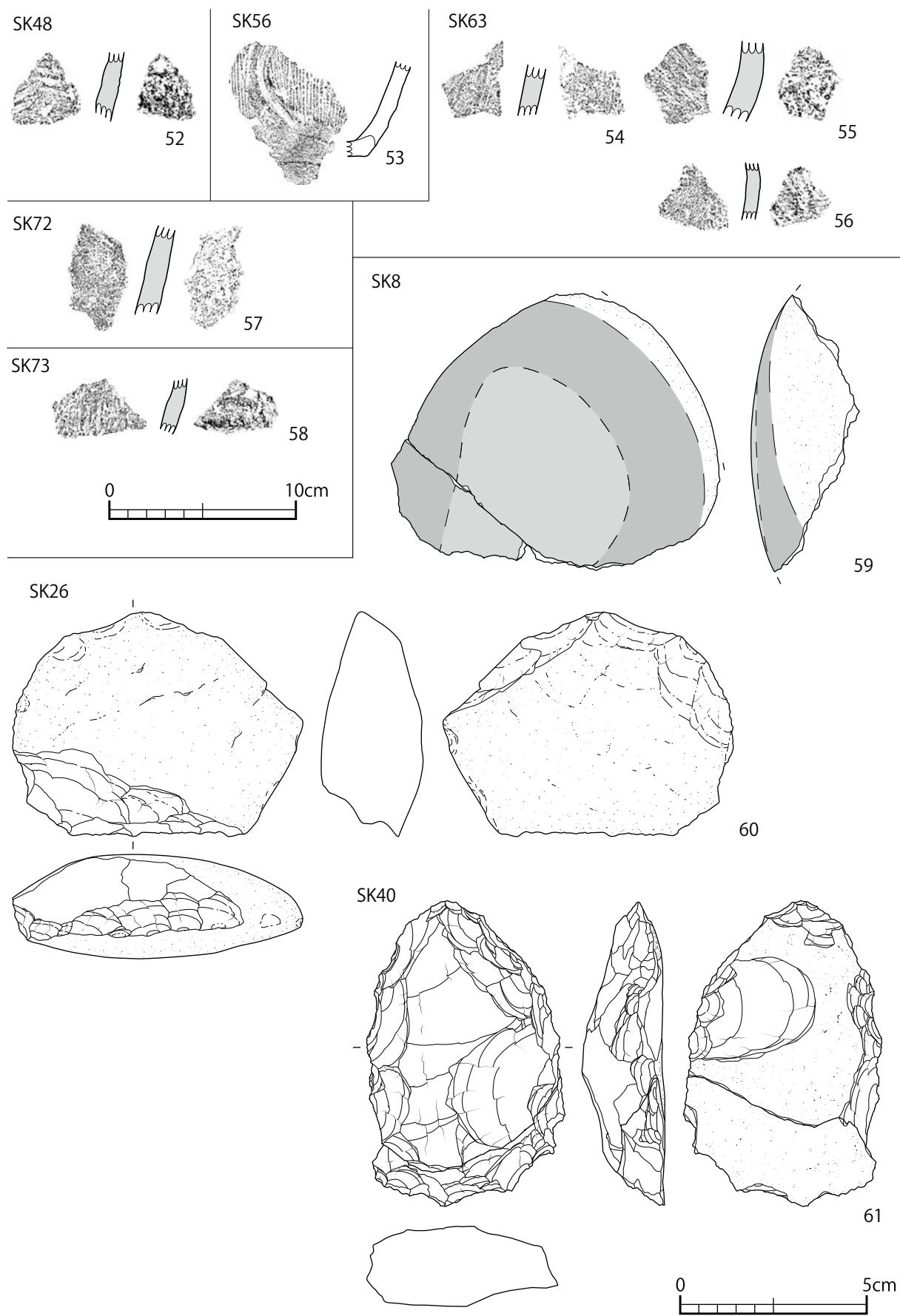
SK18



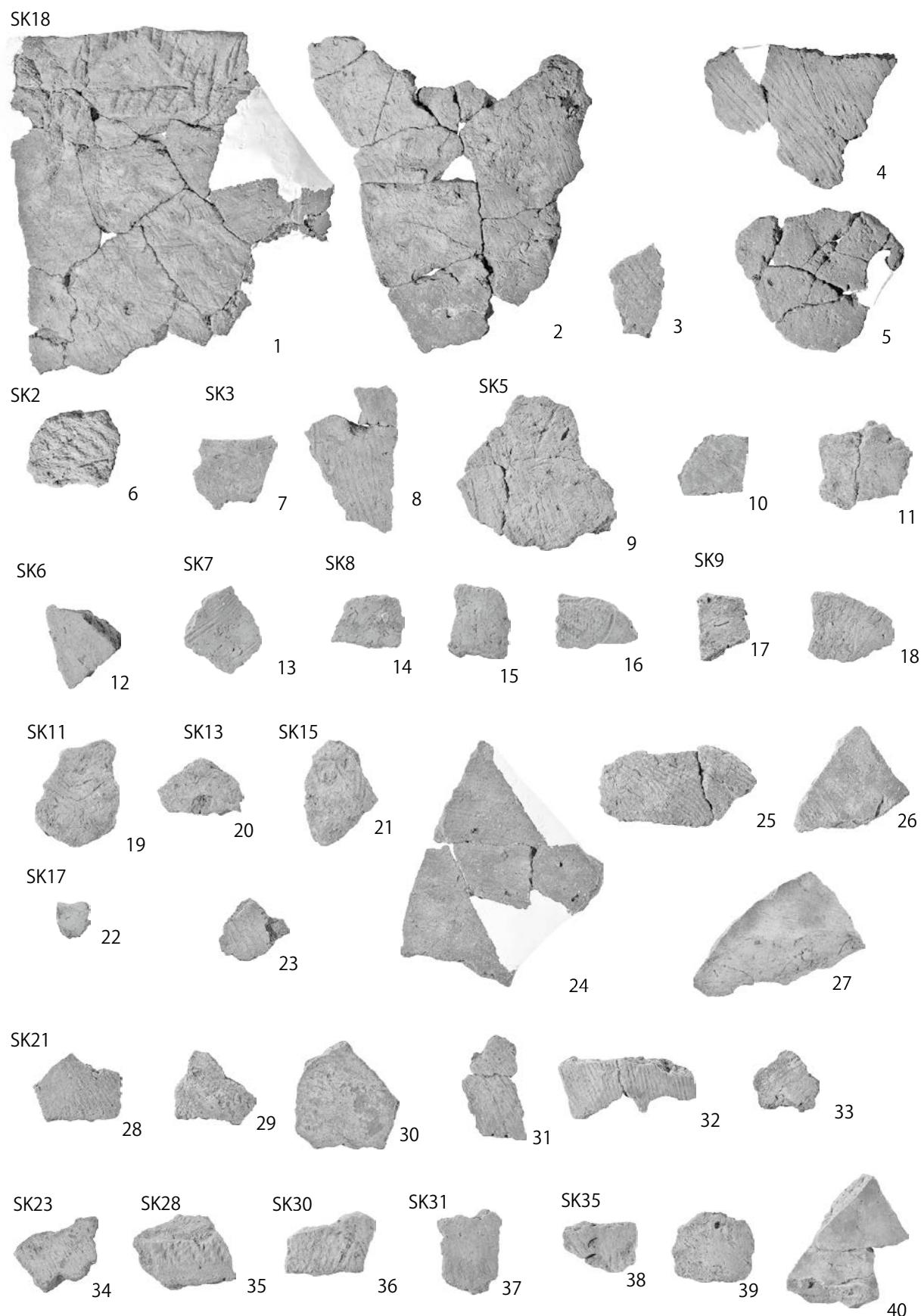
第52図 繩文時代の土坑出土遺物(1)(1/3)



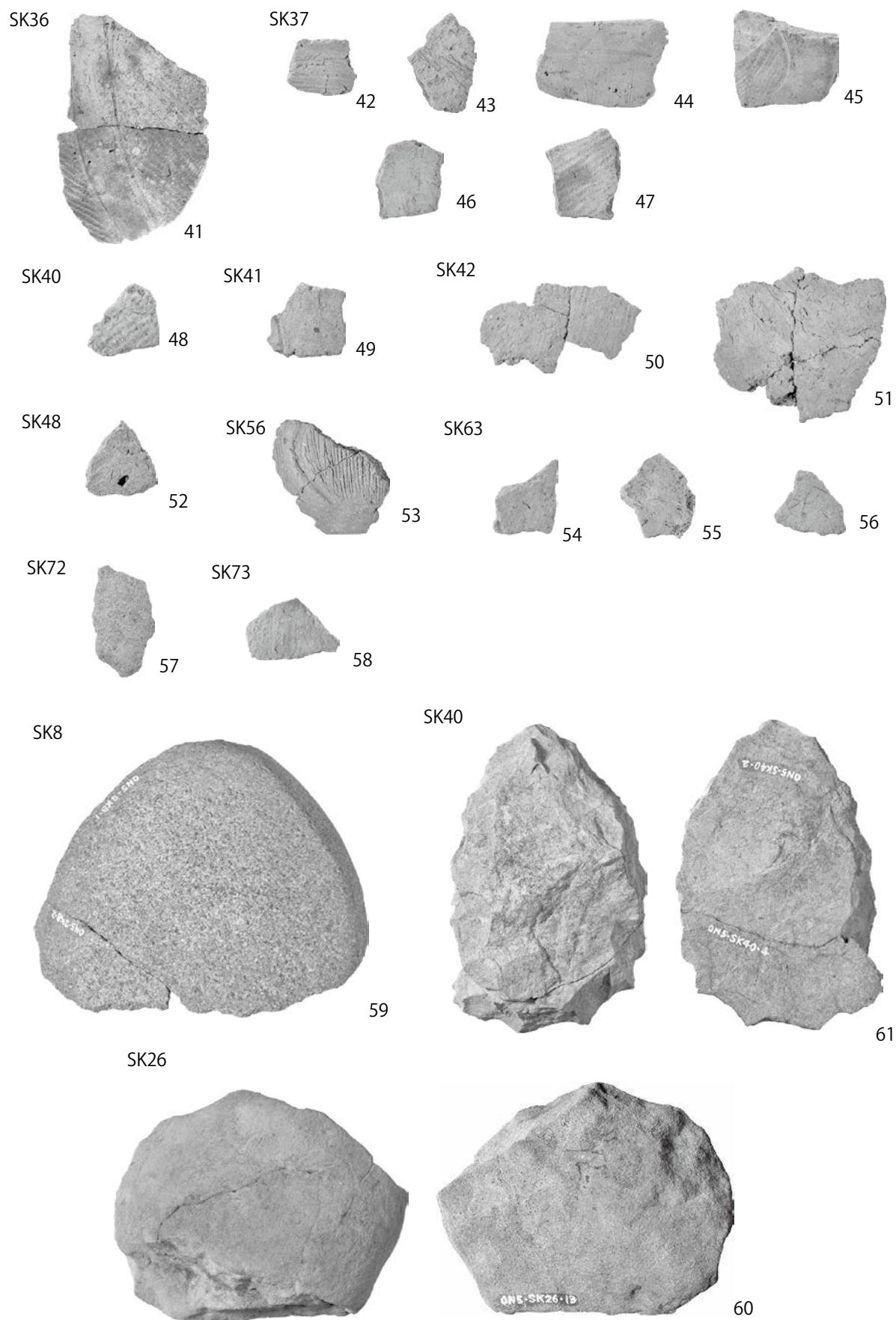
第53図 縄文時代の土坑出土遺物(2)(1/3)



第54図 繩文時代の土坑出土遺物(3) (1/3・2/3)



第55図 縄文時代の土坑出土遺物写真(1)



第56図 繩文時代の土坑出土遺物写真(2)

第22表 繩文時代の土坑出土縄文土器観察表

図	番号	遺構	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考	
52 55	1	SK18	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部から胴部	口縁部外面に鋸歯状の隆帯、隆帯上に貝殻腹縁文、条痕文	織維、長石、赤色砂粒、石英	普通	10YR3/2	黒褐色	口径27.3cm
	2	SK18	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部						
	3	SK18	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石、石英	良好	7.5YR4/4	褐色	
	4	SK18	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文					
	5	SK18	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文					
	6	SK2	早期後半		深鉢	胴部	単節 RL あるいは撚糸文か	織維、小礫、長石、石英	普通	5YR6/6	橙色	
	7	SK4	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	波状口縁、口唇部は平坦、条痕文	織維、長石、石英	良好	10YR3/4	暗褐色	
	8	SK4	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石、石英	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色	
	9	SK5	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	外面に条痕文	織維、長石、石英	普通	5YR6/6	橙色	
	10	SK5	早期 / 前期		深鉢	胴部	外面に強いナデ	織維、長石、角閃石	普通	10YR4/3	にぶい黄褐色	
	11	SK5	早期 / 前期		深鉢	胴部		織維、長石、角閃石	良好	5YR6/6	橙色	
	12	SK6	早期後半		深鉢	胴部	条痕文をナデ消す	織維、長石、石英	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	13	SK7	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、小礫、長石、石英、角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色	
	14	SK8	早期 / 前期		深鉢	胴部	撚糸文または単節 LR	織維、小礫、長石、チャート	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	15	SK8	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文施文後ナデ	織維、長石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色	
	16	SK8	中期後半	加曾利 E3	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 RL	長石、石英	良好	10YR4/3	にぶい黄褐色	
	17	SK9	早期前半	撚糸文系 井草式	深鉢	口縁部	口唇部が外側に膨らみ、その下部をユビオサエ、撚糸文	長石、石英	普通	7.5YR5/4	にぶい褐色	
	18	SK9	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、黒色砂粒、長石、石英	普通	7.5YR5/6	明褐色	
53 55 56	19	SK11	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	外面に条痕文	織維、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/4	褐色	
	20	SK13	早期 / 前期		深鉢	胴部		織維、長石、石英	普通	7.5YR6/6	橙色	
	21	SK15	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	外面に条痕文、胴部下半か	織維、小礫、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	22	SK17	早期 / 前期		深鉢	口縁部	口唇部は波状か	織維、長石、石英	普通	5YR5/6	明赤褐色	
	23	SK17	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石、石英	良好	10YR4/2	灰黄褐色	
	24	SK17、 SX1	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	外面に条痕文	織維、小礫、長石、石英、角閃石	普通	10YR4/1	褐灰色	
	25	SK17	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、小礫、長石、角閃石	普通	7.5YR4/3	褐色	
	26	SK17	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石を多量に含む、小礫、石英	良好	10YR3/2	黒褐色	
	27	SK17	中期後半	加曾利 E3/E4	深鉢	胴部	櫛歯状条線、内面ミガキ	小礫、長石、石英、角閃石	良好	10YR7/3	にぶい黄橙色	
	28	SK21	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石を多量に含む、石英	普通	10YR4/4	褐色	
	29	SK21	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石、角閃石	良好	7.5YR7/6	橙色	
	30	SK21	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	31	SK21	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石、石英	良好	7.5YR6/7	#N/A	
	32	SK21	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色	
	33	SK21	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石	普通	10YR5/4	にぶい黄褐色	
	34	SK23	中期後半	加曾利 E3/E4	深鉢	胴部	櫛歯状条線、内面ミガキ	黒色砂粒、シャモット、長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄橙色	
	35	SK28	中期後半	加曾利 E3	深鉢	(口縁部)	沈線、磨消縄文、単節 RL	黒色砂粒(風化した角閃石か)を多量に含む、長石、チャート、石英	良好	5YR4/6	明赤褐色	
	36	SK30	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	外面に条痕文	織維、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	37	SK31			深鉢	胴部	外面ユビナデ	小礫、長石、角閃石	良好	2.5YR5/6	明赤褐色	
	38	SK35	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	外面に条痕文	織維、長石、角閃石	良好	10YR5/4	にぶい黄褐色	
	39	SK35	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文、胎土に鉱物がほとんど含まれない	織維、長石	普通	7.5YR6/4	にぶい橙色	
54 56	40	SK35	中期後半	加曾利 E4 か	両耳壺	胴部	把手あり	小礫、長石、石英	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色	
	41	SK36、 包含層	中期後半	加曾利 E3	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節 RL	長石、石英、角閃石	普通	10YR6/2	灰黄褐色	
	42	SK37	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口唇部キザミ、横方向の条痕文または沈線、内面ミガキ	織維、長石、石英、雲母	良好	10YR3/2	黒褐色	
	43	SK37	前期前半		深鉢	胴部	単節 LR (か) と撚糸文 (か)	織維、小礫、長石、角閃石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	44	SK37	中期後半	曾利か	深鉢	口縁部	口唇部はやや平坦、口縁に平行な沈線、櫛歯状条線	長石、チャート、石英、角閃石	良好	7.5YR6/6	橙色	
	45	SK37	中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部	沈線による U (J) 字対向文、磨消縄文、単節 RL、内面ミガキ、接合痕跡がよく残る	小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色	
	46	SK37	中期後半		深鉢	胴部	外面ミガキ	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR7/6	橙色	
	47	SK37	中期後半	加曾利 E3/E4	深鉢	胴部	単節 LR、内面ミガキ	長石、石英	良好	10YR7/3	にぶい黄橙色	
	48	SK40	前期前半		深鉢	胴部	単節 LR、胎土脆い	織維、小礫、長石	脆い	2.5Y7/2	灰黄色	
	49	SK41	中期後半	加曾利 E3	深鉢	胴部	沈線、単節 RL	小礫、長石、角閃石	普通	7.5YR7/4	にぶい橙色	
	50	SK42	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石、石英	普通	7.5YR5/8	明褐色	
	51	SK42	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、小礫、長石、石英	普通	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	52	SK48	早期 / 前期		深鉢	胴部	竹管による綾杉文	織維、小礫、長石、角閃石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色	
	53	SK56	中期後半	曾利Ⅲ	深鉢	胴部から底部	微隆起、櫛歯状沈線、底部外面ミガキ	長石、小礫、角閃石	良好	5YR4/4	にぶい赤褐色	
	54	SK63	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文施文後ナデ	織維、角閃石を多量に含む、長石	良好	5YR5/6	明赤褐色	
	55	SK63	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文、器厚厚い	織維、長石、石英	普通	7.5YR6/6	橙色	
	56	SK63	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文施文後ナデ	織維、角閃石を多量に含む、長石	良好	5YR5/6	明赤褐色	
	57	SK72	早期 / 前期		深鉢	胴部	胎土に砂粒を多量に含むためやや脆い	織維、長石を多量に含む、石英、角閃石	やや脆い	5YR5/6	明赤褐色	
	58	SK73	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	織維、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR5/6	明褐色	

第23表 繩文時代の土坑出土繩文石器観察表

図	番号	遺構	時期	器種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	備考
54	59	SK8	繩文中期	磨石	砂岩	(74.0)	(88.0)	(29.0)	20.2	
•	60	SK26	繩文	礫器	ホルンフェルス	60.5	78.0	28.0	152.4	
56	61	SK40	繩文早期後半	橢円形片刃石斧	凝灰質砂岩	82.0	53.0	22.0	113.8	

## 63号土坑 (SK63) (第41図、第20・21表)

明瞭な掘り込みを有する。遺物は、繩文土器5点と礫4点が出土した。第54図54から56は、条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、繩文時代早期後半であると考えられる。

## 64号土坑 (SK64) (第41図、第20・21表)

明瞭な掘り込みを有する。遺物は出土しなかった。

## 65号土坑 (SK65) (第41図、第20・21表)

明瞭な掘り込みを有する。遺物は、礫1点が出土した。

## 66号土坑 (SK66) (第41図、第20・21表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

## 67号土坑 (SK67) (第41図、第20・21表)

深さ42cmの掘り込みの深い土坑である。遺物は出土しなかった。

## 68号土坑 (SK68) (第41図、第20・21表)

浅い土坑である。遺物は出土しなかった。

## 71号土坑 (SK71) (第42図、第20表・21)

炉穴である。72号～74号土坑と共に炉穴群を形成する。72号土坑を切る。遺物は出土しなかった。遺構の時期は、遺物を伴なう他の炉穴との類似性から、繩文時代早期後半であると考えられる。

## 72号土坑 (SK72) (第42図、第20・21表)

炉穴である。71号・73号・74号土坑と共に炉穴群を形成する。71号・73号・75号土坑に切られる。遺物は、繩文土器1点が出土した。第54図57は早期から前期の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、繩文時代早期後半であると考えられる。

## 73号土坑 (SK73) (第42図、第20・21表)

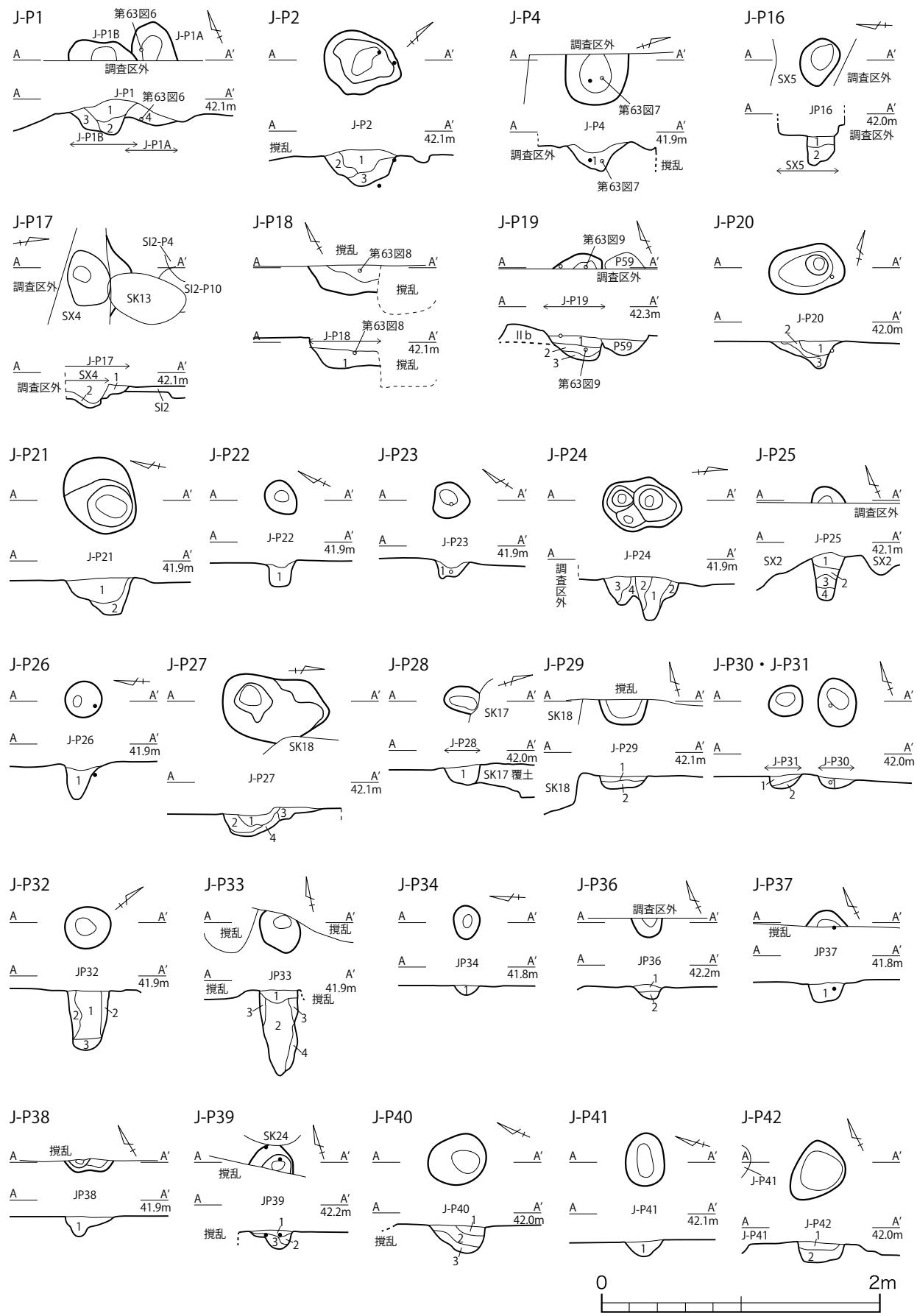
深さ48cmの掘り込みの深い炉穴である。71号・72号・74号土坑と共に炉穴群を形成する。72号土坑を切り、75号土坑に切られる。74号土坑と切り合う可能性がある。遺物は、繩文土器1点と焼成粘土塊1点が出土した。第54図58は条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、繩文時代早期後半であると考えられる。

## 74号土坑 (SK74) (第42図、第20・21表)

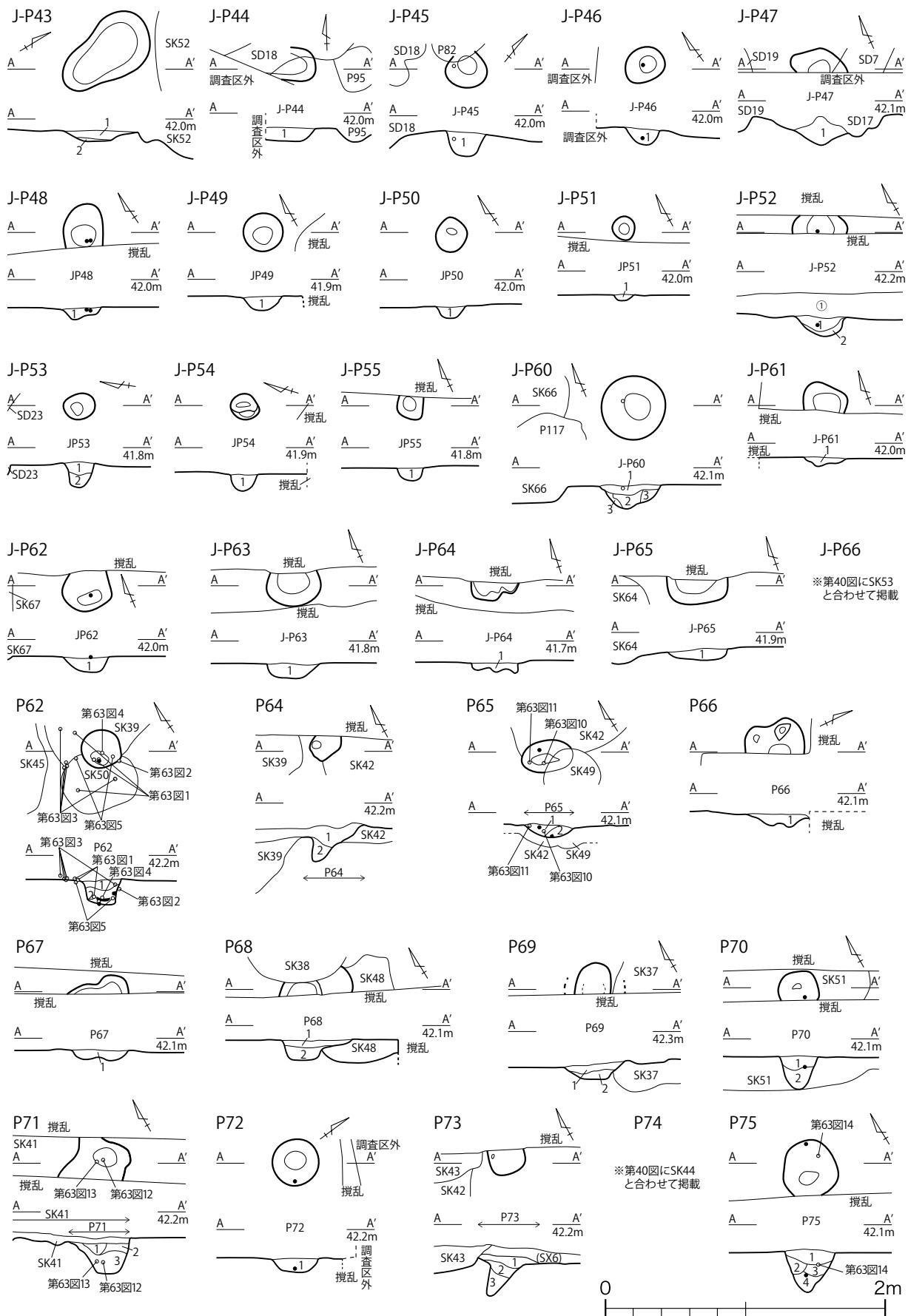
炉穴である。72号～74号土坑と共に炉穴群を形成する。73号土坑と切り合う可能性がある。北側の調査区外に向かってさらに掘り込みが深くなっている可能性がある。遺物は、礫2点が出土した。遺構の時期は、遺構の状況から、繩文時代早期後半であると考えられる。

## 75号土坑 (SK75) (第42図、第20・21表)

浅い土坑である。72号・73号土坑を切る。炉穴の一部の可能性があるが、詳細は不明である。遺物は出土しなかった。



第57図 縄文時代のピット(1) (1/40)



第58図 縄文時代のピット(2) (1/40)

第24表 繩文時代のピット土層説明一覧表(1)

遺構	層位	土質	色調	粘性	しまり	含有物・備考
J-1号ピット	1 土	10YR2/2	黒褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)3%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%、暗褐色粘土粒(φ 2~5mm)2%、白色砂粒(φ 0.5~1mm)1%
	2 土	10YR3/2	黒褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~20mm)10%、礫(φ 5~20mm)2%、II b層土に近い
	3 土	10YR3/3	暗褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~15mm)5%、II b層土に近い
	4 土	10YR3/1	黒褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~15mm)3%
J-2号ピット	1 土	10YR3/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)5%、炭化物粒(φ 1~2mm)1%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%、暗褐色粘土粒(φ 2~5mm)2%、白色砂粒(φ 0.5~1mm)1%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)2%
	3 土	10YR3/4	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~20mm)10%
J-4号ピット	1 土(II bに近い)	10YR4/3	にぶい黄褐色	極強	極強	ローム粒(φ 2~15mm)10%、備考: II b層土に近い土を主体とする
	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
J-16号ピット	1 土	10YR2/3	黒褐色	極強	極強	ローム粒(φ 2~15mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR3/4	暗褐色	有	強	ローム粒(φ 2~15mm)3%、炭化物粒(φ 1~2mm)1%、焼土粒(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~20mm)10%、炭化物粒(φ 1~3mm)2%、備考: SX4の土層の可能性あり
J-17号ピット	1 土	10YR3/4	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~20mm)10%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~20mm)10%、炭化物粒(φ 1~3mm)2%、備考: SX4の土層の可能性あり
	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	極強	ローム粒(φ 2~20mm)10%
J-18号ピット	1 土	10YR2/2	黒褐色	—	—	ローム粒(φ 2~5mm)12%
	2 土	10YR2/3	黒褐色	—	—	ローム粒(φ 2~10mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	3 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	—	ローム粒(φ 2~20mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
J-20号ピット	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	有	ローム粒(φ 2~15mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~10mm)10%
	3 土	混じりローム	10YR3/4	暗褐色	強	有
J-21号ピット	1 土	10YR3/2	黒褐色	極強	極強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、ロームブロック(φ 20~30mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	2 土	混じりローム	10YR4/3	にぶい黄褐色	極強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、ロームブロック(φ 20~30mm)20%
J-22号ピット	1 土	10YR4/3	にぶい黄褐色	極強	極強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR3/4	暗褐色	極強	極強	炭化物粒(φ 1~3mm)1%、ローム粒(2~10mm)5%
J-23号ピット	1 土	10YR2/3	黒褐色	極強	極強	炭化物粒(φ 1~3mm)1%、ローム粒(φ 2~15mm)15%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	極強	極強	ローム粒(φ 2~5mm)5%
	3 土	ローム混じり土	10YR4/4	褐色	極強	炭化物粒(φ 1~3mm)1%、ローム粒(2~10mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
J-24号ピット	1 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%、ロームブロック(φ 20~30mm)10%
	2 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%、ロームブロック(φ 20~30mm)20%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	3 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%、ロームブロック(φ 20~30mm)20%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
J-25号ピット	1 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%、ロームブロック(φ 20~30mm)20%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	2 土	ローム	10YR3/4	暗褐色	極強	ローム粒(φ 2~20mm)10%、ロームブロック(φ 20~30mm)30%
	3 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	極強	ローム粒(φ 5~20mm)10%、ローム粒(φ 2~15mm)15%
J-26号ピット	1 土	10YR2/3	黒褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~15mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	極強	有	炭化物粒(φ 1~3mm)3%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	3 土	10YR3/3	暗褐色	極強	有	ローム粒(φ 2~10mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
J-27号ピット	1 土	10YR2/3	黒褐色	極強	強	ローム粒(φ 2~10mm)3%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	極強	強	ローム粒(φ 2~10mm)5%
	3 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~15mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
J-28号ピット	1 土	10YR3/4	暗褐色	極強	強	ロームを主体とする。
	1 土	10YR2/3	黒褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)3%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%、焼土粒(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
J-29号ピット	1 土	10YR4/6	褐色	極強	極強	ロームを主体とする。
	1 土	10YR3/4	暗褐色	極強	強	炭化物粒(φ 1~3mm)11%、ローム粒(φ 2~20mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	極強	有	炭化物粒(φ 1~3mm)11%、ローム粒(φ 2~20mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
J-30号ピット	1 土	10YR3/4	暗褐色	極強	強	炭化物粒(φ 1~3mm)11%、ローム粒(φ 2~20mm)5%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR3/3	暗褐色	極強	有	燒土粒(φ 1~3mm)1%、ローム粒(φ 2~5mm)3%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)5%
J-31号ピット	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ 2~15mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%
	3 土	10YR2/3	黒褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~15mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
J-32号ピット	1 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	ロームプロック(φ 20~30mm)10%、ローム粒(φ 2~20mm)10%
	2 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	ロームプロック(φ 20~30mm)20%、ローム粒(φ 2~20mm)5%
	3 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	ロームプロック(φ 20~30mm)10%、ローム粒(φ 2~20mm)10%
J-33号ピット	1 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	2 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	3 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
J-34号ピット	1 土	10YR3/3	暗褐色	極強	有	ローム粒(φ 2~15mm)10%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	有	ローム粒(φ 2~10mm)5%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	極強	有	ローム粒(φ 2~15mm)10%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
J-36号ピット	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~15mm)10%、炭化物粒(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~15mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
J-37号ピット	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~15mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~15mm)5%、燒土粒(φ 1~5mm)1%、炭化物粒(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
J-38号ピット	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~15mm)5%、燒土粒(φ 1~5mm)1%、炭化物粒(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
J-39号ピット	1 土	ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%
	1 土	ローム混じり土	10YR4/4	褐色	弱	ローム粒(φ 2~20mm)20%、ローム粒(φ 2~15mm)20%、黑色スコリア(φ 1~3mm)2%
	2 土	10YR3/2	黒褐色	強	有	ローム粒(φ 2~20mm)3%
J-40号ピット	1 土	10YR3/4	暗褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)3%、炭化物粒(φ 1~3mm)1%
	2 土	10YR3/2	黒褐色	強	強	ローム粒(φ 2~20mm)20%
	3 土	ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	弱	ローム粒(φ 2~15mm)20%
J-41号ピット	1 土	10YR2/2	黒褐色	有	有	ローム粒(φ 2~15mm)20%
	1 土	10YR2/2	黒褐色	有	強	ローム粒(φ 2~5mm)13%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	弱	有	ローム粒(φ 2~10mm)5%
J-42号ピット	1 土	10YR2/2	黒褐色	有	強	ローム粒(φ 2~15mm)10%
	1 土	10YR2/2	黒褐色	有	弱	ローム粒(φ 2~5mm)13%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	弱	有	ローム粒(φ 2~10mm)5%
J-43号ピット	1 土	10YR3/4	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~15mm)10%、炭化物粒(φ 1~5mm)2%
	2 土	ローム混じり土	10YR4/4	褐色	強	ロームを主体とする。
	1 土	10YR3/4	暗褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~15mm)20%
J-44号ピット	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~15mm)5%、炭化物粒(φ 1~3mm)2%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR3/4	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~15mm)20%、黑色スコリア(φ 1~3mm)2%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~15mm)12%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
J-45号ピット	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ 2~15mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ 2~5mm)12%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ロームを主体とするが、地山ではない。
J-46号ピット	1 土	10YR2/2	黒褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~5mm)13%、燒土粒(φ 1~2mm)1%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR3/3	暗褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)5%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)20%、黒色スコリア(φ 1~2mm)1%
J-47号ピット	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	有	ローム粒(φ 2~10mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	有	ローム粒(φ 2~10mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/2	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~10mm)3%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
J-48号ピット	1 土	10YR3/4	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~10mm)3%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~10mm)20%、黒色スコリア(φ 1~2mm)20%、ローム粒(φ 2~20mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%、黒色スコリア(φ 1~3mm)1%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~15mm)15%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
J-49号ピット	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~15mm)20%、黒色スコリア(φ 1~2mm)1%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%、黒色スコリア(φ 1~3mm)1%
	1 土	10YR2/2	黒褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)20%、黒色スコリア(φ 1~2mm)1%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
J-50号ピット	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ 2~10mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	強	ローム粒(φ 2~5mm)12%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/3	暗褐色	強	強	ロームを主体とするが、地山ではない。
J-51号ピット	1 土	10YR2/2	黒褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~5mm)13%、燒土粒(φ 1~2mm)1%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR3/3	暗褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)5%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)20%、黒色スコリア(φ 1~2mm)1%
J-52号ピット	1 土	10YR2/2	黒褐色	強	有	ローム粒(φ 2~15mm)10%、炭化物粒(φ 1~5mm)2%
	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒(φ 2~5mm)13%、炭化物粒(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	強	有	ロームを主体とするが、地山ではない。
J-53号ピット	1 土	10YR2/2	黒褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~5mm)13%、燒土粒(φ 1~2mm)1%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR3/3	暗褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)5%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)20%、黒色スコリア(φ 1~2mm)1%
J-54号ピット	1 土	10YR3/4	暗褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	1 土	10YR3/3	暗褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)10%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%
	2 土	10YR3/4	暗褐色	極強	弱	ローム粒(φ 2~10mm)20%、黒色スコリア(φ 1~2mm)1%、赤褐色スコリア(φ 1~2mm)1%

第 25 表 繩文時代のピット土層説明一覧表 (2)

遺構	層位	土質	色調	粘性	しまり	含有物・備考	
						ローム粒	赤褐色スコリア
71号ピット	1 土	10YR2/2	黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 2 ~ 10mm) 5%、赤褐色スコリア (φ 1 ~ 2mm) 1%	
	2 土	10YR2/3	黒褐色	有	強	ローム粒 (φ 2 ~ 10mm) 10%	
	3 ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	強	極強	ロームブロック (φ 20 ~ 30mm) 10%、ローム粒 (φ 2 ~ 20mm) 10%	
72号ピット	1 土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2 ~ 15mm) 10%、赤褐色スコリア (φ 1 ~ 2mm) 1%	
	1 土	10YR2/3	黒褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2 ~ 15mm) 10%、赤褐色スコリア (φ 1 ~ 2mm) 1%	
	2 ローム混じり土	10YR3/3	暗褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2 ~ 20mm) 20%、炭化物粒 (φ 1 ~ 2mm) 1%、赤褐色スコリア (φ 1 ~ 2mm) 1%	
73号ピット	3 土混じりローム	10YR3/4	暗褐色	極強	強	ロームが主体 (80%以上)、II b 層土粒 (φ 10 ~ 20mm) 10%	
	※第 20 表に 44 号土坑とともに記載						
	1 土	10YR2/3	黒褐色	有	極強	ローム粒 (φ 2 ~ 10mm) 5%、炭化物粒 (φ 1 ~ 3mm) 1%	
75号ピット	2 ローム混じり土	10YR4/3	にぶい黄褐色	強	極強	ローム粒 (φ 2 ~ 20mm) 20%	
	3 土	10YR3/3	暗褐色	強	有	ローム粒 (φ 2 ~ 10mm) 10%	
	4 ローム混じり土	10YR3/4	暗褐色	有	強	ロームブロック (φ 20 ~ 30mm) 10%、ローム粒 (φ 2 ~ 20mm) 10%	

## C ピット

計 62 基のピットが検出された。繩文時代のピットには基本的に「J-」を付しているが、一部で例外的に付していないものがある。各遺構の土層説明は第 24 表と第 25 表、詳細は第 26 表に記載した。また、各遺構から出土した遺物は、第 63 図にまとめて掲載した。基本的な情報は各表に掲載し、特筆すべき以降について以下に記述する。

## J-1号ピット (J-P1) (第 57 図、第 24・26 表)

浅いピットである。第 63 図 6 は前期の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、繩文時代前期と考えられる。

## J-4号ピット (J-P4) (第 57 図、第 24・26 表)

SI1 を切る浅いピットである。第 63 図 7 は加曾利 E3 または E4 式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、繩文時代中期後半と考えられる。

## J-16号ピット (J-P16) (第 57 図、第 24・26 表)

柱穴の可能性がある。遺物は出土しなかった。

## J-18号ピット (J-P18) (第 57 図、第 24・26 表)

土坑状のピットである。第 63 図 8 は加曾利 E3 式の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、繩文時代中期後半と考えられる。

## J-19号ピット (J-P19) (第 57 図、第 24・26 表)

第 63 図 9 は条痕文系の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、繩文時代早期後半と考えられる。

## J-32号ピット (J-P32) (第 57 図、第 24・26 表)

深さ 43cm の深いピットである。J-33 号ピットの約 2m 西側に位置する。遺物は出土しなかったため、遺構の時期は不明である。

## J-33号ピット (J-P33) (第 57 図、第 24・26 表)

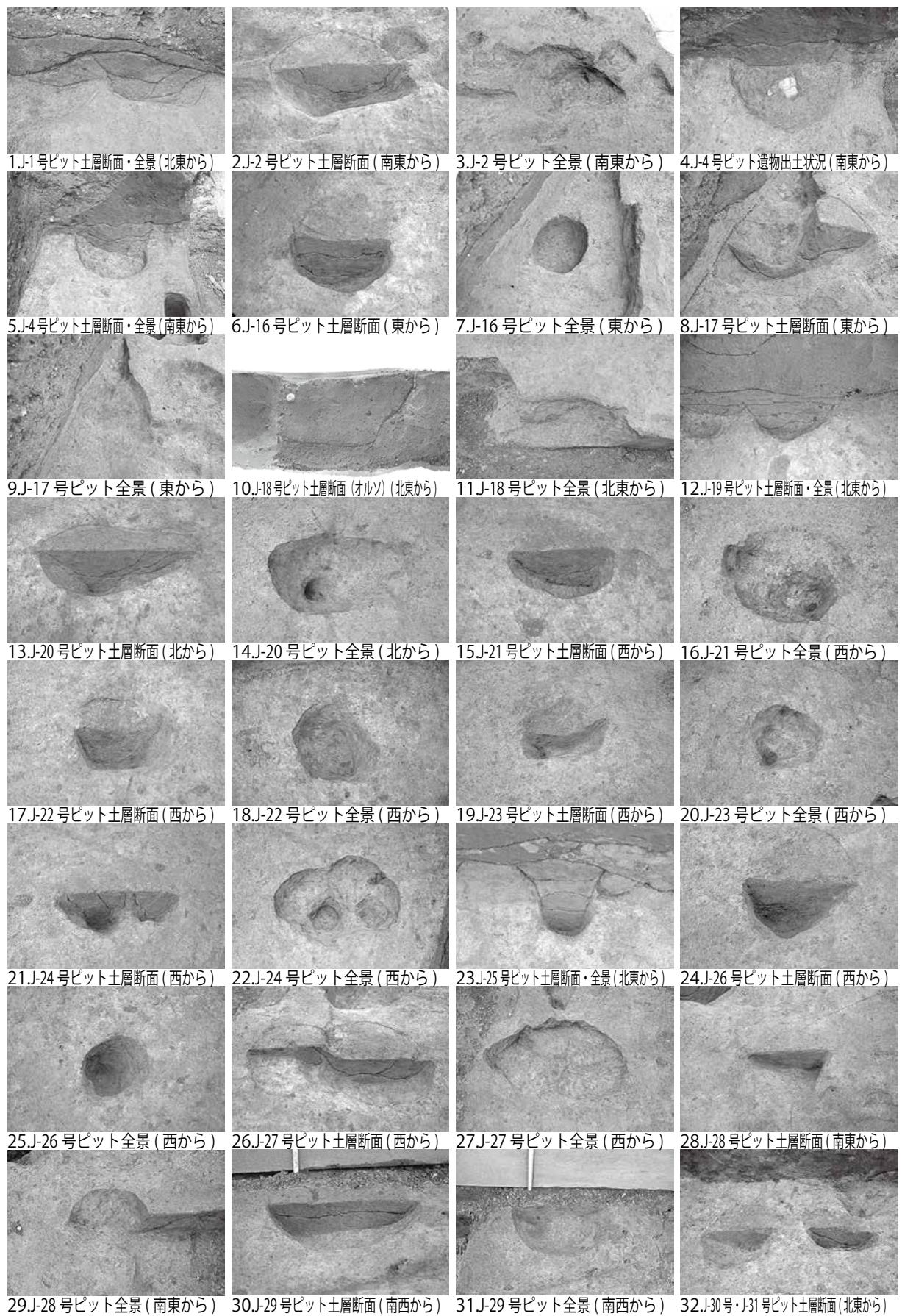
深さ 61cm の深いピットである。J-32 号ピットの約 2m 東側に位置する。また、J-33 号ピットから約 1.8m 南東には、大型の柱穴の可能性のある 3 号土坑が位置しており、互いに関連する可能性がある。遺物は出土しなかったため、遺構の時期は不明である。

## J-36号～J-39号ピット・72号ピット (J-P36～J-P39・P72) (第 58 図、第 24・26 表)

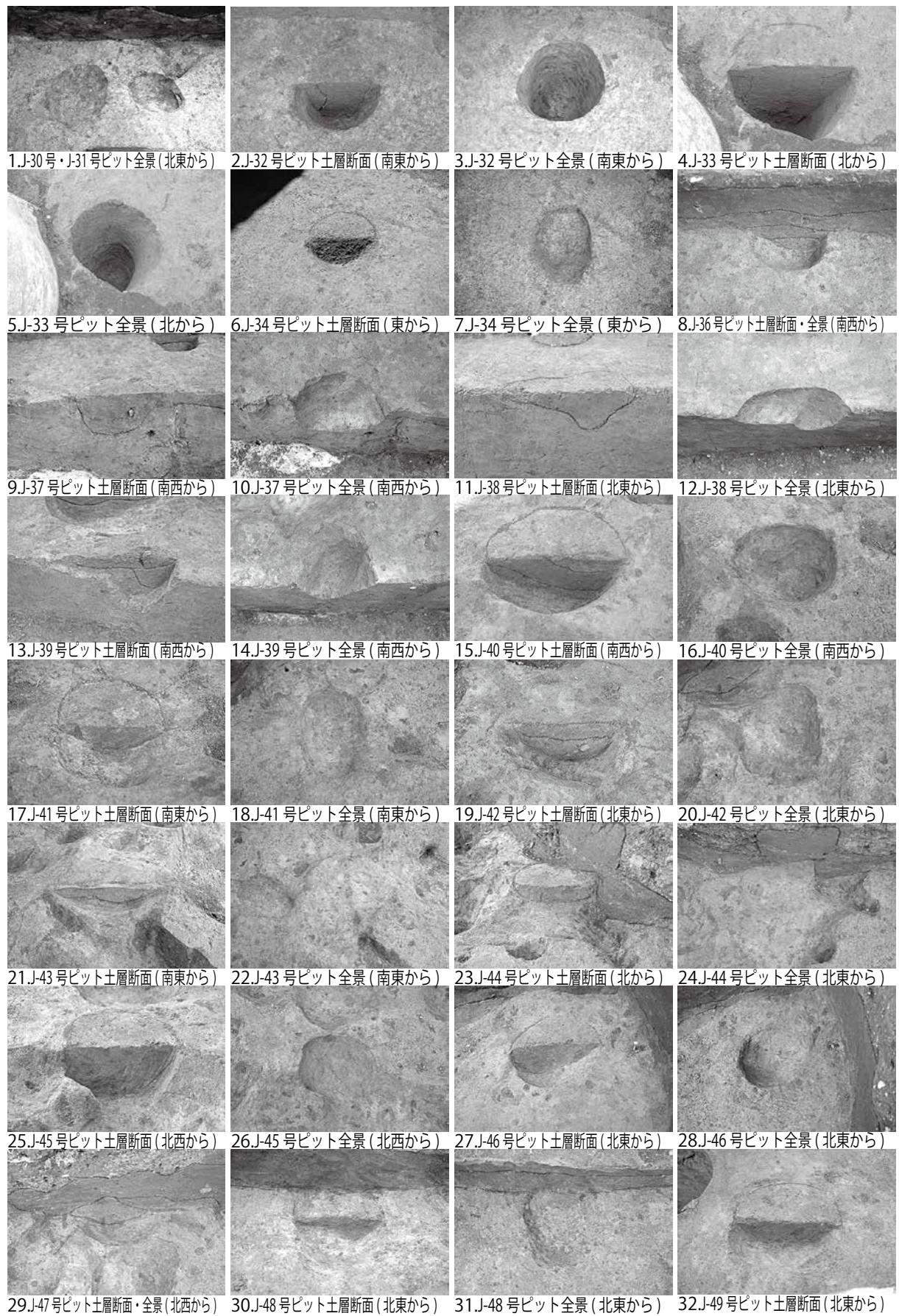
10 区 25・26-P グリッドに位置し、1 号集石 (SS1) の下層で検出された。複数の礫も出土しているため、1 号集石の一部である可能性がある。

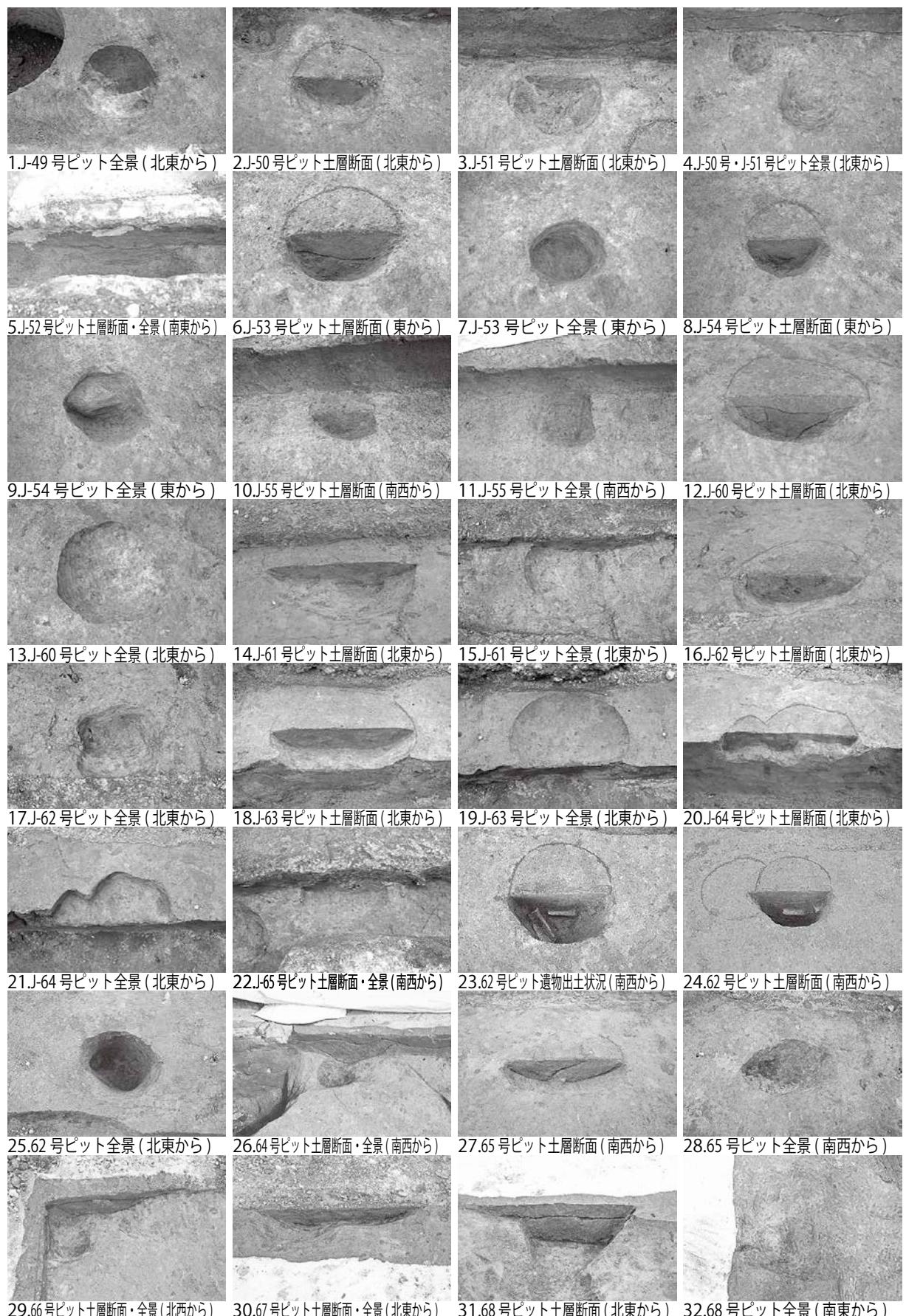
## 62号ピット (P62) (第 58 図、第 24・26 表)

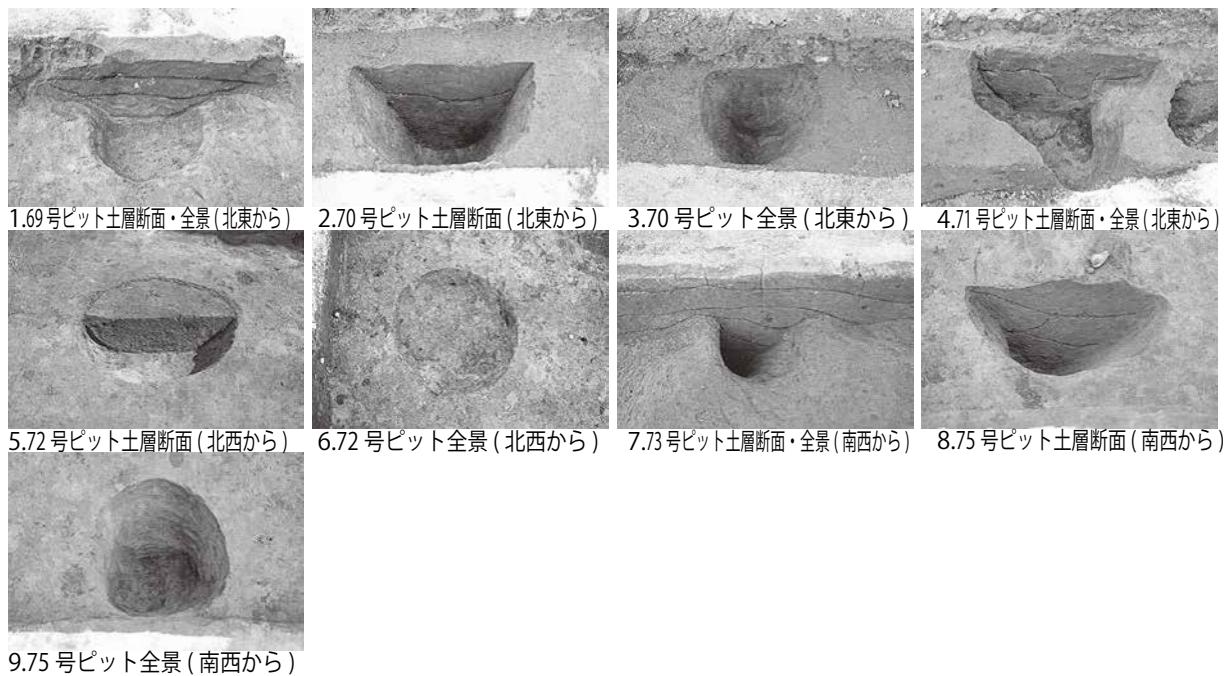
第 63 図 1 は加曾利 E4 式の深鉢の口縁部から胴部、2 は口縁部、3 から 5 は胴部である。1 から



第59図 繩文時代のピット写真(1)







第62図 縄文時代のピット写真(4)

5は同一個体である可能性が高い。1は62号ピット出土片と上層の包含層出土片が接合したものである。また、2と3は上部の包含層で出土した破片であるが、同一個体の可能性が高いため、62号ピット出土遺物に準ずるものとした。ピットとしては比較的遺物出土点数が多いため、土器が意図的に埋設された遺構である可能性がある。

#### 65号ピット (P65) (第58図、第24・26表)

浅いピットである。第63図10は条痕文系の深鉢胴部、11は条痕文系の深鉢底部である。11は尖底であるが、胴部に向かって水平に近い状態で立ち上がる。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期後半と考えられる。

#### 71号ピット (P71) (第58図、第25・26表)

41号土坑 (SK43) の内部に位置するピットである。第63図12は前期の深鉢胴部、13は中期後半の深鉢口縁部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代中期後半と考えられる。

#### 75号ピット (P75) (第58図、第25・26表)

やや深いピットである。第63図14は早期から前期の深鉢胴部である。遺構の時期は、出土遺物から、縄文時代早期から前期と考えられる。

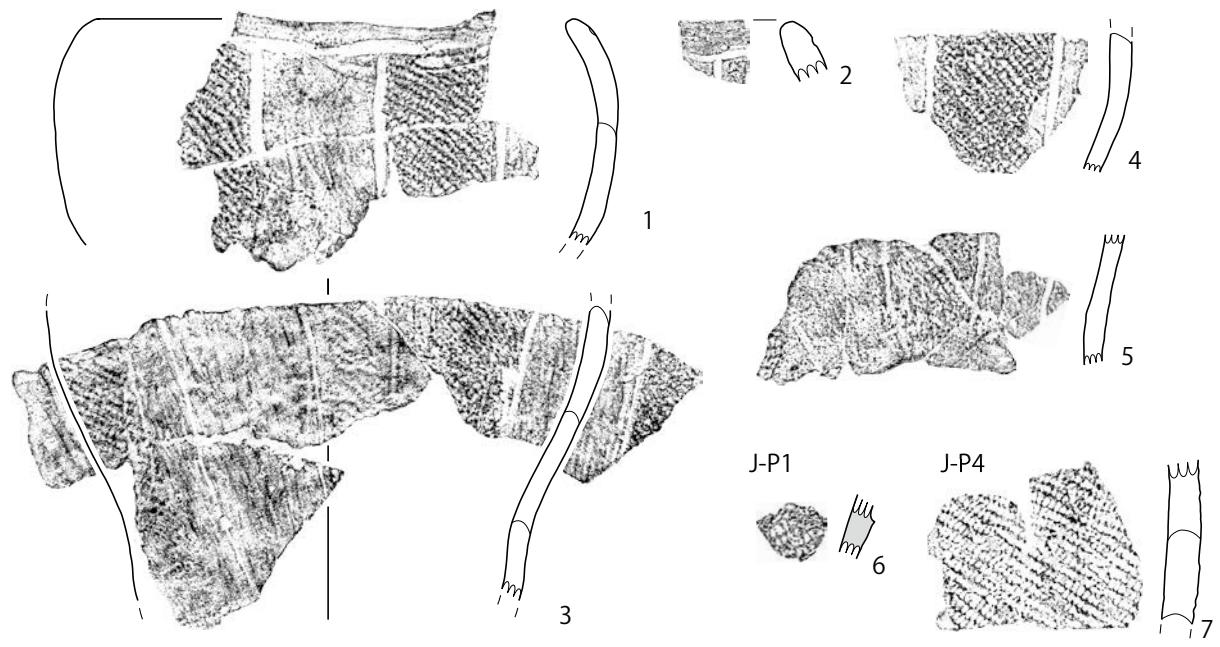
第26表 繩文時代のピット一覧表

遺構番号	調査区	グリッド	時期	遺構の性格	遺構のサイズ(cm)・形状			出土遺物(点)			掲載遺物	備考	
					長軸	短軸	深さ	平面形状	土器	石器	礫		
J-1号ピットA	9区	20-R	縄文		30	(27)	6	不整形	1			第63図6	
J-1号ピットB	9区	20-R	縄文		48	(15)	17	不整形					
J-2号ピット	9区	19-S	縄文		56	45	26	不整形			2		
J-4号ピット	9区	18-S	縄文中期後半		45	(37)	20	楕円形	1			第63図7	
J-16号ピット	10区	24-P	縄文	柱穴	32	25	22	楕円形					
J-17号ピット	10区	24-P	縄文		41	30	15	楕円形					
J-18号ピット	10区	25-P	縄文中期後半		51	(21)	22	不明	1			第63図8	
J-19号ピット	10区	25-P	縄文		33	(11)	22	不明	2			第63図9	
J-20号ピット	9区	21-R	縄文		52	34	20	楕円形	1				
J-21号ピット	9区	22-R	縄文		58	49	27	円形					
J-22号ピット	9区	22-R	縄文		27	21	19	楕円形					
J-23号ピット	9区	22-R	縄文		27	26	13	円形	1				
J-24号ピット	9区	22-Q	縄文		57	39	31	楕円形					
J-25号ピット	9区	21-R	縄文	柱穴	23	(12)	32	不明					
J-26号ピット	9区	22-R	縄文		26	26	24	円形			1		
J-27号ピット	9区	21-R	縄文		77 (30)	45 (24)	17	楕円形					
J-28号ピット	9区	21-R	縄文		(25)	19	15	楕円形					
J-29号ピット	9区	21-R	縄文		35	(18)	9	不明					
J-30号ピット	9区	20・21-R	縄文		35	27	9	円形			1		
J-31号ピット	9区	20-R	縄文		25	20	10	楕円形					
J-32号ピット	10区	24-Q	縄文	柱穴	33	29	43	円形					
J-33号ピット	10区	24-Q	縄文	柱穴	(29)	28	61	楕円形				SK3・SK10と直線状に並ぶ	
J-34号ピット	10区	23-Q	縄文		22	19	7	楕円形					
J-36号ピット	10区	26-Q	縄文		22	(14)	9	不明				SS1の下から検出	
J-37号ピット	10区	25・26-Q	縄文		27	(12)	13	不明			1	SS1の下から検出	
J-38号ピット	10区	25-P・Q	縄文		34	(9)	15	不明				SS1の下から検出	
J-39号ピット	10区	26-P	縄文		32	(18)	13	不明			2	SS1の下から検出	
J-40号ピット	13区	43-H	縄文		43	34	20	楕円形					
J-41号ピット	13区	43-H	縄文		38	28	12	楕円形					
J-42号ピット	13区	43-H	縄文		45	34	15	不整形					
J-43号ピット	13区	43-H	縄文		72	43	8	楕円形					
J-44号ピット	13区	43-G	縄文		(30)	24	9	不明					
J-45号ピット	13区	44-H	縄文		30	(26)	18	円形	1				
J-46号ピット	13区	43-H	縄文		29	25	12	円形			1		
J-47号ピット	13区	43-H	縄文		41	(18)	11	不整形					
J-48号ピット	10区東	29-O	縄文		(31)	28	9	楕円形			2		
J-49号ピット	10区東	29-O	縄文		28	27	10	円形					
J-50号ピット	10区東	29-N・O	縄文		24	21	9	円形					
J-51号ピット	10区東	29-N	縄文		17	16	5	円形					
J-52号ピット	10区東	29-N	縄文		39	(13)	15	楕円形			1		
J-53号ピット	10区東	29-O	縄文		22	18	18	円形					
J-54号ピット	10区東	29-N	縄文		21	18	12	円形					
J-55号ピット	10区東	29-O	縄文		18	(16)	9	不整形					
J-60号ピット	11区	35-K	縄文		46	45	18	円形	1				
J-61号ピット	11区	36-K	縄文		29	(20)	7	不整形					
J-62号ピット	11区	34-L	縄文		35	(29)	11	楕円形			1		
J-63号ピット	11区	33-M	縄文		39	(24)	11	楕円形					
J-64号ピット	11区	33-M	縄文		33	(13)	8	不整形					
J-65号ピット	11区	33-M	縄文		43	(17)	9	不明					
J-66号ピット	12区	42-H	縄文		13	11	43	円形				SK53を切る	
62号ピット	10区東	27・28-P	縄文時代中期後半	土器埋納遺構の可能性あり	28	26	19	円形	4		1	第63図1~5	土器片が多量に出土
64号ピット	10区東	28-P	縄文		20	(17)	28	不整形					
65号ピット	10区東	28-O	縄文		37	22	10	楕円形	2		1	第63図10・11	
66号ピット	10区東	28-O	縄文		42	(25)	8	不整形					
67号ピット	10区東	28-O	縄文		42	(13)	8	不整形					
68号ピット	10区東	28-O	縄文		30	(14)	15	不明					
69号ピット	10区東	27-P	縄文		26	(22)	13	楕円形					
70号ピット	10区東	27-O	縄文		28	(21)	24	円形			1		
71号ピット	10区東	27-P	縄文時代中期後半か		(53)	(32)	21	不整形	2			第63図12・13	SK41の内部
72号ピット	10区東	27-P	縄文		33	32	10	円形			1		SS1の下から検出
73号ピット	10区東	28-O	縄文		26	(18)	29	不明					
74号ピット	10区東	28-O	縄文		17	(14)	33	円形					SK44の内部
75号ピット	10区東	28-O	縄文		(40)	39	31	円形	1			第63図14	

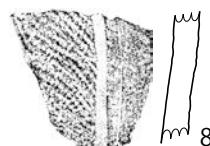
※J-3号、J-5号～J-16号ピットはSI1内部ピット

※J-56号～J-58号ピットは近世以降のピット

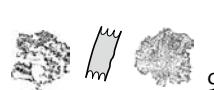
P62, SX6, 包含層



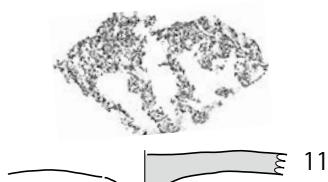
J-P18



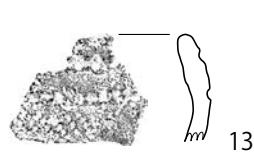
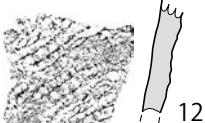
J-P19



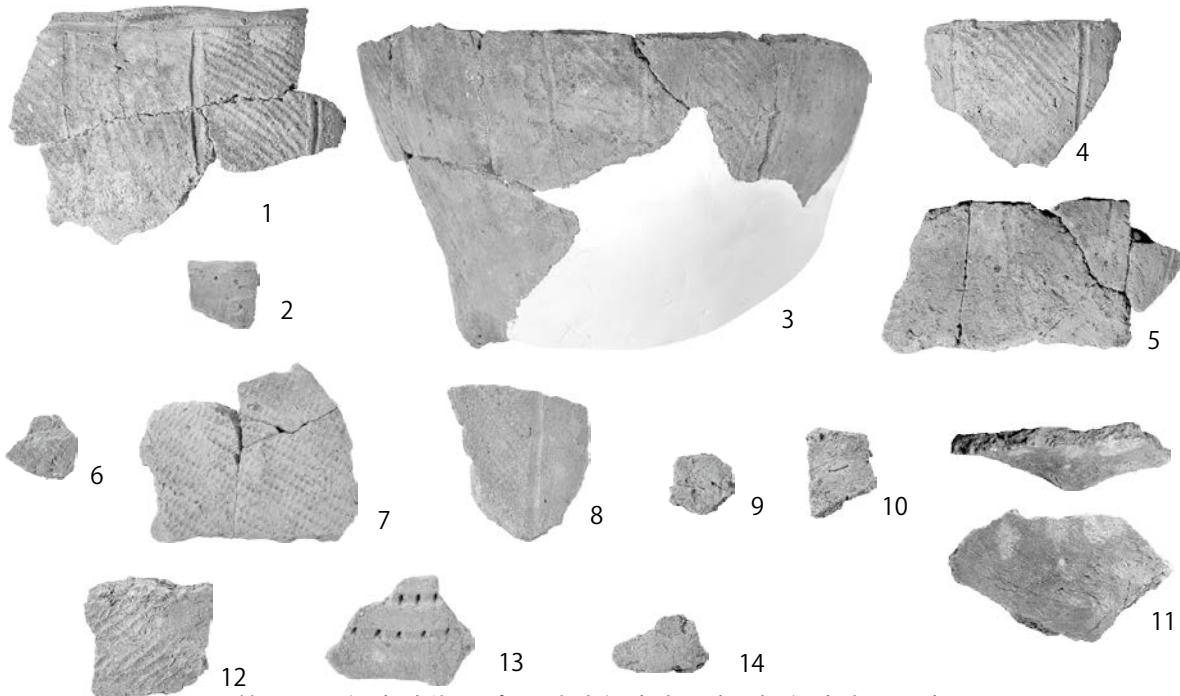
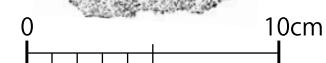
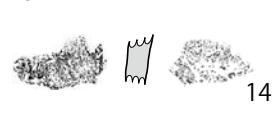
P65



P71



P75



第63図 縄文時代のピット出土縄文土器(1/3)・縄文土器写真

第27表 縄文時代のピット出土縄文土器観察表

図	番号	遺構	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考	
63	1	62号ピット、 包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	口縁部 から胴部	沈線、磨消縄文、単節RL	小礫、長石、シャモット、 石英、角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色	口径 19.0cm 同一個体
	2	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	口縁部	沈線、内面ミガキ	チャート、長石、赤色砂 粒	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色	
	3	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	沈線によるU字対向文、磨 消縄文、単節RL、内面ミガ キ	チャート、長石、石英、赤色砂 粒	良好	5YR5/6	明赤褐色	
	4	62号ピット	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節RL、 内面ミガキ	小礫、長石、石英、シャモット、 角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色	
	5	62号ピット	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節RL、 内面ミガキ	小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色	
	6	J-1号ピット	前期		深鉢	胴部	単節RL	織維、小礫、長石、石英	普通	10YR3/3	暗褐色	
	7	J-4号ピット	中期後半	加曾利E3/E4	深鉢	胴部	縦方向の幅広沈線、単節RL	角閃石を多量に含む、長 石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄橙色	
	8	J-18号ピット	中期後半	加曾利E3	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節RL	長石、石英、角閃石	良好	10YR4/4	褐色	
	9	J-19号ピット	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文、内面ミガキ	織維、長石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色	
	10	65号ピット	早期後半	条痕文系	深鉢	口唇部	口唇部はやや平坦、条痕文	織維、小礫、長石、石英	普通	7.5YR6/4	にぶい橙色	
	11	65号ピット	早期後半	条痕文系	深鉢	底部	尖底土器	織維、長石、石英	普通	7.5YR4/3	褐色	
	12	71号ピット	前期		深鉢	胴部	無節L	織維、長石、石英、角閃 石	良好	10YR4/3	にぶい黄褐色	
	13	71号ピット	中期後半		深鉢	口縁部	平行沈線内に刺突文	シャモット、長石、石英	やや 脆い	7.5YR6/6	橙色	
	14	75号ピット	早期/前期		深鉢	胴部	外面ナデ	織維、長石、石英	普通	7.5YR6/6	橙色	

## D 集石

計2基の集石が検出された。各遺構から出土した遺物は、第67・68図にまとめて掲載した。

### 1号集石 (SS1) (第64・65図)

10区西側の25～27-P、25・26-Qグリッドで検出された。搅乱のため全体の規模は不明であるが、水平方向では北西から南東方向にかけて約11mの幅を有し、垂直方向では約25cmの幅で分布する。遺構全体の明確な掘り込みはないが、土層はⅡb層とはやや異なる。23～28、34・35号土坑、J-36～J-39号ピット、72号ピットは1号集石の下面から検出された。特に土坑からは礫が多く出土している。これらの遺構が集石に伴う掘り込みである可能性がある。

遺物は、縄文土器46点と石器1点、礫328点が出土した。集石を構成する礫の石材の割合は、約60%を砂岩が占め、次いで30%以上をチャートと珪質頁岩が占める。この割合は、現在の荒川の河原を構成する礫と類似する(柴田2005)。礫のうち約18%にあたる59点に被熱が認められる。礫の接合関係は少なく、砂岩が2点ずつ2組接合したのみである。

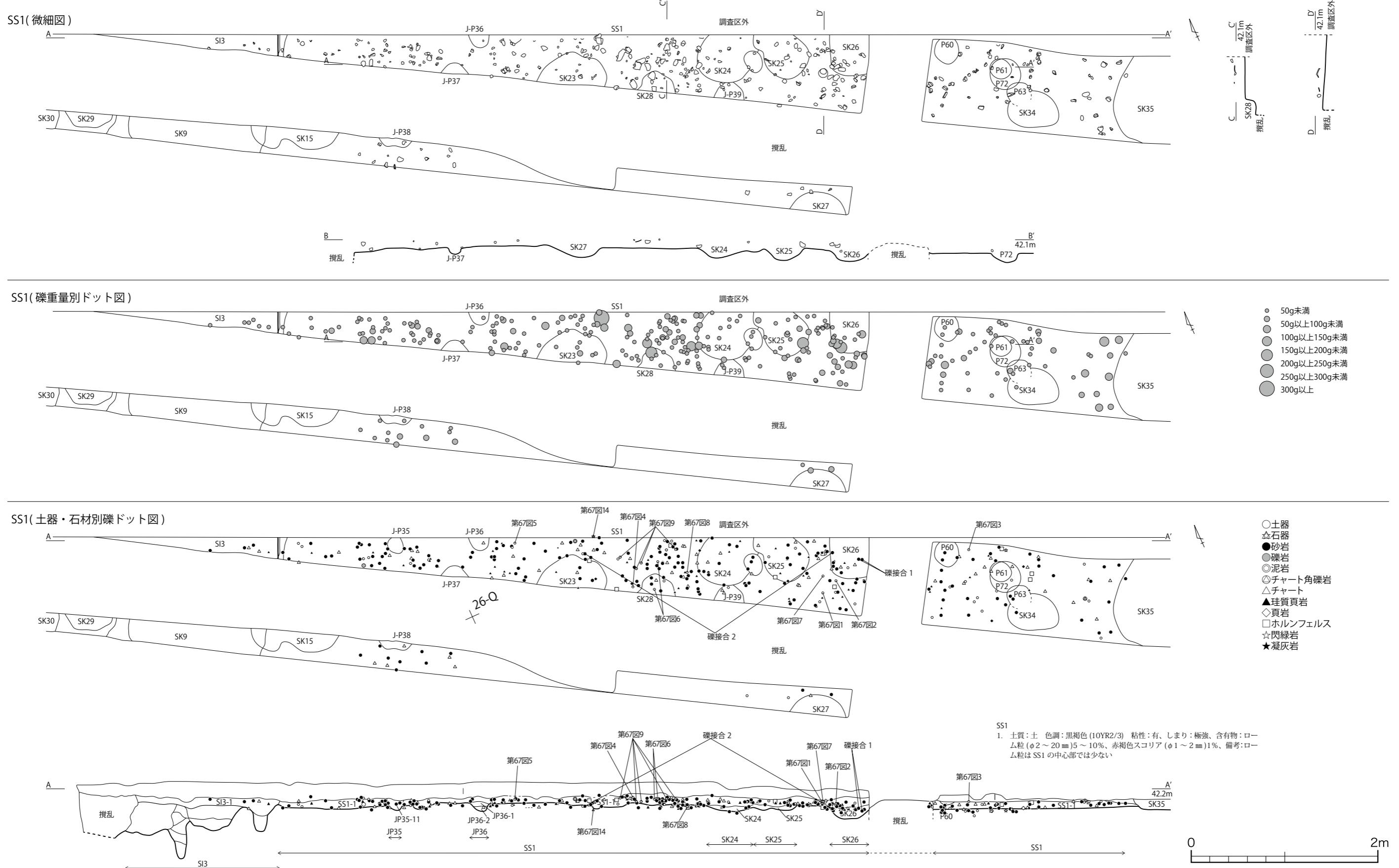
第67図1は前期の深鉢口縁部、2は深鉢胴部である。3から9は中期後半の土器で、4・5は加曾利E4式の深鉢胴部、9は胴部から底部である。5は微隆起文を有し、無節Lの縄文が施文される。9は沈線によるU字対向文の内側に櫛歯状条線が施文される。14は閃緑岩の石皿の破片で、片面に摩滅面を有する。

遺物の主体が縄文時代中期後半であることから、遺構の年代もそこに該当すると考えられる。なお、1号集石に隣接する第四次調査地点において、同時期の集石(1号集石)が確認されており(東京都埋蔵文化財センター2020)、これに連続する遺構である可能性がある。

### 2号集石 (SS2) (第66図)

10区中央部の29・30-N・Oグリッドで検出された。搅乱のため全体の規模は不明であるが、水平方向では北西から南東方向にかけて約3mの幅を有し、垂直方向では約25cmの幅で分布する。遺構全体の明確な掘り込みはない。土層はⅡb層と似る。

遺物は、縄文土器31点と礫98点が出土した。集石を構成する礫の石材の割合は、約70%を砂岩







1. 1号集石上面礫出土状況（南西から）



2. 1号集石下面礫出土状況（南西から）



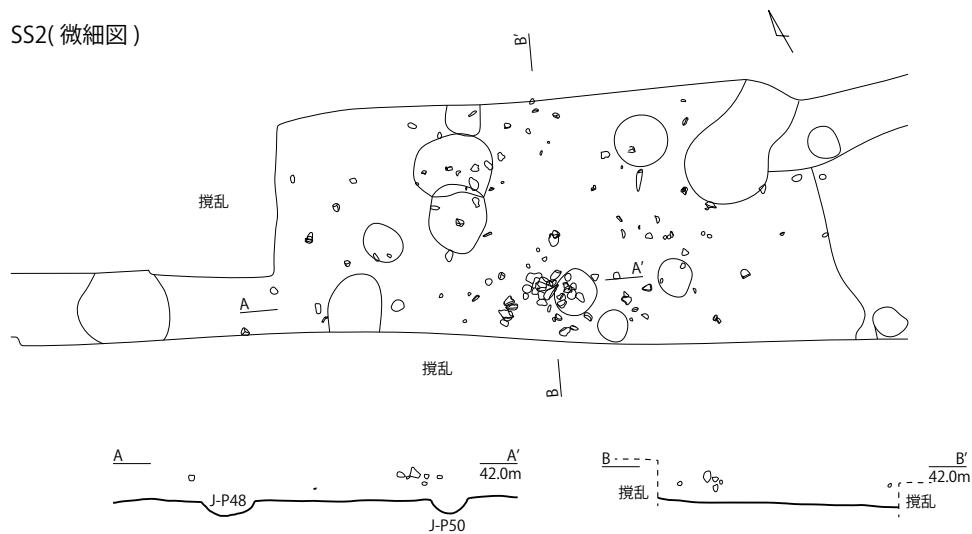
3. 1号集石土層断面（南西から）

第65図 1号集石写真

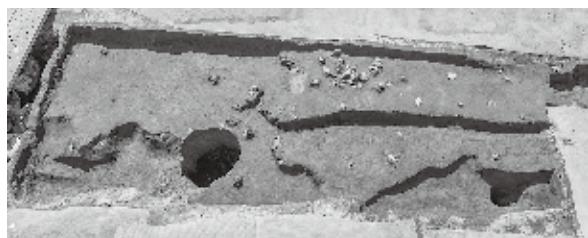
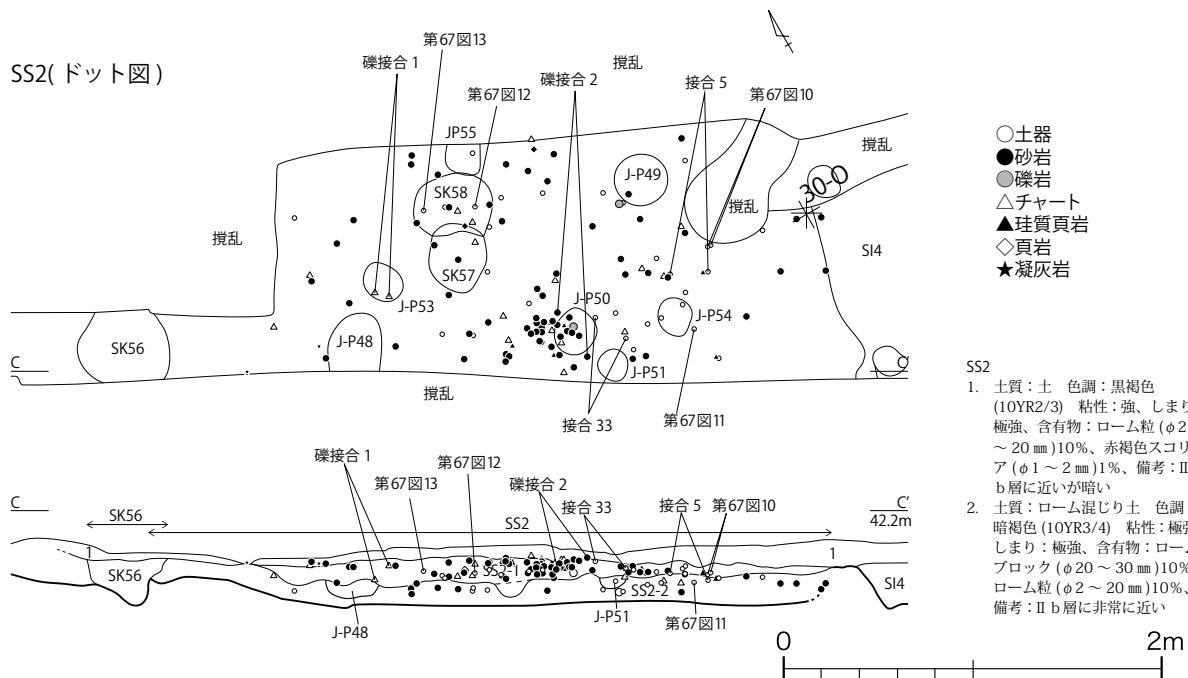
が占め、次いで 20% 以上をチャートと珪質頁岩が占める。この割合は、現在の荒川の河原を構成する礫と類似する（柴田 2005）。礫のうち約 42% にあたる 41 点に被熱が認められる。礫の接合関係は少なく、砂岩 2 点 1 組とチャート 2 点 1 組が接合したのみである。

第 67 図 10 は前期の深鉢口縁部、11 は条痕文系の深鉢底部、12・13 は中期後半の深鉢口縁部である。遺物の主体が縄文時代中期後半であることから、遺構の年代もそこに該当すると考えられる。

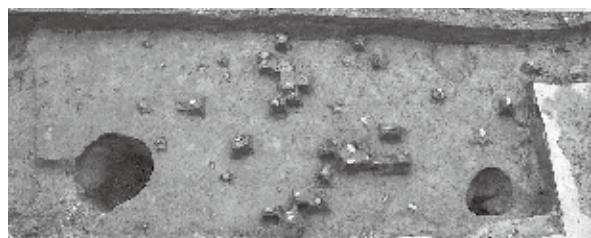
SS2(微細図)



SS2(ドット図)



1. 2号集石上面礫出土状況(北東から)

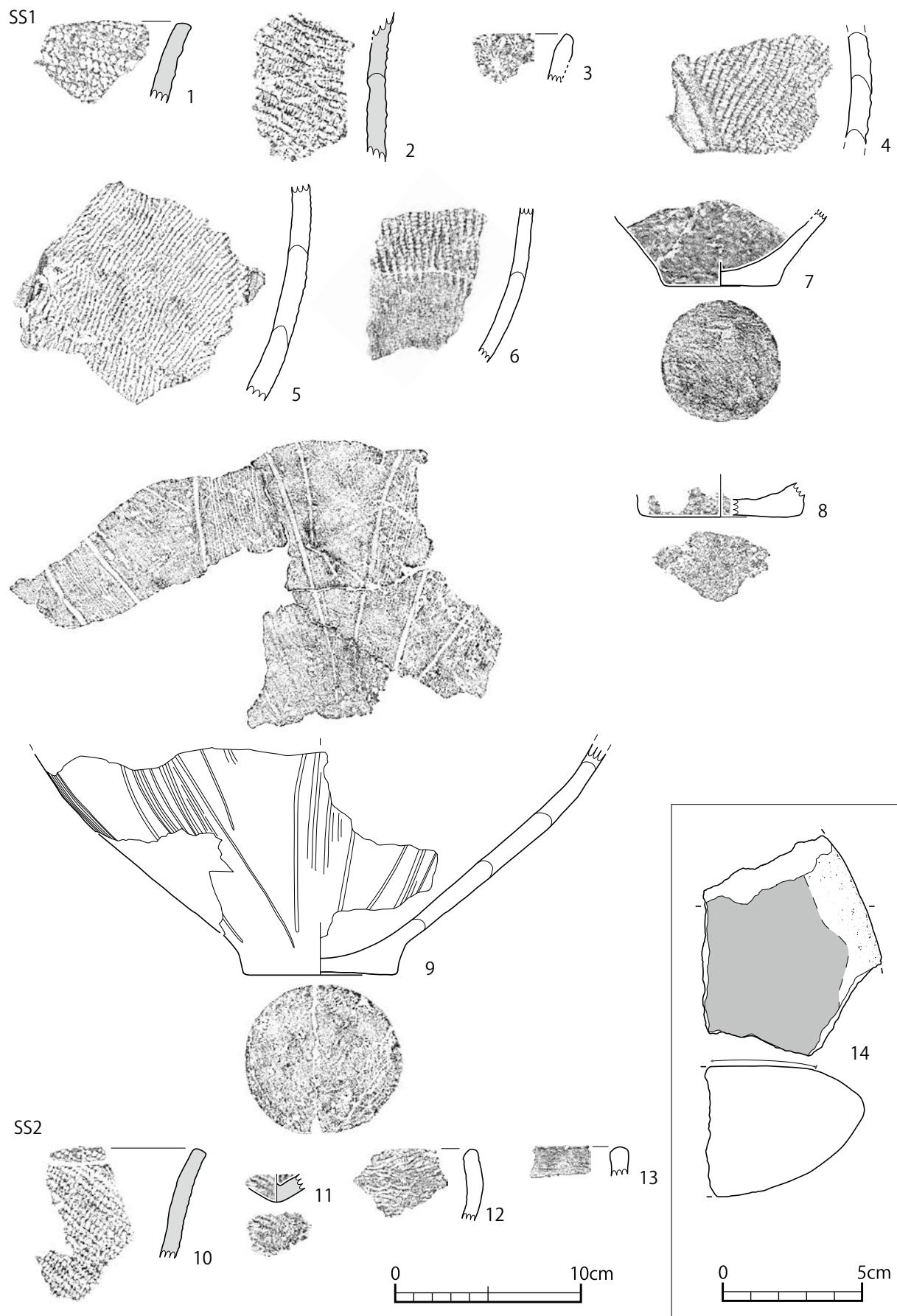


2. 2号集石下面礫出土状況(北東から)

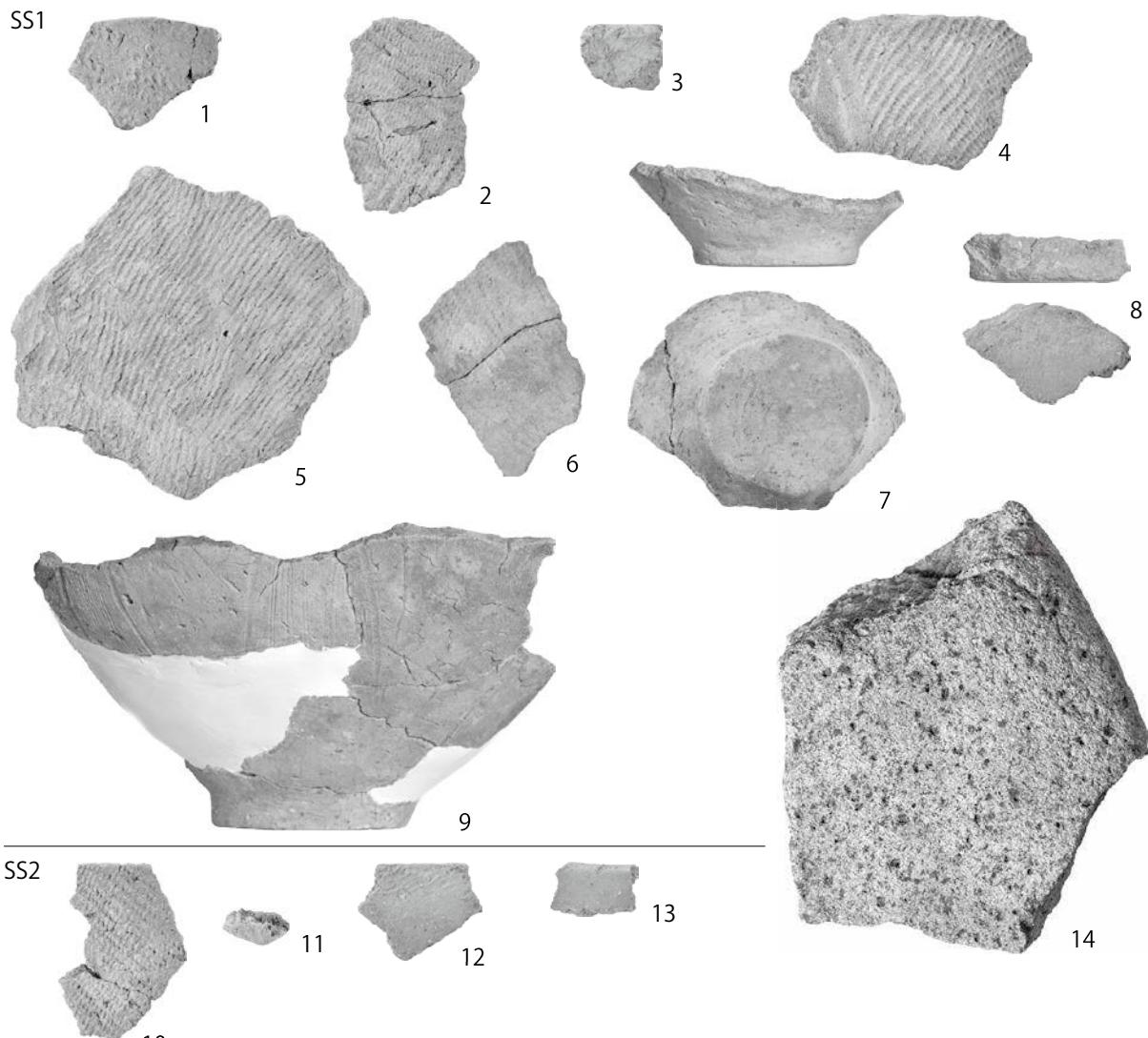


3. 2号集石土層断面(北東から)

第66図 2号集石(1/40)・2号集石写真



第67図 縄文時代の集石出土遺物(1/3・1/2)



第68図 縄文時代の集石出土遺物(1/3・1/2)

第28表 縄文時代の集石出土縄文土器観察表

図	番号	遺構	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考
67 68	1	1号集石	前期		深鉢	口縁部	口唇部は平坦、単節 RL	繊維、チャート、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/3	褐色
	2		前期		深鉢	胴部	単節 RL・LR (羽状繩文)	繊維、小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色
	3		中期?		深鉢	口縁部	口唇部はやや平坦	長石、石英、角閃石	良好	5YR7/6	橙色
	4		中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部	微隆起線文、単節 LR	長石を多量に含む、チャート、石英	やや脆い	5YR6/6	橙色
	5		中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部	微隆起、無節 L、内面ミガキ、内面に輪積み痕あり	長石、石英	良好	5YR5/4	にぶい赤褐色
	6		中期後半		深鉢	胴部	単節 RL	小礫、長石、石英	普通	7.5YR6/4	にぶい橙色
	7		中期後半		深鉢	底部	胴部・底部外面ミガキ、内面ミガキ	長石、角閃石	良好	10YR6/4	にぶい黄橙色
	8		中期		深鉢	底部	底部外面は中央がやや窪む	小礫、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/6	褐色
	9		中期後半	加曾利 E4	深鉢	胴部から底部	沈線による U字対向文の内側に櫛状条線、内面ミガキ	小礫、長石、赤色砂粒、石英	良好	5YR6/6	橙色
	10		前期		深鉢	胴部	口唇部は平坦、口唇部と外面に単節 RL	繊維、小礫、長石、石英	良好	10YR2/2	黒褐色
2号集石	11	2号集石	早期後半	条痕文系	深鉢	底部	条痕文、尖底土器	繊維、長石、石英	普通	5YR6/6	橙色
	12				深鉢	口縁部	口唇部はやや平坦、無節 L または反撗	長石、チャート、角閃石	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色
	13		中期		深鉢	口縁部	口唇部ミガキ	長石、石英、角閃石	良好	5YR4/6	明赤褐色

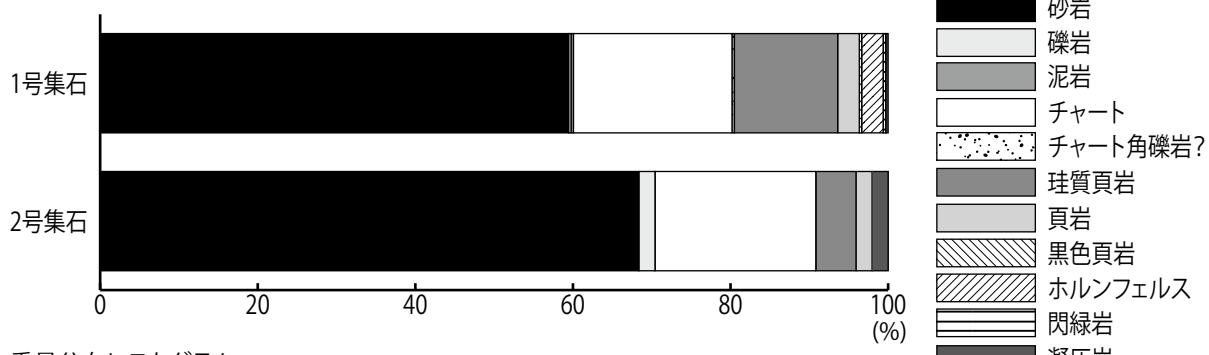
第29表 縄文時代の集石出土縄文土器観察表

図	番号	遺構	出土層位	時期	器種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	備考
同上	14	1号集石	縄文	石皿	閃緑岩		(119.0)	(96.0)	70.0	940.0	

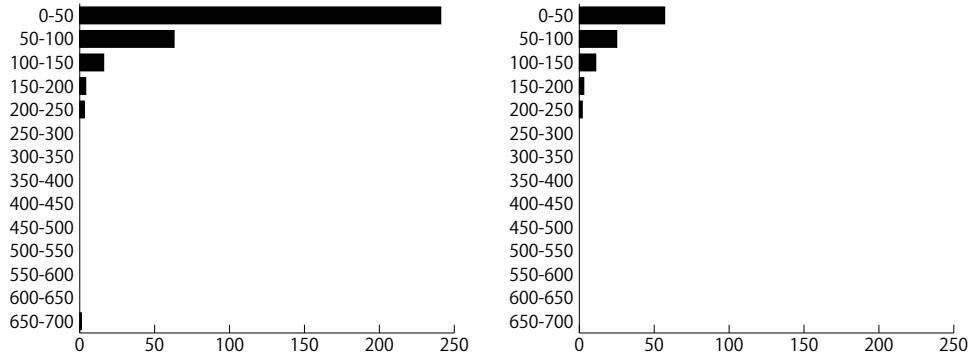
第30表 繩文時代集石出土礫組成表

	遺構	石材組成										合計		
		砂岩	礫岩	泥岩	ホルンフェルス	黒色頁岩	頁岩	珪質頁岩	チャート	チャート角礫岩?	凝灰岩			
点数	1号集石	195	1	1		9	1	9	43	66	1	1	328	
	2号集石	67	2					2	5	20		2	98	
	合計	262	3	1		9	1	11	48	86	1	3	426	
重量(g)	1号集石	8583.8	141.8	40.9		328.1	1	186	1,280.7	2,391.4	106.1	12.5	7.1	13,079.4
	2号集石	3733.7	89.8					16	178.8	1,211.1		81.5		5,310.9
	合計	12317.5	231.6	40.9		328.1	1	202	1,459.5	3,602.5	106.1	94	7.1	18,390.3

石材別割合



重量分布ヒストグラム



第69図 繩文時代の集石出土礫グラフ

## 2) 遺構外出土遺物 (第 71 ~ 77 図・第 31 ~ 33 表)

遺構に伴なわない包含層出土遺物と、近世以降の遺構や撹乱等から出土した遺物を合わせて遺構外出土遺物とした。繩文時代の遺物は、主に 9 区から 11 区で出土した。12 区・13 区では出土しなかった。第 70 図に土器と石器に分けた分布図を示す。調査範囲の多くが撹乱で分断されているため、厳密な傾向を示すことはできないが、9 区と 10 区に分布の中心があると捉えることが可能である。

土器を時期別に見ると、中心は早期後半の条痕文系土器と中期後半の加曽利 E3 から E4 式土器となり、遺構の分布と一致する。他に、早期前半、前期前半、前期後半、中期初頭、中期前半の土器も少数であるが出土している。石器については、時期が不明確なものが多いが、一部に早期に特有のものが含まれる。

第 71 図 1 から 3 は早期前半の深鉢である。1 は三戸式の深鉢口縁部である。口唇部は平坦で、内傾する。2・3 は沈線文系の深鉢口縁部である。

4 から 26 は早期後半の条痕文系土器である。4 から 14 は口縁部である。4・5 は打越式の深鉢口縁部で、刺突文を有する。同一個体の可能性がある。6 は口唇部と外面に竹管による円形刺突文を有する。10 は鋸歯状隆帯に刺突文が施され、18 号土坑で出土した個体と類似する。11・12 は子母口式の深鉢口縁部である。12 は口唇部と外面に連続刺突文を有する。15 から 24 は胴部である。25・

26 は深鉢底部で、尖底である。

27 から 34 は前期前半の土器である。27 から 30 は口縁部である。31 は深鉢胴部で、大きく内湾する。32 から 34 は底部である。33 は外面に無節 L の縄文が施文される。34 は花積下層式の深鉢底部で、高台形の突起を有する。

第 72 図 35 は前期後半の諸磯式土器である。外面に原体の押し付けが浅い単節 RL の縄文が施文される。

36 から 38 は前期末の十三菩提式土器であり、全て 20-R グリッドで近接して出土していることから、同一個体の可能性が高い。

39・40 は後期初頭の五領ヶ台式土器である。

41・42 は後期前半の阿玉台式土器である。41 は深鉢口縁部で、波状沈線が施文される。42 は深鉢胴部で、雲母を多量に含む。

43 から 45 は後期前半の勝坂式土器である。

46 から 55 は後期後半の加曾利 E3 式土器である。46 から 51 は深鉢口縁部で、46・47 は口縁部文様帯を有し、加曾利 E3 式の中でも古相を示す。52 から 55 は深鉢胴部である。

56・57 は加曾利 E3 または E4 式土器の口縁部である。

58 から 第 73 図 73 は加曾利 E4 式土器である。第 72 図 58 から 62 は深鉢口縁部、63 から 第 73 図 73 は深鉢胴部である。65 は微隆起文による対向 U 字文が施される。71 は沈線による対向 U 字文、73 は沈線による対向 V 字文が施文される。なお、65・66・73 は 9 区西側 19-S グリッドで集中して出土しており、65・66 は同一個体の可能性が高い。

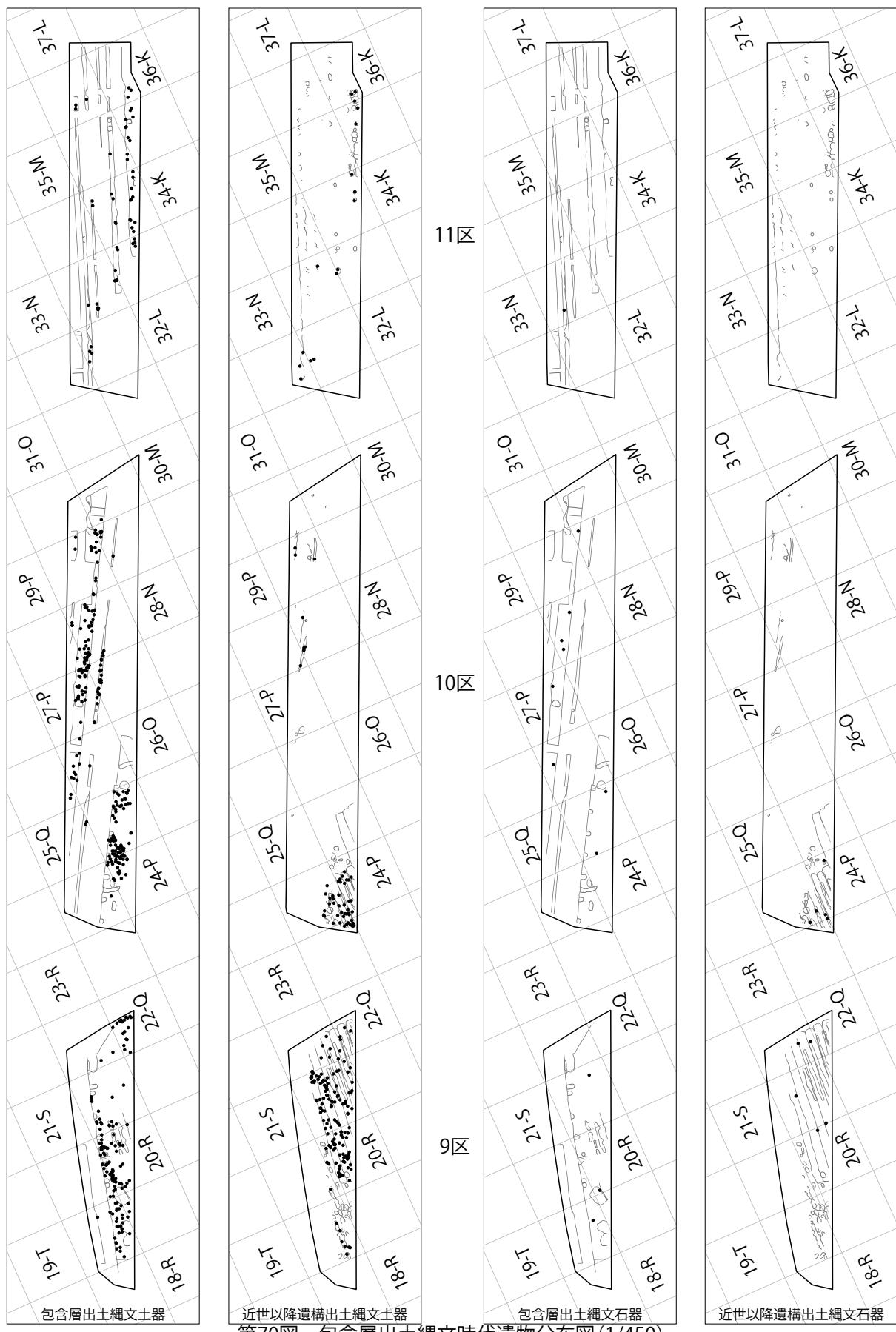
74 から 77 は加曾利 E3 または E4 式の櫛歯状沈線が施文される個体、78 から 80 は加曾利 E3 または E4 式の深鉢胴部である。77 は波状の櫛歯状沈線が施文される。81 は曾利式土器である。

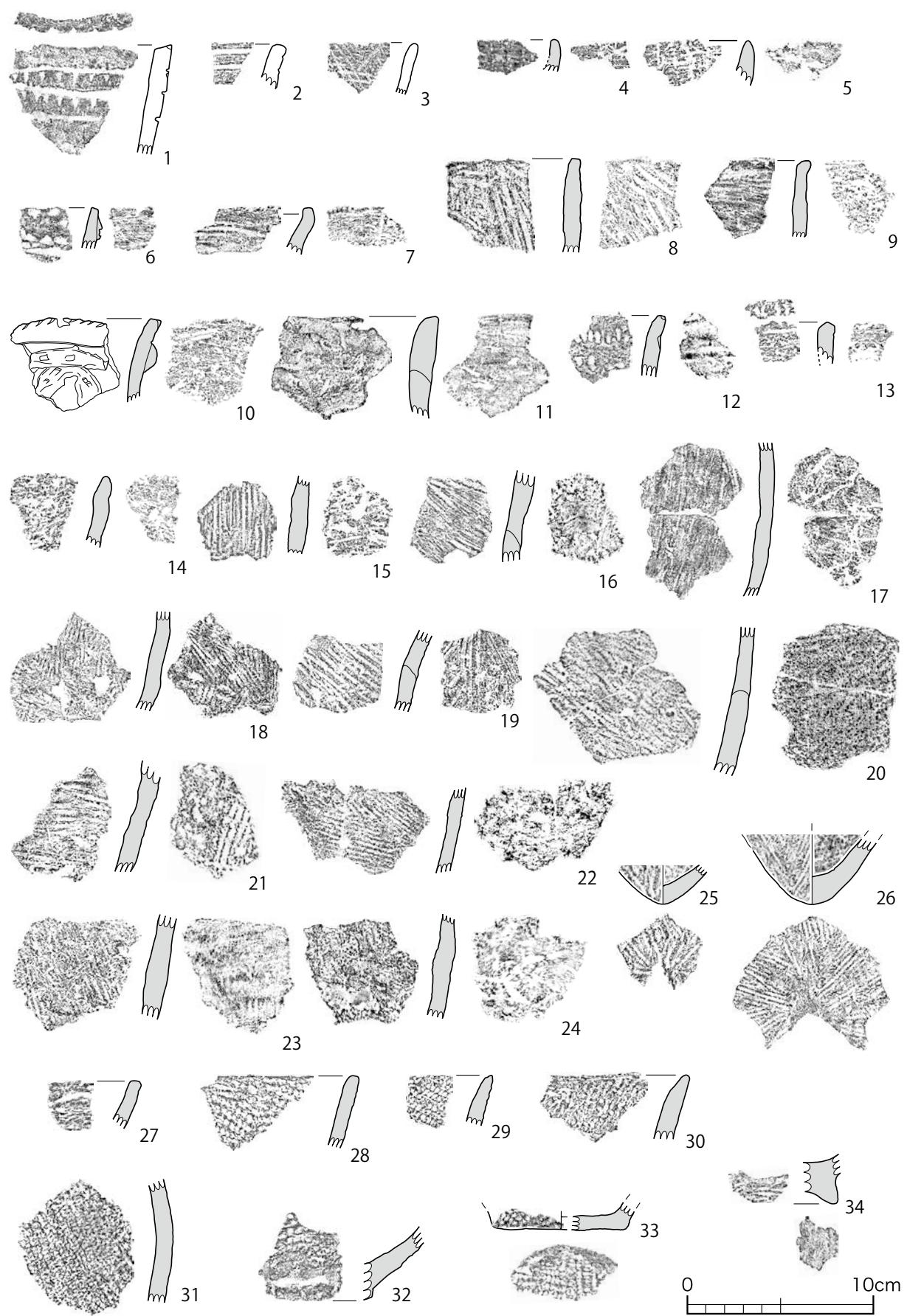
82 から 85 は加曾利 E3 から E4 式の深鉢底部である。86 は加曾利 E4 式の両耳壺の把手である。外面には単節 LR の縄文が施文される。87 は中期後半の器台の台部であり、2 か所の焼成前穿孔が確認できる。88 は中期後半の台付土器脚部であり、1 か所の焼成前穿孔が確認できる。

第 76 図 1 は黒曜石の楔形石器である。産地推定分析の結果、産地は天城(柏峰)との結果が得られた。2 は黒曜石の剥片である。産地推定分析の結果、産地は諏訪(星ヶ台)との結果が得られた。3 はチャートの錐である。4 は玉髓の石鏃未成品である。5 は黒曜石の剥片である。産地推定分析の結果、産地は神津島(恩馳島)との結果が得られた。6 は砂岩の打製石斧であり、破損により上半部のみ残存する。7 は黒色頁岩、8 はホルンフェルスのスクレイパーである。9 は縄文早期の閃緑岩の抉入磨石である。両面に摩滅面を有する。10・11 は閃緑岩の磨石、12・13 は閃緑岩の石皿の破片である。

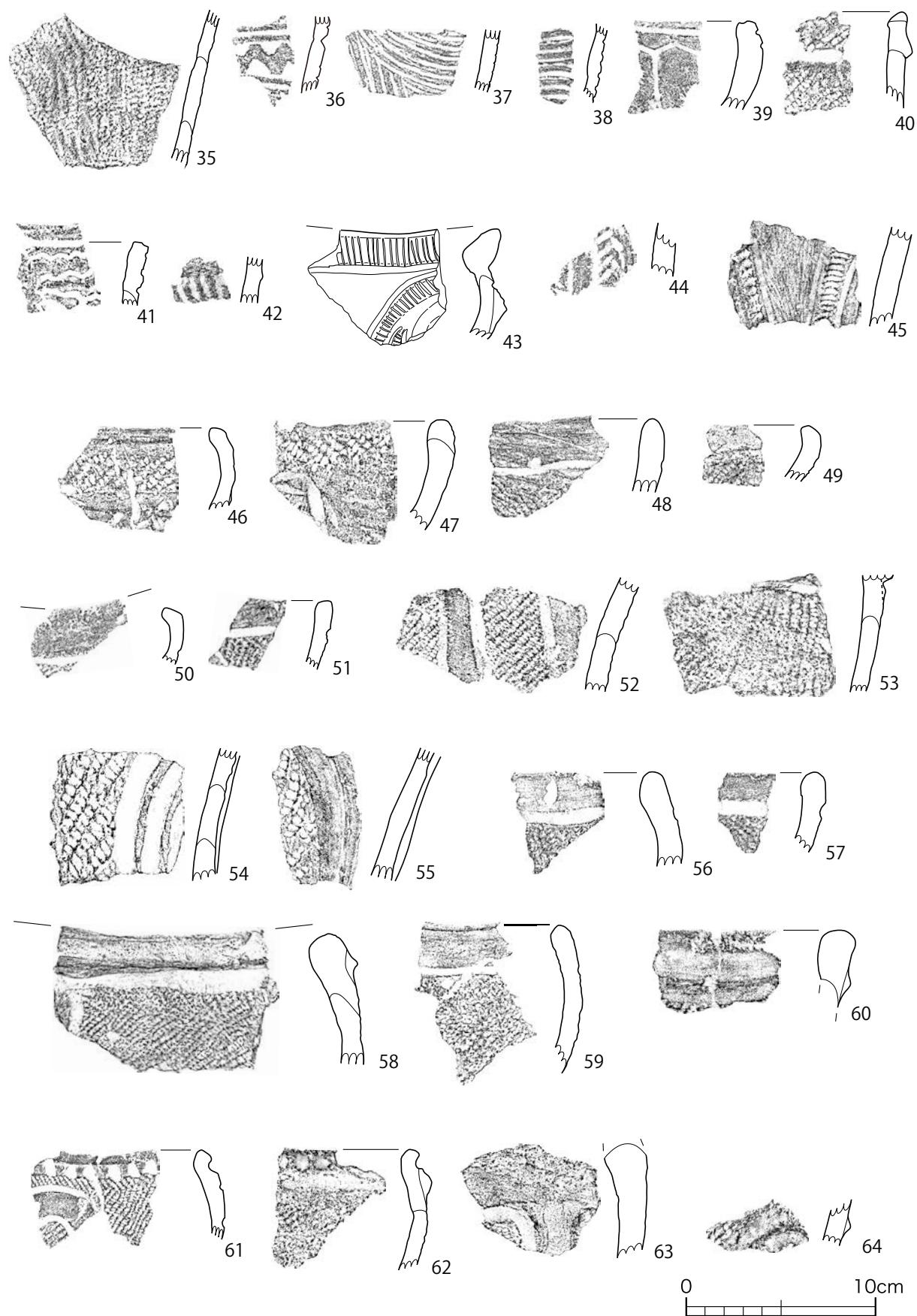
なお、未実測であるが、産地推定分析を実施した黒曜石の剥片の写真を第 77 図下部に掲載した。試料 10・試料 13・試料 14 の産地は神津島(恩馳島)、試料 15 の産地は諏訪(星ヶ台)との結果が得られた。

(守屋)

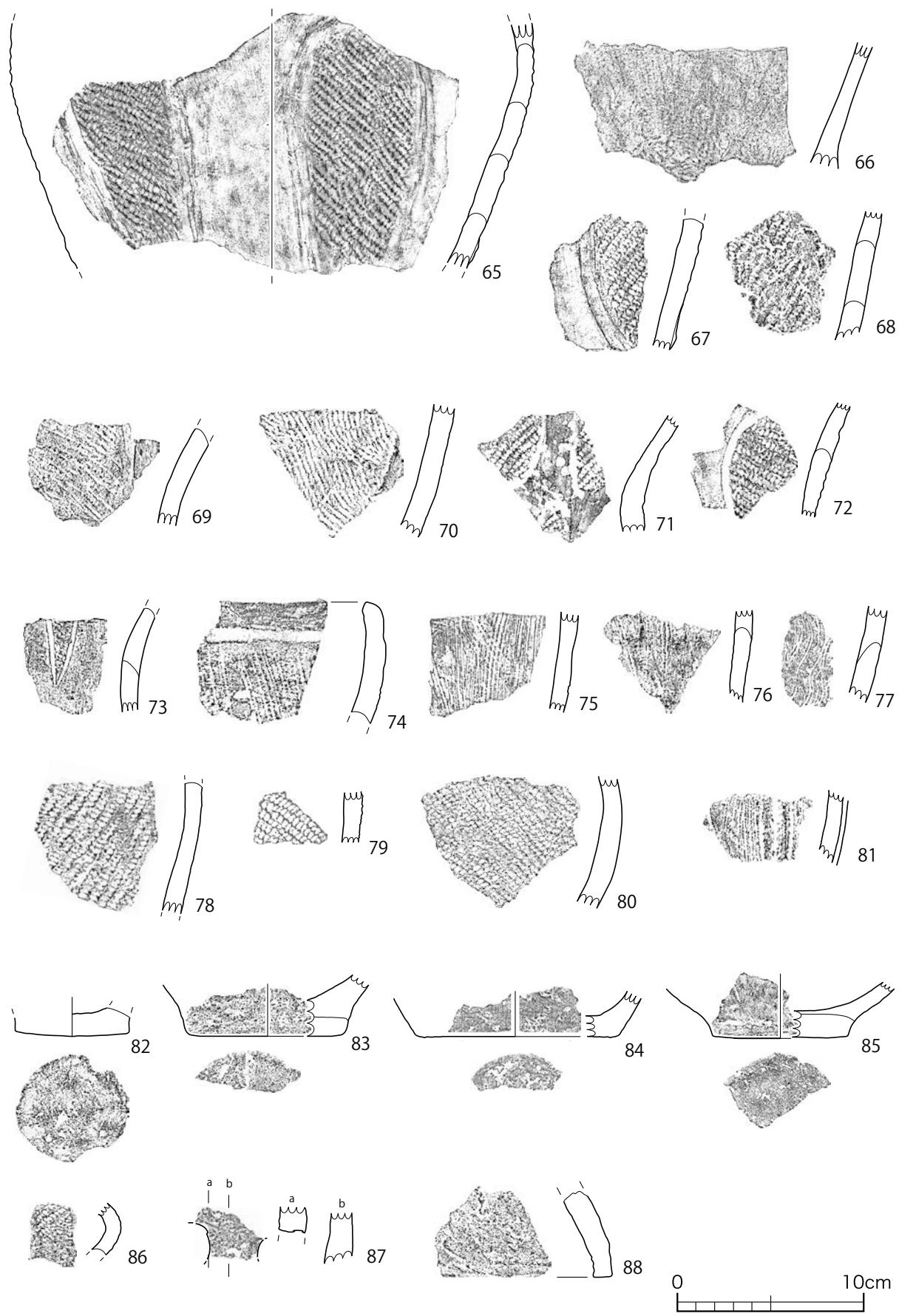




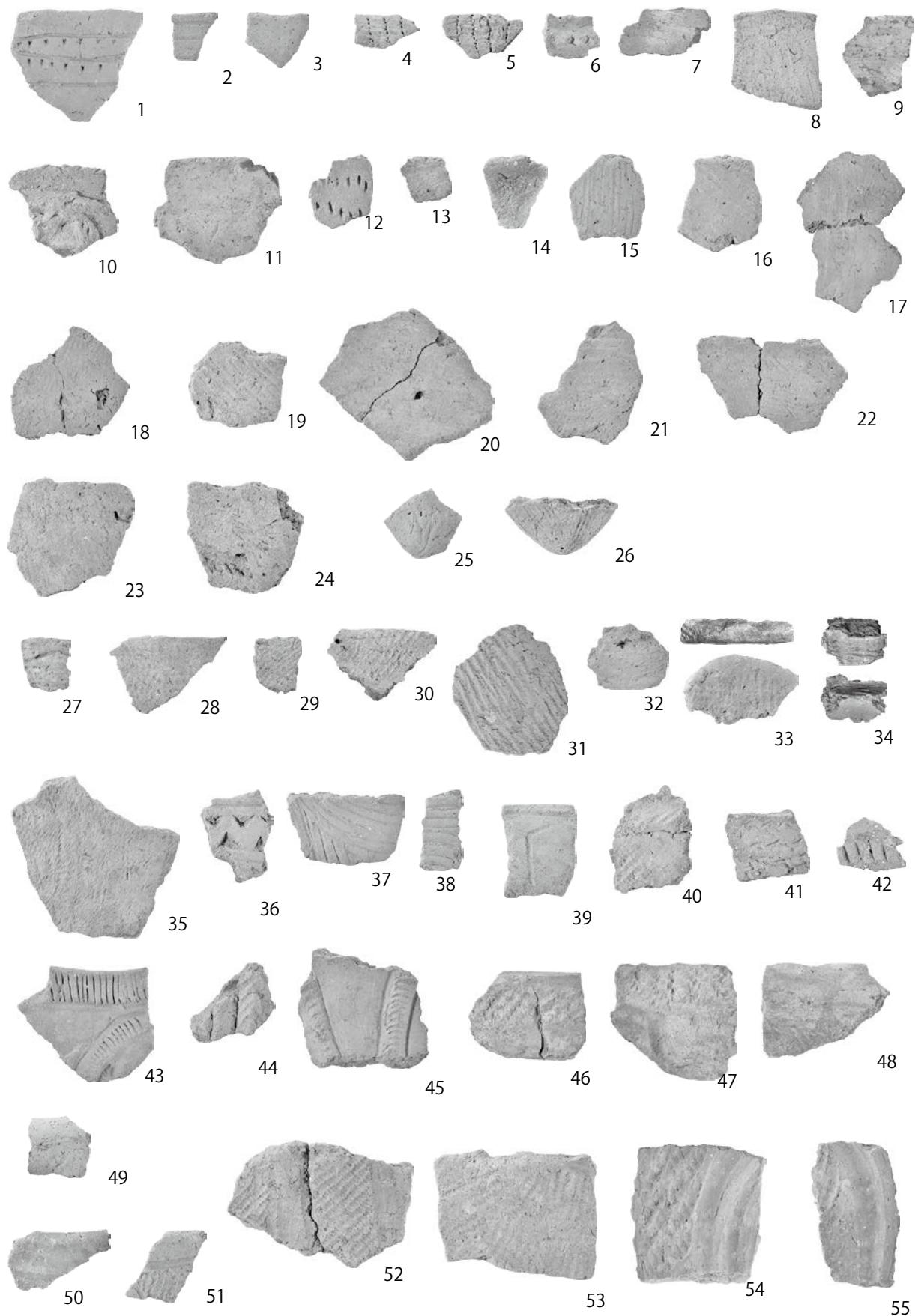
第71図 遺構外出土縄文土器(1) (1/3)



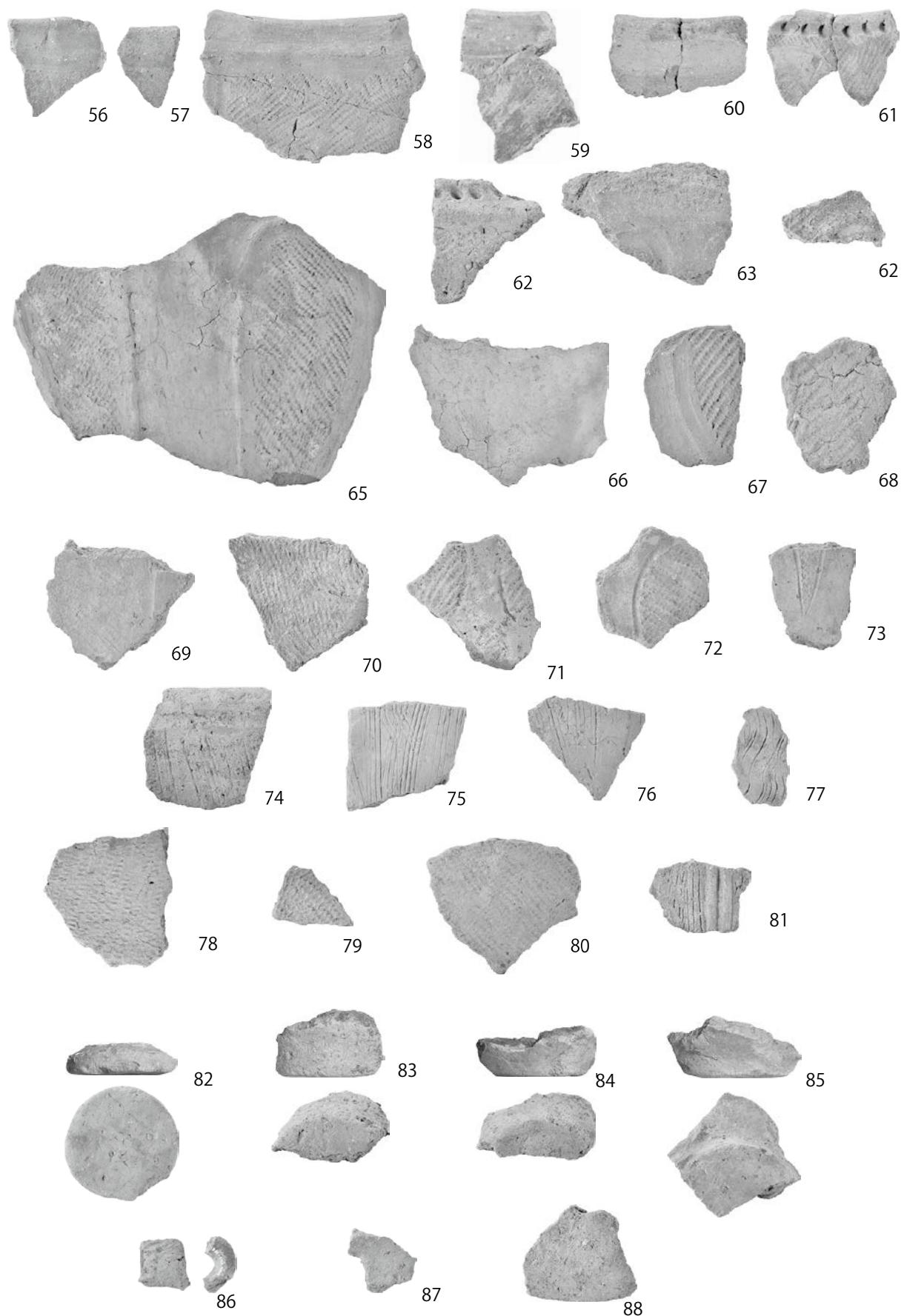
第72図 遺構外出土縄文土器(2) (1/3)



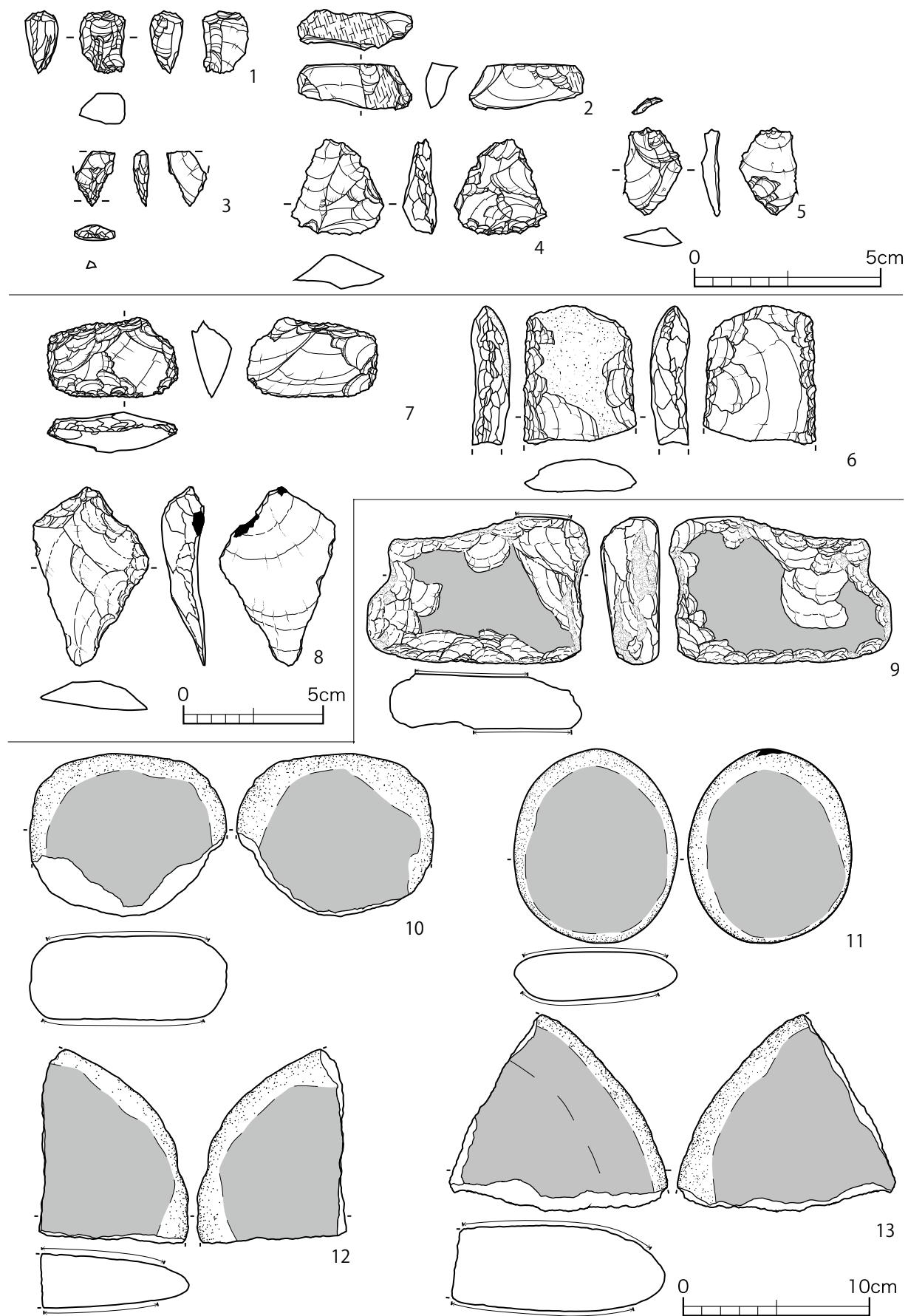
第73図 遺構外出土縄文土器(3) (1/3)



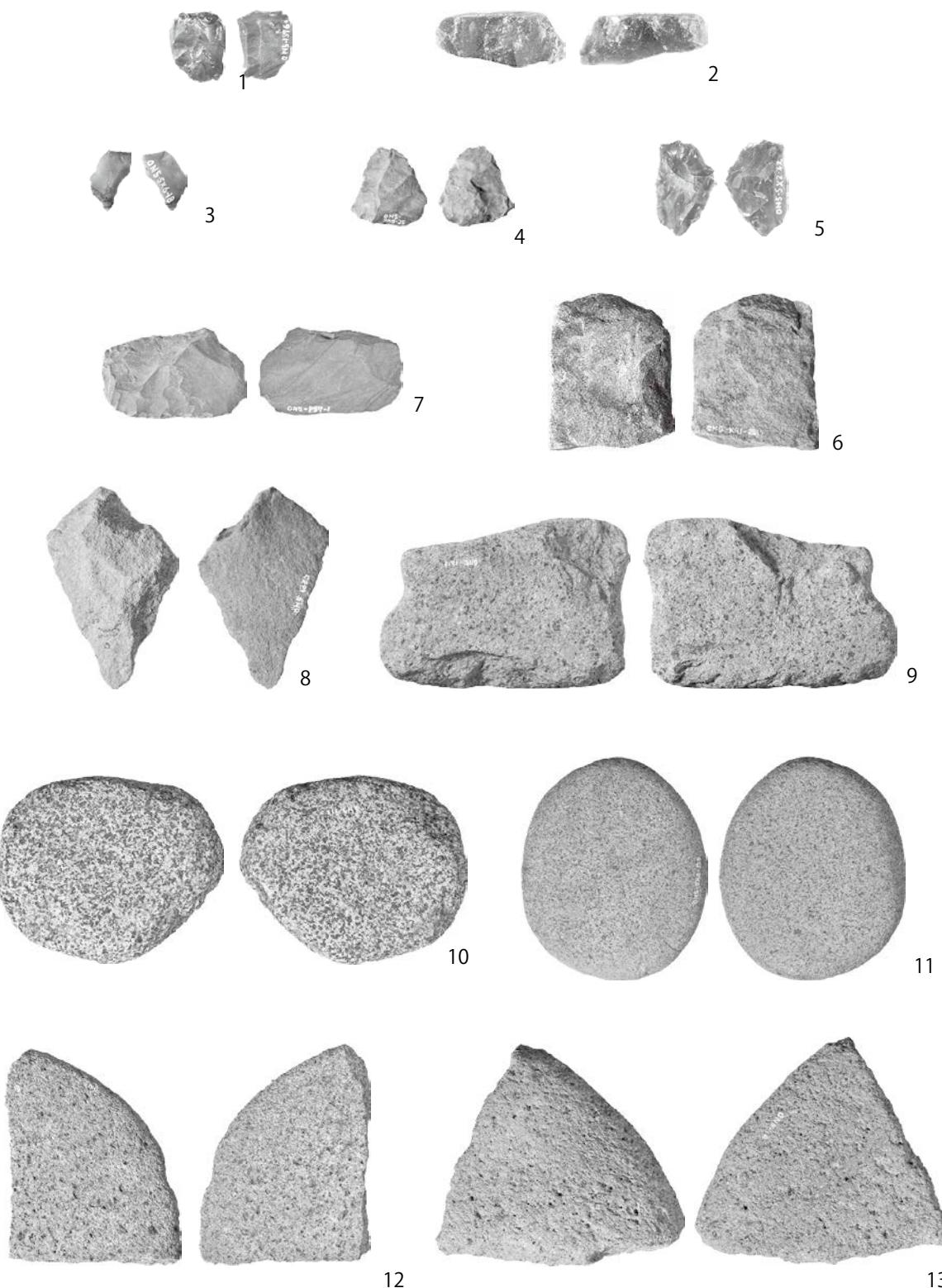
第74図 遺構出土縄文土器写真(1)



第75図 遺構外出土縄文土器写真(2)



第76図 遺構外出土縄文石器(2/3・1/2・1/3)



黒曜石产地推定試料写真



第77図 遺構外出土縄文石器写真

第31表 遺構外出土縄文土器観察表(1)

図番号	グリッド	出土地點	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考	
1	19-S	包含層	早期前半	三戸	深鉢	口縁部	口唇部は平坦で内傾する。口縁部外面に平行沈線と刺突、施文は粗い	長石、石英、角閃石	良好	5YR6/6	橙色	
2	43・44-H	13区 攪乱	早期前半	沈線文系 田所下層	深鉢	口縁部	口唇部は平坦、口縁部外面に3本以上の平行沈線	角閃石を多量に含む、長石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
3	36-L	包含層	早期前半	沈線文系	深鉢	口縁部	波状口縁、沈線文	長石、石英	普通	7.5YR6/6	橙色	
4	19-S	包含層	早期後半	打越式	深鉢	口縁部	貝殻腹縁による刺突文	纖維、長石	普通	7.5YR6/6	橙色	
5	20-R	包含層	早期後半	打越式	深鉢	口縁部	貝殻腹縁による刺突文	纖維、長石、石英	普通	2.5YR5/8	明赤褐色	
6	21-R	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口唇部と口縁部外面に竹管による円形刺突文(やや斜め方向から施文)	纖維、長石、角閃石	普通	10YR3/1	黒褐色	
7	24-P	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口唇部はやや平坦、条痕文	纖維、長石、石英	普通	10YR3/4	暗褐色	
8	33-M	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	波状口縁、幅広の条痕文	纖維、長石、石英、角閃石	普通	10YR7/4	にぶい黄褐色	
9	25-P	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	口唇部は平坦、条痕文	纖維、長石、石英	普通	10YR5/3	にぶい黄褐色	
10	25-P	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	口縁部	波状口縁か、鋸歯状隆帯、口唇部と隆帯上には刺突文	纖維、長石、石英	普通	10YR3/1	黒褐色	
11	28-O	包含層	早期後半	子母口	深鉢	口縁部	口唇部は平坦	纖維、長石、石英、角閃石	普通	7.5YR7/4	にぶい橙色	
12	21-R	SX2	早期後半	子母口	深鉢	口縁部	連続刺突文、内面条痕文	纖維、長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/3	褐色	
13	24-P	包含層	早期後半		深鉢	口縁部	口唇部は平坦で、貝殻腹縁圧痕	纖維、長石	普通	7.5YR6/4	にぶい橙色	
14	20-R	包含層	早期 / 前期		深鉢	口縁部	口縁部が内側にやや肥厚する	纖維、小礫、長石、角閃石	普通	10YR3/1	黒褐色	
15	20-R	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	纖維、角閃石	悪い	5YR6/6	橙色	
16	21-R	SX2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	纖維、長石、石英	普通	7.5YR6/6	橙色	
16	22-Q	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	纖維、赤色砂粒、長石	普通	7.5YR6/6	橙色	
71	17	20-R	SX1	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	纖維、長石、石英	普通	10YR5/2	灰黄褐色
74	19	19-S	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	外面に条痕文	纖維、小礫、長石、石英、角閃石	普通	7.5YR6/6	橙色
20	20-R	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	纖維、長石を多量に含む、石英、チャート、角閃石	普通	7.5YR4/2	灰褐色	
21	20-R	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	纖維、長石、石英、チャート、角閃石	普通	5YR6/6	橙色	
22	21-R	SX2	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	纖維、長石を多量に含む、石英、角閃石	普通	10YR4/3	にぶい黄褐色	
23	29-N	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	胴部	条痕文	纖維、長石、チャート、石英、角閃石	普通	5YR6/6	橙色	
24	34-L	包含層	早期 / 前期		深鉢	胴部		纖維、長石、小礫、石英	普通	10YR6/6	明黄褐色	
25	36-L	包含層	早期後半	条痕文系	深鉢	底部 (尖底)	条痕文、尖底土器	纖維、長石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色	
26	21-R	SX2	早期後半	条痕文系	深鉢	底部	条痕文、尖底土器	纖維、長石、石英、角閃石	普通	10YR6/4	にぶい黄褐色	
27	20-R	SX2	前期		深鉢	口縁部	小片	纖維、赤色砂粒、長石	普通	7.5YR6/6	橙色	
28	20-R	SX1	前期		深鉢	口縁部	口唇部はやや平坦、単節 RL	纖維、長石、石英	良好	10YR4/4	褐色	
29	20-R	包含層	前期		深鉢	口縁部	単節 RL、内面ミガキ	纖維、長石、石英	良好	10YR4/4	褐色	
30	28-P	包含層 (SX6)	前期		深鉢	口縁部	無節 L、内面ミガキ	纖維、長石、チャート、石英	良好	7.5YR6/6	橙色	
31	25-P	包含層	前期		深鉢	胴部	単節 RL	纖維、小礫、長石、石英、角閃石	普通	5YR5/6	明赤褐色	
32	19-S	包含層	前期		深鉢	胴部 から底部	無節 L	纖維、長石、石英、角閃石	普通	5YR4/3	にぶい赤褐色	
33	20-R	包含層	前期		深鉢	底部	底部外面に単節 LR・RL	纖維、長石、赤色砂粒、角閃石	普通	10YR5/1	褐灰色	
34	30-N	SI4	前期前半	花積下層	深鉢	底部	外面に無節 R	纖維、赤色砂粒、長石、石英	良好	5YR5/6	明赤褐色	
35	20-R	SX1	前期後半	諸磯	深鉢	胴部	単節 RL(縄文原体の押し付けが浅い)、内面に輪積み痕が残る	長石、石英、雲母、角閃石	良好	7.5YR6/6	橙色	
36	20-R	SX2	前期末	十三菩提	深鉢	胴部	鋸歯状印刻文(三角形連続文)、半裁竹管文	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色	
37	20-R	包含層	前期末	十三菩提	深鉢	胴部	半裁竹管文(平行線・曲線)	長石、石英、角閃石	良好	5YR6/4	にぶい橙色	
38	20-R	SX2	前期末	十三菩提	深鉢	胴部	半裁竹管文(平行線・曲線)	長石、石英、角閃石	良好	5YR5/4	にぶい赤褐色	
39	19-S	包含層	中期初頭	五領ヶ台	深鉢	口縁部	口唇部は平坦、特徴的な沈線	長石を多量に含む、角閃石	普通	7.5YR7/4	にぶい橙色	
40	22-R	SX2	中期前半	五領ヶ台	深鉢	口縁部	口唇部キザミ、口縁部突帯、単角節 RL	雲母を多量に含む、長石、角閃石	普通	5YR5/6	明赤褐色	
72	41	36-K	SK60	中期前半	阿玉台	深鉢	口縁部	口唇部は平坦で連続刺突文、微隆起、波状沈線	小礫、長石、石英、雲母、角閃石	良好	5YR5/6	明赤褐色
74	42	21-R	SX2	中期前半	阿玉台	深鉢	胴部	隆帯に沿って連続刺突(爪型文)	雲母を多量に含む、長石、石英	普通	7.5YR5/3	にぶい褐色
43	35-K	P113	中期前半	勝坂3	深鉢	口縁部	口縁部が「く」字状に屈曲。口縁部外面に縦列沈線	小礫、長石、石英、角閃石	良好	5YR4/4	にぶい赤褐色	
44	35-K	包含層	中期前半	勝坂3	深鉢	胴部	隆帯文、隆帯上に綾状文様	長石、小礫、石英	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	
45	36-K	包含層	中期前半	勝坂3	深鉢	胴部	キャタピラ文	長石、小礫、石英	良好	5YR4/6	明赤褐色	
46	27-P	K41	中期後半	加曾利 E3 (古)	深鉢	口縁部	口縁部文様帶、微隆起、磨消縄文、節の大きい単節 RL、内面ミガキ	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR4/3	褐色	
47	27-P	K41	中期後半	加曾利 E3	深鉢	口縁部	口縁部文様帶、沈線、節の大きい単節 RL、内面ミガキ、厚手である	長石、角閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい橙色	

第32表 遺構外出土縄文土器観察表(2)

図	番号	グリッド	出土地点	時期	型式	器種	部位	器形・文様の特徴	胎土	焼成	色調	備考
	48	21-R	SX2	中期後半	加曾利E3	深鉢	口縁部	口縁部外面沈線、単節RL	長石、石英、角閃石	良好	10YR6/4	にぶい黄橙色
	49	35-K	包含層	中期後半	加曾利E3	深鉢	口縁部	沈線、単節LR	小礫、長石、角閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい橙色
	50	27・28 -O・P	10区残土	中期後半 (※)	加曾利E3	深鉢	口縁部	口唇部は内面側に屈曲、沈線	長石、角閃石	良好	10YR3/4	暗褐色
	51	27-O	包含層	中期後半	加曾利E3	深鉢	口縁部	沈線、磨消縄文、単節LR (※)	シャモット、長石、角閃石	良好	7.5YR7/4	にぶい橙色
	52	29-O	包含層	中期後半	加曾利E3	深鉢	胴部	沈線、磨消縄文、単節LR	小礫を多量に含む、長石、チャート、角閃石	普通	10YR7/4	にぶい黄橙色
	53	22-R	SX2	中期後半	加曾利E3	深鉢	胴部	隆蒂文、隆蒂文下部は沈線状、反撲、内面ミガキ	赤色砂粒、長石、石英、角閃石	普通	7.5YR7/4	にぶい橙色
	54	25-Q	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	二重の隆起線文、磨消縄文、節の大きい単節LR	チャート、長石、赤色砂粒、石英	良好	7.5YR5/4	にぶい褐色
	55	26-Q	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	磨消縄文、節の大きい単節LR	小礫、長石、石英	良好	10YR5/3	にぶい黄褐色
72	56	29-O	包含層	中期後半	加曾利E3/E4	深鉢	口縁部	沈線、磨消縄文、単節RL、内面ミガキ	長石、角閃石、石英	良好	5YR4/3	にぶい赤褐色
74	57	25-P	包含層	中期後半	加曾利E3/E4	深鉢	口縁部	沈線、単節RL	長石を多量に含む、石英、角閃石	普通	7.5YR6/4	にぶい橙色
75	58	28-O	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	口縁部	微隆起、磨消縄文、単節LR・RL(羽状縄文)	長石を多量に含む、小礫、石英、角閃石	良好	5YR4/6	明赤褐色
	59	28-O	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	口縁部	沈線、磨消縄文、単節LR、内面ミガキ	小礫、長石、石英、角閃石	良好	5YR4/4	にぶい赤褐色
	60	26-P	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	口縁部	微隆起	シャモットを多量に含む、長石、チャート、石英、角閃石	やや脆い	10YR7/4	にぶい黄橙色
	61	21-R	SX1	中期後半	加曾利E4	深鉢	口縁部	口縁部刺突文、沈線、単節LR・RL、磨消縄文	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR7/6	橙色
	62	35-K	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	口縁部	口縁部円形刺突文、隆蒂文、単節LR・RL、内面ミガキ	長石、石英、角閃石	やや脆い	10YR6/6	明黄褐色
	63	27-O	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	微隆起、磨消縄文、単節RL	小礫、長石、チャート、石英、角閃石	良好	5YR3/6	暗赤褐色
	64	24-Q	SD7	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	微隆起、磨消縄文、単節LR	長石、石英	やや脆い	10YR3/3	暗褐色
	65	19-S (集中地点)	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	微隆起文、単節RL、擦消縄文、内外面ミガキ	長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄橙色	
	66	19-S (集中地点)	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	内外面ミガキ	長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄橙色	
	67	26-Q	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	微隆起線文、単節LR	小礫、長石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色
	68	35-L	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	微隆起、磨消縄文、単節LR	シャモットを多量に含む、小礫、長石	やや脆い	5YR6/6	橙色
	69	29-O	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	微隆起、撫糸文R、内面ミガキ	長石、石英、角閃石	良好	5YR5/4	にぶい赤褐色
	70	30-N	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	微隆起、磨消縄文、無節L、内面ミガキ	長石、石英	良好	7.5YR4/3	褐色
	71	28-O	包含層	中期後半	加曾利E3	深鉢	胴部	沈線による対向U字文、磨消縄文、単節LR	長石、石英、角閃石	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色
	72	33-M	包含層	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	沈線による対向U字区画文、磨消縄文、単節RL	長石を多量に含む、小礫、石英	やや脆い	10YR4/3	にぶい黄褐色
	73	19-S (集中地点)	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	単節RL、擦消縄文、V字区画文、内外面ミガキ	長石、赤色砂粒、石英、角閃石	良好	10YR7/3	にぶい黄橙色	
	74	22-R	SX2	中期後半	加曾利E	深鉢	口縁部	口縁部外面に横方向の幅広沈線、櫛齒状沈線	長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄橙色
	75	21-R	SX2	中期後半	加曾利E	深鉢	胴部	櫛齒状条線(細く鋭い工具による沈線)、内面ミガキ	長石、石英	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色
73	76	34-L	包含層	中期後半	加曾利E	深鉢	胴部	櫛齒状条線、内面ミガキ	長石、チャート、石英	良好	5YR5/6	明赤褐色
75	77	28-O	SD15	中期後半	加曾利E4	深鉢	胴部	鋭い工具による縦方向の波状沈線	長石、チャート、石英	良好	10YR6/6	明黄褐色
	78	27-O	包含層	中期後半	加曾利E3/E4	深鉢	胴部	単節LR、内面ミガキ	小礫、長石、シャモット	良好	7.5YR6/6	橙色
	79	28-O	包含層	中期後半	加曾利E3/E4	深鉢	胴部	単節RL、内面ミガキ	小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/4	にぶい橙色
	80	27-P	包含層	中期後半 か	加曾利E か	深鉢	胴部	単節RL	長石、石英、角閃石	普通	7.5YR6/6	橙色
	81	29-O	包含層	中期後半	曾利	深鉢	胴部	縦方向の平行隆起線文、櫛齒状条線	小礫、長石、角閃石	良好	7.5YR4/4	褐色
	82	35-K	包含層	中期か		深鉢	底部	接合面で外れた底部	チャート、長石、石英、角閃石	良好	5YR5/8	明赤褐色
	83	30-N	包含層	中期か		深鉢	底部	胴部下半がやや急に立ち上がる	小礫を多量に含む、長石、角閃石	普通	10YR7/4	にぶい黄橙色
	84	21-R	SX1	中期		深鉢	底部	底部外面ミガキ	長石、石英	良好	10YR7/4	にぶい黄橙色
	85	28-O	包含層	中期後半		深鉢	底部	胴部・底部外面ミガキ、内面ユビナデ	赤色砂粒、長石、シャモット、角閃石	良好	10YR4/4	褐色
	86	24-26 -P・Q	10区	中期後半	加曾利E4	深鉢	把手	把手の幅約2.5cmで断面形状は円弧状、単節LR	小礫、長石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色
	87	28-O	包含層	中期後半	加曾利E3/E4	器台	胴部	2か所の焼成前穿孔	小礫、赤色砂粒、長石、シャモット、石英	良好	7.5YR6/3	にぶい褐色
	88	29-O	包含層	中期		台付土器	台部(脚部)	脚部底は平坦、内湾する。焼成前穿孔あり。器面調整は粗いユビナデ	チャート、長石、石英	良好	7.5YR6/6	橙色

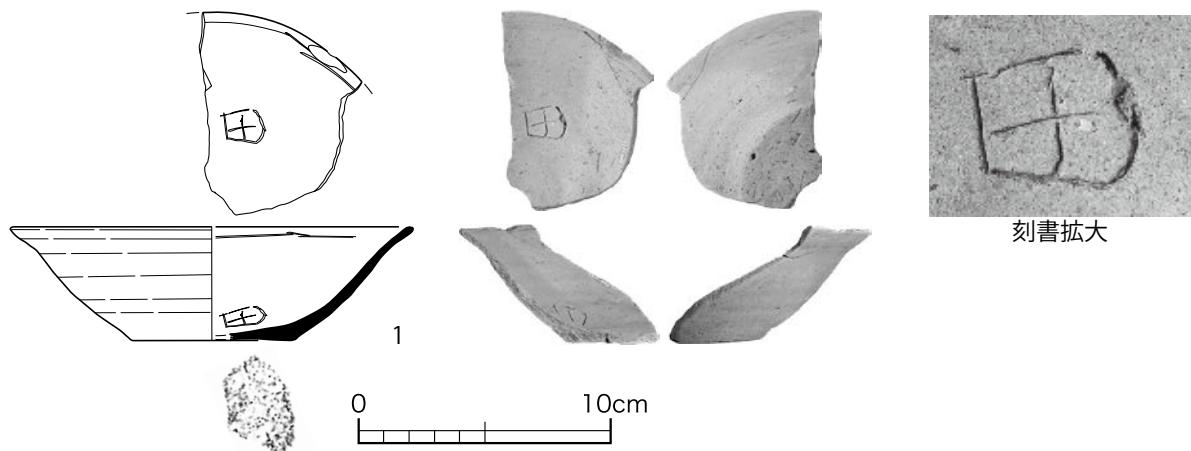
第33表 遺構外出土縄文石器観察表

図	番号	調査区	グリッド	出土地点	時期	器種	石材	産地(第V章参照)			長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	重量 (g)	備考
								エリア	判別群名	分析No.					
76 77	1	10区	28-O	包含層	縄文	楔形石器	黒曜石	天城	柏峠	9	16.5	12.0	9.0	2.0	
	2	11区	33-M	包含層	縄文	剝片か	黒曜石	諫訪	星ヶ台	11	13.6	30.7	11.0	3.8	
	3	10区	28-O	SX6	縄文	錐	チャート	—	—	—	14.7	(10.5)	4.2	0.5	
	4	10区	24-Q	SX5	縄文	石鏃未成品	玉髓	—	—	—	26.0	24.5	8.7	4.2	
	5	9区	21-R	SX2	縄文	剝片	黒曜石	神津島	恩馳島	12	23.5	15.0	5.0	1.1	
	6	10区	27-P	K41	縄文	打製石斧	砂岩	—	—	—	(50.0)	(40.0)	14.0	38.3	割れ
	7	10区	24-P	P57	縄文	スクレイパー	黒色頁岩	—	—	—	28.5	47.0	14.5	18.2	
	8	10区	27-P	包含層	縄文	スクレイパー	ホルンフェルス	—	—	—	64.7	41.5	15.0	25.4	
	9	9区/10区	—	—	縄文早期	抉入磨石	閃綠岩	—	—	—	79.0	119.5	32.0	437.0	
	10	9区	19-S	包含層	縄文	磨石	閃綠岩	—	—	—	88.0	106.0	46.0	722.0	
	11	9区	21-R	SX2	縄文	磨石	閃綠岩	—	—	—	104.0	88.0	26.0	397.0	
	12	10区	25-P	包含層	縄文	石皿	閃綠岩	—	—	—	(104.0)	(80.0)	(29.0)	345.5	
	13	9区	20-R	包含層	縄文	石皿	閃綠岩	—	—	—	(106.0)	(117.0)	46.0	616.0	

## 3 奈良・平安時代

## 1) 遺物(第78図)

奈良・平安時代の遺構は確認されなかったが、包含層から土師器が6点、須恵器が4点出土している。そのうち、11区33-Lグリッドの近世以降の耕作土層から、内面に「田」の刻書のある須恵器坏が出土した(第78図1)。底部回転糸切りで、焼成は軟質。時期は9世紀後半から10世紀前半。「田」はヘラ状の工具による刻書である。(守屋)



第78図 遺構外出土奈良・平安時代遺物(1/3)・写真

第34表 遺構外出土奈良・平安時代遺物観察表

図	番号	調査区	グリッド	層位	器種	法量	器形の特徴	製作技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存率	備考
78	1	11区	33-L	I	須恵器坏	16.0 4.6 6.4	体部はやや内湾気味に立ち上がり、口縁部は外反する	底部回転糸切り後底無調整。口クロ右回転	長石、小礫、石英	軟質	2.5Y7/2 灰黄	1/4以下	内面に「田」の刻書(ヘラ)あり

## 4 近世以降

近世以降では、土坑 8 基、ピット 130 基、溝状遺構 28 基、不明遺構（掘削痕）7 基が検出された。このうち溝状遺構と不明遺構は、一連の畝状遺構を構成するものである。ピットについても、ピット列を成すものは、耕作痕であると考えられ、上記の畝状遺構と共に一連の耕作痕として総合できるものである。耕作痕としての各遺構の構成については、第 36 表に記載した。遺構については一部を除き、個別の遺構図は示さず、第 79 図・第 80 図の遺構全体図に示した。

### 1) 遺構

#### A) 土坑 (SK) (第 79・80 図、第 35 表)

ピットとともに一覧を第 35 表に示した。1 号土坑、34 号土坑、52 号土坑、59 号土坑、60 号土坑、62 号土坑、69 号土坑、70 号土坑である。

#### B) ピット (P) (第 79～81 図、第 35 表)

土坑とともに一覧を第 35 表に示した。9 区西側ピット群と 13 区西側ピット群については、第 79 図に図を示した。9 区西側ピット列を構成する 1 号～51 号ピットは、根菜等の耕作痕であると考えられ、複数のピット列を成す。10 区と 11 区にはピットが散在するが、搅乱により全体像が把握できないため、性格は不明である。柱穴と考えられるピットは少ない。13 区西側ピット列を構成する 76 号～99 号・101 号・102 号ピットは耕作痕であると考えられ、複数のピット列を成す。

#### C) 溝状遺構 (溝: SD 及び不明遺構: SX)

溝 (SD) 及び不明遺構 (SX) は、第 36 表に示すように一連の遺構であり、9 区東側遺構群、10 区西側遺構群、10 区東側 (西) 遺構群、10 区東側 (東) 遺構群、11 区北側遺構群、13 区遺構群を成す。畑の区画毎の耕作内容の違いを反映していると考えられる。

##### 1 号溝から 7 号溝 (SD1 から SD7) (第 83 図、第 36 表)

一連の畝間溝であり、23・24-P・Q グリッドで検出された。5 号不明遺構と 10 区西側遺構群を成す。遺物は、3 号溝から縄文土器 3 点と石器 1 点、4 号溝から縄文土器 4 点と石器 1 点、須恵器 1 点、土師器 1 点、礫 1 点、7 号溝から縄文土器 1 点が出土した。

##### 8 号溝から 13 号溝 (SD8 から SD13) (第 82 図、第 36 表)

一連の畝間溝であり、21・22-Q・R グリッドで検出された。1 号・2 号不明遺構と 9 区東側遺構群を成す。遺物は、13 号溝から縄文土器 1 点が出土した。

##### 14 号溝から 16 号溝 (SD14 から SD16) (第 80 図、第 36 表)

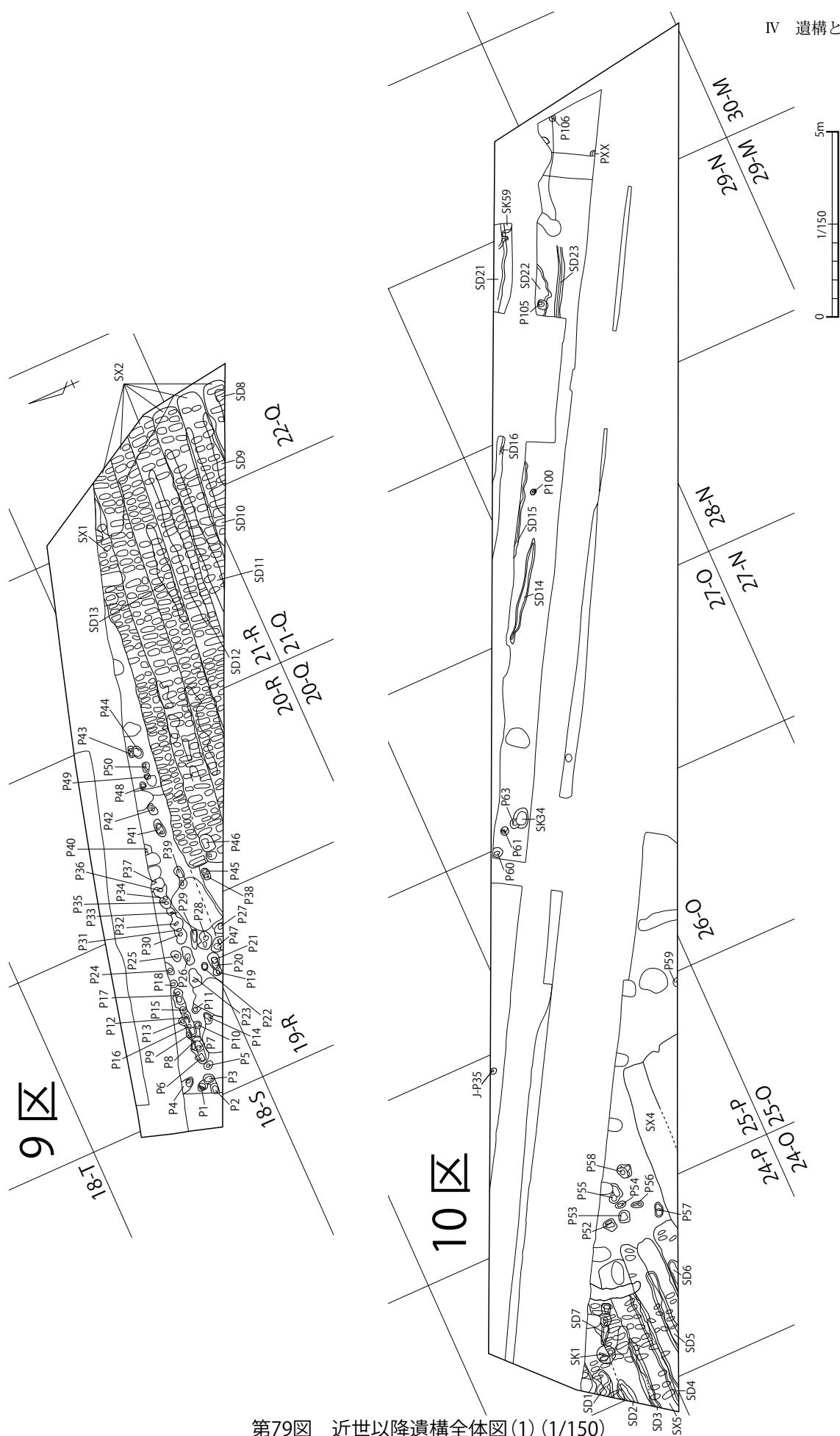
一連の畝間溝であり、10 区東側 (西) 遺構群を成す。28-O・P グリッドで検出された。遺物は、14 号溝から縄文土器 5 点と礫 1 点、15 号溝から縄文土器 1 点、16 号溝から礫 1 点が出土した。

##### 17 号溝から 20 号溝・28 号溝 (SD17 から SD20・SD28) (第 80 図・第 36 表)

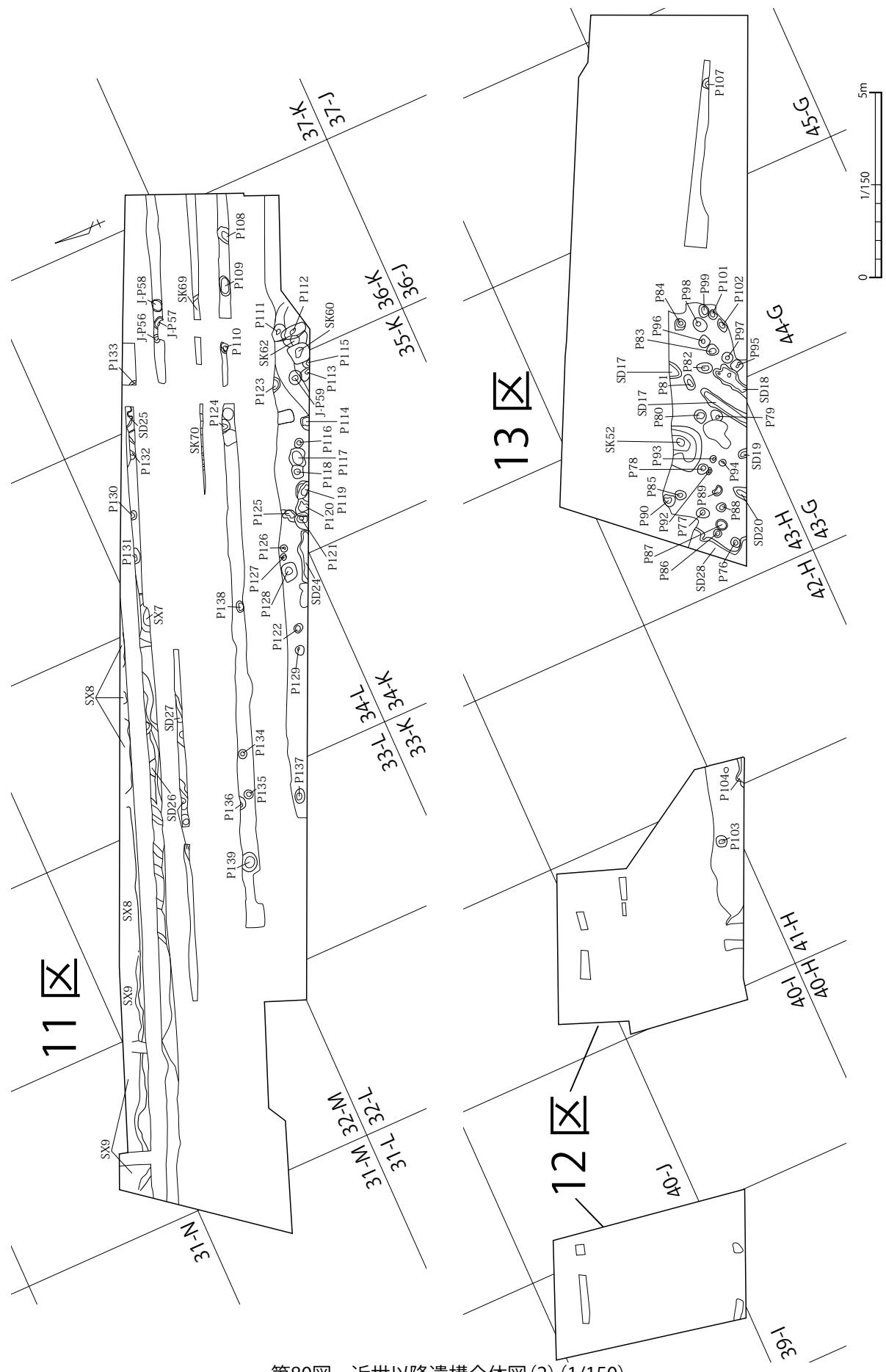
一連の畝間溝であり、を成す。43・44-G・H グリッドで検出された。遺物は出土しなかった。

##### 21 号溝から 23 号溝 (SD21 から SD23) (第 80 図、第 36 表)

一連の畝間溝であり、13 区西側ピット列と 13 区遺構群を成す。29-O グリッドで検出された。遺



第79図 近世以降遺構全体図(1) (1/150)



第80図 近世以降遺構全体図(2) (1/150)

物は、21号溝から縄文土器2点、22号溝から礫3点、23号溝から縄文土器1点と礫8点が出土した。

24号溝 (SD24) (第80図、第36表)

34・35-K・L グリッドで検出された。遺物は出土しなかった。

25号溝から27号溝 (SD25からSD27) (第80図、第36表)

一連の畝間溝であり、34～36-L・M グリッドで検出された。遺物は、25号溝から礫2点、26号溝から縄文土器1点が出土した。

1号不明遺構・2号不明遺構 (SX1・SX2) (第82図、第36表)

20～22-R グリッドで検出された。1号不明遺構は、2列1組の鋤状農具による掘削痕を有する溝状の掘削痕である。2号不明遺構も同様の溝状遺構が連なった遺構であり、1号不明遺構と2号不明遺構は一連の遺構である。1号・2号不明遺構を合わせて、7列の溝状掘削痕が確認された。掘削はⅡb層・Ⅲ層に及び、覆土にはロームブロックの他に黒色土が多く含まれる。この掘削範囲の上層に、8から13号溝が位置する。遺物は、縄文土器145点と石器6点、金属製品1点、礫159点が出土した。

4号不明遺構 (SX4) (第83図、第36表)

24・25-P グリッドで検出された。1号・2号不明遺構と同様の遺構で、2列1組の鋤状農具による溝状掘削痕が3列確認された。第84図7の土層断面比較写真の地点では、I層からⅢ層を4号不明遺構が掘り込む様相が明瞭に観察できる。覆土は黒色土に置き換えられている。遺物は、礫4点が出土した。

5号不明遺構 (SX5) (第83図、第36表)

23・24-P・Q グリッドで検出された。1号・2号不明遺構と同様の遺構で、2列1組の鋤状農具による溝状掘削痕が6列確認された。掘削はⅡb層・Ⅲ層に及び、覆土は黒色土に置き換えられている。上層に1から7号溝が位置する。遺物は、縄文土器36点と石器2点、土師器3点、ガラス製品1点、礫28点が出土した。

7号不明遺構 (SX7) (第80図、第36表)

34・35-L・M グリッドで検出された。搅乱により全体の形状は不明であるが、溝状または土坑状の掘り込みであると想定される。遺物は出土しなかった。

8号不明遺構 (SX8) (第80図、第36表)

32～34-M グリッドで検出された。11区北西壁にかかる箇所がわずかに確認されたのみであるため全体の形状は不明であるが、溝状の掘り込みであると想定される。遺物は、礫1点が出土した。

9号不明遺構 (SX9) (第80図、第36表)

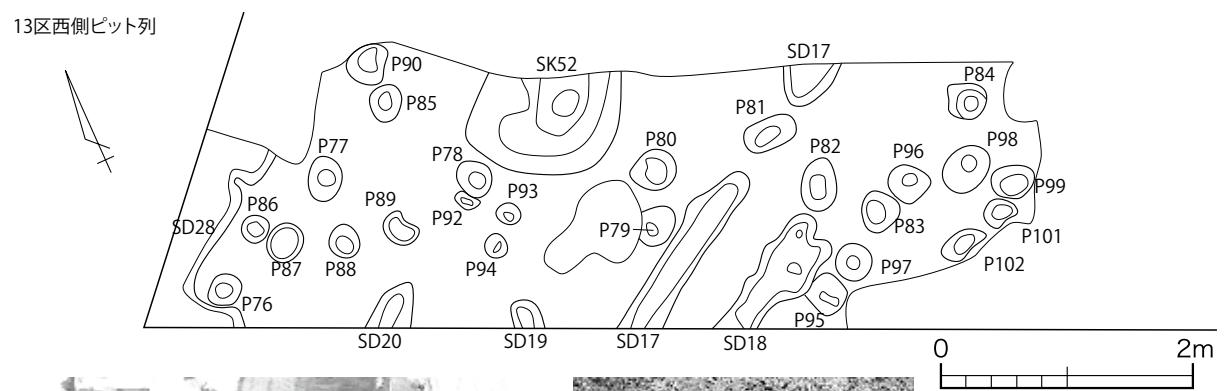
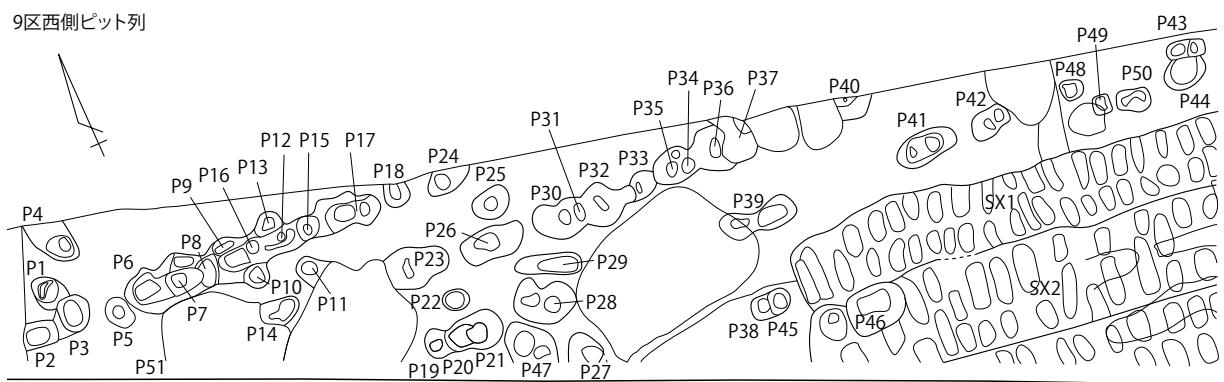
32-M・N グリッドで検出された。11区北西壁にかかる箇所がわずかに確認されたのみであるため全体の形状は不明であるが、溝状の掘り込みであると想定される。遺物は、縄文土器5点と礫11点が出土した。  
(守屋)

## 2) 遺構及び遺構外出土遺物

近世以降の遺物は少量であるが、陶磁器・土器が17点、ガラス製品が2点、金属製品が1点出土している。

A) 陶磁器・土器 (第85図1～9)

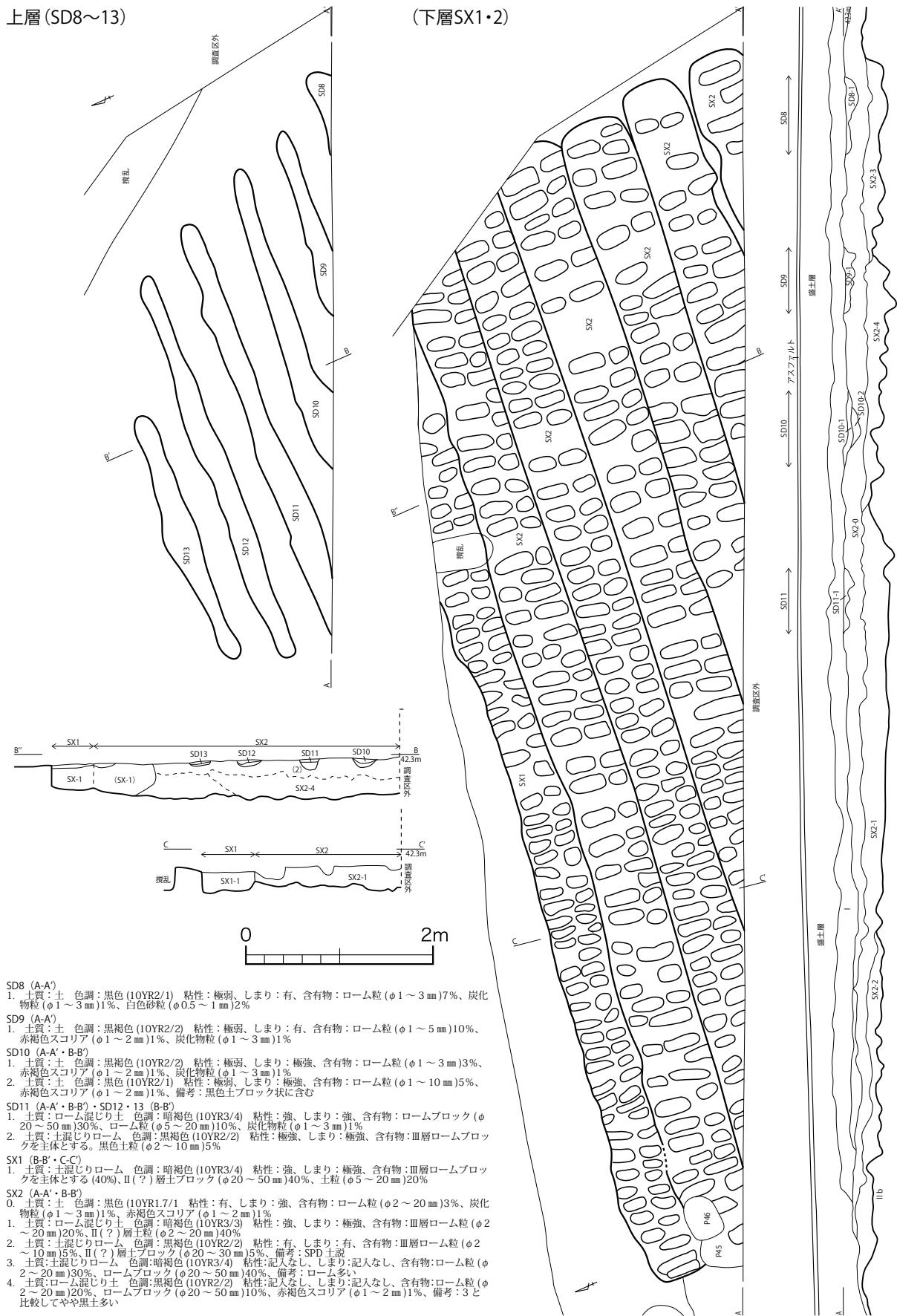
遺構外あるいは小ピット内から小片がわずかに出土しているが、元の器形が復元できる個体はな



第81図 近世以降の土坑・ピット・溝(1/60)・写真

第35表 近世以降の土坑・ピット一覧

遺構番号	調査区	グリッド	遺構の性格	遺構のサイズ(cm)・形状				掲載遺物 (縄文)	遺構番号	調査区	グリッド	遺構の性格	遺構のサイズ(cm)・形状				掲載遺物 (縄文)
				長軸	短軸	深さ	平面形状						長軸	短軸	深さ	平面形状	
1号土坑	10区	24-Q		51	48	11	円形		61号ピット	10区	27-P		23	21	14	隅丸方形	
34号土坑	10区	27-P		55	40	14	楕円形		63号ピット	10区	27-P		24	(16)	(12)	隅丸方形か	
52号土坑	13区	43-H		116	(76)	27	隅丸方形		76号ピット	13区	43-H	耕作痕	29	25	6	隅丸方形	
59号土坑	10区	29・30-O		(65)	(47)	14	不整形		77号ピット	13区	43-H	耕作痕	35	27	11	隅丸方形	
60号土坑	11区	35・36-K	植栽痕	54	52	22	隅丸方形		78号ピット	13区	43-H	耕作痕	31	26	21	方形	
62号土坑	11区	36-K	植栽痕	64	(26)	22	不明		79号ピット	13区	43-H	耕作痕	34	(27)	8	不整形	
69号土坑	11区	36-K・L		—	—	13	不明		80号ピット	13区	43-H	耕作痕	37	32	10	隅丸方形	
70号土坑	11区	35-L		152	—	22	不明		81号ピット	13区	44-H	耕作痕	43	24	9	楕円形	第72図41
J-35号ピット	10区	25-Q		(18)	16	13	円形		82号ピット	13区	44-H	耕作痕	42	28	11	楕円形	
J-56号ピット	11区	36-L		22	(11)	9	隅丸方形		83号ピット	13区	44-H	耕作痕	33	30	8	隅丸方形	
J-57号ピット	11区	36-L		34	(13)	17	方形		84号ピット	13区	44-H	耕作痕	33	30	16	隅丸方形	
J-58号ピット	11区	36-L		32	(27)	10	隅丸方形		85号ピット	13区	43-H	耕作痕	30	25	13	隅丸方形	
J-59号ピット	11区	35-K		38	33	9	円形		86号ピット	13区	43-H	耕作痕	22	22	10	円形	
1号ピット	9区	19-S	耕作痕	27	25	12	楕円形		87号ピット	13区	43-H	耕作痕	32	27	6	隅丸方形	
2号ピット	9区	19-S	耕作痕	(29)	20	21	隅丸方形		88号ピット	13区	43-H	耕作痕	27	24	6	円形	
3号ピット	9区	19-S	耕作痕	29	24	21	不整形		89号ピット	13区	43-H	耕作痕	29	20	6	隅丸方形	
4号ピット	9区	19-S	耕作痕	38	25	17	隅丸方形		90号ピット	13区	43-H	耕作痕	35	32	10	不整形	
5号ピット	9区	19-S	耕作痕	26	19	16	隅丸方形		92号ピット	13区	43-H	耕作痕	18	11	6	隅丸方形	
6号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	39	24	隅丸方形		93号ピット	13区	43-H	耕作痕	19	17	2	隅丸方形	
7号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	37	24	隅丸方形		94号ピット	13区	43-H	耕作痕	19	18	9	隅丸方形	
8号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	(26)	14	不整形		95号ピット	13区	44-G	耕作痕	30	28	11	隅丸方形	
9号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	(12)	22	長方形		96号ピット	13区	44-H	耕作痕	31	28	12	隅丸方形	
10号ピット	9区	19-S	耕作痕	20	(19)	8	隅丸方形		97号ピット	13区	44-G・H	耕作痕	30	29	7	隅丸方形	
11号ピット	9区	19-S	耕作痕	(20)	19	7	隅丸方形		98号ピット	13区	44-H	耕作痕	41	32	12	隅丸方形	
12号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	(21)	30	隅丸方形		99号ピット	13区	44-H	耕作痕	34	26	9	隅丸方形	
13号ピット	9区	19-S	耕作痕	22	(18)	16	隅丸方形		100号ピット	10区	28-O		17	13	—	隅丸方形	
14号ピット	9区	19-S	耕作痕	(33)	21	18	不整形		101号ピット	13区	44-G	耕作痕	27	22	9	隅丸方形	
15号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	(18)	11	隅丸方形		102号ピット	13区	44-G	耕作痕	38	20	9	隅丸方形	
16号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	(23)	22	隅丸方形		103号ピット	12区	41-I		33	31	32	隅丸方形	
17号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	32	17	不整形		104号ピット	12区	42-H		80	22	31	不明	
18号ピット	9区	19-S	耕作痕	21	(19)	8	不整形		105号ピット	10区	29-O		29	25	32	隅丸方形	
19号ピット	9区	19-R・S	耕作痕	—	25	10	隅丸方形		106号ピット	10区	30-N		18	(15)	31	隅丸方形	
20号ピット	9区	19-R・S	耕作痕	—	24	6	隅丸方形		107号ピット	13区	45-G		29	(16)	26	方形	
21号ピット	9区	19-R・S	耕作痕	—	30	(10)	不整形		108号ピット	11区	36-K		36	(34)	9	隅丸方形	
22号ピット	9区	19-S	耕作痕	22	17	11	円形		109号ピット	11区	36-K		54	27	7	楕円形	
23号ピット	9区	19-S	耕作痕	(50)	35	27	不整形		110号ピット	11区	36-K		(25)	(20)	17	隅丸方形	
24号ピット	9区	19-S	耕作痕	(28)	22	9	不整形		111号ピット	11区	36-K		46	(33)	23	不整形	
25号ピット	9区	19-S	耕作痕	31	24	13	隅丸方形		112号ピット	11区	36-K		73	35	39	楕円形	
26号ピット	9区	19-S	耕作痕	52	26	17	隅丸方形		113号ピット	11区	35-K		(35)	24	25	楕円形	第72図43
27号ピット	9区	19-R	耕作痕	29	(23)	34	不整形		114号ピット	11区	35-K		40	(23)	25	不整形	
28号ピット	9区	19-R・S	耕作痕	44	42	19	隅丸方形		115号ピット	11区	35-K		(20)	(19)	21	不明	
29号ピット	9区	19-S	耕作痕	70	18	9	不整形		116号ピット	11区	35-K		27	22	18	隅丸方形	
30号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	28	18	隅丸方形		117号ピット	11区	35-K		(47)	42	28	不整形	
31号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	25	9	隅丸方形		118号ピット	11区	35-K		(35)	31	21	隅丸方形	
32号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	36	25	長方形		119号ピット	11区	35-K		(49)	(35)	25	楕円形	
33号ピット	9区	19・20-S	耕作痕	—	20	16	長方形		120号ピット	11区	35-K		(48)	(35)	22	不整形	
34号ピット	9区	20-S	耕作痕	—	26	15	隅丸方形		121号ピット	11区	35-K		46	(37)	16	隅丸方形	
35号ピット	9区	20-S	耕作痕	—	25	37	隅丸方形		122号ピット	11区	34-L		26	20	5	隅丸方形	
36号ピット	9区	20-S	耕作痕	—	38	21	隅丸方形		123号ピット	11区	35-K		41	(19)	14	楕円形	
37号ピット	9区	20-S	耕作痕	—	38	17	不整形		124号ピット	11区	35-L		33	(21)	13	隅丸方形	
38号ピット	9区	20-R	耕作痕	33	20	14	隅丸方形		125号ピット	11区	35-K・L		(31)	27	9	不整形	
39号ピット	9区	20-R	耕作痕	62	22	7	隅丸方形		126号ピット	11区	35-L		20	20	8	円形	
40号ピット	9区	20-S	耕作痕	(25)	(18)	4	不整形		127号ピット	11区	35-L		18	17	14	隅丸方形	
41号ピット	9区	20-R	耕作痕	51	25	16	隅丸方形		128号ピット	11区	34-L		55	45	18	隅丸方形	
42号ピット	9区	20-R	耕作痕	34	21	16	隅丸方形		129号ピット	11区	34-L		26	24	16	隅丸方形	
43号ピット	9区	20-R	耕作痕	31	14	11	隅丸方形		130号ピット	11区	35-L		26	(16)	8	隅丸方形	
44号ピット	9区	20-R	耕作痕	34	(24)	11	隅丸方形		131号ピット	11区	35-L		42	(16)	17	隅丸方形	
45号ピット	9区	20-R	耕作痕	—	(45)	9	隅丸方形		132号ピット	11区	35-L		54	(15)	13	不明	
46号ピット	9区	20-R	耕作痕	48	35	20	隅丸方形		133号ピット	11区	36-L		—	—	12	不明	
47号ピット	9区	19-R	耕作痕	40	32	19	不整形		134号ピット	11区	34-L		25	23	8	円形	
48号ピット	9区	20-R	耕作痕	18	17	6	隅丸方形		135号ピット	11区	33-L		24	24	8	円形	
49号ピット	9区	20-R	耕作痕	16	14	6	方形		136号ピット	11区	33-L		34	(14)	10	隅丸方形	
50号ピット	9区	20-R	耕作痕	27	18	6	方形		137号ピット	11区	33-L		39	26	19	楕円形	
51号ピット	9区	19-S	耕作痕	—	—	—			138号ピット	11区	34-L		31	19	8	楕円形	
52号ピット	10区	24-P		37	34	13	方形		139号ピット	11区	33-L・M		52	(40)	9	隅丸方形	
53号ピット	10区	24-P		34	29	13	隅丸方形										
54号ピット	10区	24-P		29	17	7	隅丸方形										
55号ピット	10区	25-P		42	(31)	20	不整形										
56号ピット	10区	24-P		33	16	9	楕円形										
57号ピット	10区	24-P		40	22	6	隅丸方形	第76図7									
58号ピット	10区	25-P		40	38	14	隅丸方形										
59号ピット	10区	25-P		20	(11)	12	隅丸方形										
60号ピット	10区	26・27-P		28	26	6	隅丸方形										

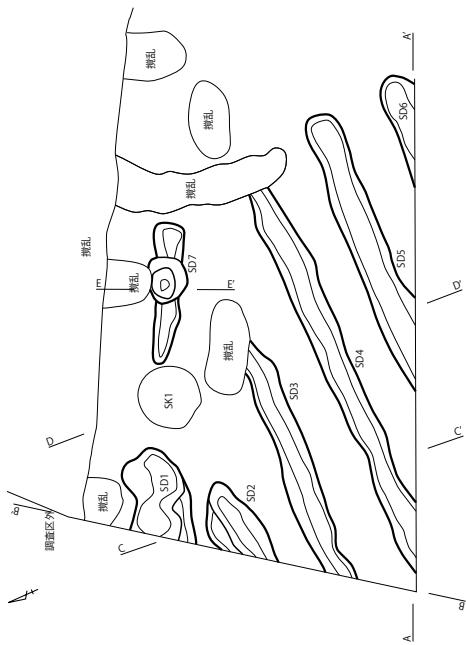


第82図 近世以降溝状遺構(1) (1/60)

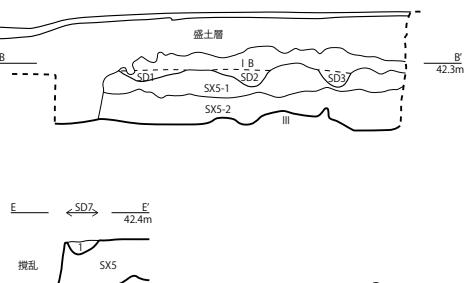
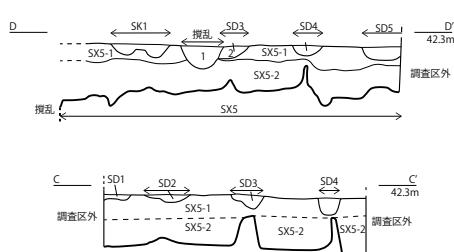
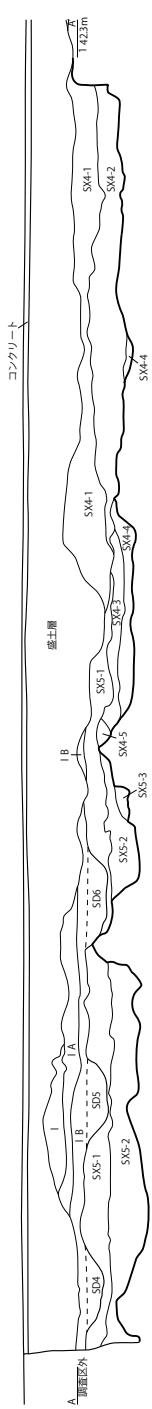
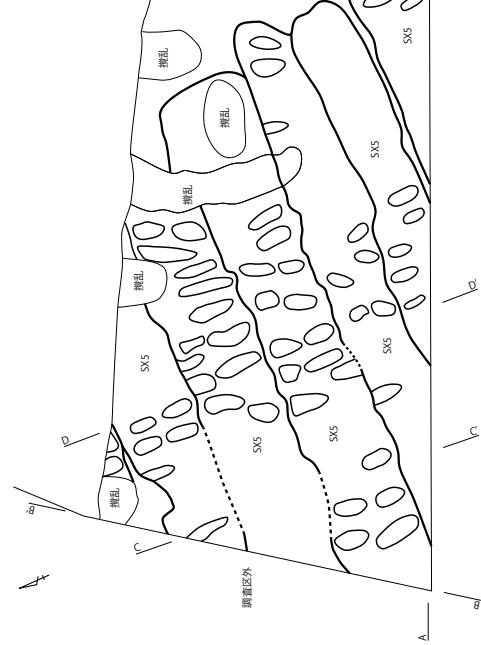
## 基本層序

I A. 土質: 土 色調: 黒色(10YR2/1) 粘性: 極弱、しまり: 極弱、含有物: ローム粒(φ2 ~ 20 mm)5%、炭化物粒(φ1 ~ 3 mm)1%、赤褐色スコリア(φ1 ~ 2 mm)1%  
 I B. 土質: 土 色調: 黒褐色(10YR2/2) 粘性: 極弱、しまり: 極弱、含有物: ローム粒(φ2 ~ 10 mm)10%、炭化物粒(φ1 ~ 5 mm)3%、赤褐色スコリア(φ1 ~ 2 mm)1%  
 SD1 (B-B'・C-C')  
 1. 土質: 土 色調: 黒褐色(7.5YR2/2) 粘性: 有、しまり: 強、含有物: ローム粒(φ1 ~ 5 mm)10%、赤褐色スコリア(φ1 ~ 2 mm)2%  
 SD2 (B-B'・C-C'・D-D')  
 1. 土質: 土 色調: 黒褐色(7.5YR3/1) 粘性: 有、しまり: 強、含有物: ローム粒(φ1 ~ 5 mm)5%、褐色灰色砂粒(φ0.5 ~ 2 mm)3%、赤褐色スコリア(φ1 ~ 2 mm)1%、炭化物粒(φ1 ~ 2 mm)1%  
 SD3 (B-B'・C-C'・D-D')  
 1. 土質: 土 色調: 黒褐色(7.5YR3/2) 粘性: 弱、しまり: 強、含有物: ローム粒(φ1 ~ 5 mm)10%、褐色灰色砂粒(φ0.5 ~ 2 mm)5%、赤褐色スコリア(φ1 ~ 2 mm)2%、炭化物粒(φ1 ~ 5 mm)1%  
 2. 土質: 土 色調: 黒褐色(7.5YR3/2) 粘性: 弱、しまり: 強、含有物: ローム粒(φ1 ~ 5 mm)10%、褐色灰色砂粒(φ0.5 ~ 2 mm)5%、赤褐色スコリア(φ1 ~ 2 mm)2%、炭化物粒(φ1 ~ 5 mm)1%  
 SD4 (A-A'・C-C'・D-D')  
 1. 土質: 土 色調: 黒褐色(7.5YR2/2) 粘性: 弱、しまり: 有、含有物: 褐灰色砂粒(φ0.5 ~ 2 mm)10%、ローム粒(φ2 ~ 5 mm)2%、炭化物粒(φ1 ~ 2 mm)1%、赤褐色スコリア(φ1 ~ 2 mm)1%  
 SD5 (A-A'・D-D')  
 1. 土質: 土 色調: 黒褐色(7.5YR3/2) 粘性: 弱、しまり: 強、含有物: 褐灰色砂粒(φ0.5 ~ 2 mm)5%、ローム粒(φ2 ~ 5 mm)2%、赤褐色スコリア(φ1 ~ 2 mm)1%  
 SD6 (A-A')  
 1. 土質: 土 色調: 黒褐色(10YR2/2) 粘性: 極弱、しまり: 極弱、含有物: ローム粒(φ2 ~ 10 mm)10%、炭化物粒(φ1 ~ 5 mm)3%、赤褐色スコリア(φ1 ~ 2 mm)1%、備考: I B と同一土層  
 SD7 (E-E')  
 1. 土質: ローム混じり土 色調: 黒褐色(10YR3/2) 粘性: 有、しまり: 極強、含有物: ローム粒(φ1 ~ 15 mm)20%、糠(φ5 ~ 10 mm)2%、赤褐色スコリア(φ1 ~ 2 mm)1%  
 SX4 (A-A')  
 1. 土質: ローム混じり土 色調: 暗褐色(10YR3/3) 粘性: 有、しまり: 極強、含有物: ロームブロック(φ20 ~ 40 mm)10%、ローム粒(φ2 ~ 20 mm)30%、炭化物粒(φ1 ~ 3 mm)  
 2. 土質: 土 色調: 黒色(10YR1.7/1) 粘性: 有、しまり: 極強、含有物: ローム粒(φ2 ~ 20 mm)3%、炭化物粒(φ1 ~ 5 mm)12%、赤褐色スコリア(φ1 ~ 2 mm)1%  
 3. 土質: ローム混じり土 色調: 暗褐色(10YR3/4) 粘性: 極強、しまり: 有、含有物: ロームブロック(φ20 ~ 50 mm)が主体(80%以上)、黒色土粒(φ2 ~ 10 mm)5%  
 4. 土質: ローム混じり土 色調: 黑褐色(10YR4/4) 粘性: 極強、しまり: 強、含有物: ロームブロック(φ20 ~ 100 mm)が主(80%以上)、黒色土粒(φ2 ~ 10 mm)3%  
 5. 土質: 土 色調: 黒褐色(10YR2/2) 粘性: 強、しまり: 強、含有物: ローム粒(φ2 ~ 5 mm)2%  
 SX5 (A-A'・B-B'・C-C'・D-D'・E-E')  
 1. 土質: 土 色調: 黒色(10YR1.7/1) 粘性: 弱、しまり: 強、含有物: ローム粒(2 ~ 20 mm)3%、赤褐色スコリア(φ1 ~ 2 mm)1%、備考: 煙の土  
 2. 土質: ローム混じり土 色調: 暗褐色(10YR3/4) 粘性: 極弱、しまり: 強、含有物: ロームブロック(φ20 ~ 50 mm)が主体(80%以上)、黒色土粒(φ2 ~ 20 mm)10%  
 3. 土質: ローム混じり土 色調: 暗褐色(10YR3/3) 粘性: 強、しまり: 強、含有物: II b 層土を主体とする、ローム粒(φ2 ~ 20 mm)20%、黒色土粒(φ2 ~ 10 mm)5%

上層(SD1~7)



下層(SX4・5)



第83図 近世以降溝状遺構(2)(1/60)



1. 8号～13号溝（畝状遺構上面）全景（北から）



2. 1号・2号不明遺構（畝状遺構下面）全景（東から）



3. 1号～7号溝（畝状遺構上面）全景（東から）



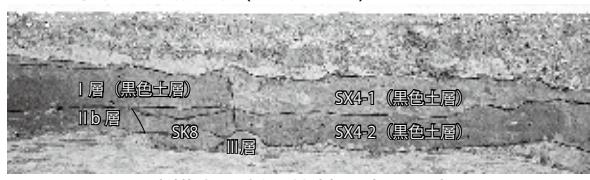
4. 5号不明遺構（畝状遺構中面）全景（東から）



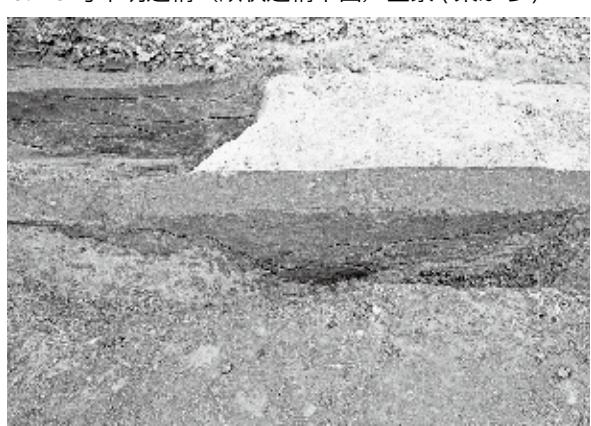
5. 5号不明遺構（畝状遺構下面）全景（東から）



6. 4号不明遺構全景（北東から）



7. 4号不明遺構土層断面比較写真（北東から）



7. 7号不明遺構土層断面（南西から）



8. 8号不明遺構の一部（南西から）

第84図 近世以降の溝状遺構写真

第36表 近世以降の耕作痕一覧

遺構群	遺構	調査区	グリッド	遺構の性格	遺構のサイズ (cm)			出土遺物							掲載遺物	
					長軸	短軸	深さ	縄文土器	土師器	須恵器	石器	礫	陶磁器	金属製品	ガラス製品	
9区西側遺構群	9区西側ピット列(1~51号ピット)	9区	19・20-R・S	耕作痕	—	—	—	12			36	3				
9区東側遺構群	8号溝	9区	22-Q	畝間溝	(32)	28	17									
	9号溝	9区	22-Q	畝間溝	(160)	24	13									
	10号溝	9区	21・22-Q・R	畝間溝	(311)	40	15									
	11号溝	9区	21・22-R	畝間溝	(433)	36	11									
	12号溝	9区	21・22-R	畝間溝	434	29	9									
	13号溝	9区	21・22-R	畝間溝	278	38	6	1								
	1号不明遺構	9区	20~22-R	客土痕跡			42				55					
	2号不明遺構	9区	20~22-Q・R	客土痕跡			103				6	104		1		第85図11
10区西側遺構群	1号溝	10区西	24-Q	畝間溝	(67)	51	10									
	2号溝	10区西	23・24-Q	畝間溝	(66)	40	13									
	3号溝	10区西	23・24-Q	畝間溝	(189)	27	13	3			1					
	4号溝	10区西	23・24-P・Q	畝間溝	(302)	29	14	4	1	1	1	1				
	5号溝	10区西	24-P	畝間溝	(211)	33	18									
	6号溝	10区西	24-P	畝間溝	(55)	29	18									
	7号溝	10区西	24-Q	畝間溝	112	21	12	1								第72図64
	4号不明遺構	10区	24・25-P	客土痕跡							4					
10区東側(西)遺構群	5号不明遺構	10区西	23・24-P・Q	客土痕跡			36	3		2	28			1		
	14号溝	10区中	28-O・P	畝間溝	290	20	6	5			1					
	15号溝	10区中	28-O	畝間溝	261	(13)	3	1								第73図77
10区東側(東)遺構群	16号溝	10区中	28-O	畝間溝	—	—	6				1					
	21号溝	10区東	29-O	畝間溝	(240)	(35)	18	2								
	22号溝	10区東	29-O	畝間溝	(135)	(44)	15				3					
11区北側遺構群	23号溝	10区東	29-O	畝間溝	(192)	16	8	1			8					
	7号不明遺構	11区	34・35-L・M	客土痕跡												
	8号不明遺構	11区	32~34-M	客土痕跡							1					
13区遺構群	9号不明遺構	11区	32-M・N	客土痕跡				5			11					
	13区西側ピット列(76~99、101・102号ピット)	13区	43・44-G・H	耕作痕	—	—	—									
	17号溝	13区	43-H	畝間溝	(149)	31	13									
	18号溝	13区	43・44-G・H	畝間溝	(104)	44	11									
	19号溝	13区	43-H	畝間溝	24	(23)	13									
	20号溝	13区	43-H	畝間溝	(40)	33	20									
	28号溝	13区	43-H	畝間溝	(159)	76	8									

かったことから個々の破片の写真のみの提示し、図化したものはない。

1は外面に灰釉が施釉された陶器片で、瀬戸美濃産徳利の小片の可能性が考えられる。2は磁器の小片であるが、瀬戸美濃産の製品と考えられる。3は内外面に灰釉が施された瀬戸美濃産の陶器小形壺の小片である。4は外面体部上半に漆黒釉、内面は漆黒釉に白泥による刷毛目が施された陶器の鉢で、産地は不明である。5は外面に灰釉が施された瀬戸美濃産の陶器片で、細片のため器種は不明である。6は無釉の外面に花弁状の陰刻文が施された焼締陶期片で萬古焼の急須小片と考えられる。7は呉須による円文が描かれた磁器碗片で、産地は不明である。8は内外面に褐釉が施された陶器甕の小片で、口縁部から胴部上半にかけての破片である。9はと同様の小片で、接合はしないが同一個体の可能性が考えられる。

(西山)

#### B) ガラス製品(第85図10)

ガラス製品が数点出土した。10区26-Pグリッドの攪乱から出土した第85図10は、ガラス製瓶である。色調は無色透明で、底部外面に「東京中野・食品工業株式会社」(右から左)と「1」のエンボスがある。「食品工業株式会社」は現在のキューピー株式会社であり、マヨネーズ瓶であることがわかる。瓶には小型の100g瓶と大型の128g瓶が存在するが(桜井2019)、本品は100g瓶である。ブリキ製の蓋が残存しており、瓶の形状からスクリュー式キャップであると判断できる。キューピー マヨネーズは1925(大正14)年に販売が開始されているため、遺物の時期は大正末から昭和初期頃と考えられる。

第37表 遺構・遺構外出土近世以降陶磁器観察表

番号	調査区	グリッド	遺構	材質	器種	部位	製作技法の特徴	色調	時期	推定产地	備考
1	9区	19-S	8号ビット	陶器	徳利	—	灰釉	5Y5/4 オリーブ	近世	瀬戸・美濃	
2	9区	19-S	15号ビット	磁器	—	—	染付	N8/0 灰白	近世	瀬戸・美濃	
3	9区	19-S	10号ビット	陶器	壺	—	灰釉	5Y8/2 灰白	近世	瀬戸・美濃	小形
4	9区	19-S	包含層	陶器	鉢	—	外面: 漆黒釉、内面: 白泥刷毛目	2.5YR5/3 にぶい赤褐	近世	—	
5	10区	28-O	100号ビット	陶器	—	—	灰釉	5Y7/2 灰白	近世	瀬戸・美濃	
6	10区	27-P	41号搅乱	炻器	急須	—	花弁陰刻	5R5/1 赤灰	近世	萬古	
7	13区	43-H	47号搅乱	磁器	碗	口縁部	染付	N8/0 灰白	近代	—	
8	10区	26-P	59号搅乱	陶器	甕	口縁部	褐釉	2.5YR3/4 暗赤褐	近代	—	9と同一個体か
9	10区	24-Q	グリッド一括	陶器	甕	—	褐釉	5YR3/4 暗赤褐	近代	—	8と同一個体か

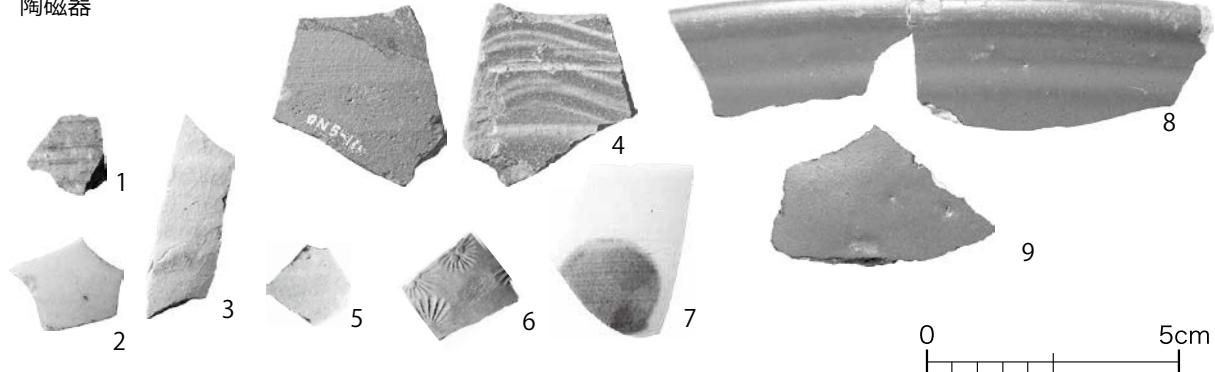
第38表 遺構・遺構外出土近世以降ガラス製品観察表

番号	調査区	グリッド	遺構	器種	色調	口径	器高	底径	栓	時期	備考
10	10区	26-P	59号搅乱	瓶	無色透明	4.16	8.6	4.0	スクリュー栓	近代	底部外面に「東京中野・食品工業株式会社」(右から左)と「1」のエンボス。100gのマヨネーズ瓶。

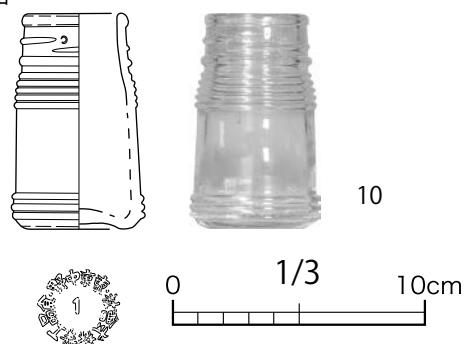
第39表 遺構・遺構外出土近世以降金属製品観察表

番号	調査区	グリッド	遺構	器種	部位	形態	材質	全長	高さ	火皿径	口付径	小口径	継目	時期	備考
11	9区	22-R	2号不明遺構	煙管	雁首	II 脳	(4.2)	(1.8)					左	近世	火皿との接合部に補強帯を有する

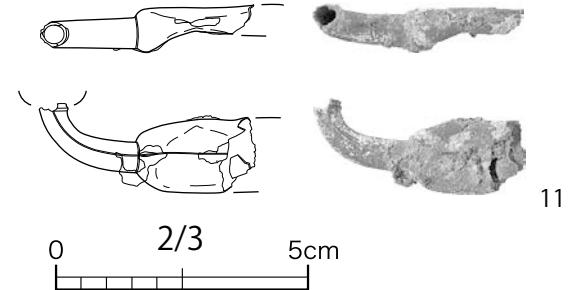
陶磁器



ガラス製品



金属製品



第85図 遺構・遺構外出土近世以降遺物(1/3・2/3)・写真

### C) 金属製品(第85図11)

2号不明遺構から、青銅製の煙管雁首が1点出土した。第85図11は、脂返しが大きく湾曲し、肩付である。火皿は残存しないが、火皿との接合部に補強帯を有する。これらの特徴から、年代は古泉編年第2段階(17世紀前半)であると考えられる(古泉1987)。(守屋)

## V 自然科学分析

### 1 放射性炭素年代測定

パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ

伊藤 茂・加藤和浩・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・Zaur Lomtadze・黒沼保子

#### 1. はじめに

大泉中里遺跡から出土した試料について、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。

#### 2. 試料と方法

試料はいずれも炭化物で、旧石器時代と推定されている包含層 451 の試料 No.1 (PLD-55388) と包含層 552 の試料 No.2 (PLD-55389)、縄文時代と推定されている SK2-1 の試料 No.3 (PLD-55390) と SK6-1 の試料 No.4 (PLD-55391) の、合計 4 点である。

測定試料の情報、調製データは第 40 表のとおりである。試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS : NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた  $^{14}\text{C}$  濃度について同位体分別効果の補正を行った後、 $^{14}\text{C}$  年代、曆年代を算出した。

第 40 表 測定試料及び処理

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-55388	遺構：包含層 451 試料 No.1	種類：炭化物 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.1 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-55389	遺構：包含層 552 試料 No.2	種類：炭化物 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.1 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-55390	遺構：SK2-1 試料 No.3	種類：炭化物 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：0.1 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）
PLD-55391	遺構：SK6-1 試料 No.4	種類：炭化物 状態：dry	超音波洗浄 有機溶剤処理：アセトン 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2 mol/L, 水酸化ナトリウム：1.0 mol/L, 塩酸：1.2 mol/L）

#### 3. 結果

第 41 表に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比 ( $\delta^{13}\text{C}$ )、同位体分別効果の補正を行つて曆年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従つて年代値と誤差を丸めて表示した  $^{14}\text{C}$  年代、第 86 図に曆年較正結果をそれぞれ示す。曆年較正に用いた年代値は下 1 桁を丸めていない値であり、今後曆年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて曆年較正を行うために記載した。

$^{14}\text{C}$  年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 $^{14}\text{C}$  年代 (yrBP) の算出には、 $^{14}\text{C}$  の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した  $^{14}\text{C}$  年代誤差 ( $\pm 1\sigma$ ) は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の  $^{14}\text{C}$  年代がその  $^{14}\text{C}$  年代誤差内に入る確

率が 68.27% であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。

暦年較正とは、大気中の  $^{14}\text{C}$  濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された  $^{14}\text{C}$  年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の  $^{14}\text{C}$  濃度の変動、および半減期の違い（ $^{14}\text{C}$  の半減期  $5730 \pm 40$  年）を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

$^{14}\text{C}$  年代の暦年較正には OxCal4.4(較正曲線データ:IntCal20)を使用した。なお、 $1\sigma$ 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された  $^{14}\text{C}$  年代誤差に相当する 68.27% 信頼限界の暦年代範囲であり、同様に  $2\sigma$ 暦年代範囲は 95.45% 信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は  $^{14}\text{C}$  年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

第 41 表 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$ )	$^{14}\text{C}$ 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$ )	14C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				$1\sigma$ 暦年代範囲	$2\sigma$ 暦年代範囲
PLD-55388 試料 No.1	—	—	—	—	—
PLD-55389 試料 No.2	$-19.31 \pm 0.37$	$8006 \pm 56$	$8010 \pm 60$	7049-6977 cal BC (23.05%) 6976-6906 cal BC (23.99%) 6887-6827 cal BC (21.22%) 8998-8926 cal BP (23.05%) 8925-8855 cal BP (23.99%) 8836-8776 cal BP (21.22%)	7065-6741 cal BC (90.87%) 6729-6697 cal BC (4.58%) 9014-8690 cal BP (90.87%) 8678-8646 cal BP (4.58%)
PLD-55390 試料 No.3	$-17.01 \pm 0.40$	$6920 \pm 35$	$6920 \pm 35$	5833-5810 cal BC (16.54%) 5809-5744 cal BC (51.73%) 7782-7759 cal BP (16.54%) 7758-7693 cal BP (51.73%)	5887-5856 cal BC (9.65%) 5851-5725 cal BC (85.80%) 7836-7805 cal BP (9.65%) 7800-7674 cal BP (85.80%)
PLD-55391 試料 No.4	$-29.61 \pm 0.11$	$6524 \pm 29$	$6525 \pm 30$	5528-5493 cal BC (39.20%) 5484-5473 cal BC (20.65%) 5428-5416 cal BC (8.41%) 7477-7442 cal BP (39.20%) 7433-7422 cal BP (20.65%) 7377-7365 cal BP (8.41%)	5605-5600 cal BC (0.66%) 5558-5470 cal BC (72.65%) 5437-5382 cal BC (22.13%) 7554-7549 cal BP (0.66%) 7507-7419 cal BP (72.65%) 7386-7331 cal BP (22.13%)

#### 4. 考察

以下、各試料の暦年較正結果のうち、 $2\sigma$ 暦年代範囲（確率 95.45%）に着目して結果を整理する。なお、縄文時代の土器編年と暦年代の対応関係については小林（2017）を参照した。

包含層 451 の試料 No.1 (PLD-55388) は状態が悪く、炭化物が残存していなかったため、測定不可となった。

包含層 552 の試料 No.2 (PLD-55389) は、9014-8690 cal BP (90.87%) および 8678-8646 cal BP (4.58%) の暦年代を示した。これは縄文時代早期中葉に相当する。調査所見による推定時期の旧石器時代よりも新しい年代であった。

SK2-1 の試料 No.3 (PLD-55390) は、7836-7805 cal BP (9.65%) および 7800-7674 cal BP (85.80%) の暦年代を示した。SK6-1 の試料 No.4 (PLD-55391) は、7554-7549 cal BP (0.66%)、7507-7419 cal BP (72.65%)、7386-7331 cal BP (22.13%) の暦年代を示した。どちらも縄文時代早期中葉に相当する。

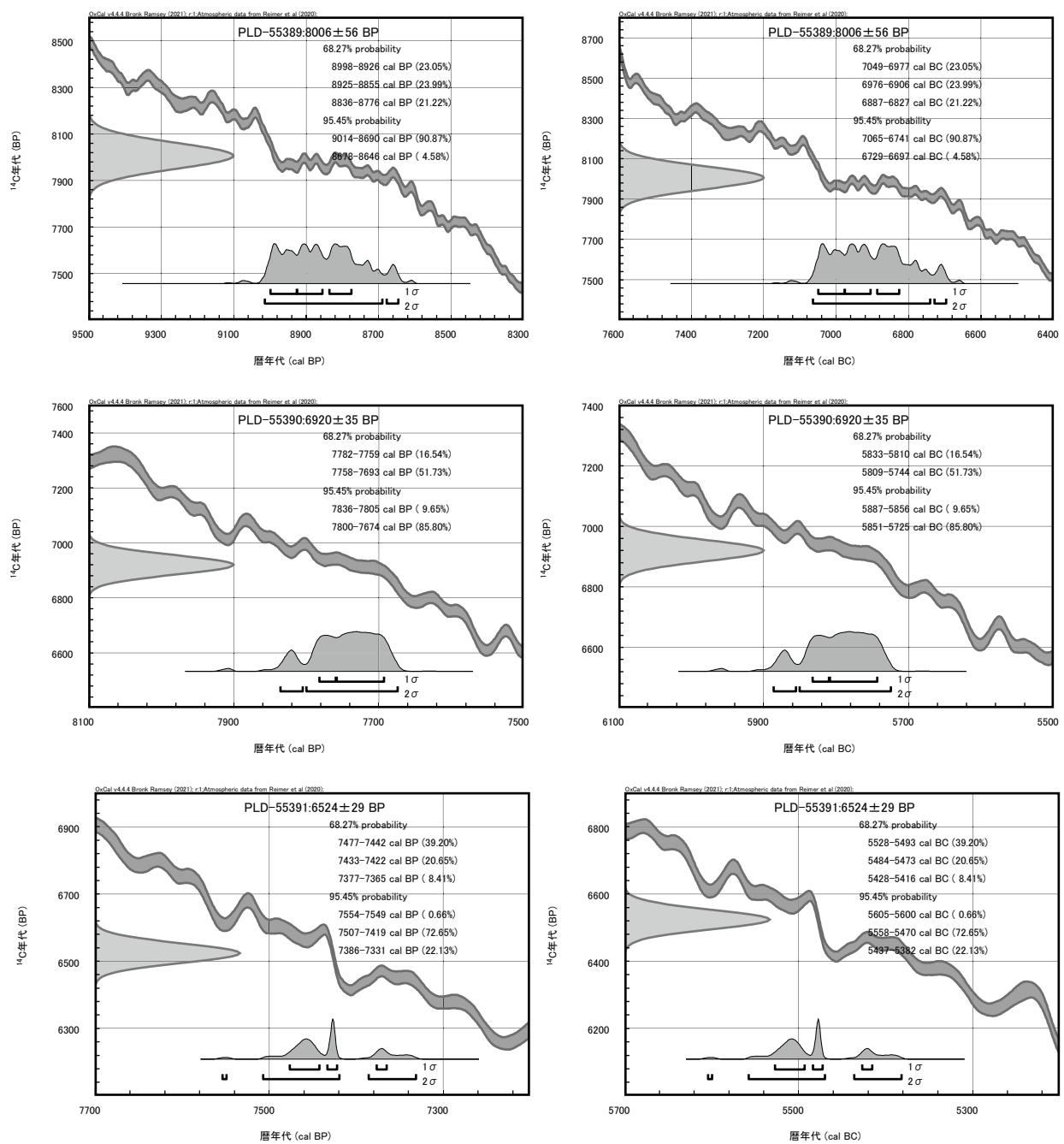
## 引用・参考文献

Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. *Radiocarbon*, 51(1), 337-360.

小林謙一 (2017) 繩文時代の実年代—土器型式編年と炭素 14 年代—. 263p, 同成社.

中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎. 日本先史時代の 14C 年代編集委員会編「日本先史時代の 14C 年代」: 3-20, 日本第四紀学会.

Reimer, P.J., Austin, W.E.N., Bard, E., Bayliss, A., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Butzin, M., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kromer, B., Manning, S.W., Muscheler, R., Palmer, J.G., Pearson, C., van der Plicht, J., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Sounthor, J.R., Turney, C.S.M., Wacker, L., Adolphi, F., Büntgen, U., Capano, M., Fahrni, S.M., Fogtmann-Schulz, A., Friedrich, R., Köhler, P., Kudsk, S., Miyake, F., Olsen, J., Reinig, F., Sakamoto, M., Sookdeo, A. and Talamo, S. (2020) The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP). *Radiocarbon*, 62(4), 725-757, doi:10.1017/RDC.2020.41. <https://doi.org/10.1017/RDC.2020.41> (cited 12 August 2020)



第86図 略年較正結果

## 2 大泉中里遺跡出土の黒曜石製石器の産地推定

竹原弘展 (パレオ・ラボ)

### 1. はじめに

練馬区大泉町二丁目に所在する大泉中里遺跡は、白子川中流域の右岸崖線上に立地する。第五次調査で出土した旧石器時代および縄文時代の黒曜石製石器について、エネルギー分散型蛍光X線分析装置による元素分析を行い、産地を推定した。

### 2. 試料と方法

分析対象は、包含層、遺物集中、住居跡等より出土した15点の黒曜石製石器である(第42表)。時期は、旧石器時代および縄文時代とみられている。

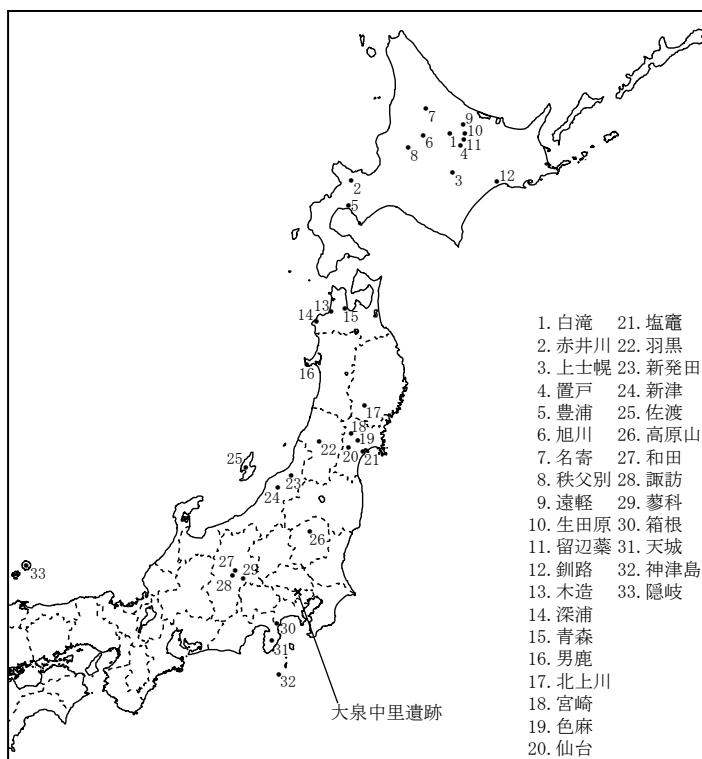
試料は、測定前に超音波洗浄器やメラミンフォーム製スポンジを用いて、測定面の表面の洗浄を行った。

分析装置は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA1200VXを使用した。装置の仕様は、X線管ターゲットはロジウム(Rh)、X線検出器はSDD検出器である。測定条件は、測定時間100sec、照射径8mm、電圧50kV、電流1000μA、試料室内雰囲気は真空に設定し、一次フィルタにPb測定用を用いた。

黒曜石の産地推定には、蛍光X線分析によるX線強度を用いた黒曜石産地推定法である判別図法を用いた(望月, 1999など)。本方法では、まず各試料を蛍光X線分析装置で測定し、その測定結果のうち、カリウム(K)、マンガン(Mn)、鉄(Fe)、ルビジウム(Rb)、ストロンチウム(Sr)、イットリウム(Y)、ジルコニウム(Zr)の合計7元素のX線強度(cps: count per second)について、以下に示す指標値を計算する。

第42表 分析対象となる黒曜石製石器

分析No.	遺構種別	時期	遺物番号	備考
1	住居跡か	縄文時代	包含層24	
2	包含層	縄文時代	包含層443	
3	包含層		包含層468	
4	遺物集中	旧石器時代	包含層(SBL1) 469	微細剥片
5	遺物集中	旧石器時代	包含層(SBL1) 550	
6	遺物集中	旧石器時代	包含層(SBL1) 557	
7	遺物集中	旧石器時代	包含層(SBL1) 608	微細剥片
8	遺物集中	旧石器時代	包含層(SBL1) 618	
9	包含層	縄文時代	包含層1376	
10	包含層	縄文時代	包含層1411	
11	包含層		包含層1617	
12	不明遺構		SX2-42	
13	不明遺構		SX2-65	
14	不明遺構		SX5-30	
15			10区西側一括	



第87図 黒曜石産地分布図(東日本)

- 1) Rb 分率 =Rb 強度 × 100/(Rb 強度 +Sr 強度 +Y 強度 +Zr 強度)
- 2) Sr 分率 =Sr 強度 × 100/(Rb 強度 +Sr 強度 +Y 強度 +Zr 強度)
- 3) Mn 強度 × 100/Fe 強度
- 4) log(Fe 強度 /K 強度)

そして、これらの指標値を用いた 2 つの判別図（横軸 Rb 分率－縦軸 Mn 強度 × 100/Fe 強度 の判別図、横軸 Sr 分率－縦軸 log(Fe 強度 /K 強度) の判別図）を作成し、各地の原石データと遺物のデータを照合して、産地を推定する。この方法は、できる限り蛍光 X 線のエネルギー差が小さい元素同士を組み合わせて指標値を算出するため、形状、厚み等の影響を比較的受けにくく、原則として非破壊分析が望ましい考古遺物の測定に対して非常に有効な方法であるといえる。ただし、風化試料の場合、log(Fe 強度 /K 強度) の値が減少する（望月、1999）。試料の測定面には、なるべく平滑な面を選んだ。

原石試料は、採取原石を割って新鮮な面を露出させた上で、産地推定対象試料と同様の条件で測定した。第 43 表に判別群一覧とそれぞれの原石の採取地点および点数を、第 87 図に各原石の採取地の分布図を示す。

### 3. 分析結果

第 44 表に石器の測定値および算出した指標値を、第 88 図と第 89 図に黒曜石原石の判別図に石器の指標値をプロットした図を示す。視覚的にわかりやすくするために、図では各判別群を楕円で取り囲んだ。

分析の結果、1 点が鷹山群（長野県、和田エリア）、1 点が土屋橋 2 群（長野県、和田エリア）、2 点が星ヶ台群（長野県、諏訪エリア）、5 点が冷山群（長野県、蓼科エリア）

第 43 表 東日本黒曜石産地の判別群

都道府県	エリア	判別群名	原石採取地
北海道	白滝	白滝 1	赤石山山頂 (43), 八号沢露頭 (15)
		白滝 2	7 の沢川支流 (2), IK 露頭 (10), 十勝石沢露頭直下河床 (11), アジサイの滝露頭 (10)
	赤井川	赤井川	曲川・土木川 (24)
	上士幌	上士幌	十勝三股 (4), タウシュベツ川右岸 (42), タウシュベツ川左岸 (10), 十三ノ沢 (32)
	置戸	置戸山	置戸山 (5)
		所山	所山 (5)
	豊浦	豊浦	豊泉 (10)
	旭川	旭川	近文台 (8), 雨紛台 (2)
	名寄	名寄	忠烈布川 (19)
	秩父別	秩父別 1	中山 (65)
		秩父別 2	
		秩父別 3	
	遠軽	遠軽	社名淵川河床 (2)
	生田原	生田原	仁田布川河床 (10)
	留辺蘿	留辺蘿 1	ケショマップ川河床 (9)
		留辺蘿 2	
	釧路	釧路	釧路市営スキー場 (9), 阿寒川右岸 (2), 阿寒川左岸 (6)
青森	木造	出来島	出来島海岸 (15), 鶴ヶ坂 (10)
	深浦	八森山	岡崎浜 (7), 八森山公園 (8)
	青森	青森	天田内川 (6)
秋田	男鹿	金ヶ崎	金ヶ崎温泉 (10)
		脇本	脇本海岸 (4)
岩手	北上川	北上折居 1	北上川 (9), 真城 (33)
		北上折居 2	
		北上折居 3	
宮城	宮崎	湯ノ倉	湯ノ倉 (40)
	色麻	根岸	根岸 (40)
	仙台	秋保 1	土蔵 (18)
		秋保 2	
山形	塩竈	塩竈	塩竈 (10)
	羽黒	月山	月山荘前 (24), 大越沢 (10)
		櫛引	たらのき代 (19)
新潟	新発田	板山	板山牧場 (10)
	新津	金津	金津 (7)
	佐渡	真光寺	追分 (4)
栃木	高原山	甘湯沢	甘湯沢 (22)
		七尋沢	七尋沢 (3), 宮川 (3), 枝持沢 (3)
長野	和田	西餅屋	芙蓉パーライト土砂集積場 (30)
		鷹山	鷹山 (14), 東餅屋 (54)
		小深沢	小深沢 (42)
		土屋橋 1	土屋橋西 (10)
		土屋橋 2	新和田トンネル北 (20), 土屋橋北西 (58), 土屋橋西 (1)
		古峰	和田峠トンネル上 (28), 古峰 (38), 和田峠スキー場 (28)
		ブドウ沢	ブドウ沢 (20)
		牧ヶ沢	牧ヶ沢下 (20)
		高松沢	高松沢 (19)
		諏訪	星ヶ台 (35), 星ヶ塔 (20)
		蓼科	冷山 (20), 麦草峠 (20), 麦草峠東 (20)
		芦ノ湯	芦ノ湯 (20)
神奈川	箱根	畠宿	畠宿 (51)
		鍛冶屋	鍛冶屋 (20)
		上多賀	上多賀 (20)
静岡	天城	柏峠	柏峠 (20)
		恩馳島	恩馳島 (27)
東京	神津島	砂糠崎	砂糠崎 (20)
		久見	久見バーライト中 (6), 久見採掘現場 (5)
島根	隠岐	箕浦	箕浦海岸 (3), 加茂 (4), 岸浜 (3)

第 44 表 測定値および産地推定結果

分析 No.	K 強度 (cps)	Mn 強度 (cps)	Fe 強度 (cps)	Rb 強度 (cps)	Sr 強度 (cps)	Y 強度 (cps)	Zr 強度 (cps)	Rb 分率	Mn*100 Fe	Sr 分率	log Fe K	判別群	エリア	分析 No.
1	126.0	143.6	4220.7	146.5	947.4	400.7	1459.6	4.96	3.40	32.07	1.53	畠宿	箱根	1
2	310.9	148.4	1171.1	1668.5	104.4	727.3	967.4	48.12	12.67	3.01	0.58	鷹山	和田	2
3	264.9	87.9	1582.0	660.7	839.5	340.2	1244.5	21.42	5.56	27.21	0.78	冷山	蓼科	3
4	154.9	51.7	948.9	353.8	459.3	187.2	650.5	21.43	5.44	27.82	0.79	冷山	蓼科	4
5	307.8	93.9	1699.0	625.2	934.5	337.2	1301.7	19.55	5.52	29.21	0.74	冷山	蓼科	5
6	257.1	104.8	1121.5	1125.0	155.9	473.8	832.0	43.49	9.34	6.03	0.64	土屋橋	2 和田	6
7	115.7	38.1	659.3	267.1	331.8	139.6	476.7	21.98	5.78	27.30	0.76	冷山	蓼科	7
8	262.6	85.0	1416.7	602.3	744.2	306.7	1093.8	21.93	6.00	27.09	0.73	冷山	蓼科	8
9	152.3	72.0	2276.3	240.8	564.9	359.1	1429.2	9.28	3.16	21.78	1.17	柏峰	天城	9
10	136.6	73.5	945.7	267.4	340.7	213.8	535.0	19.71	7.77	25.11	0.84	恩馳島	神津島	10
11	290.9	113.1	1020.1	788.8	302.4	413.3	812.2	34.05	11.09	13.05	0.54	星ヶ台	諏訪	11
12	218.6	115.2	1422.2	425.5	544.7	355.3	902.3	19.10	8.10	24.45	0.81	恩馳島	神津島	12
13	242.2	127.6	1605.0	472.7	610.5	383.1	969.4	19.41	7.95	25.07	0.82	恩馳島	神津島	13
14	75.3	39.0	501.6	143.3	187.8	114.2	293.3	19.40	7.78	25.43	0.82	恩馳島	神津島	14
15	145.3	54.9	546.5	397.3	151.0	200.7	397.9	34.64	10.04	13.17	0.58	星ヶ台	諏訪	15

第 45 表 時期別の産地

	和田	諏訪	蓼科	箱根	天城	神津島	合計
旧石器時代	1		4				5
縄文時代	1			1	1	1	4
不明		2	1			3	6
合計	2	2	5	1	1	4	15

ア)、1 点が畠宿群（神奈川県、箱根エリア）、1 点が柏峰群（静岡県、天城エリア）、4 点が恩馳島群（東京都、神津島エリア）の範囲にプロットされた。

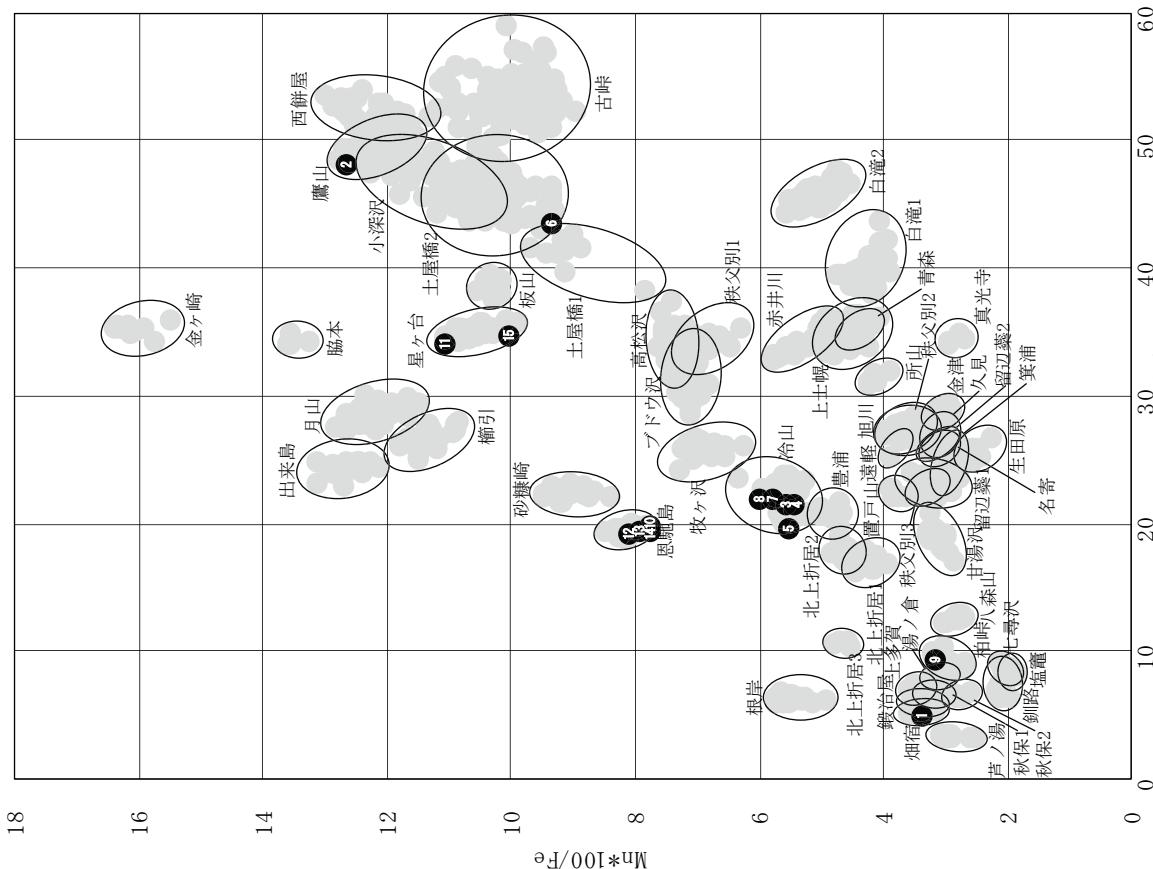
第 44 表に、判別図法により推定された判別群名とエリア名を示す。第 45 表に、時期別の産地を示す。今回分析した 15 点のうち、時期の判明している 9 点の範囲内において、旧石器時代の石器はすべて信州産で、縄文時代の石器は箱根・天城・神津島産が多くなる傾向が窺えた。

#### 4. おわりに

大泉中里遺跡より出土した旧石器時代および縄文時代の黒曜石製石器 15 点について、蛍光 X 線分析による産地推定を行った結果、2 点が和田、2 点が諏訪、5 点が蓼科、1 点が箱根、1 点が天城、4 点が神津島エリア産と推定された。

#### 引用文献

望月明彦（1999）上和田城山遺跡出土の黒曜石産地推定. 大和市教育委員会編「埋蔵文化財の保管と活用のための基礎的整理報告書 2—上和田城山遺跡篇—」: 172-179, 大和市教育委員会.



第 88 図 黒曜石产地推定判別図 (1)

### 3 大泉中里遺跡出土のガラス質安山岩製石器の非破壊での産地推定

竹原弘展（パレオ・ラボ）

#### 1. はじめに

練馬区大泉町二丁目に所在する大泉中里遺跡は、白子川中流域の右岸崖線上に立地する。第五次調査で出土した旧石器時代のガラス質安山岩製石器について、エネルギー分散型蛍光X線分析装置による元素分析を非破壊で行い、産地の推定を試みた。

#### 2. 試料と方法

分析対象は、遺物集中より出土した21点（分析No.16～36）のガラス質安山岩製石器である（第46表）。時期は、旧石器時代とみられている。

ガラス質安山岩製の石器は、通常は風化層に覆われている。風化層を除去しない非破壊での測定では、各判別群を識別することが基本的に困難である。一方で、実際に風化層の除去前後で測定結果を比較した例では、風化面の測定データは、判別群の範囲内には収まらなくともある程度はその周辺にプロットされることも多い（例えば竹原、2021など）。今回は、石器の風化層除去を行わない非破壊分析を前提としており、おおよその原産地エリアの推定を試みた。試料は、測定前に超音波洗浄器やメラミンフォーム製スポンジを用いて、測定面の表面の洗浄を行った。

分析装置は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA1200VXを使用した。装置の仕様は、X線管ターゲットはロジウム（Rh）、X線検出器はSDD検出器である。測定条件は、測定時間100sec、照射径8mm、電圧50kV、電流1000μA、試料室内雰囲気は真空に設定し、一次フィルタにPb測定用を用いた。

分析方法は、黒曜石産地推定法として用いられている蛍光X線分析によるX線強度を用いた判別図法（例えば望月2004）を、ガラス質安山岩に適用した。方法は、まず各試料を蛍光X線分析装置で測定し、その測定結果のうち、カリウム（K）、マンガン（Mn）、鉄（Fe）、ルビジウム（Rb）、ストロンチウム（Sr）、イットリウム（Y）、ジルコニウム（Zr）の合計7元素のX線強度（cps；count per second）について、以下に示す指標値を計算する。

- 1) Rb分率=Rb強度×100/(Rb強度+Sr強度+Y強度+Zr強度)
- 2) Sr分率=Sr強度×100/(Rb強度+Sr強度+Y強度+Zr強度)
- 3) Mn強度×100/Fe強度
- 4) log(Fe強度/K強度)

第46表 分析対象となるガラス質安山岩製石器

分析No.	遺構種別	時期	遺物番号
16	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL1）471
17	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL1）479
18	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL1）519
19	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL1）523
20	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL1）545
21	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL1）551
22	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL1）554
23	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL1）607
24	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL1）619
25	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL1）626
26	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL1）630
27	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL2）718
28	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL2）782
29	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL2）783
30	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL2）790
31	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL2）799
32	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL2）803
33	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL2）816
34	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL2）871
35	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL2）1058
36	遺物集中	旧石器時代	包含層（SBL2）1161

第 47 表 原石採取地と判別群名称

都道府県	エリア	判別群名	原石採取地(試料点数)
福島	会津	柳津	只見川支流(6)
群馬	みなかみ	武尊山	武尊山(11)
	下仁田	荒船山	荒船山(9)
長野	佐久	八風山	香坂(9)、八風山下(10)、八風山(9)
岐阜	下呂	湯ヶ峰	大林(10)、山の西口(3)、火口そばくずれニ(3)、山の東ホ(3)、火口そば北寄り尾根ヘ(3)
石川	能登	富来	大福寺A地点(1)、大福寺B地点中央鞍部(4)、大福寺B地点南(15)、西大福寺A地点(2)、笛波(15)
奈良	二上山	春日山	春日山みかん畑内(10)
香川	讃岐	国分台 1	自衛隊演習場付近(21)、神谷神社付近(8)、高産靈神社谷(1)、国分台下みかん畑(4)、蓮光寺山南東麓(1)
		国分台 2	神谷神社付近(3)、高産靈神社谷(4)
		国分台 3	自衛隊演習場付近(1)、神谷神社付近(2)、高産靈神社谷(7)、国分台下みかん畑(1)、蓮光寺山南東麓(25)、出雲神社周辺(5)
		赤子谷	赤子谷第1地点(5)、赤子谷第2地点(5)
		法印谷	法印谷(10)
		金山 1	北峰道路脇(9)、金山南麓(8)、金山北東部(27)
		金山 2	北峰道路脇(1)、金山南麓(23)
		城山	城山南側(5)、城山北側(5)
		東奥 1	雄山(5)、雌山(5)、神谷神社付近(4)、出雲神社周辺(23)、奥池付近(11)
		東奥 2	神谷神社付近(3)、出雲神社周辺(2)、奥池付近(5)
		双子山	双子山南嶺(10)
		香色山	佐伯神社付近(30)、宮ヶ尾古墳周辺(1)
		大麻山北麓	宮ヶ尾古墳周辺(2)
鳥取	青谷	青谷	青谷(12)
	東郷	東郷	麻畑(12)
佐賀	多久	鬼ノ鼻山	天ヶ瀬ダム下みかん畑(8)

そして、これらの指標値を用いた 2 つの判別図（横軸 Rb 分率—縦軸 Mn 強度 × 100/Fe 強度の判別図（1）と横軸 Sr 分率—縦軸 log(Fe 強度 /K 強度) の判別図（2））を作成し、各地の原石データと遺物のデータを照合して、産地を推定する方法である。

原石試料は、採取原石を割って新鮮な面を露出させた上で、産地推定対象試料と同様の条件で測定した。第 47 表にガラス質安山岩の判別群一覧とそれぞれの原石の採取地点および点数を示す。

### 3. 分析結果

第 48 表に石器の非破壊での測定値および算出された指標値を、第 90 図、第 91 図にガラス質安山岩原石の判別図に石器の非破壊での分析結果をプロットした図を示す。判別図では視覚的にわかりやすくするため、各判別群を楕円で取り囲んである。

非破壊測定の結果、1 点が武尊山 1 群、1 点が武尊山 2 群、15 点が八風山群に比較的近い位置にプロットされた。残りの 4 点は、周辺に近い判別群がなかった。

第 48 表に、各石器のプロット位置の比較的近くにあった判別群を示す。なお、21 点中 15 点が八風山群に比較的近い位置にプロットされたが、これら 15 点の分布は分析 No.16、18 ~ 20、26 の 5 点と、分析 No.27 ~ 36 の 10 点の 2 グループに細分される。この 2 グループは、産地（判別群）が異なる可能性のほかに、包含層（SBL1）と包含層（SBL2）の違いであることから、埋蔵環境の違いによる風化状態の違いに起因する可能性も考えられる。

第48表 非破壊での測定値および近い判別群

分析No.	K強度(cps)	Mn強度(cps)	Fe強度(cps)	Rb強度(cps)	Sr強度(cps)	Y強度(cps)	Zr強度(cps)	Rb分率	Mn*100/Fe	Sr分率	log Fe/K	近い判別群	エリア	分析No.
16	163.3	187.5	8402.5	291.7	1727.4	320.9	1331.0	7.95	2.23	47.06	1.71	八風山	佐久?	16
17	208.1	122.6	7815.5	496.7	992.1	289.2	1374.8	15.76	1.57	31.47	1.57?	?	?	17
18	197.8	222.4	9752.2	336.6	1958.3	356.8	1478.7	8.15	2.28	47.41	1.69	八風山	佐久?	18
19	161.4	193.2	8529.3	280.6	1650.1	307.4	1243.2	8.06	2.26	47.40	1.72	八風山	佐久?	19
20	162.2	188.1	8719.4	269.1	1565.5	297.7	1212.0	8.05	2.16	46.81	1.73	八風山	佐久?	20
21	186.3	114.1	8684.4	337.1	1138.6	273.4	1353.9	10.86	1.31	36.69	1.67?	?	?	21
22	159.4	96.9	6407.6	312.9	1133.3	272.4	1308.8	10.34	1.51	37.43	1.60?	?	?	22
23	210.8	164.3	10874.1	314.3	1340.2	317.7	1385.7	9.36	1.51	39.91	1.71	武尊山1	みなかみ?	23
24	161.7	115.9	6461.4	406.2	757.4	252.4	1115.0	16.05	1.79	29.93	1.60?	?	?	24
25	155.0	234.0	16071.0	207.0	1105.0	238.3	1021.5	8.05	1.46	42.97	2.02	武尊山2	みなかみ?	25
26	167.4	204.0	8757.8	294.8	1728.5	322.0	1317.4	8.05	2.33	47.19	1.72	八風山	佐久?	26
27	167.3	180.0	8565.8	246.7	1597.6	285.3	1144.2	7.53	2.10	48.80	1.71	八風山	佐久?	27
28	174.4	208.0	9820.9	270.5	1759.7	303.8	1238.1	7.57	2.12	49.26	1.75	八風山	佐久?	28
29	166.8	202.4	9916.2	270.0	1766.8	305.2	1246.6	7.52	2.04	49.23	1.77	八風山	佐久?	29
30	137.0	148.2	7507.0	212.6	1372.6	246.0	1006.9	7.49	1.97	48.36	1.74	八風山	佐久?	30
31	184.7	213.6	10251.1	276.2	1811.3	315.4	1269.1	7.52	2.08	49.33	1.74	八風山	佐久?	31
32	125.7	137.4	6617.4	189.0	1231.2	223.2	888.5	7.46	2.08	48.63	1.72	八風山	佐久?	32
33	159.5	181.0	8857.5	246.8	1601.7	280.5	1136.6	7.56	2.04	49.05	1.74	八風山	佐久?	33
34	123.4	140.0	6882.0	192.3	1251.6	220.5	908.7	7.47	2.03	48.64	1.75	八風山	佐久?	34
35	153.5	173.0	8193.7	226.9	1480.8	262.4	1062.1	7.48	2.11	48.84	1.73	八風山	佐久?	35
36	173.4	202.1	9532.3	264.7	1744.8	302.2	1227.2	7.48	2.12	49.30	1.74	八風山	佐久?	36

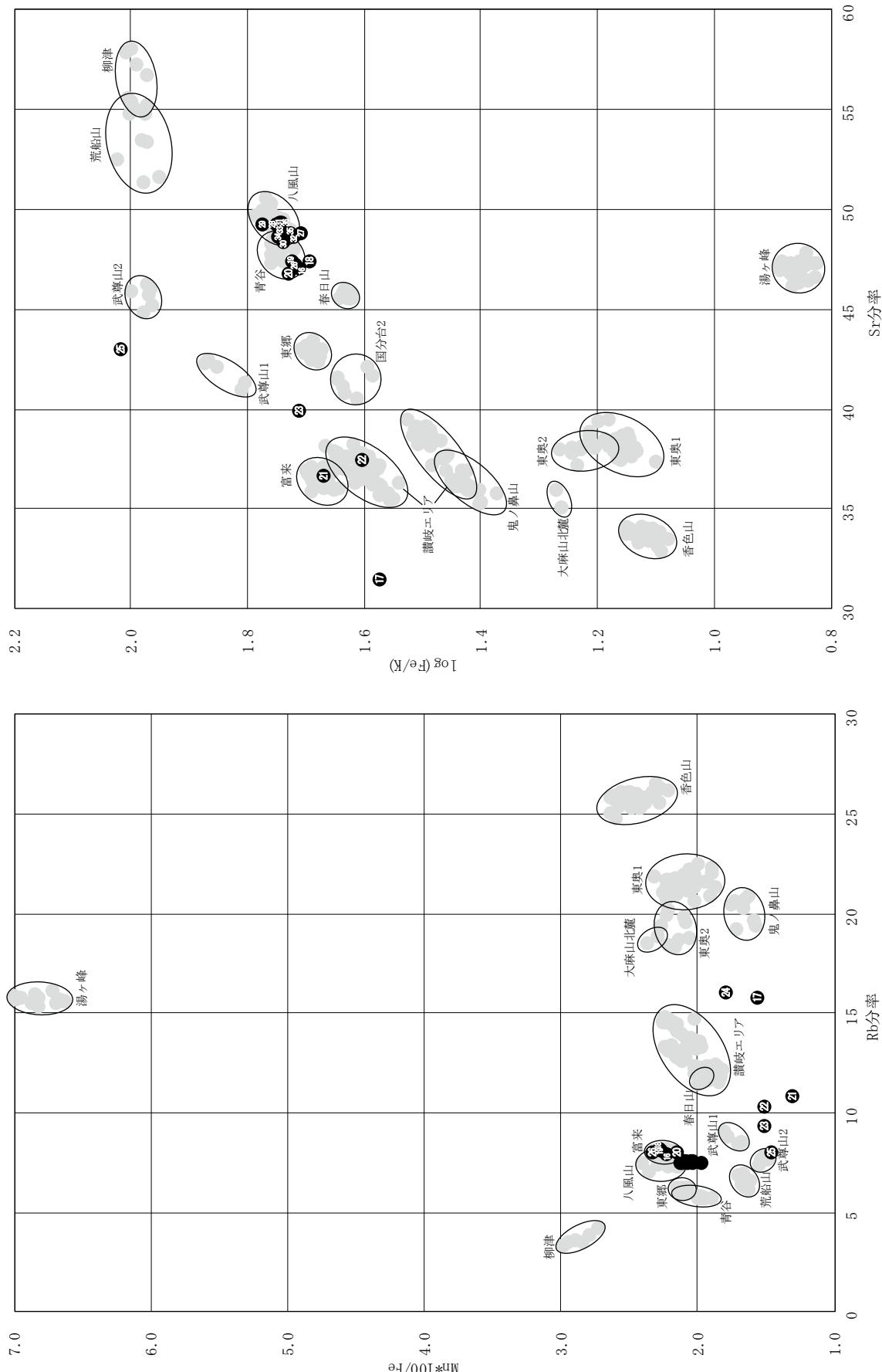
#### 4. おわりに

大泉中里遺跡より出土した旧石器時代のガラス質安山岩製石器21点について、蛍光X線分析による非破壊での産地推定を試みた。その結果、1点が武尊山1群の近く、1点が武尊山2群の近く、15点が八風山群の近くにそれぞれプロットされた。ただし、あくまでも風化層を除去しない非破壊での測定結果であり、参考値として捉える必要があろう。

#### 引用文献

望月明彦 (2004) 用田大河内遺跡出土黒曜石の産地推定. かながわ考古学財団編「用田大河内遺跡」: 511-517, かながわ考古学財団.

竹原弘展 (2021) ガラス質安山岩の産地推定. 石川県埋蔵文化財センター編「能美市西任田遺跡・中ノ庄遺跡」: 209-212, 石川県教育委員会・石川県埋蔵文化財センター.



### 第 90 図 ラス質安山岩產地推定判別図 (1)

第91図 ラス質安山岩産地推定判別図 (2)

## 4 大泉中里遺跡のテフラ分析

鬼頭 剛 (パレオ・ラボ)

### 1. はじめに

練馬区大泉町二丁目に所在する大泉中里遺跡（第五次調査）より採取された試料についてテフラを検討するために、火山ガラスの形態、鉱物組成、一部の試料について火山ガラスの屈折率測定を行った。

### 2. 試料と方法

分析試料は、大泉中里遺跡の SBL1 の 4 試料と深堀り部の 7 試料から採取された合計 11 試料である（第 49 表）。

第 49 表 分析試料とその特徴

分析 No.	試料名	調査区	遺構	層位	土質	色調	含有物
1	テフラ分析試料 1	9 区	SBL1	III	ローム	褐色 (10YR 4/6)	やや暗い褐色ロームが混じる。黒褐色スコリア (φ 1 ~ 3mm) 2%、赤褐色スコリア (φ 1 ~ 2mm) 1%
2	テフラ分析試料 2			IV	ローム	明褐色 (7.5YR 5/6)	黒褐色スコリア (φ 1 ~ 3mm) 1%、赤褐色スコリア (φ 1 ~ 2mm) 3%
3	テフラ分析試料 3			V	ローム	褐色 (10YR 4/4)	黒褐色スコリア (φ 1 ~ 3mm) 3%、赤褐色スコリア (φ 1 ~ 2mm) 1%
4	テフラ分析試料 4			VI	ローム	褐色 (10YR 4/6)	赤褐色スコリア (φ 1 ~ 2mm) 2%
5	テフラ分析試料 5	13 区	深堀り部	III	ローム	褐色 (10YR 4/4)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 2mm) 1%
6	テフラ分析試料 6			IV	ローム	褐色 (10YR 4/6)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 3mm) 2%、黒色スコリア (径 1 ~ 3mm) 2%
7	テフラ分析試料 7			V	ローム	褐色 (10YR 4/4)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 3mm) 5%、黒色スコリア (径 1 ~ 3mm) 2%
8	テフラ分析試料 8			VI	ローム	にぶい黄橙色 (10YR 5/4)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 3mm) 3%、黒色スコリア (径 1 ~ 3mm) 7%
9	テフラ分析試料 9			VII	ローム	暗褐色 (10YR 3/4)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 3mm) 1%、黒色スコリア (径 1 ~ 3mm) 3%
10	テフラ分析試料 10			IX	ローム	暗褐色 (10YR 3/4)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 3mm) 1%、黒色スコリア (径 1 ~ 3mm) 1%
11	テフラ分析試料 11			X	ローム	褐色 (10YR 4/4)	赤褐色スコリア (径 1 ~ 3mm) 1%

試料は、適量を秤量した後、1 φ (0.5mm)、2 φ (0.25mm)、3 φ (0.125mm)、4 φ (0.063mm) の 4 枚の篩を重ね、湿式篩分けをした。4 φ 篩残渣について、重液（テトラブロモエタン、比重 2.96）を用いて重鉱物と軽鉱物に分離した。軽鉱物および重鉱物は、ガムクロラールを用いてプレパラートを作製した。軽鉱物は、町田・新井（2003）の火山ガラスの分類基準に従って、バブル型平板状（b1）、バブル型 Y 字状（b2）、軽石型纖維状（p1）、軽石型スポンジ状（p2）、急冷破碎型フレーク状（c1）、急冷破碎型塊状（c2）に分類した。重鉱物は、斜方輝石（opx）、单斜輝石（cpx）、角閃石（ho）、磁鐵鉱（mg）、カンラン石（ol）、イディングス石（idg）、不明（opq）等を同定・計数した。

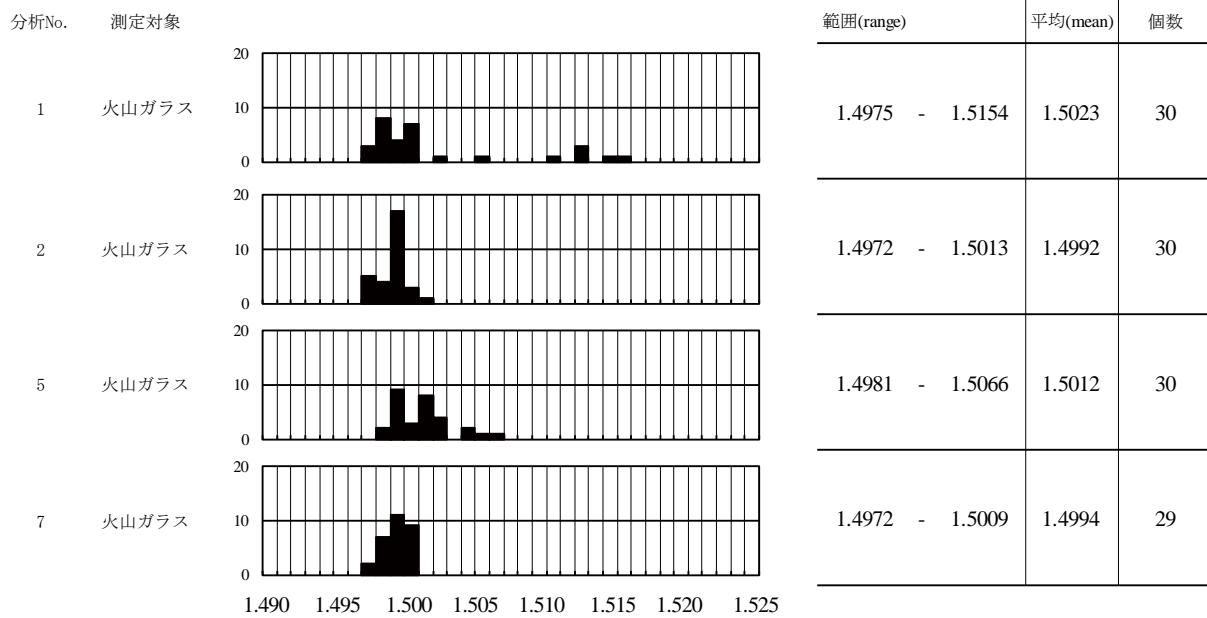
4 φ 軽鉱物中の火山ガラスについて、横山ほか（1986）に従って、温度変化型屈折率測定装置（株式会社古澤地質製、MAIOT）を用いて屈折率測定を行った。

第50表 テフラ試料の湿式篩分け・重液分離の結果

分析No.	遺構	層位	処理重量(g)	篩分け(重量g)				軽・重鉱物組成(重量g)	
				1φ	2φ	3φ	4φ	軽鉱物	重鉱物
1	SBL1	III	30.83	0.02	0.07	0.22	0.24	0.04	0.14
2		IV	31.10	0.02	0.12	0.35	0.35	0.01	0.17
3		V	31.34	0.02	0.11	0.32	0.40	0.08	0.14
4		VI	32.48	0.06	0.13	0.31	0.47	0.12	0.12
5	深堀り部	III	31.44	0.01	0.07	0.26	0.28	0.05	0.09
6		IV	31.43	0.04	0.11	0.35	0.38	0.06	0.14
7		V	34.02	0.06	0.13	0.41	0.62	0.22	0.10
8		VI	30.17	0.07	0.10	0.24	0.38	0.10	0.14
9		VII	32.31	0.03	0.09	0.24	0.28	0.07	0.11
10		IX	30.94	0.03	0.10	0.24	0.27	0.06	0.09
11		X	31.69	0.03	0.15	0.26	0.35	0.06	0.14

第51表 4φ篩残渣中の鉱物組成

分析No.	遺構	層位	石英(qu)	長石(pl)	不明(opq)	火山ガラス				ガラス合計	軽鉱物合計	重鉱物							重鉱物の合計			
						バブル(泡)型		急冷破碎型					斜方輝石(oxp)	单斜輝石(cpx)	角閃石(ho)	カンラン石(ol)	ダイオプシス石(id)	磁鉄鉱(id)	不明(opq)			
						平板状(b1)	Y字状(b2)	繊維状(p1)	スピボンジ状(p2)													
1	SBL1	III	136	78	10	12		7	7	36	250	49	19	2	104	44	25	7	250			
2		IV	1	125	71	37		14	1	1	124	250	74	28		80	27	31	10	250		
3		V	2	74	87	51	21		12	2	1	87	250	52	41	2	109	20	18	8	250	
4		VI	65	68	88	19		8	12	127	260	48	30	2	121	21	17	11	250			
5		III	97	119	11	5		12	6	34	250	51	18		85	64	19	13	250			
6		IV	2	89	106	39	5		8	1	53	250	69	28	1	82	20	39	11	250		
7		V	3	29	81	113	19		5		137	250	53	25	3	114	11	19	25	250		
8		VI	36	83	99	25		7		131	250	61	26		117	17	9	20	250			
9		VII	1	102	142	1		4		5	250	71	16	2	104	29	14	14	250			
10		IX	5	90	147	3		4	1	8	250	68	14	1	113	18	14	22	250			
11		X	8	51	186	1		4		5	250	49	33	2	91	27	7	41	250			



第92図 4φ中の火山ガラスの屈折率測定結果

### 3. 結果

以下に、各テフラ試料の特徴、火山ガラスの屈折率測定結果について述べる。

#### [分析 No.1 : SBL1、Ⅲ層]

試料は全体に褐色(10YR 4/6)のロームである(第49表)。篩分けでは3φと2φの篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない(第50表)。

軽鉱物では長石類が多く(54.4%)、火山ガラスは14.4%であった(第51表)。また、重鉱物では、カンラン石が41.6%と多く、斜方輝石(opx)が19.6%とつづく(第51表)。

火山ガラスの屈折率は、範囲1.4975-1.5154(平均値1.5023)で、低い範囲1.4975-1.5010、中間の範囲1.5023-1.5059、高い範囲1.5102-1.5154であった(第92図)。

#### [分析 No.2 : SBL1、Ⅳ層]

試料は全体に明褐色(7.5YR 5/6)のロームである(第49表)。篩分けでは3φと4φの篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない(第50表)。

軽鉱物では火山ガラスが多く(49.6%)、火山ガラス中ではバブル型平板状ガラス(b1)が57.3%を占めた(第51表)。また、重鉱物では、カンラン石(ol)が32.0%と多く、斜方輝石(opx)が29.6%とつづく(第51表)。

火山ガラスの屈折率は、範囲1.4972-1.5013(平均値1.4992)であった(第92図)。

#### [分析 No.3 : SBL1、Ⅴ層]

試料は全体に褐色(10YR 4/4)のロームである(第49表)。篩分けでは3φと4φの篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない(第50表)。

軽鉱物では火山ガラスが多く(34.8%)、火山ガラス中ではバブル型平板状ガラス(b1)が58.6%を占めた(第51表)。また、重鉱物では、カンラン石(mg)が43.6%と多く、斜方輝石(opx)が20.8%とつづく(第51表)。

#### [分析 No.4 : SBL1、Ⅵ層]

試料は全体に褐色(10YR 4/6)のロームである(第49表)。篩分けでは3φと4φの篩残渣が多く、重液分離では軽鉱物と重鉱物が同量であった(第50表)。

軽鉱物では火山ガラスが多く(49.6%)、火山ガラス中ではバブル型平板状ガラス(b1)が70.9%を占めた(第51表)。また、重鉱物では、カンラン石(ol)が48.4%と多く、斜方輝石(opx)が19.2%とつづく(第51表)。

#### [分析 No.5 : 深堀り部、Ⅲ層]

試料は全体に褐色(10YR 4/4)のロームである(第49表)。篩分けでは3φと4φの篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、鉱物が少ない(第50表)。

軽鉱物では長石類が多く(38.8%)、火山ガラスは13.6%と少ない(第51表)。また、重鉱物では、カンラン石(ol)が34.0%と多く、イディングス石(id)が25.6%とつづく(第51表)。

火山ガラスの屈折率は、範囲 1.4981-1.5066（平均値 1.5012）で、低い範囲 1.4981-1.5006、高い範囲 1.5013-1.5029 あった（第 92 図）。

#### [分析 No.6：深堀り部、IV層]

試料は全体に褐色（10YR 4/6）のロームである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では長石類が多く（35.6%）、火山ガラスは 21.2% であった。（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 32.8% と多く、斜方輝石（opx）が 27.6% とつづく（第 51 表）。

#### [分析 No.7：深堀り部、V層]

試料は全体に褐色（10YR4/4）のロームである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では軽鉱物が多く、重鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では火山ガラスが多く（54.8%）、火山ガラスではバブル型平板状ガラス（b1）が 82.5% を占めた。（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 45.6% と多く、斜方輝石（opx）が 21.2% とつづく（第 51 表）。

火山ガラスの屈折率は、範囲 1.4972-1.5009（平均値 1.4994）であった（第 92 図）。

#### [分析 No.8：深堀り部、VI層]

試料は全体にぶい黄橙色（10YR5/4）のロームである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では火山ガラスが多く（52.4%）、火山ガラスではバブル型平板状ガラス（b1）が 75.6% を占めた。（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 46.8% と多く、斜方輝石（opx）が 24.4% とつづく（第 51 表）。

#### [分析 No.9：深堀り部、VII層]

試料は全体に暗褐色（10YR3/4）のロームである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ と 4 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では長石類が多く（40.8%）、火山ガラスは 2.0% と少ない（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 42.6% と多く、斜方輝石（opx）が 28.4% とつづく（第 51 表）。

#### [分析 No.10：深堀り部、IX層]

試料は全体に暗褐色（7.5YR 3/2）のシルトである（第 49 表）。篩分けでは 3 φ 43 φ の篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない（第 50 表）。

軽鉱物では長石類が多く（36.0%）、火山ガラスは 3.2% と少ない（第 51 表）。また、重鉱物では、カンラン石（ol）が 45.2% と多く、斜方輝石（opx）が 27.2% とつづく（第 51 表）。

## [分析 No.11：深堀り部、X層]

試料は全体に褐色(7.5YR 3/2)のシルトである(第50表)。篩分けでは2φと3φの篩残渣が多く、重液分離では重鉱物が多く、軽鉱物が少ない(第50表)。

軽鉱物では長石類が多く(20.4%)、火山ガラスは2.0%と少ない(第51表)。また、重鉱物では、カンラン石(ol)が36.4%と多く、斜方輝石(opx)が19.6%とつづく(第51表)。

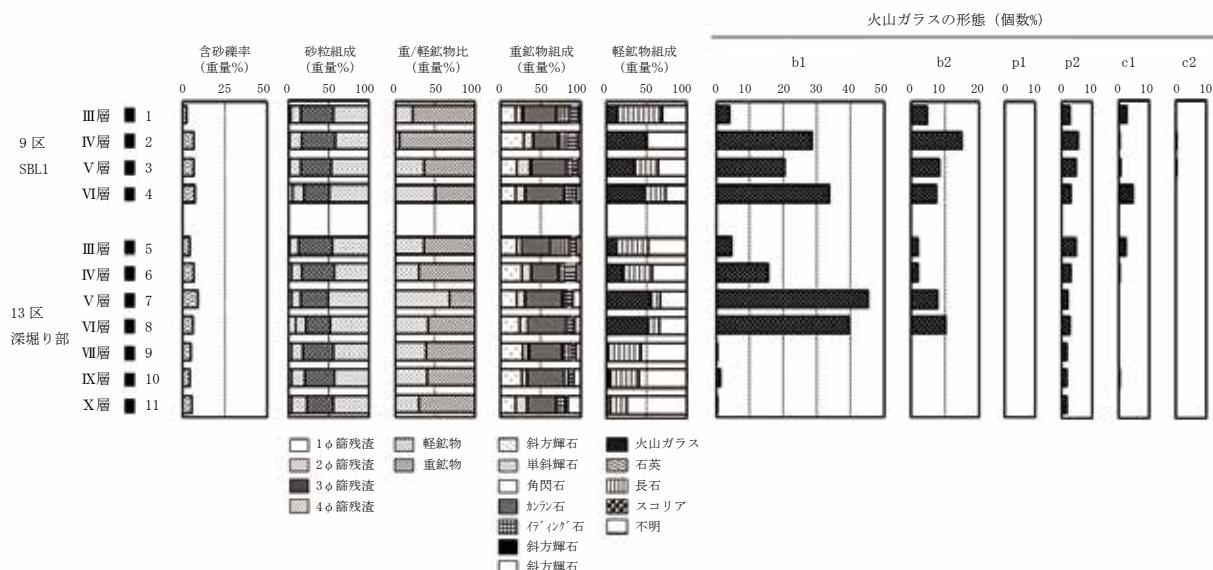
## 4. 考察

試料全体では、SBL1のⅢ層と深堀り部Ⅲ層(分析No.1と分析No.5)では、いずれの試料において、火山ガラスは少ないもの急冷破碎型火山ガラスが特徴的に検出された。また、いずれのⅣ層～Ⅵ層においてバブル型火山ガラスが特徴的に多く検出された(第93図)。

なお、深堀り部のⅦ層～X層中には、火山ガラスは少なかった。

火山ガラスの屈折率測定では、SBL1のⅢ層では中間の範囲1.5023-1.5059、深堀り部のⅢ層では高い範囲1.5013-1.5029の火山ガラスが測定された。これら破碎型ガラスおよび火山ガラスの屈折率から、町田・新井(2003)の立川ローム上部ガラス質テフラ(UG)に対比される。

一方、いずれの地点もⅣ層～Ⅵ層中に検出されたバブル型火山ガラスは、SBL1のⅣ層(分析No.1)と火山ガラスの屈折率範囲1.4972-1.5013、深堀り部のⅤ層(分析No.5)の屈折率範囲1.4972-1.5009から、町田・新井(2003)による始良Tnテフラ(AT)に対比される。



第93図 テフラ試料の含砂率・砂粒組成・鉱物組成・火山ガラスの形態

以下に対比されたテフラの特徴について記す。

山崎(1978)の記載によると、UG火山灰のガラス形態は、小気泡を含むガラス塊状のものと、纖維束状のものとがあり、ガラス片には長石や輝石を伴うことが多い。火山ガラスの屈折率は、範囲1.500-1.503である(町田・新井、2003)。UG火山灰の噴出源は、浅間火山の可能性が考えられており、

その分布と火山ガラスの形態的特徴や屈折率特性から、浅間火山の南東に分布する浅間一板鼻黄色軽石 (As-YP: 新井、1962) およびその直上の火山灰互層に連続すると考えられている (鈴木、1991、町田・新井、2003)。なお、UG 火山灰の噴出年代(As-YP)は約 1.5 ~ 1.65 万年前と考えられている (町田・新井、2003)。

姶良 Tn テフラ (AT) は、南九州姶良カルデラを噴出源として噴出した降下軽石 (pfa)、巨大火砕流堆積物 (pfl) とその降下火山灰 (afa) からなる。このテフラは、日本列島をすっぽりおおい、日本海全域、朝鮮半島、東シナ海、太平洋四国海盆を広くおおっている。分布は 1,200km 以上に及ぶ。主な鉱物は、斜方輝石 (Opx) と単斜輝石 (Cpx)、少量の石英 (Qt) からなる。火山ガラスの屈折率が 1.498-1.501、斜方輝 00- 石 (opx) の屈折率が 1.728-1.734 である (町田・新井、2003)。

なお、水月湖クロノロジーに基づいた年代は、 $30,009 \pm 189(2\sigma)$  SG062012 yr BP である (Smith et al., 2013)。

#### 参考・引用文献

新井房夫 (1962) 関東盆地北西部地域の第四紀編年. 群馬大学紀要 自然科学編, 10, 1-79.

町田瑞男・村上雅博・斎藤幸治 (1983) 南関東の火山灰中の変質鉱物“イディングサイト”について. 第四紀研究, 22, 69-76.

町田 洋・新井房夫 (2003) 新編火山灰アトラス. 336p, 東京大学出版会.

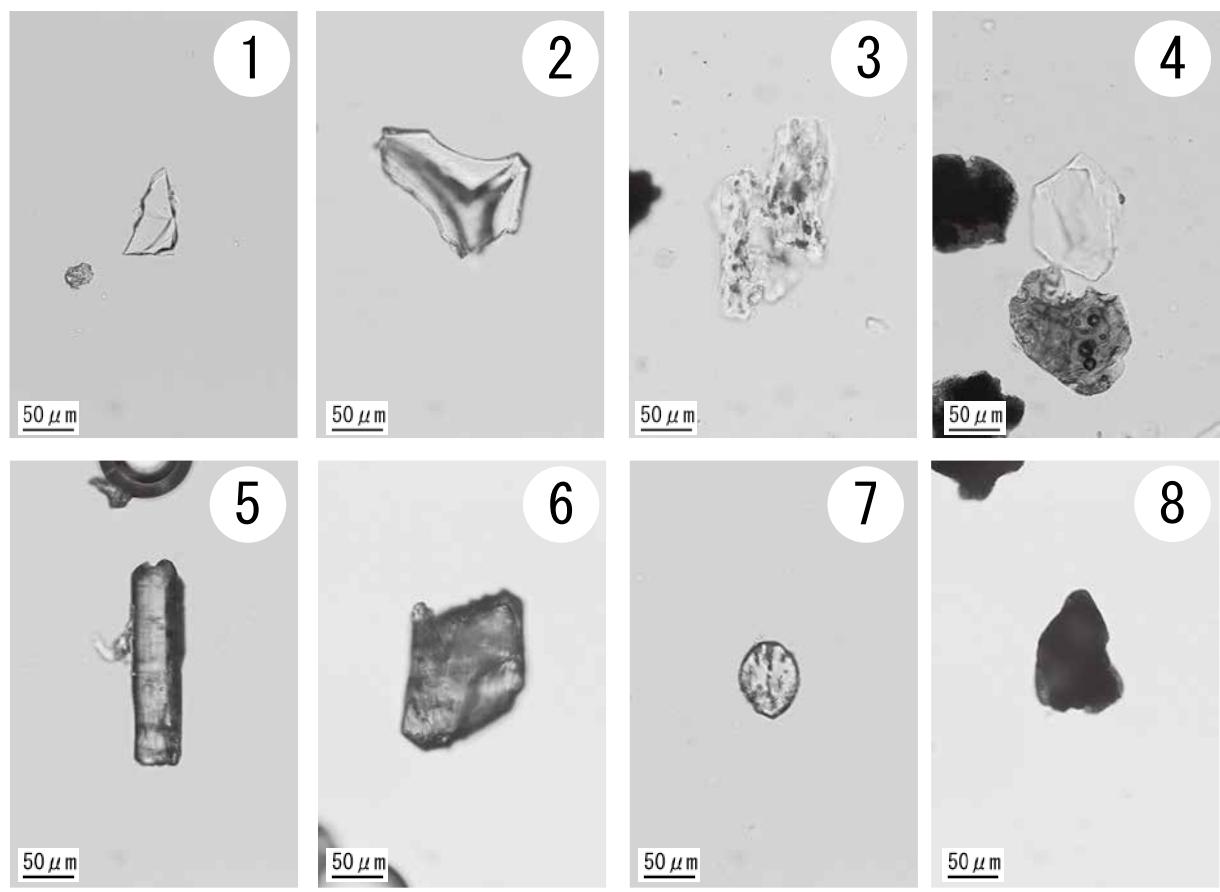
横山卓雄・檀原 徹・山下 透 (1986) 温度変化型屈折率測定装置による火山ガラスの屈折率測定. 第四紀研究, 25, 21-30.

横山卓雄・山下 透 (1986) 温度変化型屈折率測定装置 (RIMS-86) による斜方輝石・角閃石の屈折率測定の試み. 京都大学教養部報告 (九十九地学), 21, 30-36.

Smith, V. C., Staff, R. A., Blockley, S. P. E., Bronk Ramsey, C., Nakagawa, T., Mark, D. F., Takemura, K., Danhara, T., Suigetsu 2006 Project Members (2013) Identification and correlation of visible tephras in the Lake Suigetsu SG06 sedimentary archive, Japan: chronostratigraphic markers for synchronising of east Asian/west Pacific palaeoclimatic records across the last 150 ka. Quaternary Science Reviews, 67, 121-137.

鈴木正章 (1991) 立川ローム層最上部 UG 火山灰の層序と岩石化学的特性. 道都大学短期大学部紀要, 25, 87-97.

山崎晴雄 (1978) 立川断層とその第四紀後期の運動. 第四紀研究, 16, 231-246.



1. バブル型平板状ガラス 2. バブル型Y字状ガラス  
 3. 軽石型スponジ状ガラス 4. 急冷破碎型フレーク状ガラス  
 5. 斜方輝石 6. 単斜輝石 7. カンラン石 8. イディングス石

第94図 分析試料中の鉱物の顕微鏡写真

## 4 練馬区大泉中里遺跡出土縄文土器の圧痕分析

守屋 亮（東京都埋蔵文化財センター）

### 1. はじめに

練馬区大泉中里遺跡は、白子川右岸の台地上に立地する遺跡である。本遺跡における縄文時代の植物利用を明らかにするため、縄文土器の表出圧痕の分析をおこなった。

### 2. 対象資料と分析方法

対象資料は、遺構及び包含層から出土した縄文時代早期から中期の土器片 1,153 点で、土器の表面や断面に表出している表出圧痕を分析対象とした。

分析方法には、レプリカ法（丑野・田川 1991）を用いた。肉眼観察で土器表面の表出圧痕を選別し、印象材を用いてレプリカ試料を作製した。この作業は、土器片の接合作業を開始する前に行い、土器の内外面に加えて断面を観察した。印象材には、JM シリコンレギュラータイプ（株式会社モリタ）を用いた。離型材には、アクリル樹脂パラロイド B-72 のアセトン 9% 溶液を用いた。得られたレプリカ試料は、実体顕微鏡を用いて分類と 1 次同定を実施した後、走査型電子顕微鏡（SEM）（日本電子製 JSM-IT500、東京都埋蔵文化財センター所蔵）を用いて観察と写真撮影を実施した。SEM による撮影は守屋がおこなった。また、SEM の観察結果を基に守屋が 2 次同定作業をおこなった。なお、作製したレプリカは、東京都埋蔵文化財センターで保管している。

### 3. 結果

同定の結果、木本類ではキハダの 1 分類、草本類ではシソ属の 1 分類群の計 2 分類群が見いだされた。種実であることは明らかであるが、分類群が不明な一群を「不明種実」とした。種実以外には、不明昆虫が得られた（第 52 表、第 95 図）。

以下、各分類群の同定根拠を記載する。

(1) キハダ *Phellodendron amurense* Rupr. var. *amurense* 種子 ミカン科 (13ON5\_003\_01)

種子の形状は、側面観が半月状、断面観が両凸レンズ状である。表面に網目状の組織を有する。サイズは、残存長 4.2mm、残存幅 3.0mm、残存厚 1.7mm である。

(2) シソ属 *Perilla* spp. 果実 シソ科 (13ON5\_014\_01・04・05・06)

果実の形状は広卵型で、臍を有する。表面に網目状の組織を有する。サイズは、13ON5\_014\_01 が長さ 2.5mm、幅 2.3mm、残存厚 1.7mm、3ON5\_014\_04 が残存長 2.3mm、残存幅 2.2mm、13ON5\_014\_05 が残存長 2.0mm、幅 2.0mm、厚さ 1.7mm である。

(3) 不明種実 果皮 (13ON5\_013\_01)

果皮の表面は平滑である。厚さ 0.7mm である。堅果類の果皮であると考えられる。

(4) 不明昆虫（幼虫）(13ON5\_020\_01)

幼虫の腹部である。残存しているのは腹面で、体節の残存数は 5 節である。尾が残る。腹脚を有するため、幼虫の腹部であると考えられる。サイズは、残存長 5.7mm、幅 2.4mm、厚さ 1.5mm である。

第 52 表 土器圧痕一覧表

遺構	遺物番号	報告書図番号	試料番号	時期	型式	器種	圧痕部位	圧痕残存面	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	同定者	分類群	部位	備考
包含層	186	第 93 図 1	13ON5_003_01	縄文時代早期後半				外面	(4.40)	(3.48)	(1.63)	守屋	キハダ	種子	
包含層	1323	第 71 図 85	13ON5_013_01	縄文時代中期後半		深鉢		断面	—	—	0.78	守屋	堅果類	果皮	
包含層	1459	第 93 図 3	13ON5_014_01	縄文時代中期		深鉢	胴部	内面	2.47	2.31	(1.74)	守屋	シソ属	果実	
包含層	1459	第 93 図 3	13ON5_014_04	縄文時代中期		深鉢	胴部	断面	(2.33)	(2.20)	—	守屋	シソ属	果実	
包含層	1459	第 93 図 3	13ON5_014_05	縄文時代中期		深鉢	胴部	断面	(2.03)	1.99	1.72	守屋	シソ属	果実	
包含層	1459	第 93 図 3	13ON5_014_06	縄文時代中期		深鉢	胴部	断面	—	—	—	守屋	シソ属	果実	
SX2	162	第 93 図 2	13ON5_020_01	縄文時代早期後半	条痕文系			内面	(5.52)	2.35	(1.46)	守屋	昆虫(幼虫)	腹部	体節 5、腹脚

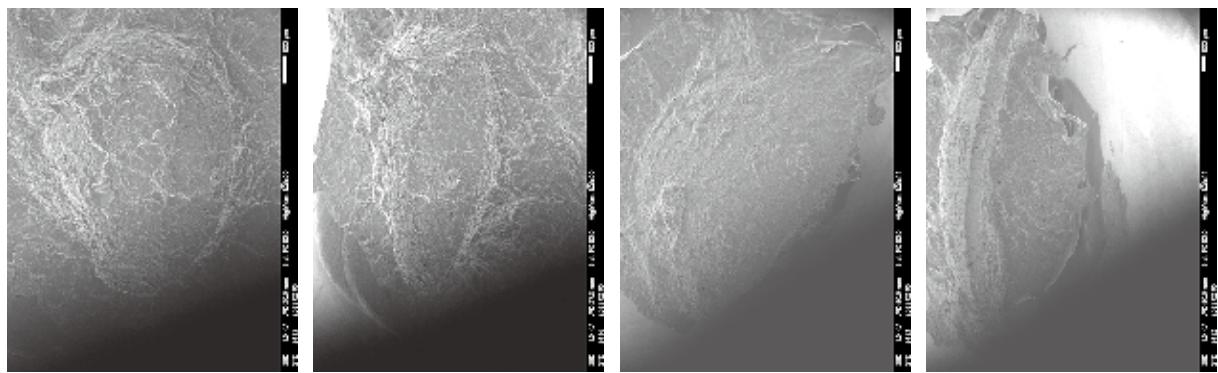
※ ( ) 内の数値は残存値を示す

#### 4. 考察

縄文時代早期後半の土器片からキハダ種子と不明昆虫の幼虫、縄文時代中期後半及び中期後半と推測される土器片から堅果類果皮とシソ属果実の圧痕が確認された。これらは、縄文時代の土器圧痕としてしばしば見られる分類群であるが（大綱ほか 2021 等）、ここではシソ属果実圧痕の検出状況が注目される。確認されたシソ属果実圧痕は、全て 1 点の土器小片に含まれるものであり、いわゆる「多量圧痕土器」であると言える。今回は表出圧痕のみを対象としたが、X 線 CT 等により潜在圧痕を確認できる可能性がある。

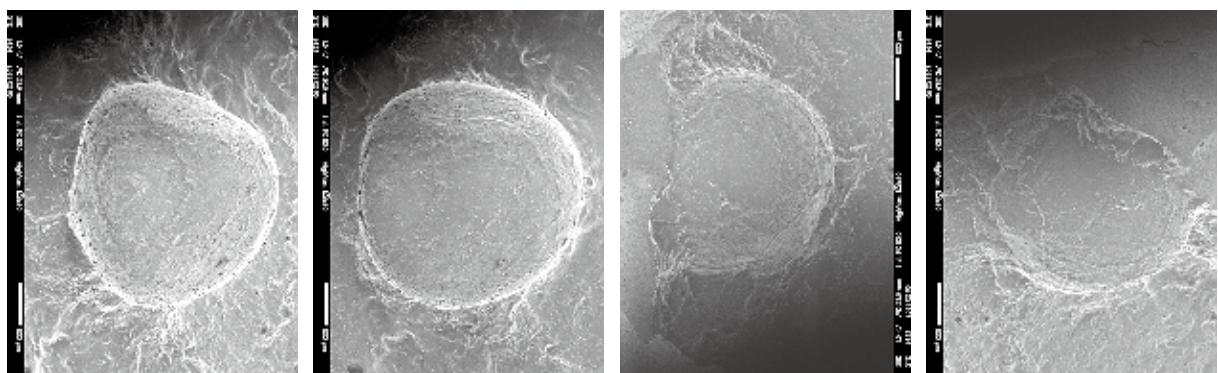
#### 参考文献

丑野 毅・田川裕美 1991 「レプリカ法による土器圧痕の観察」『考古学と自然科学』24, 13-36  
 大綱信良・守屋 亮・佐々木由香・長佐古真也 2021 「土器圧痕からみた縄文時代中期における多摩ニュータウン遺跡群の植物利用と遺跡間関係（第 2 報）」『東京都埋蔵文化財センター研究論集』35, 1-29  
 米倉浩司・梶田忠 (2003-) 「BG Plants 和名－学名インデックス」(YList), <http://ylist.info>



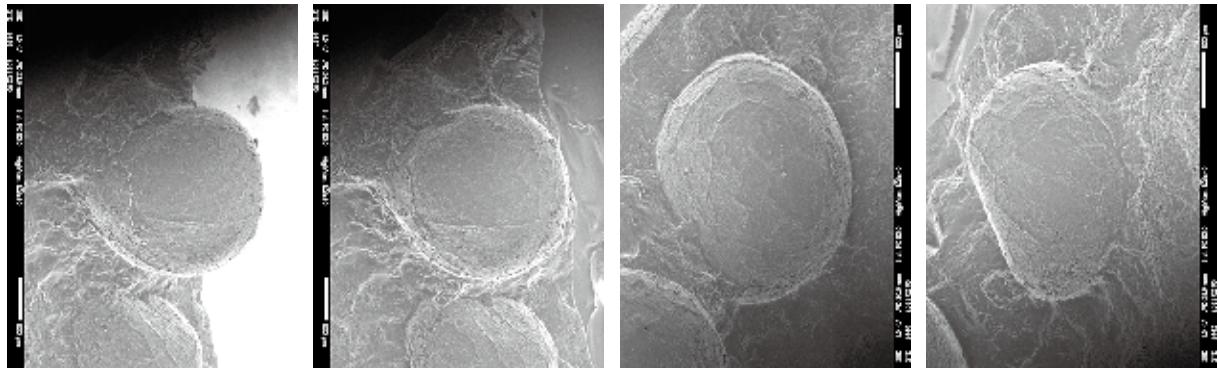
13ON5\_003\_01

13ON5\_013\_01



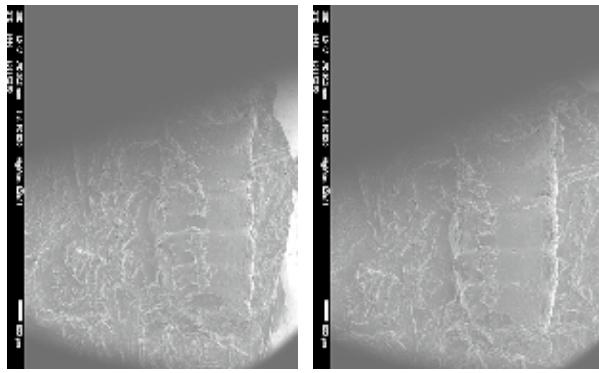
13ON5\_014\_01

13ON5\_014\_04

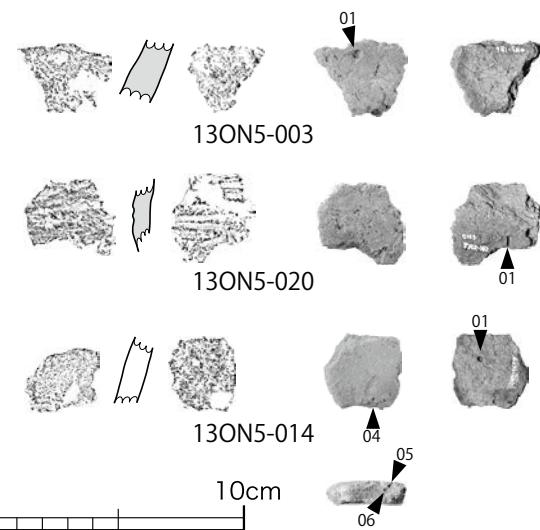


13ON5\_014\_05

13ON5\_014\_06



13ON5\_020\_01



第95図 圧痕を有する土器と土器圧痕SEM写真

## VI 調査の成果と課題

今回の第五次調査で、旧石器時代と縄文時代、奈良・平安時代、近世以降の各時期における成果が得られた。

### 1 旧石器時代

第四次調査では 6 基、今回の第五次調査では 3 基の計 9 基の遺物集中部が検出された。表記の混乱を避けるため、ここでは第五次調査 1 号遺物集中を SBL1、2 号遺物集中を SBL2、3 号遺物集中を SBL3 と表記する。

SBL1 から SBL3 の 3 基では、それぞれ遺構内で礫の接合が確認された。第 12 図、第 14 図、第 16 図に基本的な接合関係図を示したが、重複して見づらいため、異なる表現方法を試みたのが第 96 図・第 97 図である。接合した礫の座標点に対し、2 点接合した場合は線分、3 点以上接合した場合は各頂点を結んで凸多角形として作図し、「範囲」として表現した。これらの範囲が重複する箇所が、礫が割れるに至った作用の中心点である可能性が想定される。これを重量別の分布状況や、出土地点のカーネル密度推定結果（第 98 図）と比較すると、SBL1 と SBL3 では礫の接合範囲の分布と、礫の出土地点の分布は概ね同様の中心を持つことが認められる。一方 SBL2 では、礫の出土地点の分布は北側と南側の 2 点に中心を持ち、礫の接合範囲はこの北側と南側の間に重複の中心を持つことが認められる。したがって SBL2 においては、北側と南側で新旧関係を有し、割れた礫の一部が再利用された可能性がある。

第四次調査と第五次調査の遺物集中部の分布状況を見ると（第 98 図）、各遺物集中部は凡そ 10m 前後の間隔で分布していることがわかる。規模を比較すると、第 98 図のグラフに示したように、規模の大きい第四次調査 3 号遺物集中部と SBL2 に対し、規模の小さいその他に分けられる。SBL2 のように分布範囲が調査区外にも広がっているため全体が把握できない遺構がある点を考慮しつつも、大規模なものと小規模なもの何等かの差異があることが想定される。

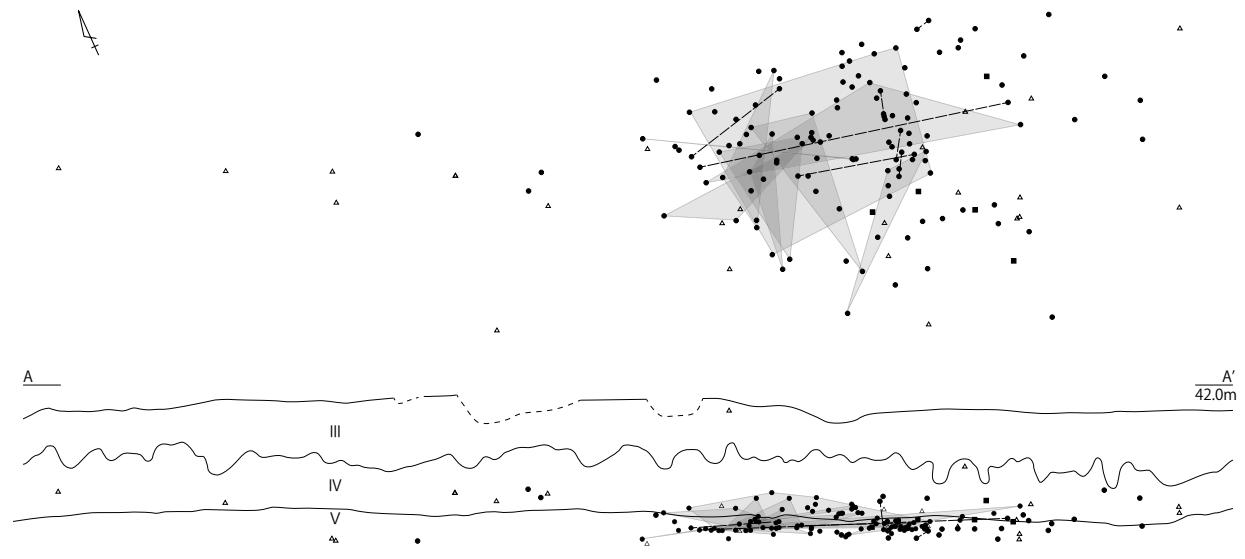
出土層位について見ると、第五次調査の 3 基は、全て IV 層下部から V 層上部で検出されている。第 22 図の出土高分布を見ると、50g 以下の礫は IV 層下部から V 層上部にかけて出土しているが、50g 以上の礫は主に V 層上部から出土していることがわかる。したがって、軽い礫は堆積後に擾乱を受けて上下方向に移動し、一方で重い礫は原位置を保っている可能性が考えられる。この場合、遺物集中の本来の層位は V 層上部であると想定される。一方、第四次調査の 1 号遺物集中部から 4 号遺物集中部、6 号遺物集中部は主に IV 層から、5 号遺物集中部は IV 層下部から V 層上部にかけて検出されている。この層位が時期差を反映しているのか、あるいは擾乱による堆積後の移動によるものなのかについて検討が必要である。

ここで、礫の遺構間接合関係に注目すると、SBL1 出土礫 1 点が、第四次調査 3 号遺物集中部出土礫 1 点と接合した事例がある。また、第四次調査においても、2 号遺物集中部と 3 号遺物集中部で礫の接合関係が認められている。したがって、第四次調査 3 号遺物集中部を介して、第四次調査 2 号遺物集中部、第四次調査 3 号遺物集中部、第五次調査 SBL1 における礫の接合関係があり、時期的

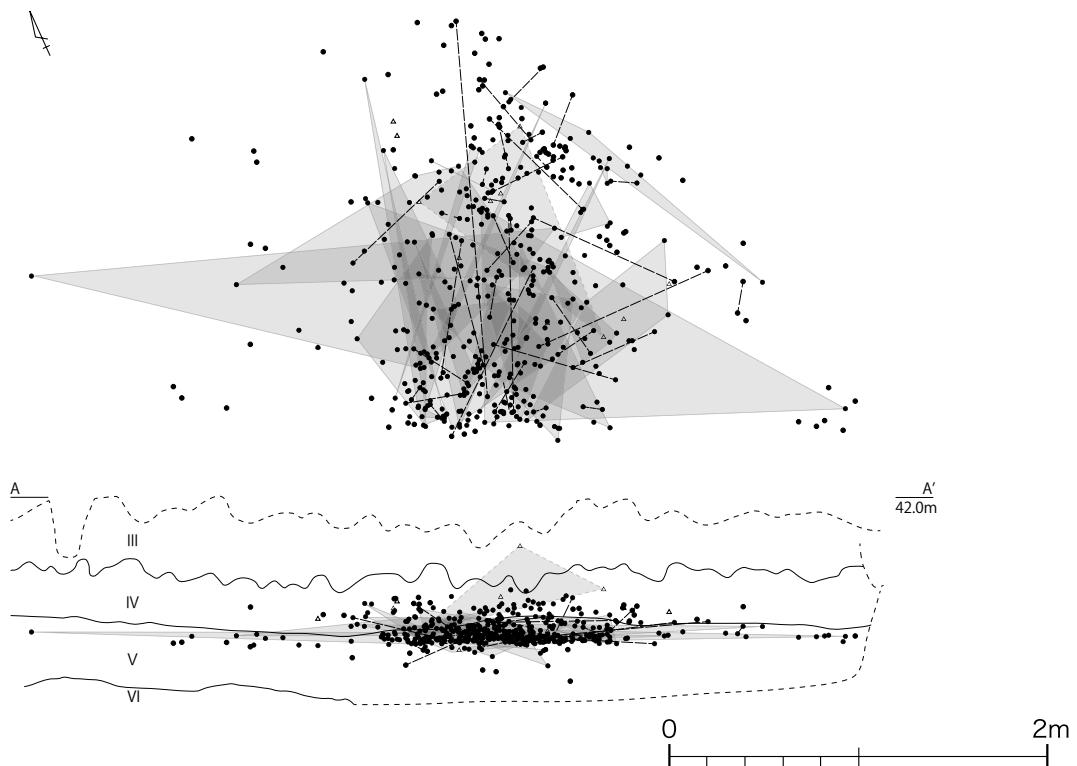
第53表 旧石器時代の石器石材产地推定結果一覧

石材	調査	遺構	点数	分析法	产地		備考	分析者	分析機関	出典
					エリア	判別群				
黒曜石	第四次調査	2号遺物集中部	1	EDX	天城	柏峰		池谷信之	明治大学黒曜石研究センター	東京都埋蔵文化財センター 2020
		6号遺物集中部	29		箱根	畠宿				
安山岩	第五次調査	1号遺物集中 (SBL1)	4	EDX	蓼科	冷山		竹原弘展	株式会社パレオ・ラボ	第V章第3節
			1		和田	土屋橋2				
安山岩	第五次調査	1号遺物集中 (SBL1)	5	EDX	佐久?	八風山	非破壊分析のため参考値			
			1		みなかみ?	武尊山1				
			1			武尊山2				
		2号遺物集中 (SBL2)	10		佐久?	八風山				

1号遺物集中

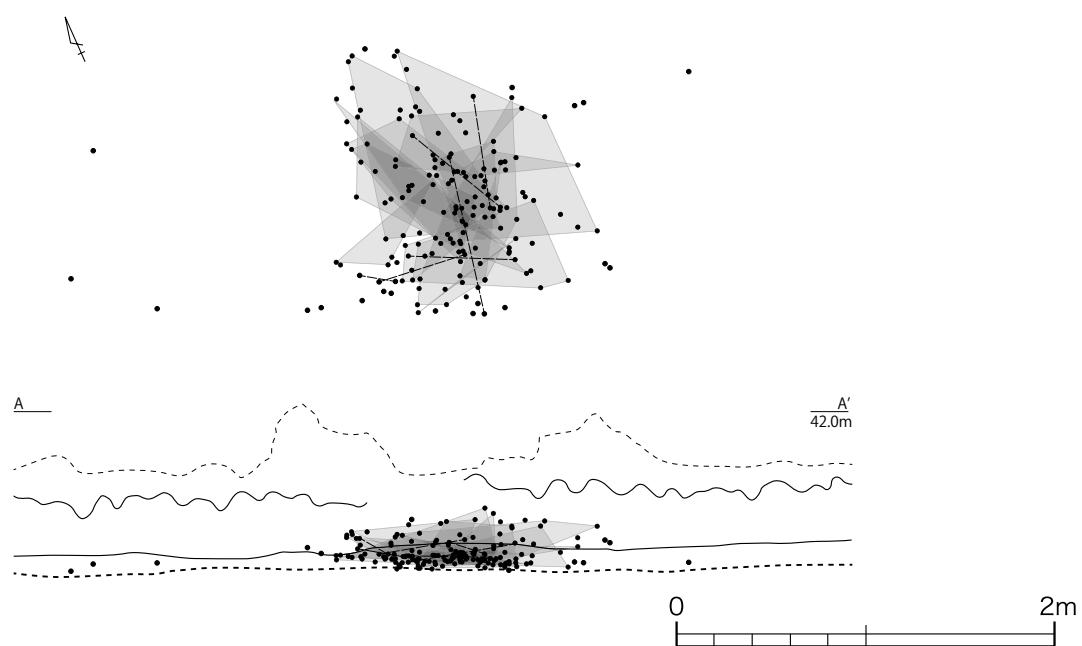


2号遺物集中

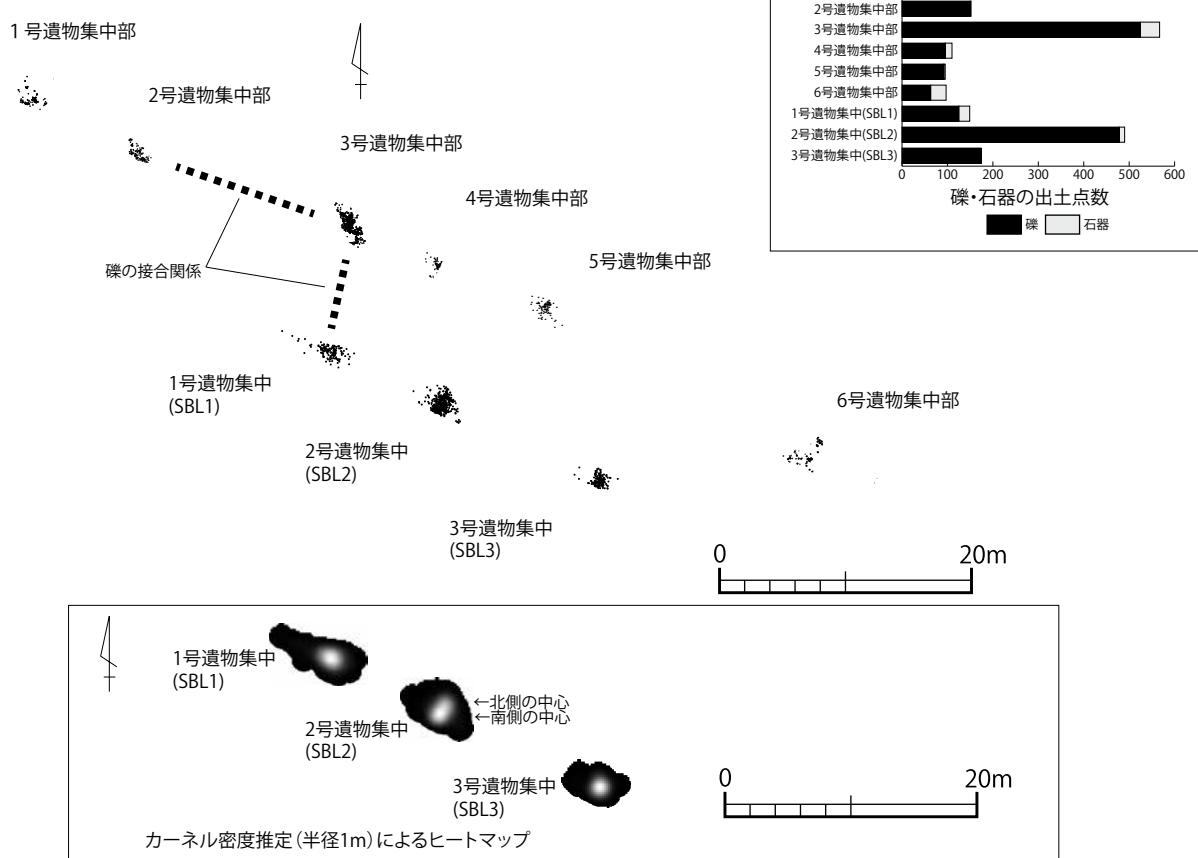


第96図 1号・2号遺物集中接合関係図(1/40)

SBL3



第97図 3号遺物集中接合関係図 (1/40)



第98図 大泉中里遺跡の旧石器遺物集中部 (1/600)

に近い関係にあると判断できる。

なお、SBL1 出土炭化物の放射性炭素年代測定の結果は、実施した 2 点の内、試料 No.1 は状態不備のため測定不能、試料 No.2 は縄文時代早期の年代を示す結果となった（第 V 層第 1 節参照）。後者については、上層で検出された縄文時代早期後半の炉穴をはじめとする遺構群に由来する炭化物が、根等の植物擾乱を受けて混入したものと想定される。したがって、遺物集中部の年代を示す結果は得られなかった。

以上のように、第四次調査及び第五次調査の遺物集中部においては、埋没後に擾乱を受けて、礫が上下方向に移動している可能性が示された。今後、ファブリック解析（尾田 2019 等）により、埋没後の擾乱の影響に関する検討が必要となろう。

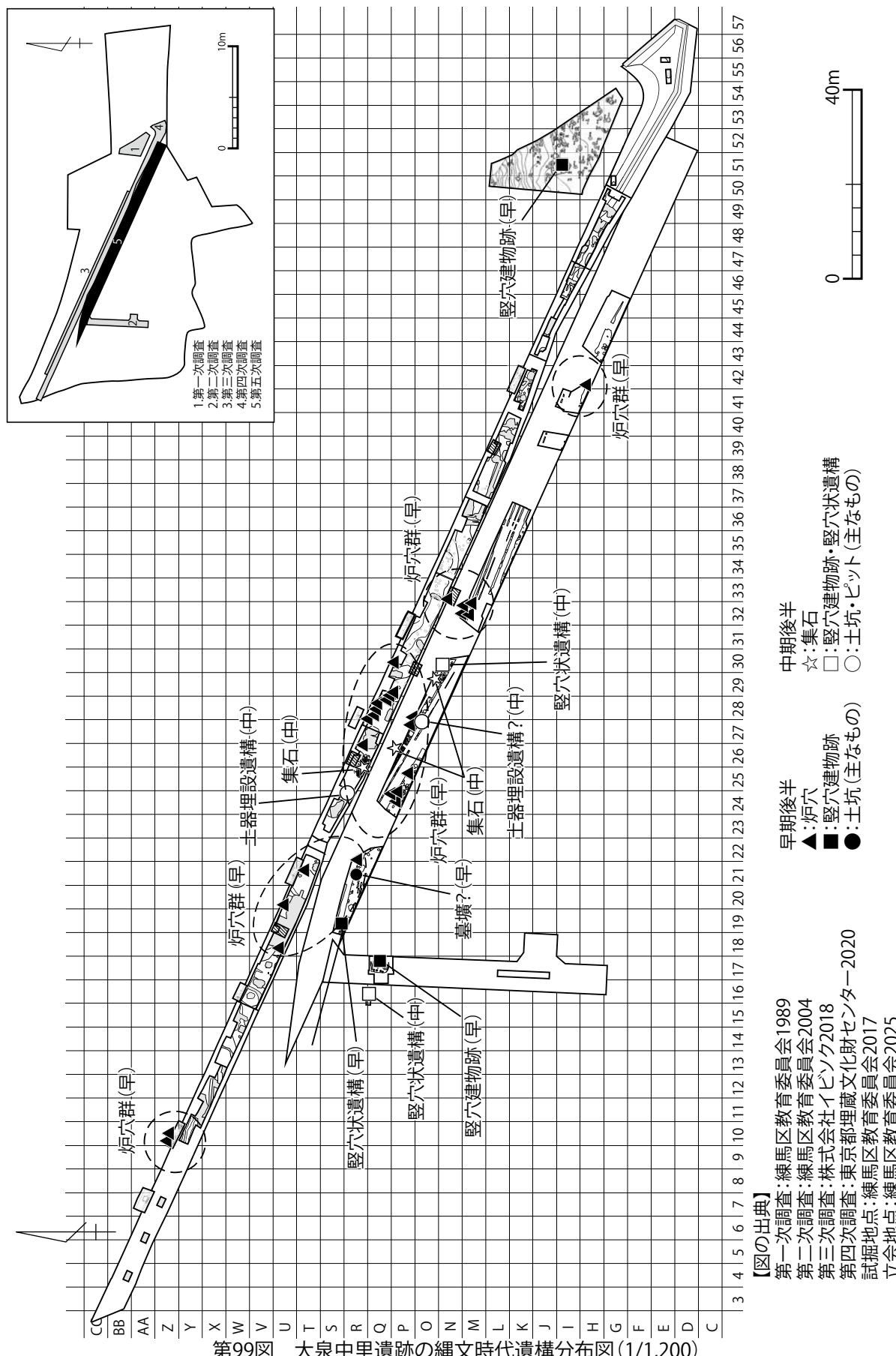
次に、石器の出土状況を見ると、SBL1 では黒曜石、黒色ガラス質安山岩、硬質細粒凝灰岩の石器・剥片が出土したのに対し、SBL2 では硬質細粒凝灰岩の剥片のみ、SBL3 では出土しないという相違が見られる。また、黒曜石及びガラス質安山岩の産地推定分析の結果（第 V 章第 2 節・第 3 節）では、黒曜石は信州系、安山岩は北関東系の可能性が示されている。なお、測定不能となった 4 点については、後に硬質細粒凝灰岩であると判明したものである。第四次調査の黒曜石産地推定の結果と比較すると（第 53 表）、第四次調査 2 号遺物集中部と 6 号遺物集中部で出土した黒曜石は伊豆半島系との結果が得られており、SBL1 の黒曜石と差異がある。この差についても、先に礫の分布状況で検討したように、時期差であるのか、あるいは集団差であるのか、検討が必要である。

## 2 縄文時代

第一次調査から第五次調査、試掘・立会によって検出された縄文時代の遺構の分布を示した図が第 99 図である。

早期後半では、複数の炉穴が群を成し、さらにこの炉穴群が間隔をおいて分布している。竪穴建物跡は、炉穴群と近接した箇所に位置し、第二次調査で検出された竪穴建物跡と、第五次調査の 9 区 19-S グリッドで検出された 1 号竪穴建物跡は約 9m の距離で近接する。また、第五次調査 9 区 21-R グリッドに位置する 18 号土坑からは、多量の条痕文系土器片が出土し、多くが接合した。遺物の出土状況から、墓壙の可能性も想定される。遺構分布の中心は遺跡の西側にあるように見て取れるが、遺跡の東側にあたる第一次調査地点においても、竪穴建物跡を始めとして遺構が集中している。東側の大部分は後世の擾乱により遺構が消失している可能性があるため、明確な分布の中心は不明である。

中期後半では、第四次調査 3 区から第五次調査 10 区にかけて、遺構が集中する。この範囲では、第四次調査 1 号集石と第五次調査 1 号集石、2 号集石が分布する。第四次調査 1 号集石と第五次調査 1 号集石は隣接しており、同一の集石の可能性があるが、双方が複数の礫分布の複数の中心を有すると推測されることから、小規模な集石が重複した結果、このような検出状況となった可能性もある。集石の周辺では、第四次調査の 3 区 24-R グリッドで加曾利 E4 式期の土器埋納遺構が 1 基検出されている。第五次調査においても、10 区 28-P グリッドの加曾利 E4 式期の土器埋納遺構の可能性のあるピット（62 号ピット）が 1 基検出された。両者は約 22m 離れた箇所に位置し、集石の分布範囲を取り囲む位置にある。また、竪穴建物跡（SI4）もこの周辺である 29-N グリッドに位置する。これらの範囲は、近辺で標高が最も高い箇所であり、意図的にこの箇所に集落が営まれたと推測され



第99図 大泉中里遺跡の縄文時代遺構分布図(1/1,200)

る。

### 3 奈良・平安時代

奈良・平安時代の遺構は確認されなかったが、I層耕作土から「田」の線刻のある須恵器坏が出土したことが注目される。時期は9世紀末から10世紀前半であり、線刻は内面に施される。「田」の線刻のある須恵器は、練馬区内における出土事例は無いが、明治大学日本古代学研究所「全国墨書・刻書土器、文字瓦 横断検索データベース」によると、武藏国地域では埼玉県比企郡鳩山町小谷遺跡、埼玉県比企郡鳩山町柳原遺跡、東京都府中市武藏国府関連遺跡（日鋼地区 M24区）で出土事例がある。

当該須恵器片の出土状況は、遺構ではなく耕作土からの出土であるため、人為的に遠方から持ち込まれた可能性も否定できない。特に、次節で述べるように、近世以降に畑作に適した土壤が搬入された可能性があるため、搬入された土壤の中に須恵器片が含まれていた可能性もある。

### 4 近世以降

ピット、土坑、溝状遺構等が検出されたが、大部分が耕作痕であると考えられる。特に、根菜類を栽培した痕跡と考えられるピット列や、畝間溝と考えられる溝状遺構、客土を目的としたと考えられる溝状掘削痕跡がローム層で確認された。第36表に示したように、これらの遺構群が、畑の機能を示していると推測される。図示はしていないが、昭和22年の米軍写真と比較すると、遺構群の分布は畑の区画と概ね一致し、溝状遺構の方向も畝の方向と一致する。また、客土が行われたと考えられる溝状遺構が分布する箇所は、ローム層の標高が高くなる9区東側から10区西側に限られており、周囲に合わせた面の高さで畑を営むためには、ローム層を掘削して耕作土の厚さを確保する必要があったと考えられる。

(守屋)

## 引用・参考文献

新井三丁目遺跡調査団 1988『新井三丁目遺跡』新井三丁目遺跡調査会

遠藤邦彦他 2019「武藏野台地の新たな地形区分」『第四紀研究』58-6,353-375

尾田識好 2019「武藏野台地における後期旧石器時代初頭の編年と行動論：武藏台遺跡の分析を中心  
に」『旧石器研究』15,107-122

株式会社イビソク 2018『大泉中里遺跡第三次調査』

古泉 弘 1987『江戸の考古学』考古学ライブラリー 48、ニュー・サイエンス社

桜井準也 2019『増補 ガラス瓶の考古学』六一書房

柴田 徹 2005『河原の石の CD 岩石鑑定図鑑』考古石材研究所

鈴木忠司 2024『岩宿時代日本列島の生業と集落』同成社

東京都埋蔵文化財センター 2002『富士見池遺跡群 溜瀬遺跡』東京都埋蔵文化財センター調査報告  
第 105 集

東京都埋蔵文化財センター 2020『大泉中里遺跡第四次調査』東京都埋蔵文化財センター調査報告第  
355 集

練馬区遺跡調査会 1989『大泉中里遺跡』練馬区教育委員会

練馬区教育委員会 2004『埋蔵文化財調査報告 19 平成 15 年度 (2003 年度)』

練馬区教育委員会 2017『埋蔵文化財調査報告 31 平成 27 年度 (2015 年度)』

練馬区教育委員会 2018『埋蔵文化財調査報告 32 平成 28 年度 (2016 年度)』

練馬区教育委員会 2023『埋蔵文化財調査報告 37 令和 3 年度 (2021 年度)』

練馬区教育委員会 2025『埋蔵文化財調査報告 39 令和 5 年度 (2023 年度)』

練馬区史編さん協議会 1982『練馬区独立 30 周年記念 練馬区史 (歴史編)』東京都練馬区

## データベース

明治大学日本古代学研究所「全国墨書・刻書土器、文字瓦 横断検索データベース」  
<https://bokusho-db.kodaishiryo-db.jp/>

## 報 告 書 抄 錄

印刷仕様

表紙	レザック	215kg (四六判)
見返し	上質紙	135kg (四六判)
本文	マットコート紙	90kg (四六判)
写真図版	マットコート紙	90kg (四六判)
印刷方式	オフセット印刷	
使用インク	エコマーク商品認定基準に適合	
製版線数	150 線 (カラー 175 線)	
本書は永久保存を考慮し、すべて中性紙を使用		

練馬区

大泉中里遺跡第五次調査

—補助第 230 号線（大泉町）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査 その 2 —

東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 392 集

---

2025 年 9 月 30 日 発行

編集・発行 公益財団法人東京都教育支援機構  
東京都埋蔵文化財センター

東京都多摩市落合一丁目 14 番 2

TEL 042 - 374 - 8044

印刷 株式会社 外為印刷

東京都台東区浅草 2-28-31

---